SHARP

AQUOS

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

エル　シー　ジー エックス　ダブル
LC-52GX3W

エル　シー　ジー エックス　ダブル
LC-52GX4W

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（16ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

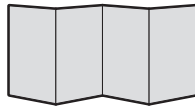
AQUOS クイックガイド
（簡単接続・設定ガイド）

1 付属品の使いかた

・安全と性能維持のため、同梱のケーブルを必ずご使用ください。

取扱説明書など

取扱説明書（本書）×1※

かんたん!!ガイド×1※

保証書×1

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

アンテナとつなぐ

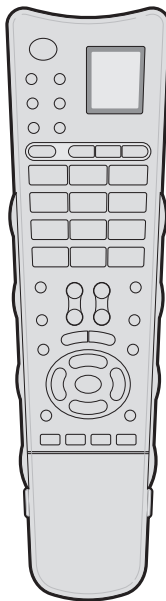
VHF/UHF用アンテナケーブル（4m）×1

地上デジタル放送、地上アナログ放送を見る場合につなぎます。 ▶**30**ページ

BS・110度CS用アンテナケーブル（4m）×1

BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を見る場合につなぎます。 ▶**31**ページ

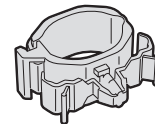
本機を操作する

リモコン×1

リモコン用乾電池
（単4形×2）

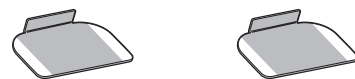
※アルカリ乾電池をご使用ください。

乾電池を入れて使います。 ▶**37**ページ

ケーブルをまとめる

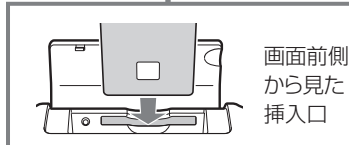
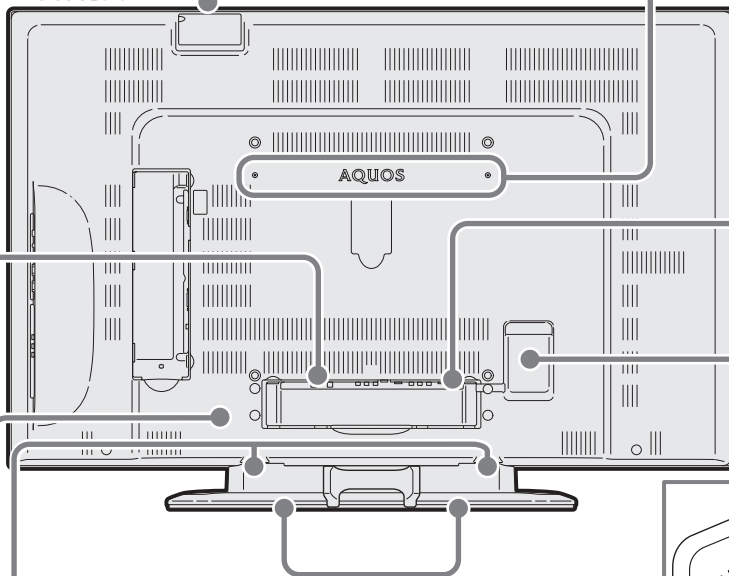
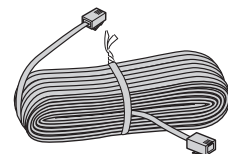
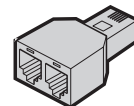
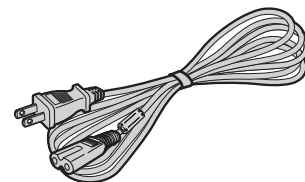
ケーブルクランプ

アンテナケーブルなどをすっきりまとめるときに使います。 ▶**32**ページ

保護カバーをつける（スタンドをはずした場合のみ）

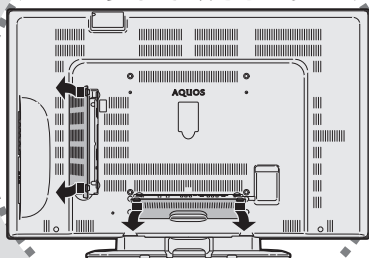
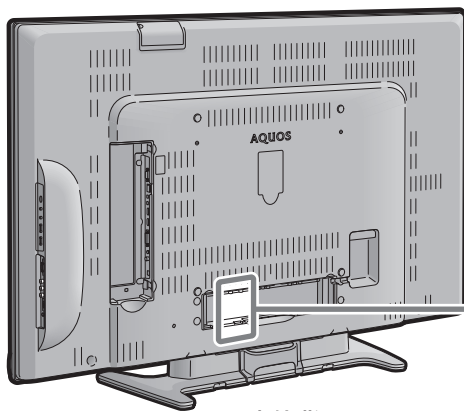
保護カバー×2

図は、LC-52GX3W 用のカバーです。
LC-52GX4W 用は若干形状が異なります。

スタンドをはずしたときの穴をふさぐために使います。 ▶**192**ページ

● 本取扱説明書では、特に機種名を明示している場合を除いてLC-52GX3Wを例にとって説明しています。LC-52GX4Wは外形寸法やスピーカーの位置などは異なりますが使いかたは同じです。

次のページにつづく ▶

2 アンテナケーブルをつなぐ

詳しくは ▶30ページ

端子カバーを はずしてください。

▲本体背面

アンテナ入力(BS・110度CS)
ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

アンテナ端子部▶

アンテナ入力(VHF・UHF)

▲本体背面

基本の接続（VHF/UHF の接続）

● 地上デジタル放送と地上アナログ放送を視聴するときの接続です。

VHFアンテナ UHFアンテナ

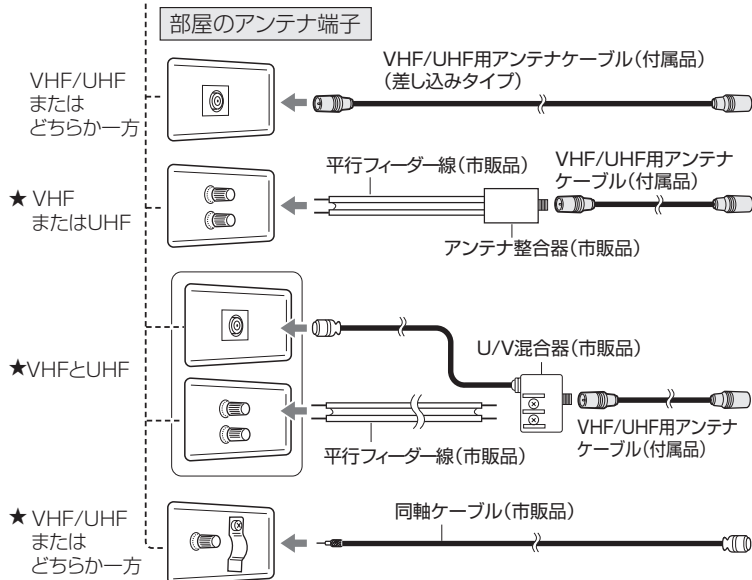
地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナが必要です。
（一部取り替えや調整、ブースターの追加などが必要になることがあります。）

部屋のアンテナ端子

VHF/UHF または どちらか一方 — VHF/UHF用アンテナケーブル（付属品）（差し込みタイプ）

★ VHF またはUHF — 平行フィーダー線（市販品） アンテナ整合器（市販品） VHF/UHF用アンテナケーブル（付属品）

★VHFとUHF — U/V混合器（市販品） 平行フィーダー線（市販品） VHF/UHF用アンテナケーブル（付属品）

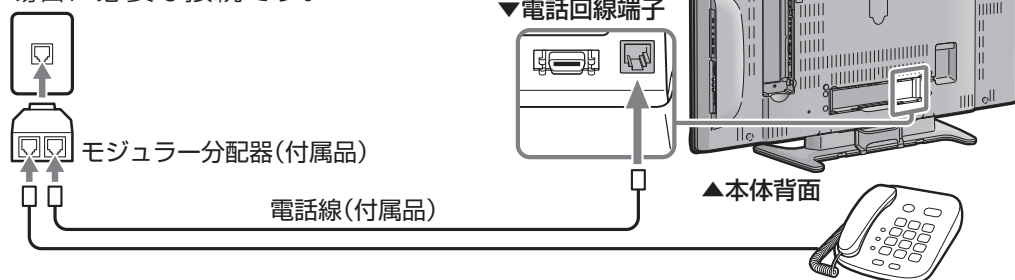
★ VHF/UHF または どちらか一方 — 同軸ケーブル（市販品）

アンテナ入力(VHF・UHF)へ

★のタイプの端子をご使用の場合、画面にノイズが出るときがあります。

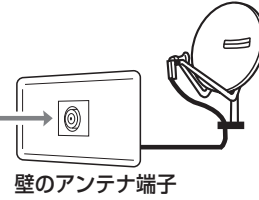
- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- デジタルチューナー内蔵録画機器を通してアンテナをつなぐ場合の接続については、別冊「かんたん!! ガイド」をご覧ください。

3 電話線をつなぐ

詳しくは ▶145ページ

● デジタル放送の双方向番組への参加や有料番組を受信したい場合に必要な接続です。

「アンテナ接続のワンポイントアドバイス」(▷ **10** ページ)もあわせてご覧ください。

BS・110 度 CS デジタル放送を視聴する場合の接続

BS・110 度 CS 共用アンテナを個人で設置しているとき
(BS・110 度 CS と VHF/UHF が別の端子のとき)

マンションなど、共聴システムで受信するとき
(BS・110 度 CS と VHF/UHF が混合されているとき)

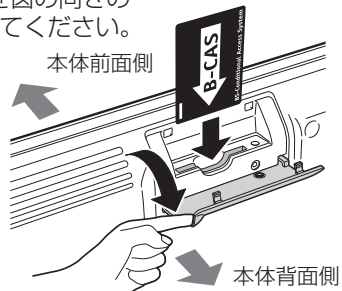
4 ビデオやDVD／HDDレコーダーなどをつなぐ

詳しくは ▶88ページ

次のページにつづく ▶

AQUOS クイックガイド（つづき）

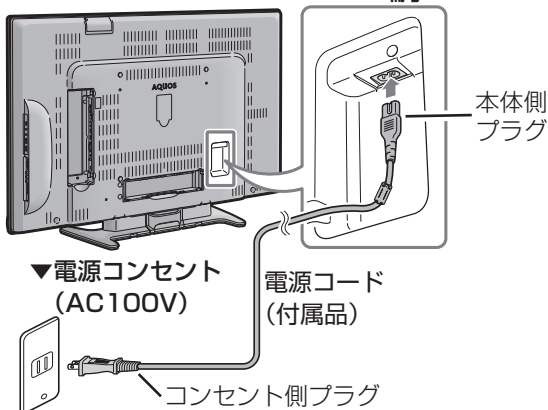
5 B-CAS（ビーキャス）カードを入れる

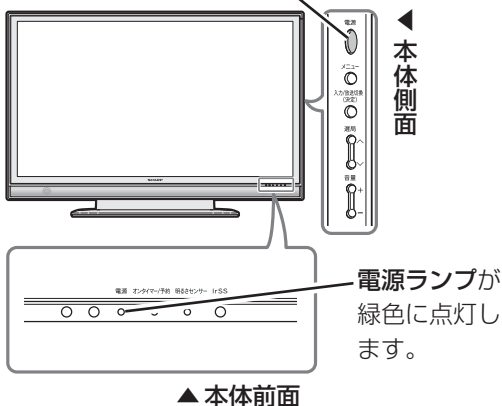
詳しくは ▶36ページ

● 付属の B-CAS（ビーキャス） カードを挿入します。

有料放送を見るときは、各放送局との個別契約が必要です。（▶36ページ）
- e2 by スカパー！
- WOWOW
- スターチャンネル
- など

6 電源を入れる

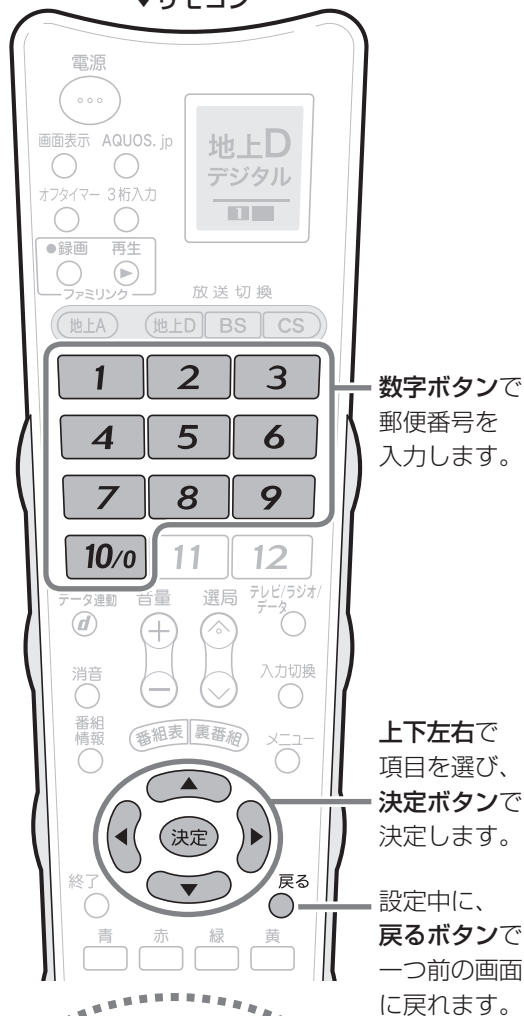
詳しくは ▶32·37ページ

1 電源コードをつなぐ

2 本体側面の電源スイッチ（赤）を押して、電源を入れる

電源スイッチ（赤）を押して電源を入れます。

7 初期設定をする

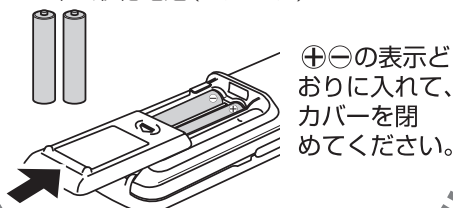
● お買い上げ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面表示にしたがって操作をしてください。受信できる地上デジタル・地上アナログ放送のチャンネルが設定されます。

かんたん初期設定画面の操作について

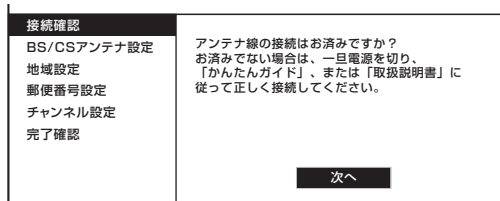
● 初期設定は付属のリモコンで行います。

リモコンに、乾電池を入れてください。

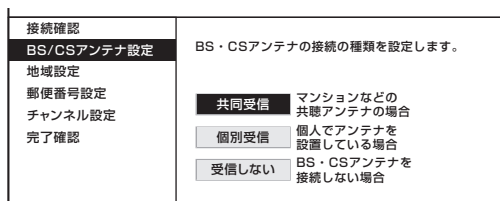
▼付属の単4形乾電池（アルカリ）

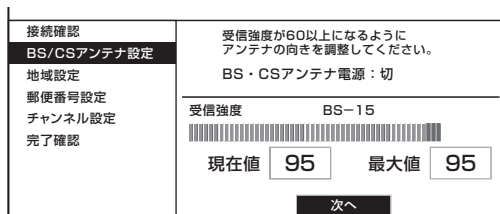
⊕⊖の表示どおりに入れて、カバーを閉めてください。

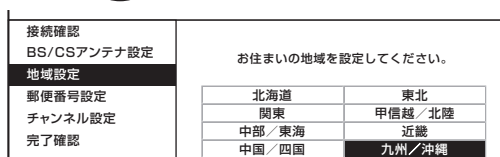
▲リモコン裏面

かんたん初期設定を中断した場合は

- 初めて電源を入れて「かんたん初期設定」を行っている途中で電源が切れた場合は、次に電源を入れた場合に再度「かんたん初期設定」画面になります。（手順 **7** を実行した後は本体の電源を入／切しても「かんたん初期設定」画面は表示されません。）
- 「かんたん初期設定」をリモコンの終了ボタンを押して中断した場合は、次に電源を入れても「かんたん初期設定」画面が表示されません。メニューから選んで「かんたん初期設定」を行ってください。（かんたん初期設定▶ **40** ページ、メニューの基本操作▶ **38** ページ）

1 「次へ」でリモコンの決定を押す

- B-CAS カードが正しく装着されていないときは、画面に「B-CAS カードを正しく装着してください。」と表示されます。

2 ▲▼でBS・CSアンテナ接続の種類を選び、決定を押す

- 「受信しない」を選んだときは、手順 **4** に進みます。

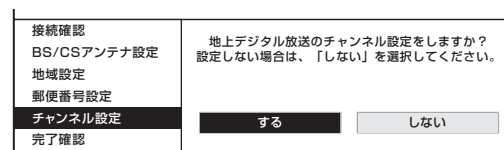
3 受信強度を確認し、「次へ」で決定を押す

- 受信強度が表示されない、または 60 より低いときは、BS・CS アンテナの向きや接続を確認します。

4 ▲▼◀▶で「お住まいの地域」を選び、決定を押す

5 ▲▼◀▶で「お住まいの地域」を選び、決定を押す

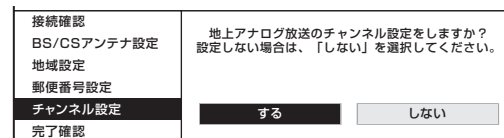
6 数字ボタン 1 〜 10/0 で「郵便番号」を入力し、決定を押す

- 「0」を入力するときは 10/0 を押します。

地上デジタルチャンネル設定

7 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 地上デジタル放送のチャンネルが登録されます。

地上アナログチャンネル設定

8 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 「する」を選んだときは、地上アナログ放送のチャンネルが登録されます。
- 「しない」を選んだときは、手順 **9** に進みます。

9 「完了」で決定を押す

- 完了後は、再度本体の電源を入れても「かんたん初期設定」画面は表示されません。

かんたん初期設定をやりなおしたいときは

● **40** ページをご覧ください。

地上デジタル放送の再設定は

● **43** 〜 **47** ページをご覧ください。

地上アナログ放送の再設定は

● **48** 〜 **56** ページをご覧ください。

CATV（ケーブルテレビ）を設定するときは

● **45・56** ページをご覧ください。

次のページにつづく▶

8 受信状態を確認する

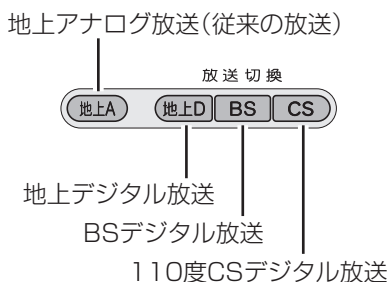
- リモコンを使って番組を選んでみましょう。
- 本体の電源を入れてから操作します。

1. 放送の種類を選ぶ

放送切換ボタンを押します。

地上アナログ放送（従来の放送）

放送切換
地上A 地上D BS CS

地上デジタル放送
BSデジタル放送
110度CSデジタル放送

デジタル放送の場合はテレビ／ラジオ／データボタンを押します。

- テレビ/ラジオ/データ を繰り返し押して選びます。
- テレビ放送→ラジオ放送※→データ放送※の順に放送の種類が切り換わります。

※ 放送がある場合に切り換わります。

2. チャンネルを選ぶ

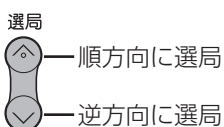
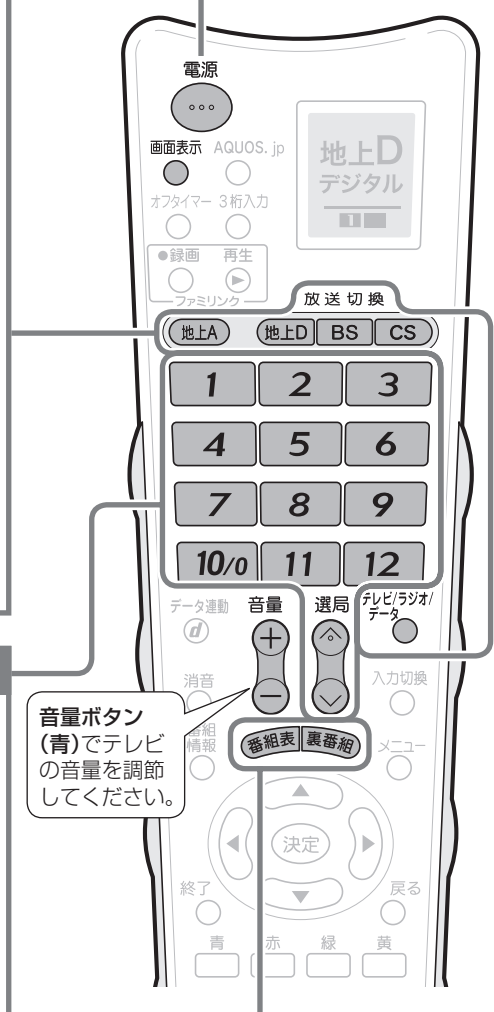
チャンネルボタンを押します。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10/0	11	12

選局ボタン（緑）を押します。

選局
- 順方向に選局
- 逆方向に選局

電源ボタン（赤）

音量ボタン（青）でテレビの音量を調節してください。

電子番組表（EPG）や裏番組表（EPG）でも番組を選べます。

- 電子番組表（EPG） ▶**62** ページ
- 裏番組表（EPG） ▶**63** ページ

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

- テレビ画面の**チャンネルサイン**で確認できます。

チャンネルサインは 画面表示 を押すと表示できます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

放送が正しく受信できない場合は

こんな症状がでるときは ➡ ここをお確かめください ➡ ページ

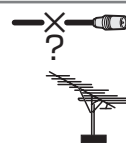
地上アナログ放送

色じま模様が出る

- 付属のアンテナケーブルを使用していますか。
- 古いケーブルは使わないでください。

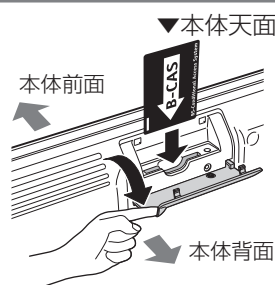
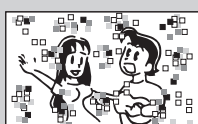
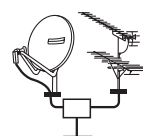
ページ：2・30

雪が降っているような画面になる

- アンテナ線が切れていませんか。（ページ：－）
- アンテナの向きは正しいですか。（ページ：－）

- 平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してください。（ページ：30）

デジタル放送

映像も音声も出ない

- BS・CS アンテナ接続の種類は正しく設定されていますか。（ページ：7・41）
- B-CAS カードは正しく挿入されていますか。（ページ：6・36）

画面に四角のノイズ(モザイク)が出る

- アンテナの向きは正しいですか。（ページ：－）
- アンテナの受信強度を確認してください。(「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。)（ページ：42）

電源・受信強度表示
周波数設定
信号テスト－地上D
信号テスト－BS
信号テスト－CS

BS衛星信号テスト

BS−1	BS−3	BS−5
BS−7	BS−9	BS−11
BS−13	BS−15	終了

受信強度　BS−15

現在値 95　最大値 95

受信状態:良好です。【A】

WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない

- WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。（ページ：36）
- 電話回線の接続や設定は正しくされていますか。（ページ：144～148）

110度CSデジタル放送が視聴できない

- アンテナやアンテナケーブル、分波器は指定のものを使用していますか。（ページ：5・31）

画面にノイズが出る

- VHF/UHF 用アンテナケーブルと BS・110 度 CS 用アンテナケーブルが接近していませんか。（ページ：－）

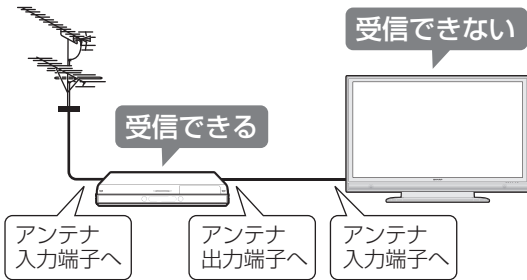
特定のチャンネルだけ映らない

- 有料放送は視聴契約が必要です。（ページ：36）
- アンテナの受信強度を確認してください。（ページ：42）

AQUOS クイックガイド（つづき）

お住まいの地域やチャンネルによっては電波が弱く、アンテナの接続方法やレコーダーなどの機器との接続により、映らない場合が考えられます。
このような場合、アンテナの接続状況を変えていただくと映る場合がありますので、本ページを参考にご確認をお願いします。

こんなときは

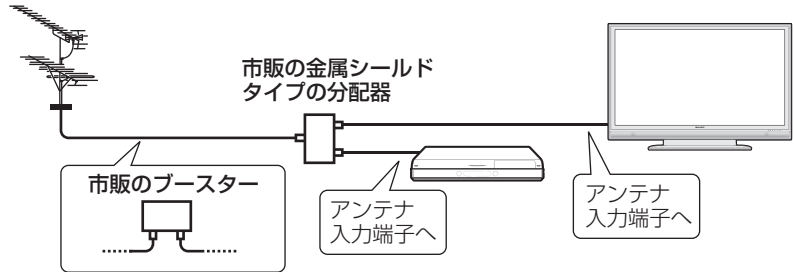
アンテナ線を、レコーダーを経由してテレビに接続している場合で、レコーダーは放送を受信できるのにテレビは受信できない。

アドバイス

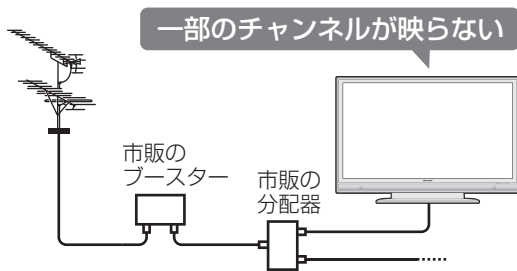
レコーダーに入力しているアンテナ線をテレビの入力に直接接続してみてください。

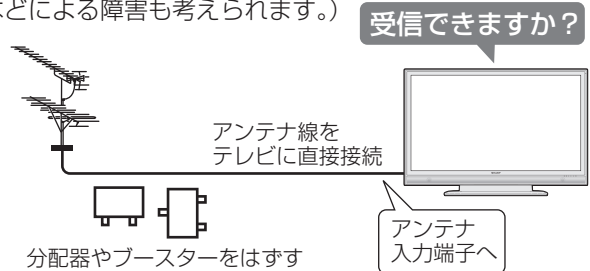
テレビが受信できる場合は、テレビの故障ではありません。
レコーダーに内蔵されているアンテナ分配機能の性能により、テレビが受信できないことがあります。レコーダーの出力端子からテレビの入力端子に接続するのは止めましょう。

解決方法

アンテナ線を市販の金属シールドタイプの分配器で分配して、レコーダーとテレビのそれぞれに接続してください。

それでも受信できない場合は…
アンテナ線を市販のブースターに接続してください。

こんなときは

分配器やブースターを使用している場合で、一部のチャンネルだけ映らない。

アドバイス

使用している分配器やブースターをはずして、アンテナ線をテレビに直接接続してみてください。（テレビに付属のアンテナケーブルをご使用ください。また、レコーダーやパソコンなどの使用を止めて確認してください。これらの機器から発生する電波などによる障害も考えられます。）

正しく受信できる場合は、テレビの故障ではありません。
分配器やブースターの性能により、正しく受信できないことがあります。

解決方法

市販の、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送に対応している分配器やブースターと交換してください。

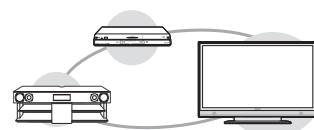
それでも受信できない場合は…
ご購入のご販売店などにご相談ください。

目的別早見ガイド

こんなときは →
参照ページ → こちらをお読みください

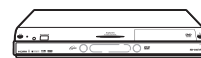
デジタル放送を録画する

AQUOSのチューナーを使って、デジタル放送を録画したい

- 本機のチューナーからビデオデッキやレコーダーに録画する方法が知りたい → 94ページ デジタル放送の録画と予約について
- ファミリンクで、デジタル放送を2番組同時に録画したい → レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- ファミリンクが操作できない → 106ページ ファミリンク機能を使う
  レコーダーの取扱説明書もご覧ください。

録画・再生機器をつなぐ

レコーダーなど、録画・再生機器との接続のしかたが分からない

- ビデオデッキ、DVDレコーダー、PC(パソコン)とのつなぎかたが分からない → 88～89ページ 再生機器をつなぐ

- i.LINKのつなぎかたが分からない → 116ページ AQUOSレコーダー以外のi.LINK機器を使う
- CATV(ケーブルテレビ)放送の受信のしかたが分からない → 31ページ CATVを見るときの接続例
- CATVの選局のしかたが分からない → 59ページ CATVチャンネルを選ぶ

録画・再生機器との設定をする

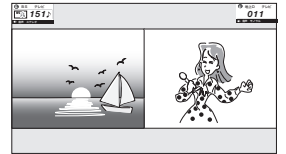
録画・再生機器をつないだときの、本機の設定方法が分からない

- パソコンの画像がうまく表示できない → 135ページ PC(パソコン)の画面を表示する
- 「入力切換」の操作が分からず、再生映像が見られない → 91ページ 録画した映像やDVDの映像を見る(入力切換)
- ファミリンクのための設定が分からない → 110ページ ファミリンク機能を使うための設定

入力切換
- テレビ
- 入力1
- 入力2
- 入力3
- 入力4
- 入力5
- 入力6
- 入力7
- i.LINK
- IrSS

画面の設定を調整する

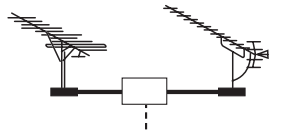
画面サイズを調整したい、画面表示を変えたい

- 画面サイズの変更方法が分からない → 78ページ 画面サイズを切り換える
- オートワイドの設定を解除したい → 79ページ オートワイドが働かないようにするには
- 電子番組表を時間帯を横に並べて表示したい → 68ページ 電子番組表の表示のしかたを変える
- 2画面で、地上デジタル放送とBSデジタル放送を同時に見たい → 72ページ 2画面で見る

アンテナの接続と設定

アンテナのつなぎかた、受信の設定のしかたが分からない

- アンテナのつなぎかたが分からない → 30ページ アンテナをつなぐ

- 信号が弱いので、調整したい → 41～42ページ 受信強度のアンテナ調整
- 受信強度を確認・調整したい → 41～42ページ 受信強度のアンテナ調整

- BS・110度CSアンテナの電源を入／切したい → 41ページ アンテナに電源を供給するための設定
- 地上アナログ放送のチャンネルの設定・変更方法が分からない → 55ページ 地上アナログ放送の個別設定
- チャンネルの設定・変更方法が分からない → 46ページ デジタル放送のチャンネルの個別設定

録画機能を活用する

録画操作設定のしかたが分からない

- 電子番組表(EPG)からの録画予約方法が分からない → 94ページ 番組予約(「視聴予約」と「録画予約」)のながれ
- i.LINKの機器選択の方法が分からない → 119ページ i.LINK機器の選択
- ファミリンク録画をしたらエラーメッセージが出た → 177ページ ファミリンク録画時のエラーメッセージ
- 録画中に子供がリモコンを操作できないようにしたい → 133ページ リモコンまたは本体の操作をロックする(チャイルドロック)

もくじ

はじめに

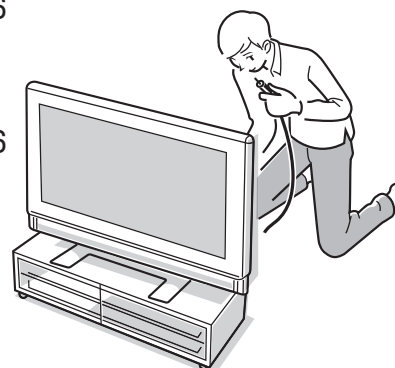
準備する

詳しいもくじは 27 ページ

テレビを見る

詳しいもくじは 57 ページ

録画・再生機器をつなぐ

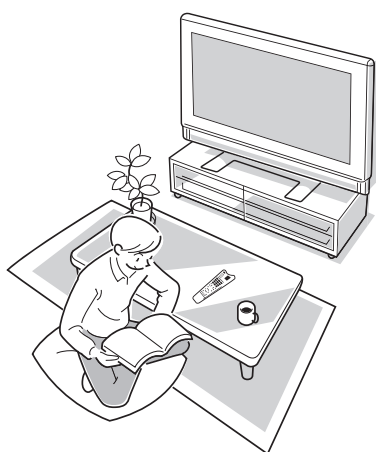
詳しいもくじは 87 ページ

AQUOSを もっと活用する

詳しいもくじは 129 ページ

本機の便利な機能をお楽しみください。

AQUOS便利情報

詳しいもくじは 169 ページ

困ったときに役立つ情報や、詳しく知りたいときの情報のページです。

- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去(初期化)をお願いします。(▶ **179**ページ)
- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

安全上のご注意

ご使用前に「**安全上のご注意**」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

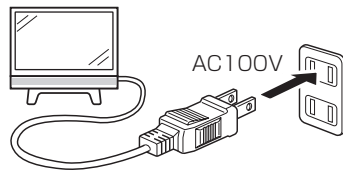
 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

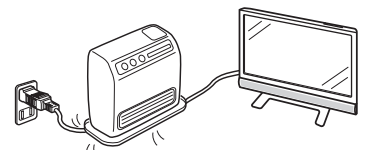
 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

100ボルト以外禁止

火災・感電の原因となります。

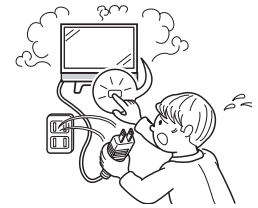
電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

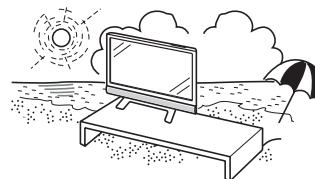
電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

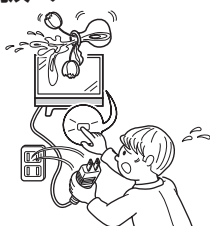
異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

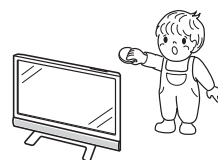
水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

⚠警告

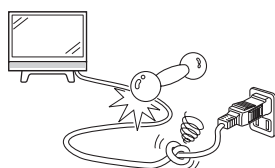
内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

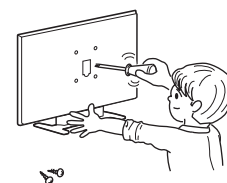
異物を入れない

禁止

通風孔（裏ぶたのすき間）などからものを入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

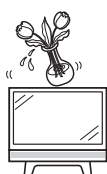
電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

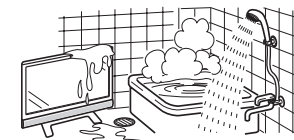
本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

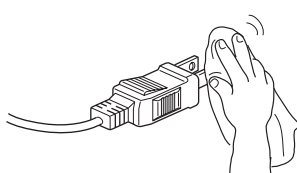
接触禁止

感電の原因となります。

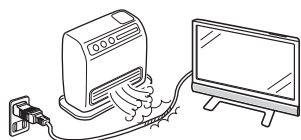
電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

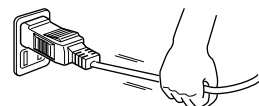
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

次のページにつづく▶

⚠ 注意

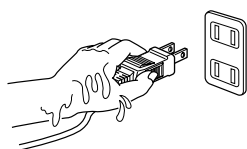
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

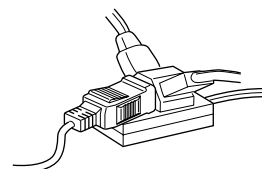
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

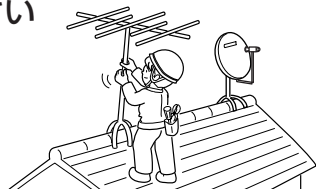
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

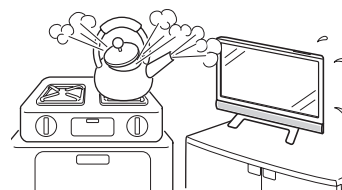
タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

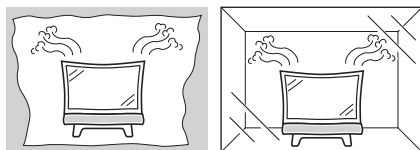
アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

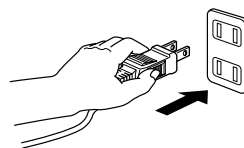
禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

禁止

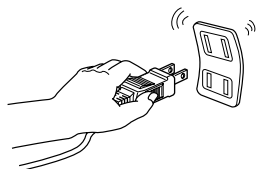
倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

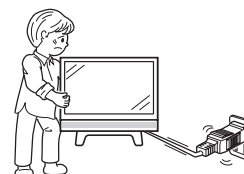
確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

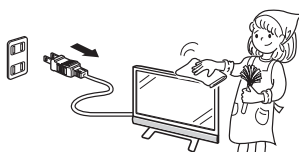
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

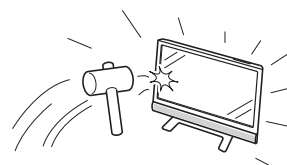
移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災･感電の原因となることがあります。

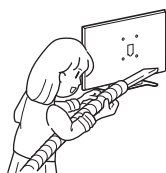
お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

禁止

液晶画面のパネルが割れることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

次のページにつづく ▶

アルカリ電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

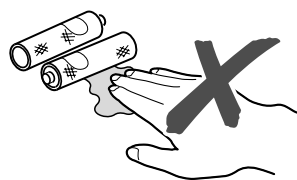
⚠ 注意

電池は幼児の手の届く所に置かない

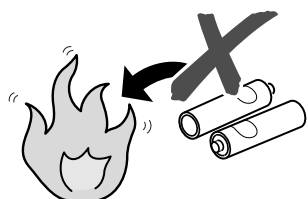
禁止

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

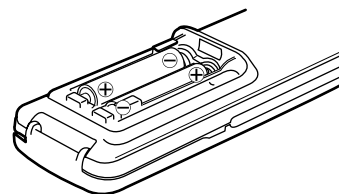
電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

禁止

・電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

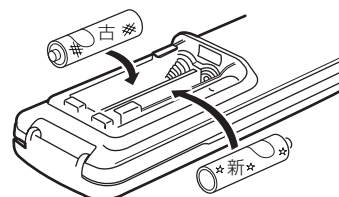
電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

禁止

・電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
・電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

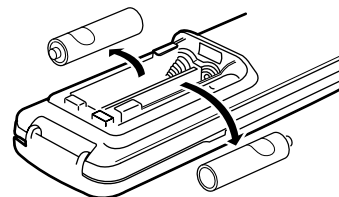
電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

表示どおり
に入れる

間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

禁止

電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

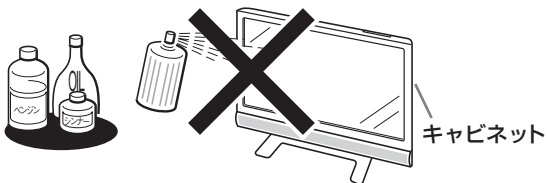
指示

電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた：⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた：⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたしたネルなどの布をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。

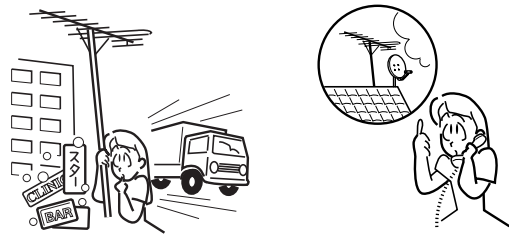
液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

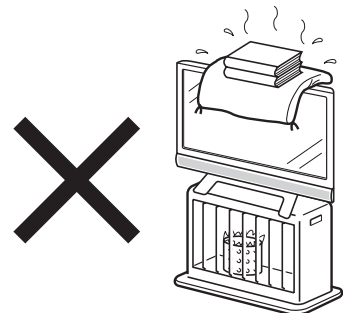
- お手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。(強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。)
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

AQUOSクリーニングクロス
推奨品
24×24cm:
4974019084145※
40×30cm:
4974019084152※

※販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア(ネット販売)でお求めください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。(▶**31**ページ)
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

次のページにつづく ▶

守っていただきたいこと

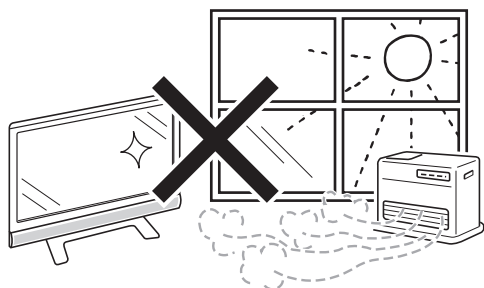
直射日光・熱気は避けてください

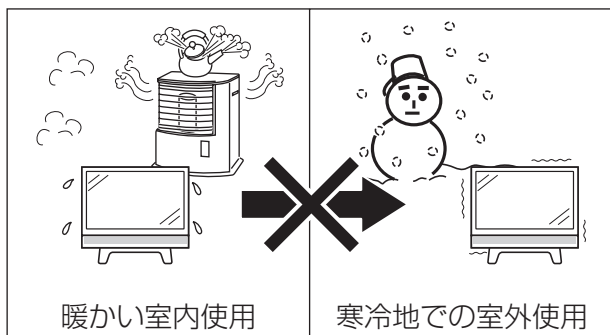
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

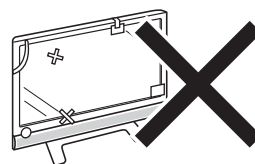
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

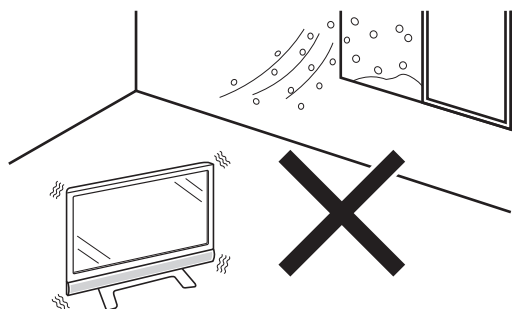
- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

- ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。（使用温度：0℃～40℃）

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

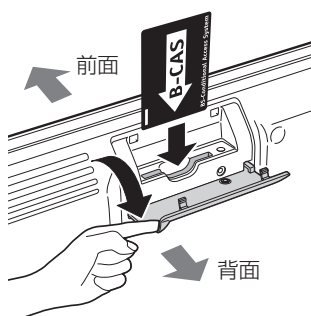
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

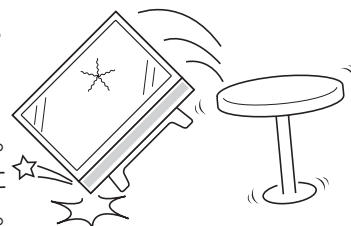
- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICチップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、右上図の通りに挿入してください。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となりますのでご注意ください。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

● 静止画を長時間表示しないでください。残像の原因となることがあります。

蛍光管について

● 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
  寿命の目安…約60,000時間（室温25℃で、明るさを「標準」に設定して連続使用した場合、明るさが半減する時期の目安）
- 詳しくは、販売店またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。

● ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体の電源スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

各部のなまえ

本体

・ ▶の中の数字は、詳しい説明を掲載しているおもなページです。

前面

LC-52GX3W　　LC-52GX4W

リモコン受光部
・リモコンをここに向けても、操作できます。

スピーカー

スタンド 192

電源　オンタイマー/予約　明るさセンサー　IrSS

IrSS™受光部 164

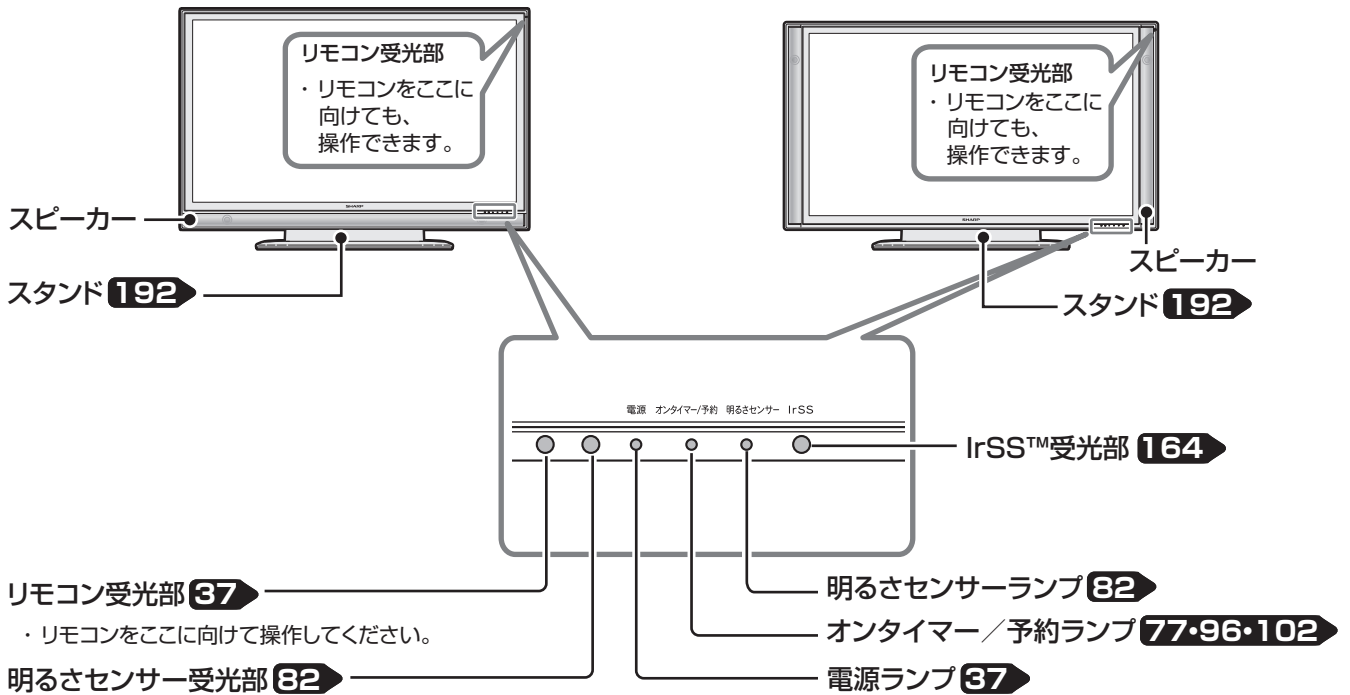
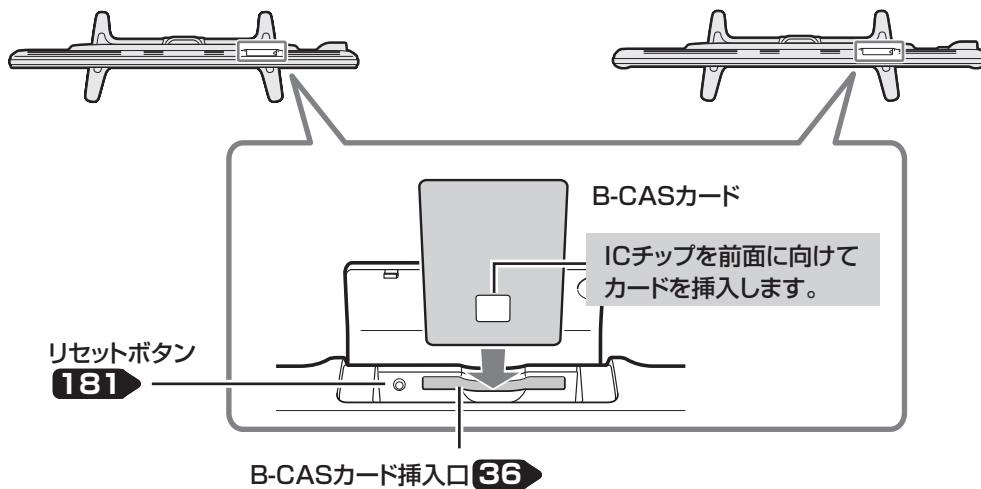
リモコン受光部 37
・リモコンをここに向けて操作してください。

明るさセンサー受光部 82

明るさセンサーランプ 82

オンタイマー／予約ランプ 77•96•102

電源ランプ 37

天面

★ おしらせ

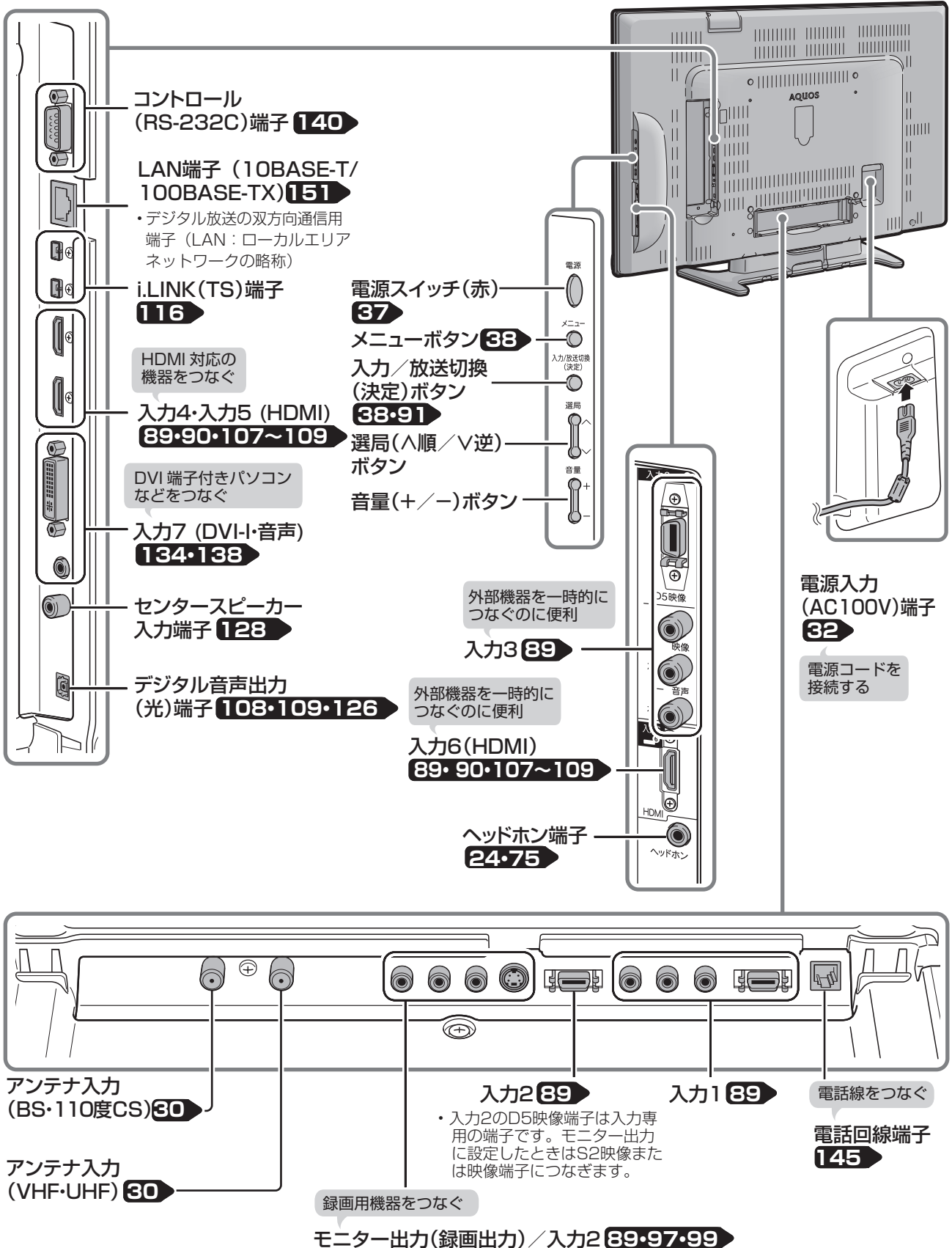
ヘッドホン端子（▶25ページ）について

- ステレオミニプラグ（φ3.5mm）の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンをつないだとき、スピーカーからも音を出すように設定できます。（▶**75**ページ）
- 2画面表示中に、非操作画面の音声をヘッドホンから出力することができます。（▶**75**ページ）
- 入力ごとに別々の音量に設定できます。

30

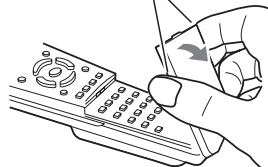
ヘッドホンの音量表示（音量ボタン（青）を押すと、画面下部に表示されます。）

背面

★おしらせ
- 端子カバーのはずしかたについては、▶29ページをご覧ください。

ハイビジョン画質で録画したいとき
- モニター出力の映像は標準画質です。ハイビジョン画質をそのまま録画したいときは、i.LINK 端子に D-VHS ビデオデッキ、AV-HDD レコーダー、Blu-ray Disc レコーダーのいずれかを接続します。

次のページにつづく▶

リモコンのボタン

・番組の選択手順と操作のしかたについて、詳しくは 58 をご覧ください。

おしらせ

リモコンの互換性について

・工場出荷時の設定では、本機のリモコンの数字ボタンでは本機以外のAQUOSが操作できない場合があります。設定を変更すると操作が可能になります。（▶ **180** ページ）

準備する

電源を入れるまで　28

メニューの操作について　38

受信設定をする　40

電源を入れるまで

準備のながれ

● 以下の順番で、本機の準備をします。

1. 設置する
2. 別売品について
   - 設置や接続に別売品を使う場合にご覧ください。
3. 端子カバーをはずす
4. アンテナをつなぐ
5. 電源コードをつなぐ
6. ケーブルをまとめる
   - ケーブルをまとめ終わったら、端子カバーを取り付けてください。
7. 転倒防止のため本機を固定する
8. デジタル放送について
   - デジタル放送についてお知りになりたい場合にご覧ください。
9. B-CASカードを入れる・登録する
10. リモコンに乾電池を入れる
11. 電源を入れる

1. 設置する

● 傾斜のない、平らな場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどのやわらかい面、不安定な場所を避けて設置してください。

● 極端に温度が高い場所や温度が低い場所には、設置しないでください。（使用温度 0℃～40℃）

● 別売の壁掛け金具やフロアーラックに取り付けてご使用になれます。（▶ **29** · **193** ページ）

● **壁に掛けてお使いになる場合は、スタンドをはずし（▶ 192 ページ）、壁掛け金具を使って設置してください。（▶ 193 ページ）**

★★ 重要

- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用して固定しておいてください。
- 本機を持ち上げたり、運んだりする場合は、スピーカーネット部を強く押さないでください。

2. 別売品について

● 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

（2007年7月現在）

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具 （取付角度可変タイプ）	AN-52AG4※
2	壁掛け金具（薄型タイプ）	AN-52AG5※
3	フロアーラック	AN-52FR3
4	壁寄せスタンド （壁寄せスタンドオプション AN-52RS1が必要です。）	AN-52WS1
	壁寄せスタンドオプション	AN-52RS1
5	壁寄せスタンド	AN-52WS2

※ 本機の金具取付ピッチは400mm×400mmです。

おしらせ

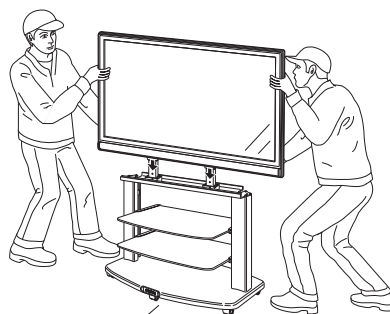
・本機に適合する別売品が新しく追加発売になることがあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

フロアーラックに設置する場合

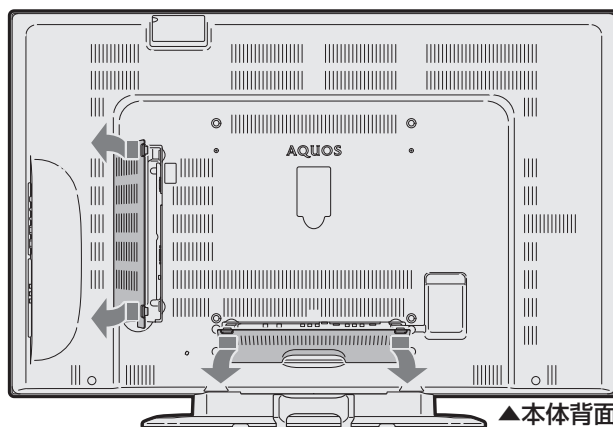
⚠注意 • フロアーラックに設置する場合、手をフロアーラックの天板に挟まないように十分注意してください。

● 詳しくはフロアーラックの取扱説明書をご覧ください。

● スタンドのとりはずしかたについては ▶**192** ページをご覧ください。

● LC-52GX3W（アンダースピーカータイプ）と LC-52GX4W（サイドスピーカータイプ）とで、使用する部品が異なります。

フロアーラック（別売品: AN-52FR3）

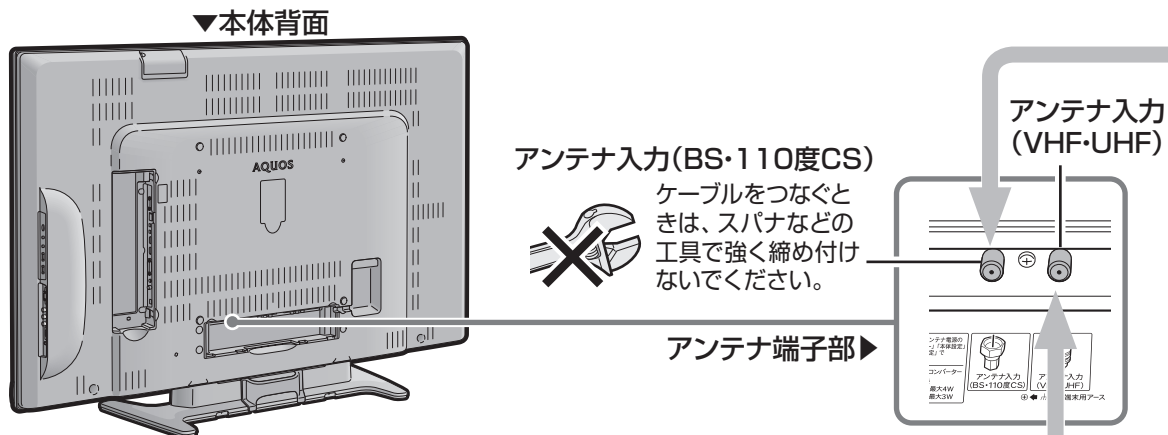
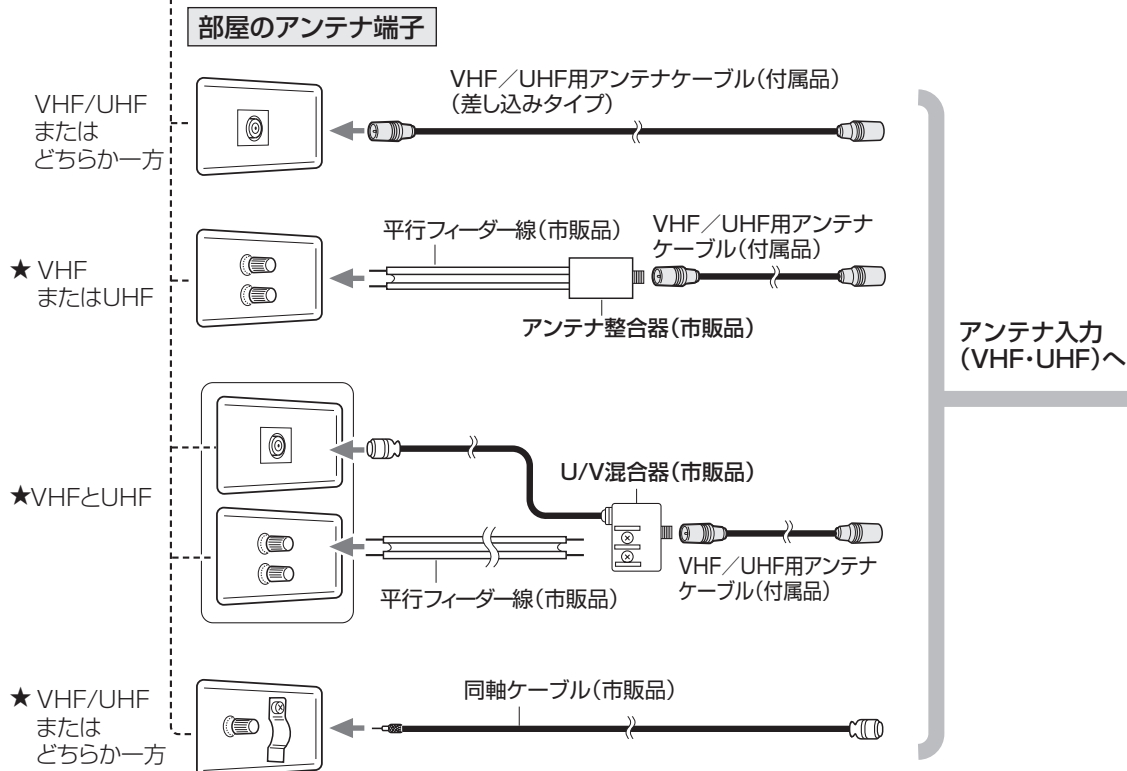
3. 端子カバーをはずす

● フックを矢印の方向に押しながら、2 つの端子カバーをはずします。

▲本体背面

4. アンテナをつなぐ

基本の接続（VHF/UHF アンテナをつなぐ）

地上デジタル　地上アナログ

- 地上デジタル放送と、地上アナログ放送（従来の放送）を見るための接続です。
- BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送も見る場合は、「BS･110 度 CS アンテナの接続」（▶ **31** ページ）をご覧ください。
- 一部、追加の部品が必要になる場合があります。販売店にご相談ください。

★のタイプの端子をご使用の場合、画面にノイズが出るときがあります。

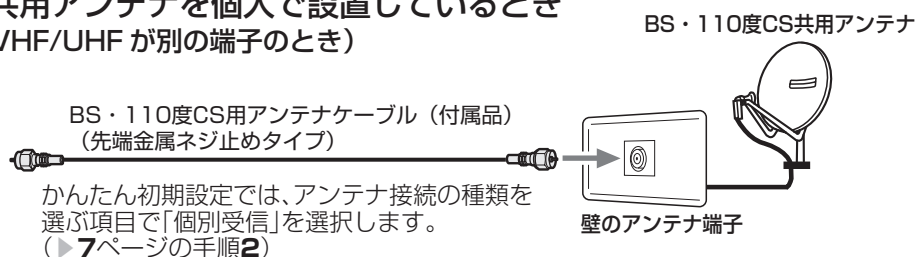
BS・110度CSアンテナの接続　BSデジタル　110度CSデジタル

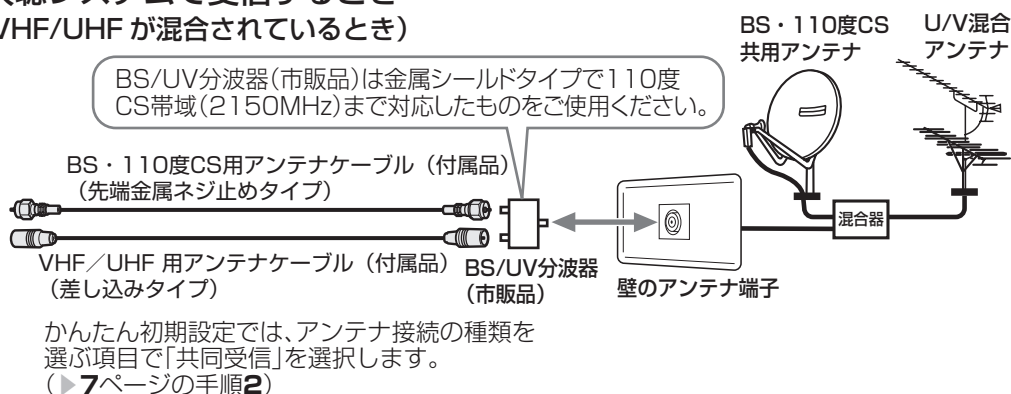
● ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。

★ おしらせ

- **接続しなおすときは、必ず「ＢＳ・ＣＳアンテナ電源」の設定が「切」になっているか確認してください。（****▶ 41 ページ）**（BS・110度CSアンテナ入力端子は、BS・110度CSアンテナに取り付けられたBS・110度CSコンバーターに＋15V／＋11Vの電源を供給する働きも持っています。）
- ブースター、市販のアンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線はS-5C-FBなど。）詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 従来のBSアナログアンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

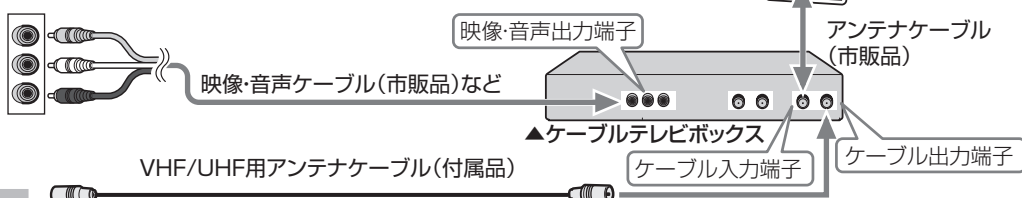
BS・110度CS共用アンテナを個人で設置しているとき
（BS・110度CSとVHF/UHFが別の端子のとき）

★★ 重 要

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースター等の機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

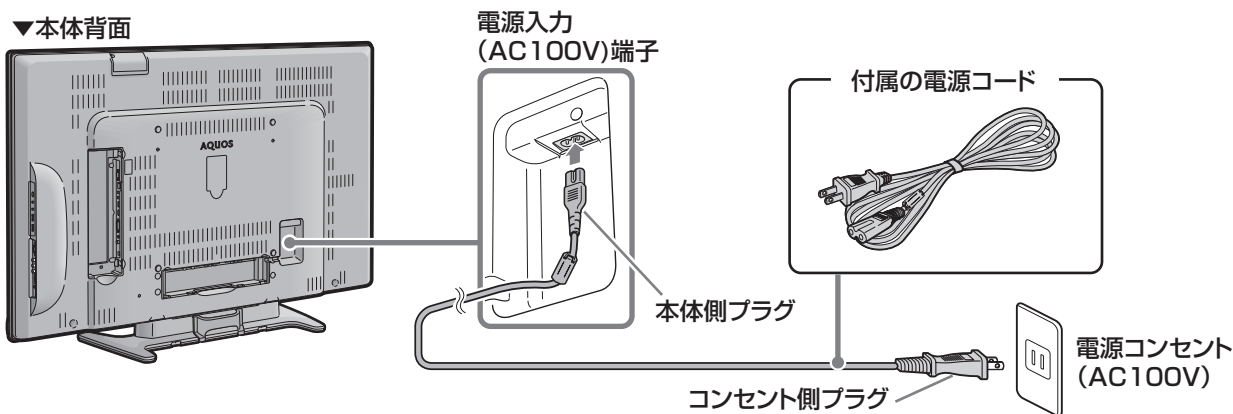
マンションなどの共聴システムで受信するとき
（BS・110度CSとVHF/UHFが混合されているとき）

CATVを見るときの接続例（地上デジタル放送をCATVパススルーで見るとき）

● 接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。

● CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（▶ 45 ページ）で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。

- 本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド(MID:C13～C22)帯」、「スーパーハイバンド(SHB:C23～C62)帯」です。トランスモジュレーション方式には対応していません。

5. 電源コードをつなぐ

⚠注意 接続が終わるまでは、電源スイッチ(赤)を「入」にしないでください。

● 付属の電源コードの本体側プラグを、本体背面右側の「電源入力（AC100V）端子」に接続し、コンセント側プラグをご家庭のコンセントに接続します。

・本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

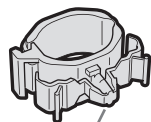
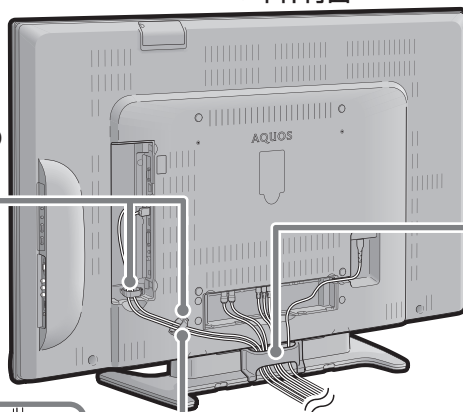
★★ 重要

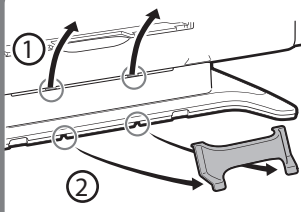
- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV 番組の購入履歴」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（「PPV 番組の購入履歴」など、再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

6. ケーブルをまとめる

● ケーブル類は、ケーブルクランプですっきりまとめることができます。

1 端子カバーをはずす（端子カバーのはずしかた▶**29**ページ）

2 付属のケーブルクランプを取り付け、このクランプと端子カバー内の取付済ケーブルクランプを使ってケーブルを固定する

3 端子カバーの開口部からケーブルを出し、端子カバーを取り付ける

4 取付済のケーブルカバーをいったんはずす

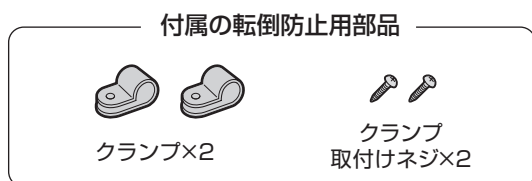
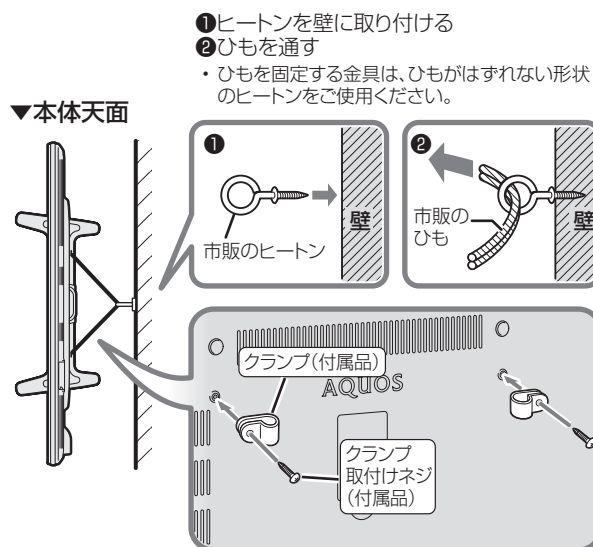
5 ケーブルをまとめ、ケーブルカバーを取り付ける

• 最後に、接続したケーブルが抜けていないか確認してください。

7. 転倒防止のため本機を固定する

⚠注意	• 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。 • 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。 また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。

● 転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

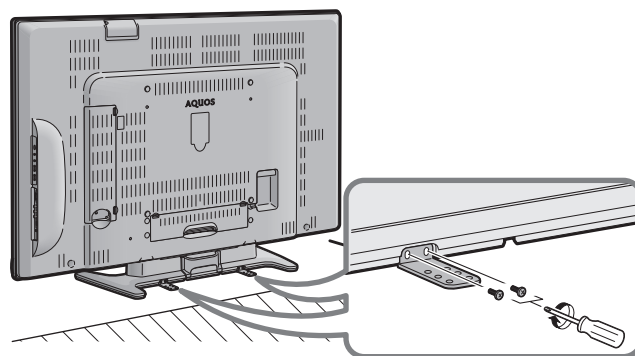
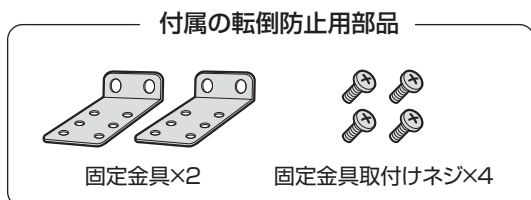
壁や柱に固定する

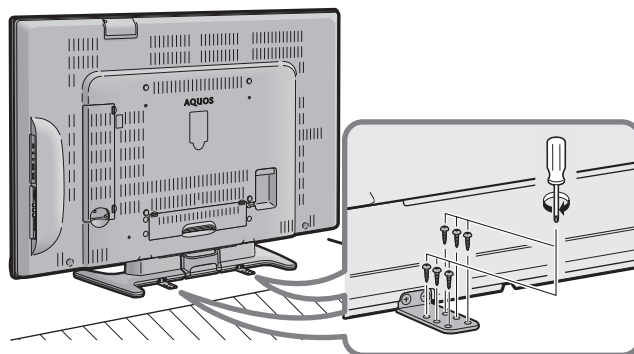
1 付属の転倒防止用クランプ（2 個）を、付属のクランプ取付けネジで本機に取り付ける

2 市販の丈夫なひもと金具（ヒートン）を使い、本機を壁または柱に固定する

テレビ台などに固定する

★★ 重 要

・ 必ず 2 人以上で作業を行ってください。
・ 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。

1 設置するテレビ台などの上に位置決めする

2 付属の転倒防止用固定金具を、付属のネジでスタンドに取り付ける

3 固定金具の穴に、上から市販のネジを取り付けて本機を固定する

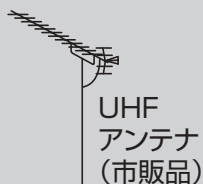
・ 市販のネジは、確実に固定できる形状のものをお使いください。

8. デジタル放送について

● 本機では、従来の地上アナログ放送に加え、次の 3 種類のデジタル放送を受信できます。

★★ 重 要

- デジタル放送を受信するには、本機に B-CAS カードを入れてください（▶ **36** ページ）。
- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化·消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- **アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。**

★ おしらせ

- ARIB 放送規格の変更により、メニュー等の仕様が変わる場合があります。
  ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。
- 地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

地上デジタル放送

2003年12月から東京·大阪·名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始された新しい放送です。

★★ 重 要

- 受信には、UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

- **迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質**
- **高音質とマルチチャンネルのサラウンド放送**
- **天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送**
- **視聴者参加型の双方向通信番組**

BS デジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使ったデジタル放送です。一部有料放送やNHKを除き、無料で楽しめます。

★★ 重 要

- 受信には、BS·110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。

- **迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質**
- **多数のチャンネル**
- **高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）**
- **視聴者参加型の双方向通信番組**
- **2種類のデータ放送（独立データ放送·番組に連動したデータ放送）**

BS·110度CS
共用アンテナ
（市販品）

110 度 CS デジタル放送

BSデジタル放送用人工衛星と同じ東経110度にある通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「e2 by スカパー！」があります。110度CSデジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルと視聴契約する必要があります。

★★ 重 要

- 受信には、BS·110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。**従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。**

- **テーマ別に専門化した多数のチャンネル**
- **画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能**
- **ボード（掲示板）機能でサービス情報の案内を閲覧可能**

デジタル放送のその他の特長

臨時放送(臨時編成サービス)	スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り替えます。
イベントリレーサービス	スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り替えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。
緊急警報放送	地震などの際の緊急警報放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り替えます。
マルチビューサービス	一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大3つの映像が放送されるサービスです。リモコンフタ内の映像切換ボタンで切り替えます。
降雨対応放送(BSのみ)	降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り替えます。リモコンフタ内の映像切換ボタンで元の映像に戻れます。
ブックマーク	コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報(ブックマーク記録コンテンツ)を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。 ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字(ブックマークアイコン)が表示されます。

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

● 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」(UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式には対応していません。

110 度 CS デジタル放送を、お買い上げ後はじめて選局するときは

● CS ネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。

① CS を押した後、約 5 秒待つ

② チャンネルボタン 1 を押した後、約 5 秒待つ

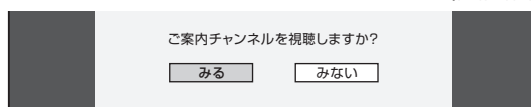
③ 番組表 を押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認する

④ 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合は、チャンネルボタン 1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、約 5 秒待つ

110 度CSデジタル放送の専用サービス

● **ご案内チャンネルの表示**

未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

（画面例）

● **ボード（掲示板）**

プラットフォーム（e2 by スカパー！）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。（▶ **168** ページ）

（画面例）

9.B-CAS（ビーキャス）カードを入れる・登録する

- デジタル放送（地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送）を楽しむために、B-CAS（ビーキャス）カードを本機に必ず入れてください。B-CASカードを入れないと、デジタル放送が映りません。
- B-CASカードは、視聴情報などが記憶されますので常に本機に入れておいてください。

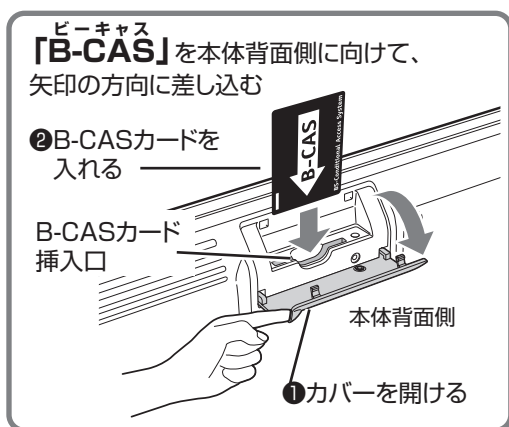
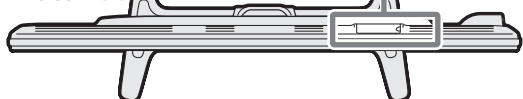
★★ 重要

B-CASカードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- 金属部（IC）には触れない
- 分解、加工しない

1 B-CASカードの台紙の内容を読み、同意の上でB-CASカードを台紙からはずす

2 本体天面の挿入口カバーを開ける

3 B-CASカードを正しい向きで奥までしっかり差し込み、カバーを閉める

★★ 重要

- B-CASカード挿入口には、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- B-CASカードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。

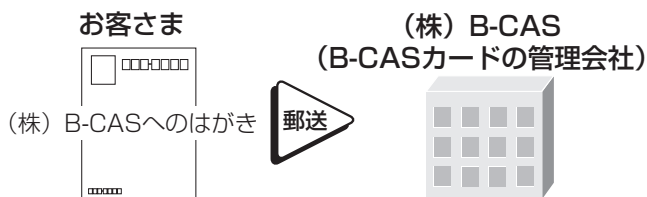
万一、B-CASカードを抜く場合は

- 本体の電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

★ おしらせ

- 破損などによりB-CASカードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。（連絡先はカードに記載されています。）
- すべての接続を終えて電源を入れた後、「システム動作テスト」（▶ **148** ページ）を行うと、カード番号が表示され、B-CASカードが正しく挿入されているか確認できます。

B-CASカードを登録する

- B-CASカードは、必ず登録してください。
- 次のいずれかの方法でB-CASカードを登録します。（登録は無料です。）
  ① B-CASカードの台紙の登録用はがきに必要事項を記入し、郵送する

  ②インターネットの次のサイトで登録する
  http://www.b-cas.co.jp
  - e2 by スカパー！、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。

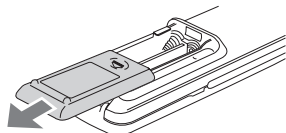
有料放送を視聴するときは

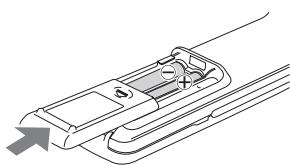
- 有料放送を視聴するには、e2 by スカパー！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送してください。

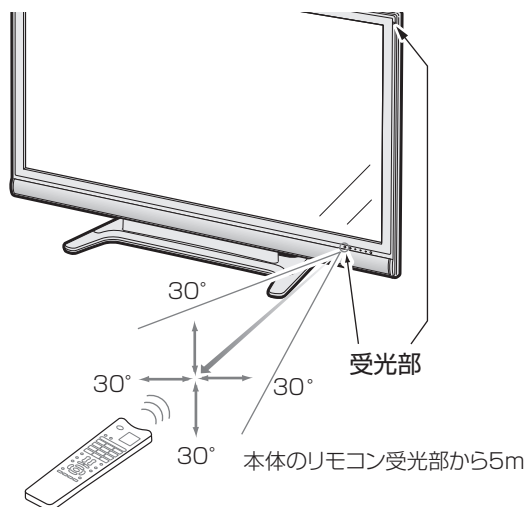
デジタルチューナー付きレコーダーを同時に購入したときなどは

- レコーダーのB-CASカードで有料放送の受信契約をしている場合、有料放送の受信契約に使用したB-CASカードをレコーダーに挿入してください。視聴するときは、本機はレコーダーを接続した外部入力に切り換え、レコーダーで選局することをおすすめします。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

10. リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

▽部分を軽く押しながら、カバーを矢印の方向にスライドさせます。

2 付属の単４形乾電池（アルカリ）を入れ、電池カバーを元どおりに閉める

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

リモコンで操作できる範囲

★★ 重 要

リモコン使用上のご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。

★ おしらせ

- 乾電池は単４形のアルカリ乾電池をご使用ください。
- 乾電池を抜くとリモコン番号（▶ **180** ページ）が「1」に戻ります。

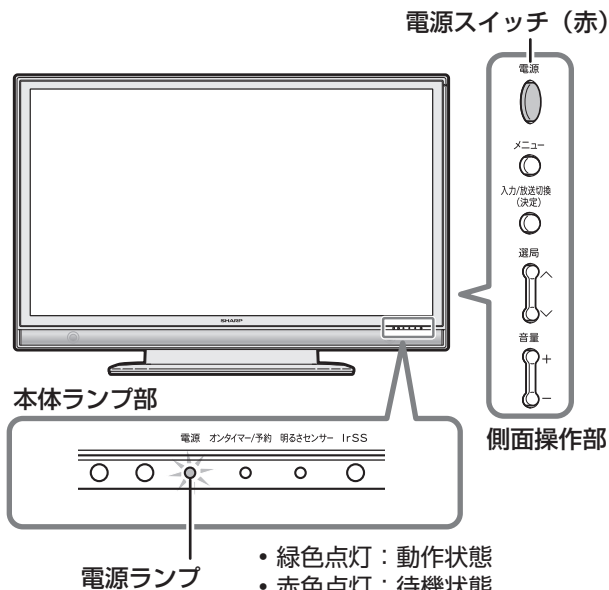
以下の場合はリモコンで動作しにくくなります。

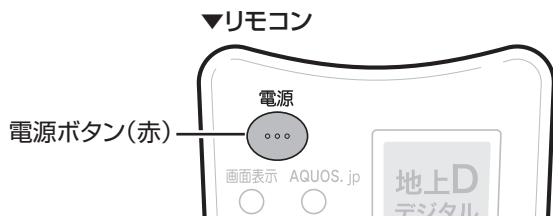
- リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 乾電池が消耗すると、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい乾電池に交換してください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。
照明の向きを変えるなどしてみてください。
- 蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。
- リモコン番号（▶ **180** ページ）を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外のAQUOS では正しく操作できない場合があります。

11. 電源を入れる

● あらかじめケーブル類を接続してください。

1 本体の側面操作部にある電源スイッチ（赤）を押し、電源を「入」にする

・電源ランプが緑色に点灯します。

• 緑色点灯：動作状態
• 赤色点灯：待機状態
• 橙色点灯：パワーマネージメント状態（▶ **139**ページ）

2 リモコンの電源ボタン（赤）で電源を入／切する

▼リモコン

★ おしらせ

- 本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
- 本機の電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）
- 電源コードを接続している場合は、本体の電源を「切」にしても微少な電力が消費されています。

クイック起動機能について（▶ 76 ページ）

- リモコンで電源を「入」にしたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。（この機能を使用すると待機時の消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。）

メニューの操作について

メニューとは

- 本機をお使いになるときに、設定を行うための画面を呼び出します。この、設定を行う画面のことを「メニュー」と呼びます。
- メニューからさまざまな設定が行えます。（▶ **39** ページ）
- メニューの操作はリモコンで行います。

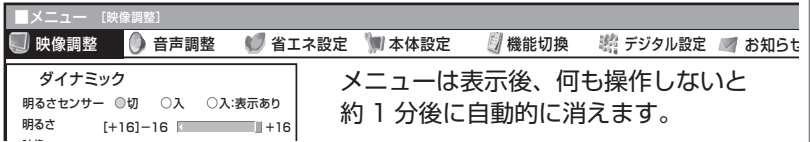
メニューの基本操作

1 つ前の画面に戻ります

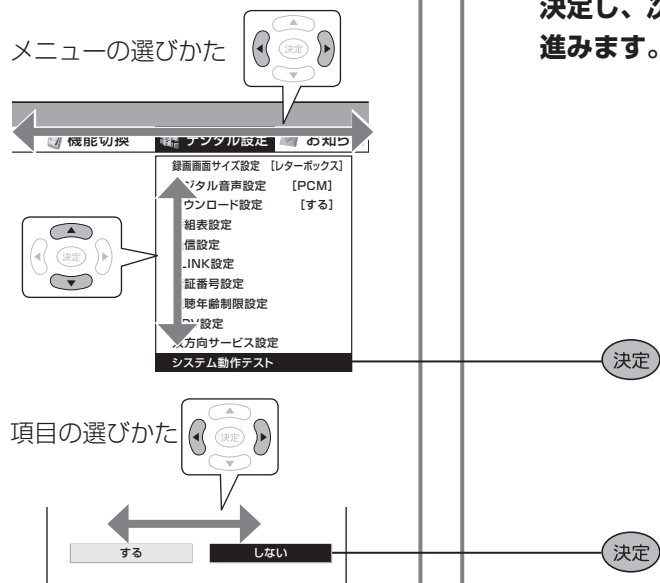
1. メニューを表示する

メニューボタンで表示します。

▼メニュー画面

■メニュー ［映像調整］
映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定　お知らせ
ダイナミック
明るさセンサー ◉切 ○入 ○入:表示あり
明るさ ［+16］−16 +16

メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。

2. 項目を選ぶ

カーソルボタン（上下左右）で項目や数値を選びます。

3. 決定する

選んだ項目を決定ボタンで決定し、次へ進みます。

メニューを終了します

- 終了を押してメニューを消します。
- 決定を押す前に終了を押すと、操作を中止します。

本体側面のボタンでも操作できます。

メニューボタンでメニューを表示できます。メニュー表示中は、選局ボタンが上下カーソルボタン、音量ボタンが左右カーソルボタン、入力／放送切換（決定）ボタンが決定ボタンとして機能します。

選局(∧／∨)ボタン（上下カーソル）

音量(+／−)ボタン（左右カーソル）

◀本体側面

おしらせ

- メニューの表示内容は変更される場合があります。
- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

メニュー画面を英語で表示するには ▶**203**ページ

To display menu screens in English ▶Page **203**

ガイド表示について

- 画面下部のガイド表示は、表示画面の操作方法を案内しています。操作が分からなくなったときにご活用ください。

⇕ で項目を選択　決定で実行

メニューの項目の一覧

● メニューボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。カーソルボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押してください。

▼メニュー画面

■メニュー ［映像調整］

映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定　お知らせ

映像調整※1

映像をお好みの状態に調整する項目です。

	ページ
明るさセンサー／明るさ／映像／黒レベル／色の濃さ／色あい／画質	▶81
プロ設定	▶82

音声調整※1

音声をお好みの状態に調整する項目です。

	ページ
高音／低音／バランス	▶84
サラウンド	▶84

省エネ設定

電力資源を有効に使用するための設定項目です。

	ページ
無信号オフ	▶131
無操作オフ	▶131
オフタイマー	▶130

本体設定

使用環境に合わせた設置調整に関する機能の項目です。

	ページ
地域設定※2	▶43
チャンネル設定※2	▶45·48
アンテナ設定※2	▶41
スピーカー設定	▶85
入力スキップ設定	▶93
入力表示選択※3	▶92
位置調整	▶86
オートワイド	▶79
映像反転	▶86
クイック起動設定	▶76
かんたん初期設定※4	▶6·40
Language(言語設定)	▶203
時計設定	▶76·77
個人情報初期化	▶179

機能切換

本機のいろいろな機能の設定項目です。

	ページ
ファミリンク設定	▶110·115
3次元ノイズリダクション※5	▶83
MPEGノイズリダクション※5	▶83
入力選択※6	▶93·137
入力2端子設定	▶99
ヘッドホン設定	▶75
センタースピーカー入力	▶128
デジタル固定※2	▶98
字幕表示設定※2	▶71
番組名表示設定※2	▶74
ゲーム時間表示設定	▶76
映像オフ	▶86
オンタイマー設定	▶77
チャイルドロック	▶133

デジタル設定

デジタル放送を視聴するための設定項目です。

	ページ
録画画面サイズ設定※2	▶76
デジタル音声設定※2	▶126
ダウンロード設定※2	▶178
番組表設定※2	▶66～69
通信設定※2	▶146·152
i.LINK設定	▶117
暗証番号設定※2	▶132
視聴年齢制限設定※2	▶133
PPV設定※2	▶133
双方向サービス設定※2	▶148
システム動作テスト※2	▶148

お知らせ

本機が受信した情報を確認するための項目です。

	ページ
受信メッセージ一覧	▶168
ボード	▶168
受信機レポート	▶168
B-CASカード番号表示	▶168
PPV購入履歴	▶168

★おしらせ

※１　AV ポジションごとに設定できます。また、AV ポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※２　テレビ視聴時のみ表示されます。
※３　入力１～７選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。選択中の入力により、表示項目が異なります。
※４　メニュー項目として選択するほかに、お買い上げ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れたときにも表示されます。
※５　各入力系統で設定できます。
※６　入力１～３ ,７選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。

・⃠マークがつき、灰色で表示されるメニュー項目は、選択できません。
・入力４～入力７選択時は、メニュー項目が多少異なります。（▶184ページ）

受信設定をする

受信設定のながれ

かんたん初期設定

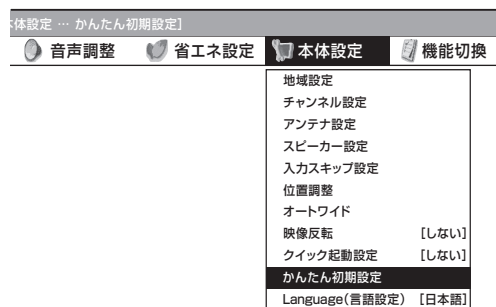
● お買い上げ後、初めての受信設定は「かんたん初期設定」で行います。

かんたん初期設定を行う（▶ **6** ページ）

・お買い上げ後、初めて電源を入れたときに「かんたん初期設定」画面が表示されます。表示に従って設定してください。

引っ越しなどで「かんたん初期設定」をやり直す場合は

1 メニュー　メニューを表示する

2 「本体設定」－「かんたん初期設定」を選ぶ

3 決定する

・「かんたん初期設定」が表示されますので、かんたん初期設定を行ってください。（▶ **6** ページ）

・「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたいときなどに、次の設定を行ってください。

デジタル放送用アンテナの設定

・デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。（▶ **41** ページ）

地域と郵便番号の設定

・デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。（▶ **43** ページ）

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

・受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。（▶ **45** ページ）

デジタル放送のチャンネルの個別設定

・デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます。（▶ **46** ページ）

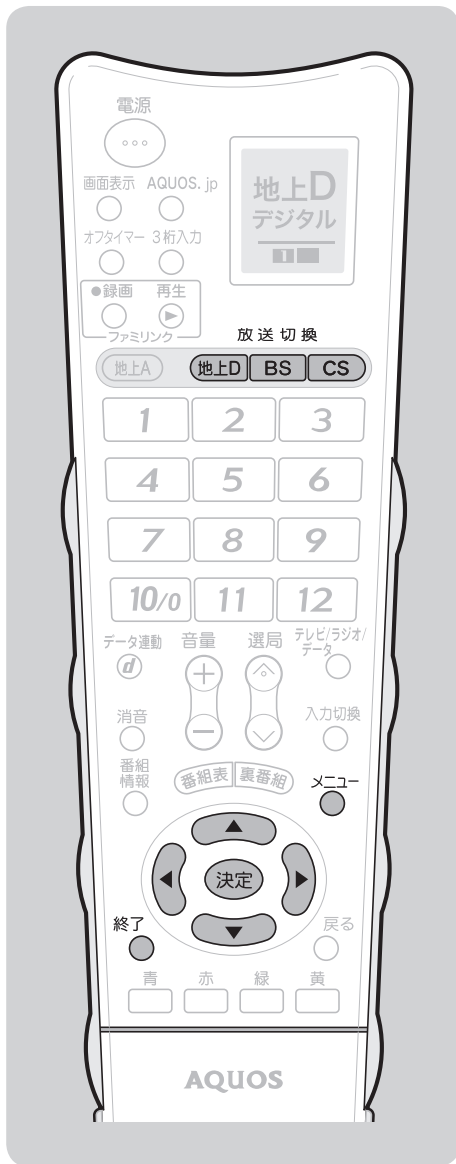
地上アナログ放送のチャンネルを設定する

・地上アナログ放送（従来の VHF・UHF 放送）の受信設定です。工場出荷時は、東京地区で受信できる VHF チャンネルが設定されています。
・受信できる地上アナログ放送のチャンネルを探します。（▶ **48** ページ）
・地上アナログ放送のチャンネルの受信状態や設定を個別に調整・変更することもできます。（▶ **55** ページ）

★ おしらせ

・デジタル放送の双方向番組を利用する場合は、双方向通信のための接続と設定が必要です。（▶ **144**･**149** ページ）
・B-CAS カードの挿入や電話回線の接続が正しく行われているかをテストできます。
（「システム動作テスト」▶ **148** ページ）

デジタル放送用アンテナの設定

● BS・110 度 CS 共用アンテナを初めて設置したときや、引っ越しなどでデジタル放送用のアンテナを移動したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナの向きを調整します。

アンテナに電源を供給する／受信強度を確認・調整する

（例） BSデジタル放送のアンテナ設定をする

押すボタン

1 BS

BS デジタル放送を選ぶ

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定は行えます。

2 メニュー

メニューを表示する

- メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

3

「本体設定」－「アンテナ設定」を選ぶ

決定

決定する

4

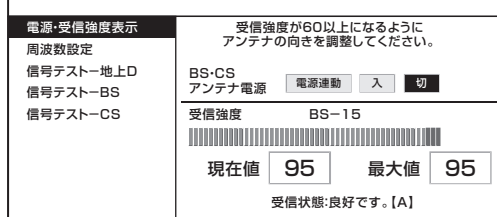
「電源・受信強度表示」を選ぶ

決定

決定する

◆アンテナに電源を供給するための設定

5

「電源連動」「入」「切」のいずれかを選ぶ

かんたん初期設定時の設定		
	「電源連動」	本機の電源入･切に連動してアンテナに電源を供給します。
個別受信(入)	「入」	個人でアンテナを設置･接続している場合に選びます。
共同受信(切) 受信しない(切)	「切」	共聴アンテナに接続している場合など､電源を供給しないときに選びます。(工場出荷時の設定)

★★ 重 要

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

★ おしらせ

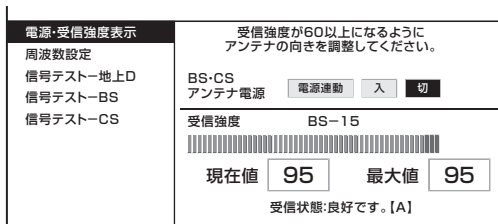
アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS･CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にして、「アンテナ線がショートしています。」などのお知らせが表示されたときは、設定を「切」に変更してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分間経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

次のページにつづく ▶

デジタル放送用アンテナの設定（つづき）

◆受信強度のアンテナ調整

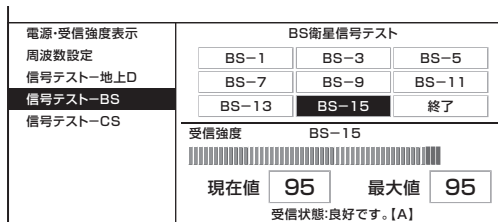
6 受信強度が最大になるようにアンテナの向きを調整する

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

7 決定 決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

信号テストをするときは

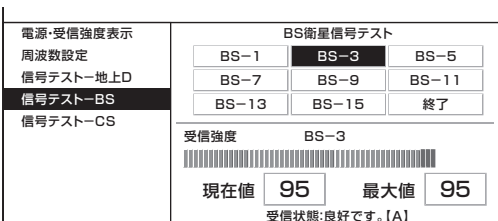
（例） BSデジタル放送の信号テストをする

1 前ページの手順 **4** で「信号テストー BS」を選ぶ

決定する

2 確認したい項目を選ぶ

決定する

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-13」「BS-15」です。（2007 年 6 月現在）

電源・受信強度表示
周波数設定
信号テスト－地上D
信号テスト－BS
信号テスト－CS
BS衛星信号テスト
BS－1 BS－3 BS－5
BS－7 BS－9 BS－11
BS－13 BS－15 終了
受信強度 BS－3
現在値 95 最大値 95
受信状態:良好です。【A】

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。

3 「終了」を選ぶ

決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 手順 **6** で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、信号が強すぎる、または不足しているなどの場合で、処置が必要です。詳しくは「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（▶ **175** ページ）をご覧ください。
  この場合、次のようなメッセージが表示されます。

受信強度が60以下です。【B】
アンテナ信号が強すぎます。【C】
アンテナ信号が不足しています。【C】
アンテナ信号が良くありません。【D】
受信できません。【E】

- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

おしらせ

- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。
  (表示される数値は、受信 C/N の換算値です。)

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の信号テストについて

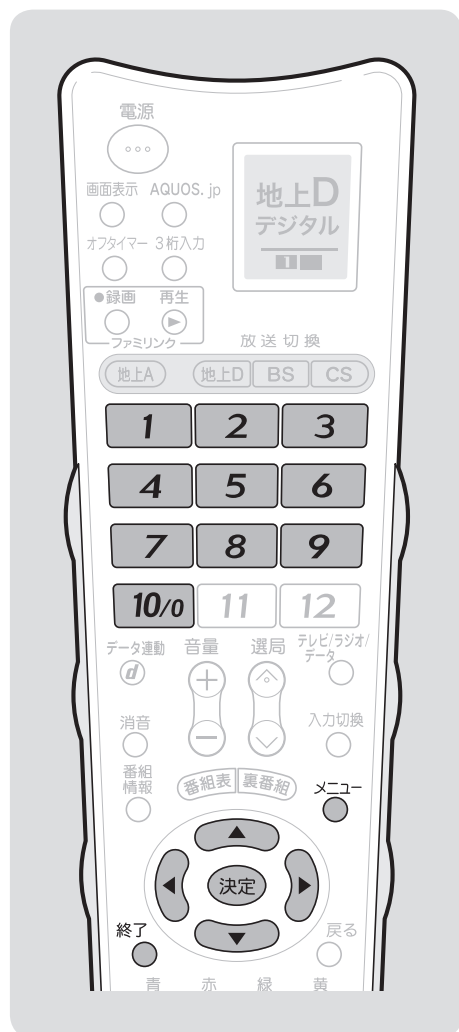
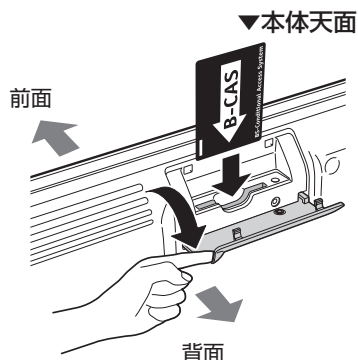
- 手順 **1** で「信号テストー地上 D」または「信号テストー CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- 手順 **1** で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。

地域と郵便番号の設定

★★ 重要

- B-CAS カードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。（▶ **36** ページ）

★ おしらせ

- 「地域選択」は、工場出荷時は「関東」－「東京」に設定されています。
- 地域選択を変更した場合は、「チャンネル設定」から「地上デジタル―自動」を行ってください。

地域選択／郵便番号設定

- 地上デジタル放送の地域情報を受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。
チャンネル設定（▶ 45 ページ）の前に、必ず地域設定をしてください。
- お客さまがお住まいの地域に向けたデジタル放送の緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などの地域情報を受信するために必要です。

押すボタン

1 メニュー　**メニューを表示する**

- メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

2 　**「本体設定」－「地域設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

◆地域選択

3 **「地域選択」を選ぶ**

　決定する

4 **お住まいの地域を選ぶ**

決定　**決定する**

次のページにつづく ▶

地域と郵便番号の設定（つづき）

5 お住まいの都道府県または地域を選ぶ

決定する

◆郵便番号設定

6 「地域設定」を選ぶ

決定する

7 「郵便番号設定」を選ぶ

決定する

8 1 ～ 10/0 郵便番号を入力する

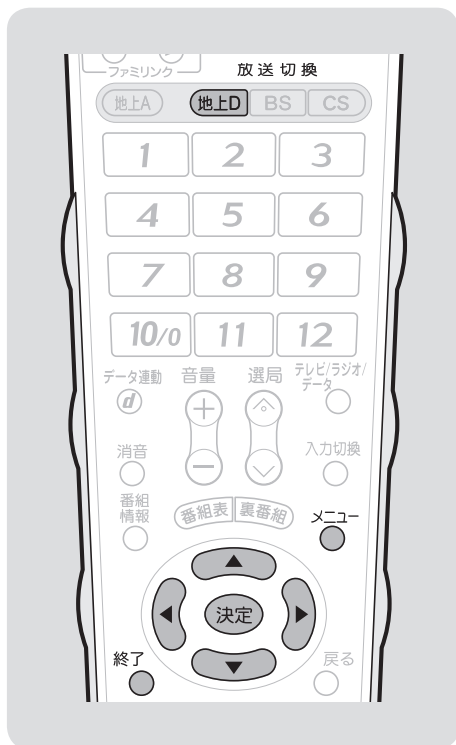
決定 決定する

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタンで入力しなおします。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★ おしらせ

- 郵便番号で「0」を入力したい場合は、10/0を押します。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

● 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。
チャンネル設定の前に、必ず地域設定（▶ 43 ページ）をしてください。

押すボタン

1 地上D　**地上デジタル放送を選ぶ**

2 メニュー　**メニューを表示する**

3 **「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

4 **「地上デジタル」を選ぶ**

決定　**決定する**

5 **「地上デジタルー自動」を選ぶ**

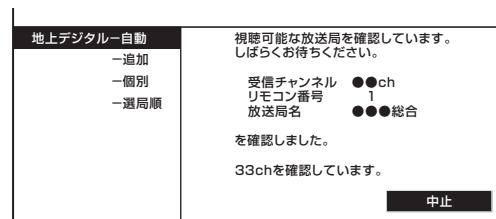
決定　**決定する**

6 **「する」を選ぶ**

決定　**決定する**

7 **サーチ範囲を選ぶ画面で「UHF」または「全チャンネル」を選ぶ**

決定する

- 通常は「UHF」を選びます。
- CATV パススルーの場合は「全チャンネル」を選びます。
- 自動登録が始まります。

- 自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★ おしらせ

「地上デジタルー追加」について

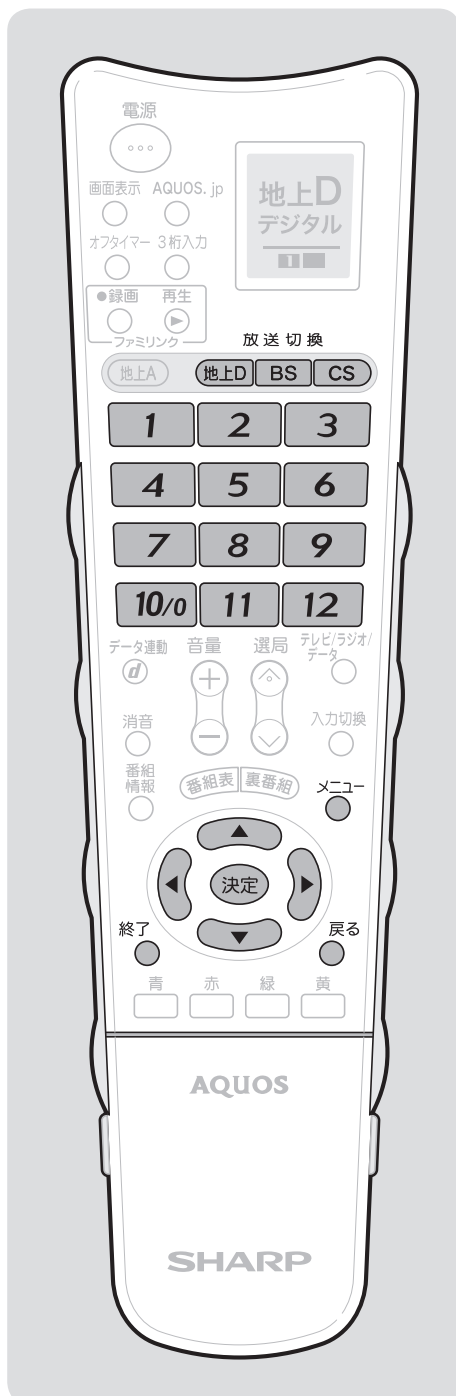
- 「地上デジタルー自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 **5** で「地上デジタルー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド [MID] 帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式には対応していません。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

デジタル放送のチャンネルの個別設定

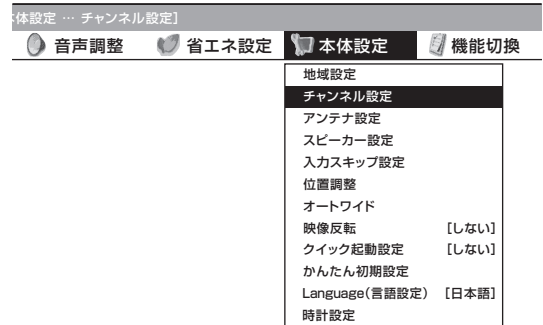
● 登録したデジタル放送のチャンネルは、つぎの設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	リモコンのチャンネルボタンを押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番 （地上デジタル放送のみ）	受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）を変更して区別できます。
スキップ	選局（∧順／∨逆）ボタン（緑）で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。地上デジタル放送のチャンネルをスキップ設定したときは、番組表や裏番組表にスキップ設定したチャンネルを表示するかどうかを設定できます。

（例）地上デジタル放送の設定内容を変更する。

押すボタン

1 地上D / BS / CS　デジタル放送を選ぶ

2 メニュー　メニューを表示する

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「地上デジタル」「BS デジタル」「CS デジタル」のいずれかを選ぶ

決定する

- 「地上デジタル」を選んだ場合は、次ページの手順 **5** に進みます。
- 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、次ページの手順 **6** に進みます。

5 「地上デジタル－個別」を選ぶ

決定する

地上デジタル－自動	放送局	3桁	スキップ
－追加	テレビ ① ●●●●●	051	
－個別	テレビ ② ●●●●●	061	
－選局順	テレビ ③ ●●●●●	121	
	テレビ ④ ●●●●●	041	
	テレビ ⑤ ●●●●●	021	

以上のチャンネルが受信できます。
設定を変更したいチャンネルを
選択して決定ボタンを押してください。

6 変更したいチャンネルを選ぶ

決定する

7 変更したい項目を選ぶ

決定する

（例）地上デジタルの枝番を変更する場合

地上デジタル－自動	放送局	3桁	スキップ
－追加	テレビ ① ●●●●●	051-1	
－個別	テレビ ② ●●●●●	051-1	
－選局順	テレビ ③ ●●●●●	121	
	テレビ ④ ●●●●●	041	
	テレビ ⑤ ●●●●●	021	

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　枝番　スキップ　戻る

8 画面の指示に従い、入力欄に数字を入力して「確認」を選ぶか、「する」「しない」を選ぶ

1 ～

- 枝番を入力する場合は、1～9を押します。

決定する

- 数字ボタンや枝番が重複している場合は、「数字ボタン（枝番の場合は「枝番」）が重複しています。置き換えますか？」の確認画面が表示されます。画面の「戻る」を選ぶかリモコンの戻るボタンを押してから、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★おしらせ

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1～12のチャンネルボタンの番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は7地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう1桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

スキップしたチャンネルを電子番組表（EPG）や裏番組表から非表示にするには（地上デジタル放送のみ）

① 前ページ手順**4**で「地上デジタル」を選び、決定する
② 「地上デジタル－個別」を選び、決定する
③ スキップするチャンネルを選び、決定する
④ 「スキップ」を選び、決定する
⑤ 「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選び、決定する
⑥ 「番組表、裏番組の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」を選び、決定する
- スキップ設定した地上デジタル放送のチャンネルが、番組表や裏番組表に表示されなくなります。
ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組表に表示されます。

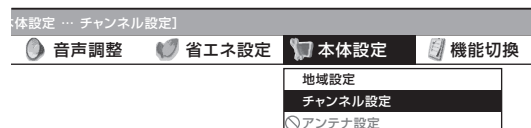
地上アナログ放送のチャンネルを設定する

- お住まいの地域で受信できる VHF と UHF のチャンネルを自動的に登録できます。
- 登録できるチャンネルは最大 12 局です。

1 地上アナログ放送を選ぶ

2 メニューを表示する

- メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

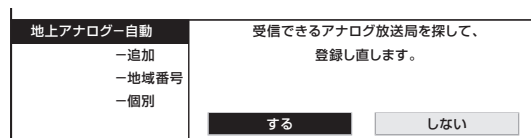
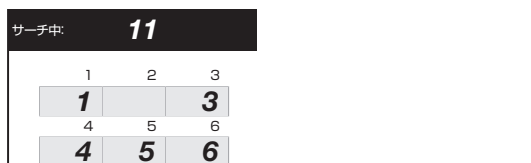
3「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

決定する

4「地上アナログ」で決定する

5「地上アナログ－自動」を選ぶ

決定する

6「する」を選ぶ

決定する

- 画面左上に「サーチ中」が表示されます。

- 見つかったチャンネルが表示されます。
- 放送チャンネルがまったく見つからない場合は、設定前のチャンネルが表示されます。
- チャンネル設定が完了すると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★★ 重要

- 登録完了まで電源を切らないでください。
- この操作を行ったときは、現在登録されているチャンネルを消して新たに登録しなおします。

★ おしらせ

「地上アナログー地域番号」について

- 「地上アナログ－自動」を行ってもチャンネルが受信できない場合、「地域番号早見表」（▶ **49** ～ **50** ページ）、「地域番号一覧表」（▶ **51** ～ **54** ページ）で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認し、手順 **5** で「地上アナログー地域番号」を選びます。お住まいの地域にもっとも近い都市名の地域番号を数字ボタンまたは左右カーソルボタンで入力し、「開始」で決定ボタンを押します。

「地上アナログー追加」について

- 空きチャンネルに追加できる放送局がないかどうかを自動で探したい場合、手順 **5** で「地上アナログー追加」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選んで決定します。見つかったチャンネルが右側に表示されていきます。

★おしらせ

- 地域番号一覧表（▶ **51** ～ **54** ページ）に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が正しい場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- お住まいの都市の地域番号で設定しても受信できない場合があります。このときは、「地上アナログー追加」（▶ **48** ページ）または「地上アナログー個別」（▶ **55** ページ）を行ってください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。（地域番号「000」は除く）
- 地域番号設定をした後、「地上アナログー追加」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。（UHF放送が受信できる地域など）
- 工場出荷時は、地域番号「000」に設定されています。

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	021
	青森市	010
	明石市	063
	昭島市	030
	秋田市	015
	阿久根市	095
	上尾市	027
	朝霞市	027
	旭川市	002
	足利市	027
	厚木市	033
	網走市	001
	我孫子市	029
	尼崎市	061
	安城市	054
い	飯田市	045
	池田市	061
	生駒市	061
	石巻市	014
	和泉市	061
	伊勢崎市	025
	伊丹市	061
	市川市	029
	一宮市	054
	市原市	029
	茨木市	061
	今治市	081
	入間市	027
	いわき市	020
	岩国市	077
う	宇治市	060
	宇都宮市	101
	宇部市	076
	浦安市	029
え	海老名市	033
	江別市	001
お	青梅市	030
	大分市	091
	大垣市	047
	大阪市	061
	大館市	016
	大津市	058
	大牟田市	086
	岡崎市	054
	岡山市	070
	沖縄市	096
お	小樽市	007
	小田原市	035
	帯広市	005
	小山市	027
か	各務原市	106
	加古川市	063
	鹿児島市	094
	橿原市	065
	柏市	029
	春日井市	054
	春日部市	027
	門真市	061
	金沢市	041
	鎌倉市	033
	刈谷市	054
	川口市	027
	川越市	027
	川崎市	033
	河内長野市	061
	川西市	064
き	木更津市	029
	岸和田市	061
	北九州市	084
	北見市	009
	岐阜市	047
	京都市 1	060
	京都市 2	098
	桐生市	102
く	釧路市	004
	熊谷市	103
	熊本市	090
	倉敷市	070
	久留米市	085
	呉市	073
こ	高知市	082
	甲府市	043
	神戸市	061
	郡山市	019
	小金井市	030
	越谷市	027
	小平市	030
	小牧市	054
	小松市	041
さ	さいたま市	027
	堺市	061
	佐賀市	087

次のページにつづく ▶

地域番号早見表（つづき）

五十音	都市名	地域番号
さ	酒田市	018
	相模原市	033
	佐倉市	029
	佐世保市	089
	札幌市	001
	座間市	033
	狭山市	027
し	静岡市	049
	下関市	075
	周南市	074
	上越市	038
す	吹田市	061
	鈴鹿市	057
せ	瀬戸市	054
	仙台市	013
そ	草加市	027
た	大東市	061
	高岡市	040
	高崎市	025
	高槻市	061
	高松市	078
	宝塚市	061
	立川市	030
	多摩市	105
ち	茅ケ崎市	034
	千葉市	029
	調布市	030
つ	津市	057
	つくば市	029
	土浦市	029
	鶴岡市	018
と	東京２３区	030
	徳島市	097
	所沢市	027
	鳥取市	067
	苫小牧市	006
	富山市	039
	豊川市	055
	豊田市	056
	豊中市	061
	豊橋市	055
	富田林市	061
な	長岡市	037
	長崎市	088
	長野市	044
	流山市	029
	名古屋市	054
	那覇市	096
	奈良市	065
	習志野市	029
に	新潟市	037
	新座市	027
	新居浜市	080
	西宮市	061
ぬ	沼津市	052
ね	寝屋川市	061
の	野田市	029
	延岡市	093
は	函館市	003
	秦野市	036
	八王子市	104

五十音	都市名	地域番号
は	八戸市	011
	羽曳野市	061
	浜田市	069
	浜松市	050
	半田市	054
ひ	東大阪市	061
	東久留米市	030
	東村山市	030
	彦根市	059
	日立市	023
	ひたちなか市	022
	日野市	030
	姫路市	062
	枚方市	061
	平塚市	034
	弘前市	010
	広島市	071
ふ	福井市	042
	福岡市	083
	福島市	019
	福山市	072
	藤枝市	053
	藤沢市	033
	富士市	051
	富士宮市	051
	府中市（東京）	030
	船橋市	029
へ	別府市	091
ほ	防府市	074
ま	前橋市	025
	町田市	033
	松江市	068
	松阪市	057
	松戸市	029
	松原市	061
	松本市	046
	松山市	079
み	三郷市	027
	三島市	052
	三鷹市	030
	水戸市	022
	都城市	092
	宮崎市	092
む	武蔵野市	030
	室蘭市	008
も	盛岡市	012
	守口市	061
や	矢板市	100
	焼津市	049
	八尾市	061
	八千代市	029
	八代市	090
	山形市	017
	山口市	074
	大和市	033
よ	横須賀市	033
	横浜市	033
	四日市市	057
	米子市	068
わ	和歌山市１	107
	和歌山市２	099

地域番号一覧表

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		リモコン番号	受信チャンネル / 放送局名											
工場出荷時設定		000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	1	2	3	17	5	6	27	8	35	10	11	12
			北海道放送		NHK 総合	テレビ北海道	札幌テレビ		北海道文化放送		北海道テレビ			NHK 教育
	旭川	002	1	2	33	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	函館	003	21	27	35	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				NHK 教育		札幌テレビ
	釧路	004	1	2	39	41	5	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	北海道テレビ	北海道文化放送			札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	帯広	005	32	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			北海道文化放送		北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				札幌テレビ		NHK 教育
	苫小牧	006	47	49	51	53	55	57	61	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	NHK 総合	北海道文化放送	北海道放送	札幌テレビ	北海道テレビ					
	小樽	007	24	2	26	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	北海道文化放送	北海道テレビ			札幌テレビ		北海道放送		NHK 総合	
	室蘭	008	1	2	29	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	北見	009	1	2	3	4	59	61	7	8	9	10	53	12
				NHK 教育			北海道文化放送	北海道テレビ	札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
青森	青森	010	1	2	3	4	5	6	38	8	34	10	11	12
			青森放送テレビ		NHK 総合		NHK 教育		青森テレビ		青森朝日放送			
	八戸	011	1	2	33	4	31	6	7	8	9	10	11	12
					青森テレビ		青森朝日放送		NHK 教育		NHK 総合		青森放送テレビ	
岩手	盛岡	012	1	2	3	4	5	6	7	8	31	35	11	33
						NHK 総合		IBC テレビ		NHK 教育	岩手朝日テレビ	テレビ岩手		めんこいテレビ
宮城	仙台	013	1	2	3	4	5	6	32	8	34	10	11	12
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
	石巻	014	59	2	51	4	49	6	61	8	55	10	11	57
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
秋田	秋田	015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	31	11	37
				NHK 教育							NHK 総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
	大館	016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	59	11	57
				(NHK 教育)		NHK 総合		秋田放送テレビ		NHK 教育	(NHK 総合)	秋田朝日放送	(秋田放送テレビ)	秋田テレビ
山形	山形	017	1	2	3	4	5	36	30	8	9	10	11	38
						NHK 教育		テレビユー山形	さくらんぼテレビ	NHK 総合		山形放送		山形テレビ
	鶴岡	018	1	2	3	4	5	6	7	39	9	22	11	24
			山形放送		NHK 総合			NHK 教育		山形テレビ		テレビユー山形		さくらんぼテレビ
福島	福島	019	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送		NHK 総合		福島テレビ	
	いわき	020	1	62	3	4	5	58	7	8	9	10	11	60
				テレビユー福島		NHK 総合		福島中央テレビ		福島テレビ		NHK 教育		福島放送
	会津若松	021	1	2	3	4	5	6	7	47	9	37	11	41
			NHK 総合		NHK 教育			福島テレビ		テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送
茨城	水戸	022	44	2	46	42	5	40	7	38	9	36	11	32
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	日立	023	52	2	50	54	5	56	7	58	9	60	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
栃木	矢板	100	40	2	30	36	33	42	7	45	9	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	宇都宮	101	51	2	49	53	5	55	7	57	31	41	11	44
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	とちぎテレビ	テレビ朝日		テレビ東京
群馬	前橋	025	52	2	50	54	40	56	7	58	9	60	48	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
	桐生	102	51	2	57	53	40	55	7	35	9	59	41	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1	2	3	4	16	6	7	8	38	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
	熊谷	103	51	2	35	53	5	55	16	57	30	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ	放送大学	フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京

次のページにつづく ▶

地域番号一覧表（つづき）

		リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
千葉	千葉	029	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	23 区	030	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 TBS テレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	104	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	40 東京メトロポリタン	37 TBS テレビ	7	31 フジテレビ	9	45 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	多摩	105	49 NHK 総合	2	47 NHK 教育	51 日本テレビ	61 東京メトロポリタン	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	9	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
神奈川	横浜	033	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	5	37 TBS テレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	035	52 NHK 総合	2	50 NHK 教育	54 日本テレビ	5	56 TBS テレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	036	47 NHK 総合	2	49 NHK 教育	51 日本テレビ	5	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	037	21 新潟テレビ 21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK 総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK 教育
	上越	038	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5	37 新潟テレビ 21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	039	1 北日本テレビ	2	3 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK 教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	040	50 北日本テレビ	2	48 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK 教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	041	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 MRO テレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK 教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	042	39 福井テレビ	2	3 NHK 教育	4	5	6 MRO テレビ	7	8	9 NHK 総合	10	11 FBC テレビ	12
山梨	甲府	043	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	044	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	48 信越放送	12
	飯田	045	44 長野朝日放送	2	3 NHK 教育	4 NHK 総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	046	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	047	1 東海テレビ	2	39 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	37 岐阜放送
	各務原	106	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	41 岐阜放送
静岡	静岡	049	1	2 NHK 教育	31 静岡第一テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK 総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	050	1	30 静岡第一テレビ	3	4 NHK 総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK 教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	051	1	54 NHK 教育	27 静岡第一テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK 総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	052	1	51 NHK 教育	61 静岡第一テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK 総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	053	1	44 NHK 教育	24 静岡第一テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK 総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	054	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	055	56 東海テレビ	2	54 NHK 総合	4	62 CBC テレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK 教育	10	60 メ～テレ	52 テレビ愛知
	豊田	056	57 東海テレビ	2	53 NHK 総合	4	55 CBC テレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK 教育	10	61 メ～テレ	49 テレビ愛知
三重	津	057	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	33 三重テレビ	11 メ～テレ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	058	1	28 NHK 総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABC テレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK 教育
	彦根	059	1	52 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK 教育

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		リモコン番号	受信チャンネル／放送局名											
京都	京都 1	060	1	2	36	4	19	6	34	8	26	10	11	12
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	京都テレビ	関西テレビ	奈良テレビ	読売テレビ		NHK 教育
	京都 2	098	32	2	34	4	21	6	7	8	9	10	11	12
			NHK 京都	NHK 総合	京都テレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
大阪	大阪	061	1	2	36	4	19	6	34	8	9	10	30	12
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	京都テレビ	関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
兵庫	神戸	061	1	2	36	4	19	6	34	8	9	10	30	12
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	京都テレビ	関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
	姫路	062	1	50	56	54	5	58	7	60	9	62	11	52
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
	明石	063	1	51	55	53	19	57	7	59	9	61	30	49
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
	川西	064	1	29	33	35	5	37	7	39	9	41	11	31
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
奈良	奈良	065	51	2	36	4	19	6	62	8	55	10	11	12
			(NHK 総合)	NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	奈良テレビ	関西テレビ	(奈良テレビ)	読売テレビ		NHK 教育
和歌山	和歌山 1	107	1	32	3	42	5	44	7	46	9	48	30	25
				NHK 総合		毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
	和歌山 2	099	1	50	3	54	5	58	7	60	9	62	56	52
				NHK 総合		毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
鳥取	鳥取	067	1	2	3	4	5	6	7	24	9	22	11	12
			日本海テレビ		NHK 総合	NHK 教育				山陰中央テレビ		BSS テレビ		
島根	松江	068	30	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			日本海テレビ		山陰中央テレビ			NHK 総合				BSS テレビ		NHK 教育
	浜田	069	1	2	54	4	5	6	7	58	9	10	11	12
				NHK 総合	日本海テレビ		BSS テレビ			山陰中央テレビ	NHK 教育			
岡山	岡山	070	23	2	3	4	5	25	35	8	9	10	11	12
			テレビせとうち		NHK 教育		NHK 総合	瀬戸内海テレビ	OHK テレビ		西日本放送		山陽放送	
広島	広島	071	31	2	3	4	5	6	7	8	9	35	11	12
			テレビ新広島		NHK 総合	RCC テレビ			NHK 教育			広島ホームテレビ		広島テレビ
	福山	072	5	2	57	4	54	6	3	8	9	7	11	11
			NHK 総合		広島ホームテレビ		テレビ新広島		NHK 教育			RCC テレビ		広島テレビ
	呉	073	1	2	24	4	5	6	26	8	9	10	11	12
			NHK 教育		広島ホームテレビ		広島テレビ		テレビ新広島		RCC テレビ		NHK 総合	
山口	山口	074	1	2	3	4	28	6	38	8	9	10	11	12
			NHK 教育				山口朝日放送		テレビ山口		NHK 総合		山口放送	
	下関	075	41	2	23	4	21	6	33	8	39	10	35	12
			NHK 教育	九州朝日放送	TVQ 九州放送	山口放送	山口朝日放送	(NHK 総合)	テレビ山口	RKB 毎日放送	NHK 総合	テレビ西日本	福岡放送	(NHK 教育)
	宇部	076	55	2	3	4	24	6	44	8	58	10	61	12
			NHK 教育	九州朝日放送			山口朝日放送	(NHK 総合)	テレビ山口	RKB 毎日放送	NHK 総合	テレビ西日本	山口放送	
	岩国	077	1	2	3	4	62	6	28	8	9	10	11	12
			NHK 教育			RCC テレビ	テレビ山口		山口朝日放送		NHK 総合	南海テレビ	山口放送	広島テレビ
徳島	徳島	097	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	38
			四国テレビ		NHK 総合	毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
香川	高松	078	33	2	39	4	37	6	31	8	41	10	29	19
			瀬戸内海テレビ		NHK 教育		NHK 総合		OHK テレビ		西日本放送		山陽放送	テレビせとうち
愛媛	松山	079	1	2	3	29	25	6	7	37	9	10	11	35
				NHK 教育		あいテレビ	愛媛朝日テレビ	NHK 総合		テレビ愛媛		南海テレビ		広島ホームテレビ
	新居浜	080	1	2	3	4	14	6	7	36	9	10	27	12
				NHK 総合		NHK 教育	愛媛朝日テレビ	南海テレビ		テレビ愛媛			あいテレビ	
	今治	081	1	30	3	27	14	32	7	36	9	34	11	38
				NHK 教育		あいテレビ	愛媛朝日テレビ	NHK 総合		テレビ愛媛		南海テレビ		広島ホームテレビ
高知	高知	082	1	2	3	4	5	6	7	8	9	38	11	40
						NHK 総合		NHK 教育		高知放送		テレビ高知		高知さんさんテレビ

次のページにつづく

地域番号一覧表（つづき）

都道府県	都市名	地域番号	リモコン番号 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル / 放送局名											
福岡	福岡	083	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	19	37
			九州朝日放送		NHK 総合	RKB 毎日放送		NHK 教育			テレビ西日本		TVQ 九州放送	福岡放送
	北九州	084	1	2	23	35	5	6	7	8	9	10	11	12
				九州朝日放送	TVQ 九州放送	福岡放送		NHK 総合		RKB 毎日放送		テレビ西日本		NHK 教育
	久留米	085	57	2	46	48	5	54	7	8	60	10	14	52
			九州朝日放送		NHK 総合	RKB 毎日放送		NHK 教育			テレビ西日本		TVQ 九州放送	福岡放送
	大牟田	086	58	19	53	61	5	50	7	8	55	10	43	12
			九州朝日放送	TVQ 九州放送	NHK 総合	RKB 毎日放送		NHK 教育			テレビ西日本		福岡放送	
佐賀	佐賀	087	19	36	40	38	48	52	57	60	9	10	11	12
			TVQ 九州放送	サガテレビ	NHK 教育	NHK 総合	RKB 毎日放送	福岡放送	九州朝日放送	テレビ西日本	(NHK 総合)		熊本放送	
長崎	長崎	088	1	2	3	4	5	6	37	8	27	10	25	12
			NHK 教育		NHK 総合		長崎放送		テレビ長崎		長崎文化放送		長崎国際テレビ	
	佐世保	089	1	2	3	17	5	31	7	8	9	10	11	35
				NHK 教育		長崎国際テレビ		長崎文化放送		NHK 総合		長崎放送		テレビ長崎
熊本	熊本	090	1	2	16	4	22	6	34	8	9	10	11	12
				NHK 教育	熊本朝日放送		熊本県民テレビ		テレビ熊本		NHK 総合		熊本放送	
大分	大分	091	1	2	3	34	5	6	36	32	24	10	11	12
			(NHK 教育)		NHK 総合	あいテレビ	大分テレビ	(NHK 総合)	テレビ大分	テレビ愛媛	大分朝日放送	南海テレビ		NHK 教育
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35	7	8	9	10	11	12
								テレビ宮崎		NHK 総合		宮崎放送		NHK 教育
	延岡	093	1	2	3	4	5	6	7	39	9	10	11	12
				NHK 教育		NHK 総合		宮崎放送		テレビ宮崎				
鹿児島	鹿児島	094	1	2	3	4	5	6	32	8	38	10	30	12
			南日本放送		NHK 総合		NHK 教育		鹿児島放送		鹿児島テレビ		鹿児島読売テレビ	
	阿久根	095	1	17	3	23	5	35	7	8	9	10	11	12
				鹿児島読売テレビ		鹿児島放送		鹿児島テレビ		NHK 総合		南日本放送		NHK 教育
沖縄	那覇	096	1	2	3	4	5	6	7	8	28	10	11	12
				NHK 総合						沖縄テレビ	琉球朝日放送	琉球放送テレビ		NHK 教育

★ おしらせ

- 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社の調査によるものです。（2007 年 2 月現在）

その他の地域番号 （＊印のチャンネルはスキップされません。）

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
024	＊29	2	＊27	＊25	5	＊23	7	＊21	＊31	＊19	11	＊17
026	＊43	2	＊45	＊39	＊40	＊37	7	＊35	9	＊33	＊41	＊31
028	＊33	2	＊35	＊25	5	＊23	＊16	＊21	＊28	＊19	11	＊17
031	＊51	2	＊49	＊53	＊47	＊55	7	＊57	9	＊59	11	＊61
032	＊30	2	＊32	＊26	＊28	＊24	7	＊22	9	＊20	11	＊18
048	＊1	2	＊3	4	＊5	6	＊35	8	＊9	10	＊11	＊28
066	1	＊32	3	＊42	5	＊44	7	＊46	9	＊48	＊30	＊26

地上アナログ放送のチャンネルの個別設定

● 登録したチャンネルは、個別に以下の項目を変更できます。

項目	内容
受信チャンネル	リモコンのチャンネルボタンを押したときに選局するチャンネルを設定します。地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、この操作で一局ずつ設定してください。 新聞の番組表などのチャンネルの順番に合わせておくと便利です。
チャンネル表示	画面に表示されるチャンネル番号を設定します。お住まいの地域で使い慣れたチャンネル表示に変更できます。
受信微調整	受信中の映像（設定画面の背景で表示されている映像）が最も鮮明に見えるように、受信状態を調整します。－64 ～ 0 ～ +63 の範囲で調整できます。
スキップ	選局(∧順／∨逆)ボタン(緑)で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップの設定をし、「しない」で解除されます。

1 地上アナログ放送を選ぶ

2 メニューを表示する

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

決定する

4 「地上アナログ」で決定する

5 「地上アナログー個別」を選ぶ

決定する

6 「する」を選ぶ

決定する

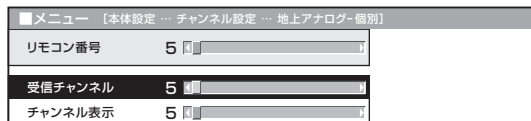
次のページにつづく ▶

地上アナログ放送のチャンネルの個別設定（つづき）

7

変更したい放送チャンネルを選ぶ

8 変更したい項目を選ぶ

（例）受信チャンネルを変更する場合

9 画面の指示に従い、数値や項目を設定する

- 詳しくは、前のページの表を参照してください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

選局ボタン（緑）でCATVチャンネルを選局したいときは

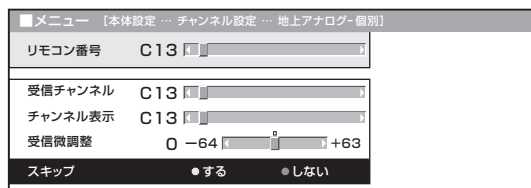
● CATVチャンネル（C13～C63）は、工場出荷時にスキップ「する」の状態になっています。選局ボタン（緑）で選局したいときは、次の操作を行ってください。

1 前ページの手順 **1** ～ **6** を行う

2 「リモコン番号」を選ぶ

3 スキップを解除したいCATVチャンネルを選ぶ

4 「スキップ」を選ぶ

5 「しない」を選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★おしらせ

CATV（ケーブルテレビ）放送について

- CATVのサービスが行われている地域のみ受信できます。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。（CATVチャンネルを選ぶ▶ **59** ページ）
- 「受信チャンネル」の設定で、CATVチャンネルを設定すると、リモコンのチャンネルボタンでCATVチャンネルを選局できます。
- 左上の手順 **8** で「受信チャンネル」を選び、手順 **9** で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

テレビを見る

番組を選ぶ

基本的な選びかた

● リモコンを使って番組を選んでみましょう。

電源を入れてください。

1. 放送の種類(ネットワーク)を選ぶ

①放送切換ボタンを押します。

地上アナログ放送(従来の放送)

地上A 地上D BS CS

地上デジタル放送

BSデジタル放送

110度CSデジタル放送

- デジタル放送はB-CASカード(▶36ページ)を挿入しないと視聴できません。

②デジタル放送の場合はメディア(テレビ/ラジオ/データ)の選択ができます。

テレビ/ラジオ/データ を繰り返し押して選びます。

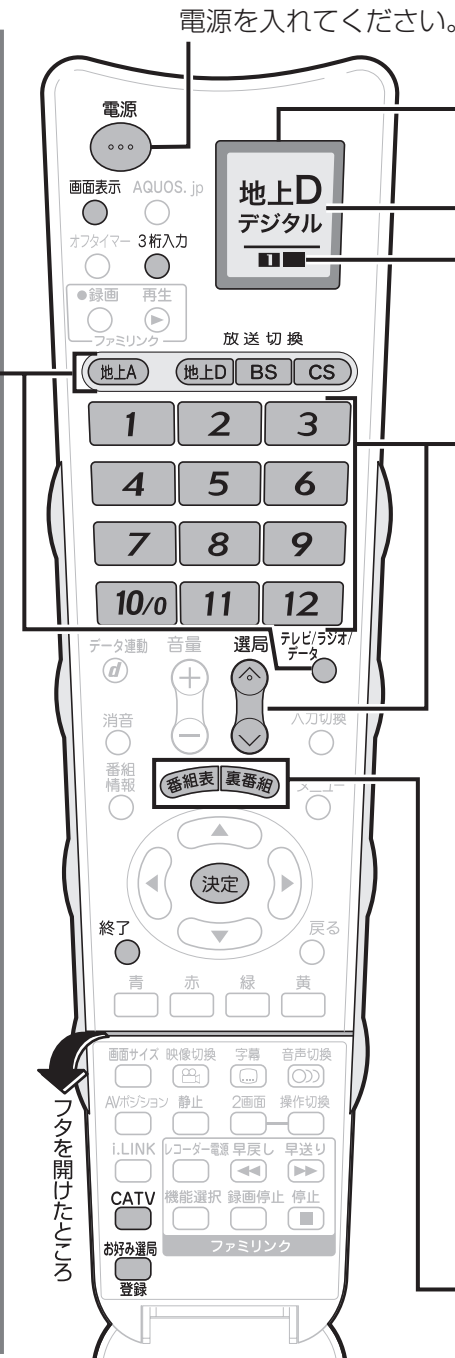
テレビ放送

① BS テレビ 101 音声 ステレオ

ラジオ放送(BSデジタル放送のみ)

④ BS ラジオ 333 音声 ステレオ

データ放送

② BS データ 910 音声 ステレオ

液晶表示部

放送切換ボタンで選んだ放送の種類

リモコン番号

フタを開けたところ

2. チャンネルを選ぶ

チャンネルボタンを押します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12

登録されているチャンネルの一覧も確認できます。(▶60ページ)

- チャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
- 液晶表示部に表示された放送のチャンネルが選局されます。

選局ボタン(緑)を押します。

選局 現在視聴している放送のチャンネルが選局されます。
地上デジタル放送は、選局順が設定できます。
(▶61ページ)

デジタル放送は、電子番組表(EPG)や裏番組表(EPG)でも番組を選べます。(▶62·63ページ)

★ おしらせ

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

- 画面表示 を押すと、放送の種類やチャンネルをテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

110度CSデジタル放送をはじめて選局するときは

- ▶35ページをご覧ください。

リモコンの液晶表示部について

- 液晶表示部で、放送切換操作を確認できます。放送切換ボタンを押すと、選んだ放送の種類が表示されます。テレビの画面が切り換わらなくても表示は変わります。
- 液晶表示部の下部には、リモコン番号(▶180ページ)が表示されますので、他のAQUOSが誤って作動するのを防げます。
- 液晶表示部は、何も操作しないで約10秒経過すると消灯します。

その他の選びかた

3 桁入力で選ぶ（デジタル放送のみ）

● 3 桁チャンネル番号（デジタルチャンネル一覧▶ **61** ページ）を入力しても選局できます。

1 地上D／BS／CS　**放送の種類を選ぶ**

2 3桁入力　**3 桁入力欄を表示する**

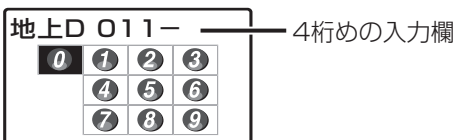
1 ～ 10/0　**3 桁チャンネル番号を入力する**

（例）BSデジタル放送の161チャンネル（BS-iテレビ⑥）を選んでいるとき

・間違った番号を入力した場合は、3 桁入力ボタンを押してから入力しなおします。

おしらせ

地上デジタル放送の場合は

・地上デジタル放送でチャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4 桁め（枝番）の選択画面が表示されます。数字ボタンで枝番を入力します。

CATV チャンネルを選ぶ

● CATV 放送を視聴するには、CATV 会社との契約が必要です。

● CATV チャンネルは工場出荷時、チャンネルスキップ「する」に設定されています。（解除のしかた▶ **56** ページ）

● 本機の CATV チャンネルは、C13 ～ C63 チャンネルの範囲で選局できます。

（例）C23を選ぶとき

1 CATV　**CATV を選ぶ**

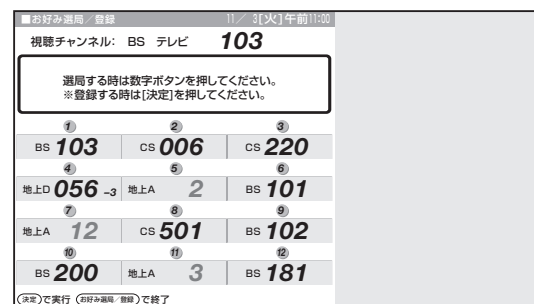
2 2　3　**チャンネル番号を入力する**

よく見るチャンネルの中から選ぶ（お好み選局）

● よく見るチャンネルを 12 局まで登録しておき、チャンネルボタンで選局できます。

● 地上デジタル、地上アナログ、BS デジタル、110 度 CS デジタルやテレビ、ラジオ、データを混在させた登録ができるので、放送の種類を切り換えずにチャンネルを換えられ、チャンネルが選びやすくなります。

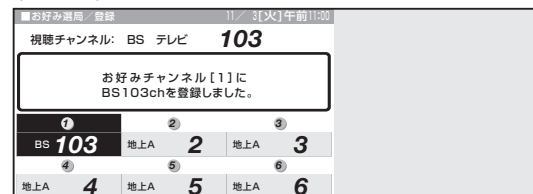
押すボタン

1 お好み選局／登録　**お好み選局／登録画面を表示する**

2 1 ～ 12　**チャンネルを選ぶ**

・視聴したいチャンネルを直接選局できます。

おしらせ

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する

① 登録したいチャンネルを選局する
② お好み選局／登録ボタンを押す
③ 決定を押す
④ 登録したい先のチャンネルボタンを押す
（登録例）

⑤ 終了ボタンを押し、画面表示を消す（押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。）

・登録したチャンネルを変更するには、上記①～⑤を行って、新たなチャンネルを登録しなおします。
・お好み選局／登録画面は、工場出荷時には地上アナログ放送のチャンネルに設定されています。
・お好み選局／登録ボタンを押して登録されたチャンネルの確認だけを行い、そのまま終了ボタンを押して終了することもできます。

デジタル放送の登録チャンネルについて

● チャンネルボタンの登録内容が確認できます。また、現在の登録を変更することもできます。

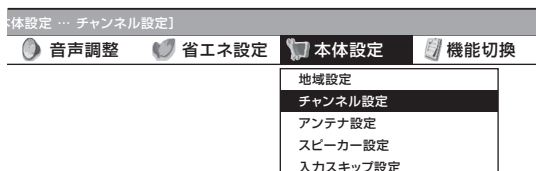
登録チャンネルを確認する

1 地上D / BS / CS / テレビ/ラジオ/データ

登録を確認したいデジタル放送を選局する

- 確認したいデジタル放送の種類（地上デジタル放送／BSデジタル放送／110度CSデジタル放送）やメディア（テレビ／ラジオ／データ）を選びます。

2 メニュー　メニューを表示する

3 「本体設定」ー「チャンネル設定」を選ぶ

決定　決定する

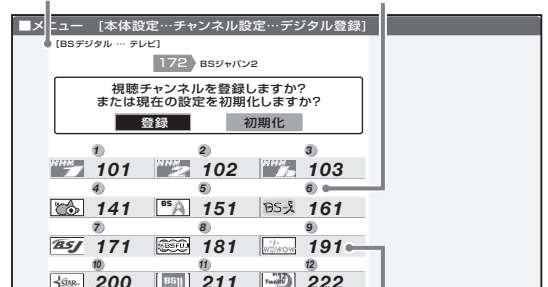
4 「デジタル登録」を選ぶ

決定　決定する

5 「する」を選ぶ

決定　決定する

- チャンネルの一覧が表示されます。

(例)BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

- 終了する場合は、終了ボタンを押します。

チャンネルを登録する

押すボタン

1 登録したいチャンネルを選局する

2 メニュー　メニューを表示する

3 「本体設定」ー「チャンネル設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「デジタル登録」を選ぶ

決定　決定する

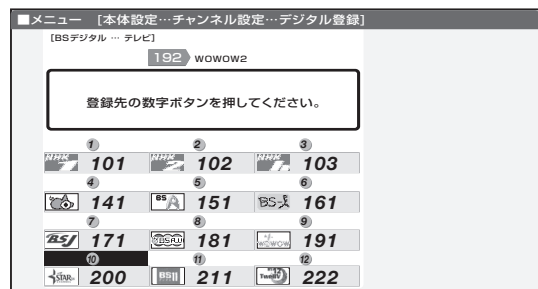
5 「する」を選ぶ

決定　決定する

6 「登録」を選ぶ

決定　決定する

7 1 〜 12　登録したいチャンネルボタンを押す

- 10/0 に登録したい場合は、10/0 を押します。

- 登録確認画面が表示されます。
- 終了する場合は、終了ボタンを押します。（押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。）

おしらせ

- 登録できるのは、各デジタル放送ネットワーク（地上、BS、CS）の各メディア（テレビ／ラジオ／データ）につき12局までです。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、手順**6**で「初期化」を選び、決定ボタンを押します。
- 放送のないメディア（テレビ／ラジオ／データ）には切り換わりません。

工場出荷時のデジタルチャンネル一覧

BS デジタル放送のチャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	—	—	—	—
2	NHK BS2	102	—	—	ウェザーニュース	910
3	NHK h	103	—	—	—	—
4	BS 日テレ	141	WINJ	333	—	—
5	BS 朝日1	151	—	—	—	—
6	BS-iテレビ⑥	161	—	—	—	—
7	BS ジャパン	171	—	—	知求チャンネル	999
8	BS フジ·181	181	—	—	—	—
9	WOWOW	191	—	—	—	—
10/0	スターチャンネル	200	—	—	—	—
11 ※	—	211	—	—	—	—
12 ※	—	222	—	—	—	—

※ BSデジタル放送のチャンネルボタン 11 、 12 には将来放送が予定されているBSチャンネルが設定されます。
放送開始前にチャンネルボタン 11 、 12 に他のチャンネルを登録した後、もとの状態に戻す場合は、左記「チャンネルを登録する」の手順**6**で「初期化」を選び、決定ボタンを押してください。 1 ～ 12 のすべてのボタンが初期状態に戻されます。

110度CSデジタル放送のチャンネル

チャンネルボタン	テレビ
	チャンネル番号
1	100
2	001
3	—
4	—
5	—
6	—
7	—
8	—
9	—
10/0	—
11	—
12	—

地上デジタル放送のチャンネル

チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合·東京	011
2	NHK教育·東京	021
3	—	—
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	—	—
11	—	—
12	放送大学	121

工場出荷時は関東の東京で受信できるチャンネルが登録されています。

おしらせ

- 左のチャンネル一覧は 2007 年 6 月現在のもので、変更されることがあります。
- 地上デジタル放送と 110 度 CS デジタル放送には、ラジオ放送がありません。
- デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタンを押すと、放送の種類とテレビ／ラジオ／データが切り換わり、その放送のデジタル登録画面が表示されます。
- 放送のないメディア（テレビ／ラジオ／データ）には切り換わりません。

地上デジタル放送の選局順の設定について

- 選局ボタン（緑）で地上デジタル放送の選局をするときの、放送局の順番を設定できます。
- メニューの「本体設定」－「チャンネル設定」－「地上デジタル」－「地上デジタル－選局順」で設定します。

項目	内容
モード 1	電子番組表（EPG）に表示されている順番で選局します。
モード 2	チャンネル番号（3 桁）の順番で選局します。

電子番組表(EPG)を使う

電子番組表とは

● テレビ画面に表示される番組の一覧表のことを「電子番組表」といいます。
● 地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送では電子番組表(EPG)が送信されています。
デジタル放送の受信中に(番組表)を押すと、電子番組表(EPG)が表示できます。
● 電子番組表(EPG)を使って番組を探したり、予約したり、番組情報を見たりできます。

こんなことができます

基本の使いかた

● 電子番組表(EPG)で番組を選ぶ(▶ **64** ~ **65** ページ)
● 番組情報を見る(▶ **64** ページ)
● 放送中の他の番組(裏番組)を調べる(▶ **63** ページ)

映画や音楽などジャンルごとの番組一覧を表示したり、一週間先までに放送される番組を確認できます。

番組の便利な探しかた

● 分類(ジャンル)で番組を探す(▶ **65** ページ)
● 日時を指定して番組を探す(▶ **65** ページ)

電子番組表(EPG)を活用するための設定のしかた

● 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)を速く表示させる(▶ **66** ページ)
● 電子番組表(EPG)のジャンルアイコンを目立たせる(▶ **67** ページ)
● 電子番組表の表示のしかたを変える(▶ **68** ページ)

電子番組表(EPG)の見かた

時間帯を縦に表示した場合

(モード3の例)

時間帯を横に表示した場合

(モード1の例)

選択中の放送の種類とテレビ/ラジオ/データの種別　選択している日にち
選んでいる番組の情報
選択されているチャンネル
登録されているチャンネルボタンの番号
チャンネルロゴ
放送局名　チャンネル番号　番組名　カラーボタンに対応

★ おしらせ

- 本機で電子番組表を表示できるのは、デジタル放送のみです。
- 本書ではおもに BS デジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。
- 地上デジタル放送の電子番組表（EPG）は、送信している各チャンネルから取得する必要があります。

電子番組表の表示内容について

表示される情報の期間

- テレビ放送……8 日分
- ラジオ放送……3 日分（BS のみ）
- データ放送……最低 1 日分
- 表示時間………3 時間または 6 時間（表示のしかたによって変わります。▶ **68** ページ）

番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	録画予約(VHSテープ予約)している番組
	録画予約(ファミリンク[2](i.LINK)予約)している番組
	録画予約(ファミリンク[1](標準)予約)している番組
	有料番組、またはPPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止されている番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

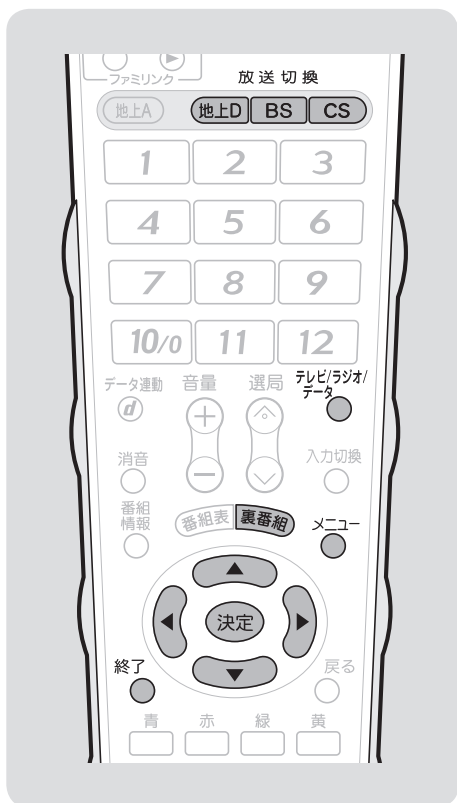
★ おしらせ

- 電源を入れてからすぐに番組表ボタンを押すと、番組表の内容が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース／報道		映画
	スポーツ		アニメ／特撮
	情報／ワイドショー		ドキュメンタリー／教養
	ドラマ		劇場／公演
	音楽		趣味／教育
	バラエティ		福祉

放送中の他の番組（裏番組）を調べる

● 視聴中に裏番組を押すと、裏番組を一覧で確認できます。

裏番組　**裏番組表を表示する**

■裏番組表［BSデジタル … テレビ］　11/ 3 [火] 午前11:00
101 NHK BS1　午前11:25～午前11:55
街角ステーション

1 101 NHK BS1	街角ステーション
2 102 NHK BS2	純愛ドラマ総集編
3 103 NHK h	ニッポン温泉巡り
4 141 BS 日テレ	テレビでお買い物
5 151 BS 朝日1	勇者の食卓
6 161 BS-iテレビ⑥	コレクション F
7 171 BS ジャパン	J-ショップ
8 181 BS フジ･181	らくらくショッピング
9 191 WOWOW	シネマアイ
10 200 スター･チャンネル	ラスト･サプライズ

- 上下カーソルボタンで裏番組を選び、決定ボタンで決定すると選んだ番組に切り換わります。

★ おしらせ

- 地上 D · BS · CS のいずれのネットワークについても、また、テレビ · ラジオ · データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示できます。
- 裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン（地上 D · BS · CS)、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

電子番組表(EPG)で番組を選ぶ

1 電子番組表(EPG)を表示する

- 放送切換ボタンやテレビ／ラジオ／データボタンで放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。

（モード３の例）

放送局名の表示は変更になることがあります。

電子番組表（EPG）を閉じる

電子番組表(EPG)を閉じる

- 通常の画面に戻ります。

番組情報を見る

1 内容を確認したい番組を選ぶ

2 青ボタン（番組情報を見る）を押す

- 番組情報が表示されます。

- 番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

視聴中の番組の情報を見るには

- 視聴中に番組情報を押してください。（▶ **74** ページ）（電子番組表を表示する必要はありません。）

2 見たい番組を選ぶ

（時間帯を縦に表示した場合）

3 決定する

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が表示されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。
（予約については▶ **94** ページをご覧ください。）

おしらせ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- 電子番組表（EPG）の表示方式を切り換えることができます。（▶ **68**ページ）

分類（ジャンル）で番組を探す

押すボタン

1 赤ボタン（ジャンル検索）を押す

2 ジャンルを選ぶ

 時間帯を選ぶ

 決定する

3 見たい番組を選ぶ

 決定する

- 黄ボタンを押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

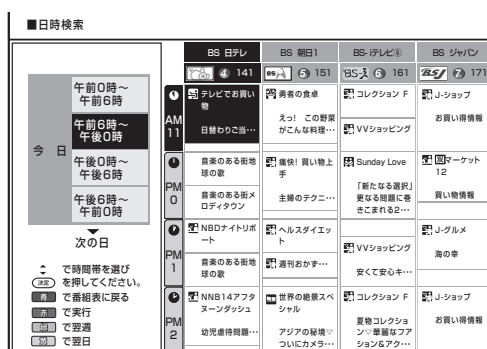
日時を指定して番組を探す

押すボタン

1 緑ボタン（日時検索）を押す

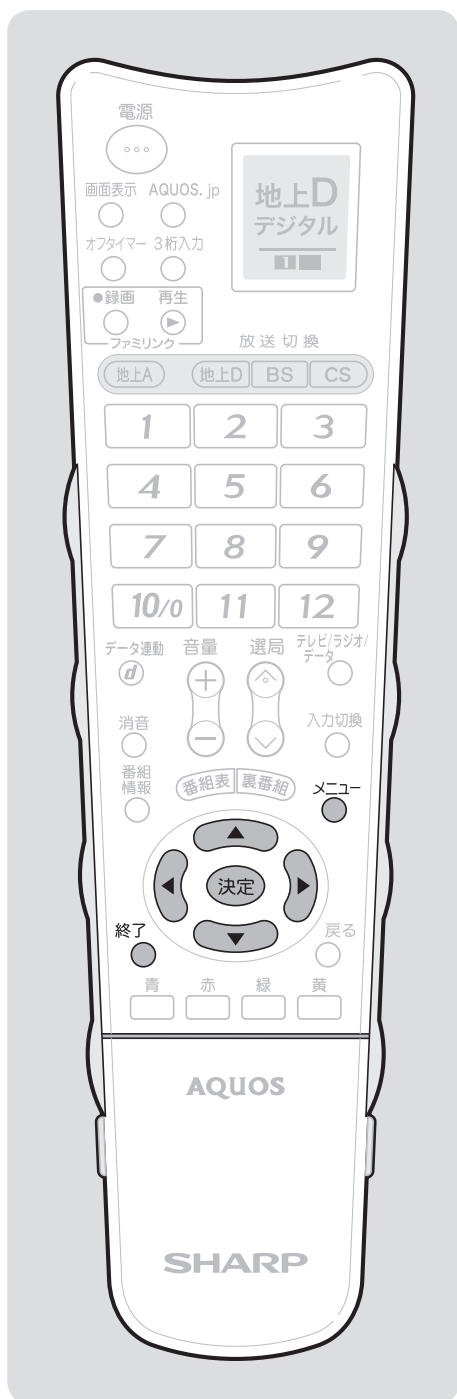
2 時間帯を選ぶ

決定する

- 緑ボタンと黄ボタンで日にちを変更できます。

3 見たい番組を選ぶ

 決定する

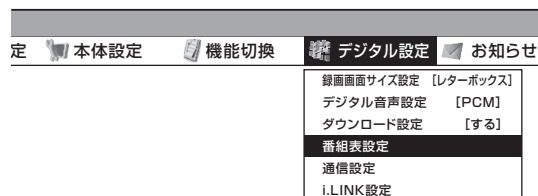
電子番組表を活用するための設定

● 電子番組表(EPG)をもっと便利に利用するため、電子番組表の表示内容の設定を変更できます。

地上デジタル放送の電子番組表を速く表示させる

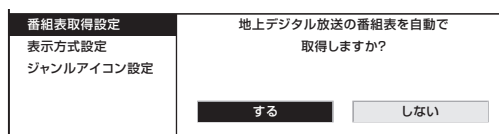
● 番組表取得設定(地上デジタル放送の番組表取得設定)を「する」に設定すると、地上デジタル放送の電子番組表が電源待機中に自動取得されます。自動取得しておくと、電子番組表(EPG)の表示が速くなります。

押すボタン

1 メニューを表示する

2 「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ

 決定する

3 「番組表取得設定」を選ぶ

決定する

4 「する」を選ぶ

 決定する

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

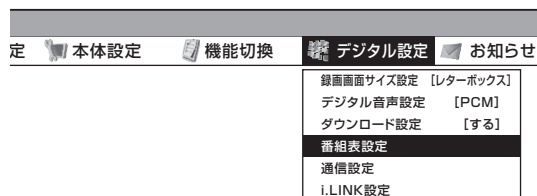
・番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機が放送局の番組情報を取得しているためです。)また、本体の電源スイッチで「切」にした場合は、番組情報を取得できません。

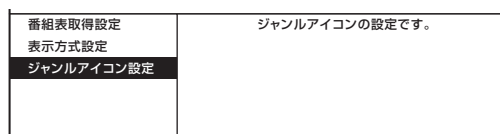
電子番組表（EPG）のジャンルアイコンを目立たせる

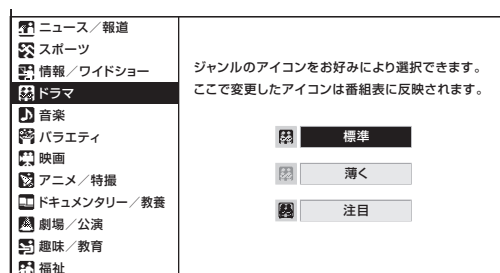
● ジャンルアイコン設定で電子番組表のジャンルを示すアイコン（▶ **63** ページ）に濃淡を付けて、識別しやすくできます。

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ**

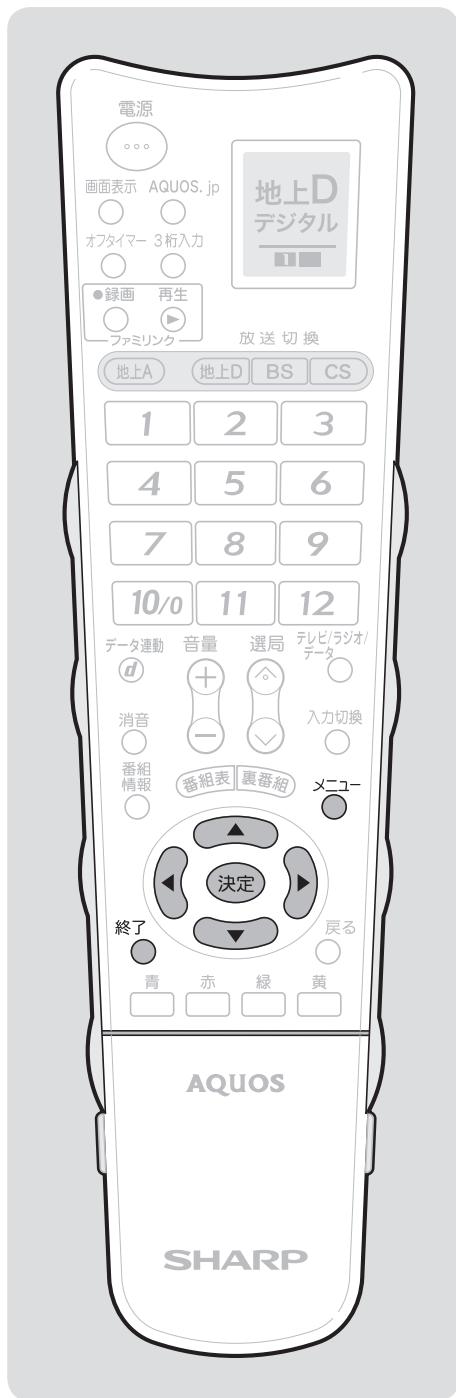
決定　**決定する**

3 **「ジャンルアイコン設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

4 **ジャンル名を選ぶ**

決定　**決定する**

5 **「標準」「薄く」「注目」のいずれかを選ぶ**

決定　**決定する**

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

電子番組表を活用するための設定（つづき）

電子番組表の表示のしかたを変える

● 表示方式設定で、番組表に一度に表示できる範囲の設定や、チャンネルの横・縦の設定ができます。

押すボタン

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ**

　決定する

3 **「表示方式設定」を選ぶ**

　決定する

4 **「モード１」「モード２」「モード３」「モード４」のいずれかを選ぶ**

- **「モード 1」**：縦にチャンネルを並べ横に 6 時間分を表示します。
- **「モード 2」**：縦にチャンネルを並べ横に 3 時間分を表示します。
- **「モード 3」**：新聞のテレビ欄のように横に 9 チャンネル分を同時表示します。
  （工場出荷時には「モード 3」に設定されています。）
- **「モード 4」**：新聞のテレビ欄のように横にチャンネルを並べ表示します。

　決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

モード１の電子番組表の例

時間帯を横に６時間分

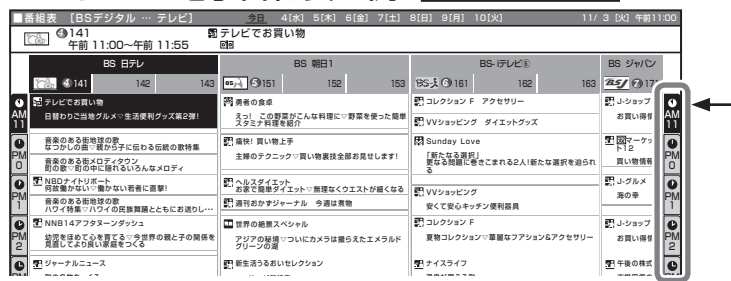
モード２の電子番組表の例

時間帯を横に３時間分

モード３の電子番組表の例

時間帯を縦配列

モード４の電子番組表の例

時間帯を縦配列

★ おしらせ

- モード１・２にしたときも、番組表の操作のしかたはモード３・４の場合と同様です。ただしチャンネルを選ぶのは上下カーソルボタン、時間帯を選ぶのは左右カーソルボタンになります。

視聴のための便利な機能

地上アナログ放送の音声切換

● 二重音声放送やステレオ放送の番組をご覧のとき、音声を切り換えて楽しめます。

★ おしらせ

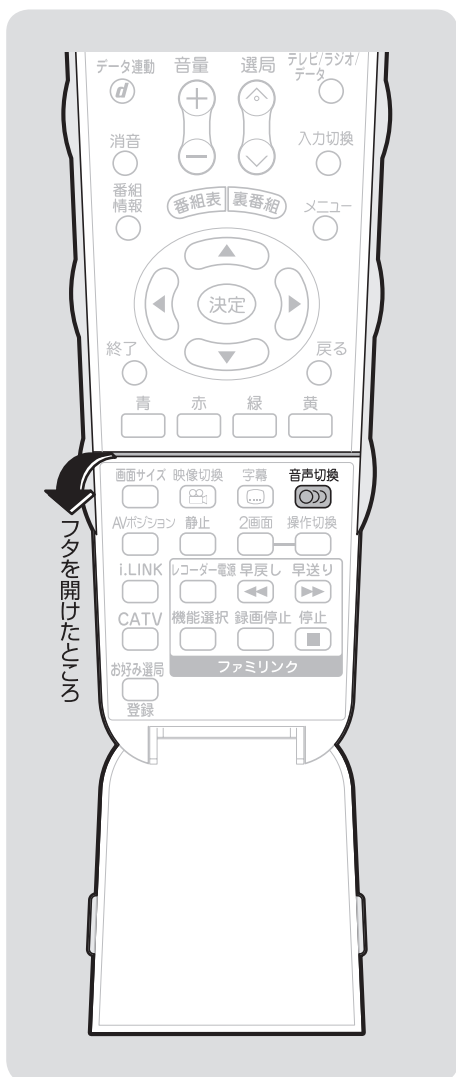
音声の見分けかた

・二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、テレビ画面のチャンネルサインの色で区別することができます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

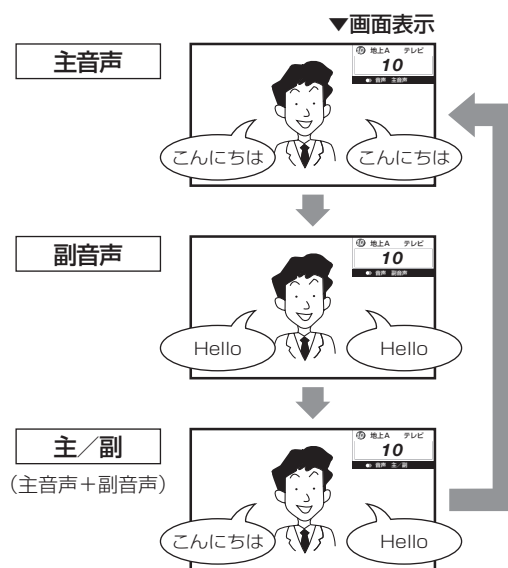
モノラル放送のとき

二重音声放送の音声切換

● ニュースや洋画などの二ヵ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の２種類の音声が楽しめます。

押すボタン

お好みの音声を選ぶ

・ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

▼画面表示

ステレオ放送の音声切換

● ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

● 音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
テレビ画面右上のチャンネルサインに「モノラル」と表示されます。
ステレオ音声で聞くときは、再度音声切換ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。

★ おしらせ

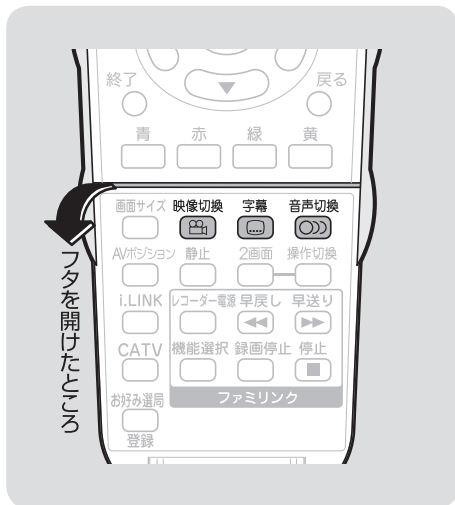
・雑音が多いときは、音声切換ボタンで「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

デジタル放送の映像・音声・字幕の切換

- 複数の映像（最大４つ）または音声（最大８つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

複数の映像を楽しむ

映像切換

映像を切り換える

- ボタンを押すたびに映像※が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに映像表示が出ます。

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を楽しむ

音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。

マルチ音声番組のとき　→音声1→音声2～8※→

※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主→副→主/副→

字幕を表示する／複数の字幕を楽しむ

字幕を表示する（切り換える）

- ボタンを押すたびに字幕を表示／非表示にします。（メニューの「機能切換」ー「字幕表示設定」を「しない」に設定しているとき）
- 複数の字幕がある番組の場合は、メニューの「機能切換」ー「字幕表示設定」を「する」に設定しておくと、ボタンを押すたびに字幕が切り換わります。

★ おしらせ

音声の選択について

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声 1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「音声 1」で録画します。
- デジタル放送は「モノラル」への切換えができません。

字幕表示設定について

- メニューの「機能切換」－「字幕表示設定」で設定します。

項目	内容
する	・字幕のあるデジタル放送の番組で、字幕をつねに表示させます。 ・リモコンフタ内の字幕ボタンを押すと、複数の字幕の切換えができます。字幕表示は消えません。
しない	・リモコンフタ内の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切と複数の字幕の切換えができます。（工場出荷時の設定）

2 画面で見る

★ おしらせ

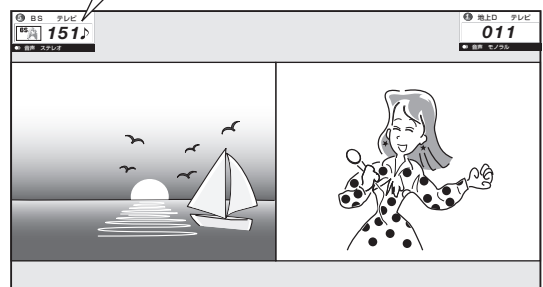
- 2 画面機能を入／切すると、まれに画面や録画出力の映像が一瞬途切れた状態になることがあります。
- ハイビジョンの映像（1125i、750p、1125p）を 2 画面にしたときは 16：9 表示になります。
- 2 画面表示中は、画面サイズボタンで画面サイズの切換えができません。
- 2 画面表示中はメニュー操作ができません。
- 2 画面表示中は電子番組表や i.LINK 操作パネルは表示できません。

2 画面表示と操作のしかた

- 本機は 2 つの異なる映像を同時に表示できます。
- 2 画面のとき、「♪」マークのある操作画面は、チャンネルや入力の切り換えと音量調整ができます。

1 2画面

2 画面を表示する

（2画面の表示例）

- 2 画面表示中に予約録画が開始されたときは、1 画面（操作画面）に戻ります。

2 操作切換

操作画面を切り換える

- 操作画面に「♪」が移動します。

選局する

- 放送切換ボタンを押して放送を選びます。
- 選局（∧順／∨逆）ボタン（緑）を押すたびに、操作画面のチャンネルが選局されます。
- 入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

チャンネルボタンでの選局について

チャンネルボタンでは、リモコンの液晶表示部に表示されている放送のチャンネルが選局されます。操作画面を切り換えた直後は、操作画面とリモコンの液晶表示部の放送の種類が異なるため、放送切換ボタンを押してから、チャンネルボタンを押してください。

「♪」マークのある操作画面の音量を調整する

- ヘッドホン接続時、非操作側画面（「♪」マークのない側の画面）の音声を聞くことができます。（▶ **75** ページ）

3 2画面 終了

1 画面に戻す

2 画面の組合せ

● 2 画面機能で表示できる画面は、画面の左右、放送や入力によって異なります。

（地上A＝地上アナログ、地上D＝地上デジタル）

		右画面			
		地上A	地上D	BS/CS	外部入力※1･2･5
左画面	地上A	×	○	○	○
	地上D	×	○※4	○※4	○
	BS／CS	×	○※4	○※4	○
	外部入力※5	×	○	○	○※3

※ 1 右画面には 525i 信号（地上アナログ放送と同じ画質）のみ表示できます。外部入力で高解像度信号（525p/1125i/750p/1125p)が入力されている場合は、表示できません。ただし、i.LINK 入力は表示できます。

※ 2 入力 4、5、6 は左画面のみです。

※ 3 同じ外部入力どうしの 2 画面表示はできません。

※ 4 デジタル放送どうしの 2 画面のときは、データ放送画面は左画面のみ表示されます。データ放送を表示できる画面には「♪」マークの隣に「d」マークが表示されます。

※ 5 入力 7 は 2 画面表示できません。
IrSS™ のときは 2 画面表示できません。

視聴中の画面を静止させる

● いま見ている放送や映像を静止できます。料理番組のメモをとったりするときに便利です。

視聴中に映像を静止させる

• 動画と静止画の 2 画面になります。

動画（左画面）　静止画（右画面）

• 静止画表示中に決定ボタンを押すと、そのときに表示されていた動画が新しい静止画として表示されます。

• 1 画面に戻すには戻るボタン、終了ボタンまたは静止ボタンを押します。

★ おしらせ

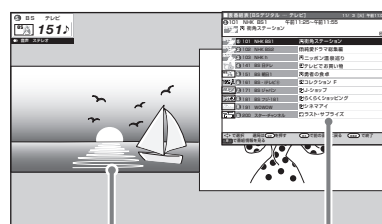
• 録画予約実行中、デジタル固定中、i.LINK 録画中に 2 画面にすると、録画中の画面が右側に表示されます。右側の画面を他の放送や外部入力に切り換えることはできません。（右側の画面を操作画面にしているときに選局などの操作をすると、「予約を解除しますか？」という画面を表示します。）

録画予約実行中、デジタル固定中、i.LINK録画中

録画中の画面

• テレビとインターネットを同時に表示することもできます。（▶ **154** ページ）

• 2 画面表示中も、裏番組ボタンを押すと裏番組表（▶ **63** ページ）を表示できます。

操作画面　操作画面の裏番組表

• 裏番組表で見たい番組を選んで決定ボタンを押すと、操作画面が選んだ番組になります。

★ おしらせ

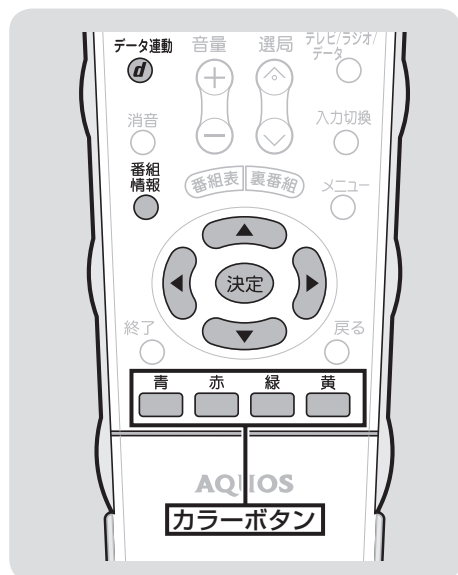
• 静止画表示中に選局や入力切換えをしたりメニューボタンを押すと、1 画面に戻ります。
静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。また i.LINK ボタンを押すと、1 画面に戻ります。

• 静止画表示後、30 分経過すると自動的に 1 画面に戻ります。

デジタル放送のテレビ連動データ放送の視聴

● テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、連動データ放送が視聴できます。

データ放送画面を表示する

押すボタン

データ連動

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

・テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

★おしらせ

・電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約20秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

データ放送画面の基本操作

● データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

● たとえば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青·赤·緑·黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

デジタル放送視聴中の番組情報の表示

● デジタル放送の番組視聴中に番組情報が表示できます。

★おしらせ

番組名表示設定

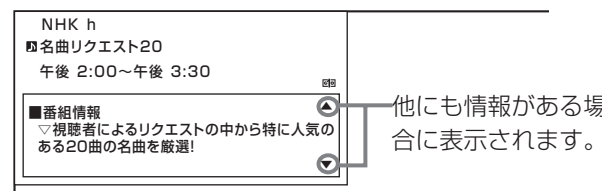
・選局したときに番組名を表示するようにも設定できます。

・メニューの「機能切換」－「番組名表示設定」で設定します。

項目	内容
する	番組を選局したときに番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。
しない	何も表示しません。

押すボタン

デジタル番組の視聴中に番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

・番組情報の右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで表示の送り・戻しができます。

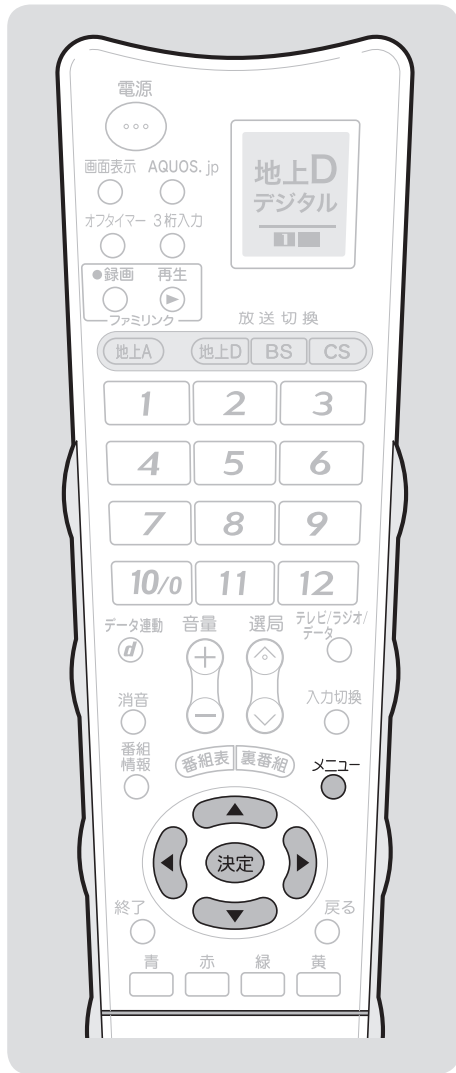
・番組情報を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

ヘッドホン使用時の音声を設定する

● ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。

おしらせ

- 1 画面で「モード 2」を選んでいるとき、2 画面で「モード 2」または「モード3」を選んでいるときは、スピーカーの音量を変えるにはリモコンの音量ボタン（青）を、ヘッドホンの音量を変えるには本体側面の音量ボタンを操作します。
- 2 画面で本体側面の選局ボタン・入力切換ボタンを押すと、操作画面側が切り換わります。

2画面で「モード3」を選んだとき

押すボタン

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「機能切換」ー「ヘッドホン設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

ヘッドホン使用時の音声出力を切り換えます。

モード1	ヘッドホンからのみ音声が出力されます。（スピーカーからは音が出ません）
モード2	ヘッドホンとスピーカーの両方から同じ音声が出力されます。
モード3	1画面時はヘッドホンからのみ出力され、2画面時は操作側音声がスピーカーから出力され、非操作側音声がヘッドホンから出力されます。

1 画面でヘッドホンを使用しているとき

項目	スピーカー	ヘッドホン
モード 1 （スピーカーから音を出さない）	× （出力されません）	見ている画面の音声
モード 2 （スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむ）	見ている画面の音声	見ている画面の音声 ※
モード 3 （スピーカーから音を出さない）	× （出力されません）	見ている画面の音声

2 画面でヘッドホンを使用しているとき

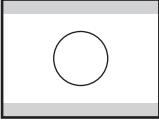
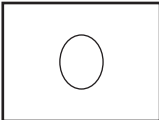
項目	スピーカー	ヘッドホン
モード 1 （スピーカーから音を出さない）	× （出力されません）	操作画面（「♪」マークのある側）の音声
モード 2 （スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが同じ画面の音声を一緒に楽しむ）	操作画面（「♪」マークのある側）の音声	操作画面（「♪」マークのある側）の音声 ※
モード 3 （ヘッドホンとスピーカーで別々の画面の音声が楽しめる）	操作画面（「♪」マークのある側）の音声	非操作画面の音声 ※

3 **「モード 1」「モード 2」「モード 3」のいずれかを選ぶ**

 決定する

※マークの状態では、ヘッドホンをつないだときに、消音ボタンでヘッドホン出力を停止できません。

ゲームの経過時間をお知らせする（ゲーム時間表示設定）

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。
- メニューの「機能切換」－「ゲーム時間表示設定」で設定します。

★★ 重要

- 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力のAVポジション（▶ **80** ページ）を「ゲーム」にしてください。
- 外部入力視聴時のみ有効です。

項目	内容
する	外部入力でゲームモードに設定されているときに、ゲームを始めてから30分経過するたびにメッセージが表示されます。
しない	何も表示しません。

16:9映像を録画するときの画面サイズを設定する（録画画面サイズ設定）

- 本機で受信したデジタル放送の16：9映像を録画機器に録画するときの画面サイズを設定できます。
- メニューの「デジタル設定」－「録画画面サイズ設定」で設定します。

項目	内容
レターボックス	4：3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い幕が入った元の映像と同じ16：9映像を表示します。
スクイーズ	4：3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された映像になります。

★ おしらせ

- 録画した映像を4：3のテレビで見る場合に必要な設定です。本機で見る場合は16：9映像のまま見ることができますので、設定を変える必要はありません。
- テレビ視聴時に設定できます。
- 録画予約実行中、デジタル固定中は設定できません。

起動時間を短くする（クイック起動設定）

- リモコンで電源を「入」にしてからの本機の起動時間を短くします。
- メニューの「本体設定」－「クイック起動設定」で設定します。

項目	内容
しない	クイック起動しません。
する（常に有効）	電源切時に常に有効にします。 「しない」のときより待機時の消費電力が増えます。
する（2時間のみ有効）	電源切後2時間のみ有効にします。 「する（常に有効）」のときより、待機時の消費電力が抑えられます。

画面に時刻を表示する（時刻表示）

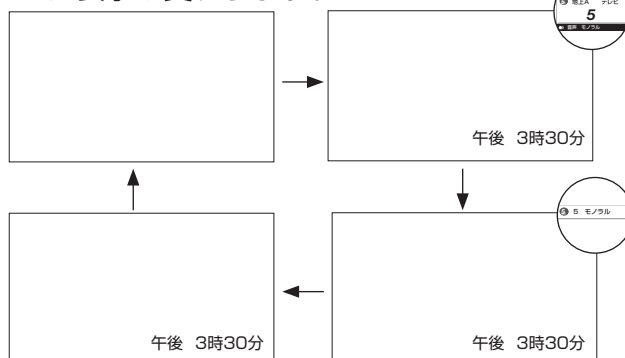
★★ 重要

- デジタル放送が受信できないなど、時刻が自動設定されないときは、メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で時刻を合わせておいてください。（▶ **77** ページ）

時刻表示のしかたを選ぶ

- メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻表示」で設定します。

項目	内容
する	画面表示ボタンを押すたびに、現在時刻を表示／非表示にします。
する（30分ごと）	毎時00分と30分に現在時刻を表示します。
しない	表示しません。

- 画面表示ボタンを押すごとに、以下のように表示が変わります。

時刻を合わせる（時刻設定）

● メニュー画面に現在時刻を表示したり、指定した時刻に電源を自動的に入れるオンタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計を正しい時刻に合わせる必要があります。

自動時刻設定機能について

● デジタル放送を受信している場合は、自動的に時刻が設定されます。
デジタル放送が受信できないなど、自動設定されないときは、右記の手動設定を行ってください。

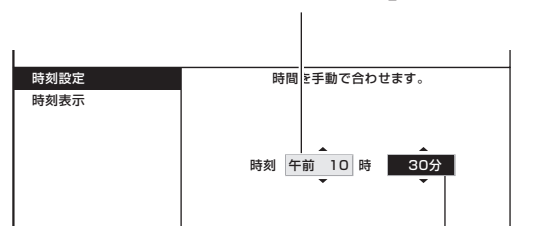
おしらせ

- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。
- 設定できる時刻は 12 時間表示です。
- 設定後、現在時刻を確認したいときは、時刻表示（▶ **76** ページ）を「する」に設定したあと、画面表示ボタンを押してください。

手動で時刻を設定する

● メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定します。

（例）午前 10 時 30 分に合わせる

①上下カーソルボタンで「午前 10 時」に合わせる

②右カーソルボタンを押す

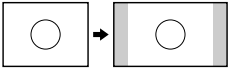
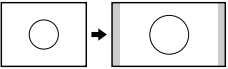
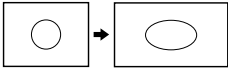
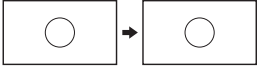
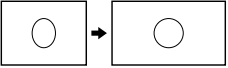
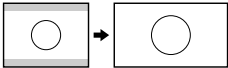
③上下カーソルボタンで「30 分」に合わせ、決定ボタンを押す

タイマーで電源を入れる（オンタイマー設定）

● 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。設定すると、本体のオンタイマー／予約ランプが赤色に点灯します。

● メニューの「機能切換」－「オンタイマー設定」で設定します。設定する場合は、「入」を選び、以下の各項目を設定します。

● オンタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計が正しく合っていることが必要です。デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合には、上記の「時刻設定」で合わせてください。

おしらせ

- オンタイマーで外部入力を使用する場合には、あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、再生状態にしておいてください。外部入力機器が再生状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。
- お出かけになるときなどオンタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は、本体の電源スイッチで電源を切るか、オンタイマーを解除し、オンタイマー／予約ランプの色を確認してください。
- 一度オンタイマーを「入」にすると「切」にするまで毎日繰り返しオンタイマーが働きます。
- オンタイマーで電源が入ってから２時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる５分前になると画面左下にメッセージが表示されます。）

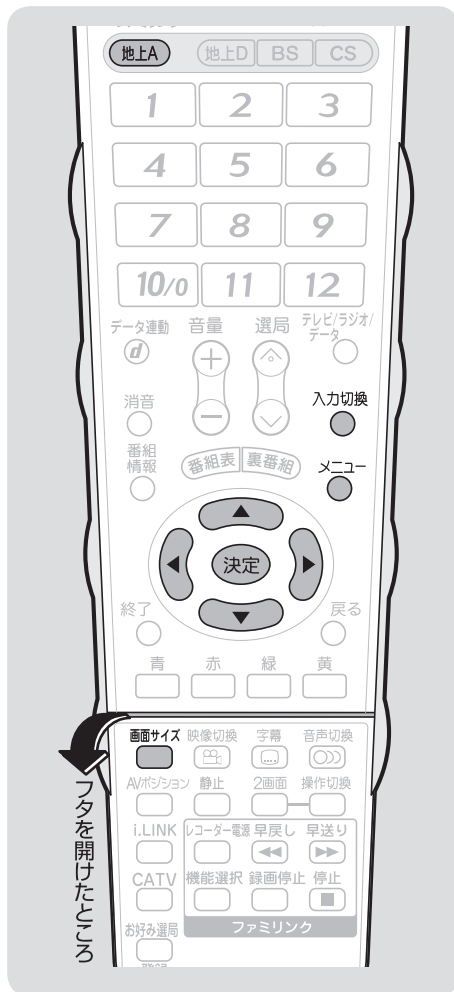
項目	内容
オン時刻（時）	タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。
オン時刻（分）	タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。
オン入力	タイマーで電源が入ったとき、画面に表示される入力（テレビ（地上A、地上D、ＢＳ、ＣＳ）、入力１～７）を選びます。入力２は、「入力２端子設定」（▶ **99** ページ）が「モニター出力」に設定されているときは選べません。
オン CH	タイマーで電源が入ったとき、画面に表示されるチャンネルを選びます。
音量	タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0 ～ 60 の範囲で選べます。

画面サイズの設定

画面サイズを切り換える

● 映像の種類（▶ **93** ページ）によって、選べる画面サイズは異なります。

ノーマル	スマートズーム	ワイド
通常のテレビ(4:3サイズ)の映像をそのまま映します。	通常の4:3映像をより自然に拡大して映します。	通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。
Dot by Dot/アンダースキャン	**フル**	**シネマ**
入力信号どおりの映像で映します。 16:9 16:9	16:9から4:3に圧縮された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。	シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

1 画面サイズ 押すボタン
画面サイズ切換メニューを表示する
- 表示中につぎの操作を行います。

2 画面サイズ
お好みの画面サイズを選ぶ
- 上下カーソルボタンでも選べます。

画面サイズ切換
ノーマル
スマートズーム
ワイド
シネマ
フル

映像の種類	選択できる画面サイズ
525i 地上アナログ放送 ビデオ映像など 525p	→ノーマル →スマートズーム →ワイド →シネマ →フル →（ノーマルへ戻る）
1125i ハイビジョン	→フル1（1080i）※ →フル2（1035i）※ → Dot by Dot →スマートズーム →ワイド →シネマ →（フル1へ戻る）
1125p ハイビジョン	→ フル → Dot by Dot →スマートズーム →ワイド →シネマ →（フルへ戻る）
750p ハイビジョン	→ フル → アンダースキャン →スマートズーム →ワイド →シネマ →（フルへ戻る）

※1080i と 1035i は、本機の画面表示（チャンネルサイン）ではどちらも「1125i」と表示されます。

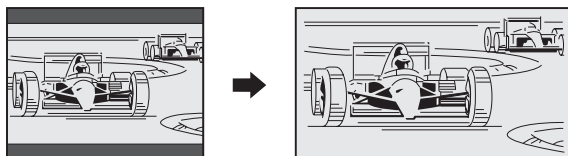
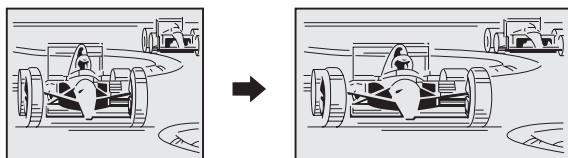
★★ 重 要

- 本機の画面サイズ切換機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を、画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては､「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換え、位置調整（▶ **86** ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能（オートワイド機能を含む）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面サイズの自動切換（オートワイド機能）

● オートワイド機能は、オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示する機能です。デジタル放送視聴時は選択できません。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像の場合

横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)の場合
(映像判別を除く)

項目	内容
映像判別	受信している地上アナログ放送や入力１～６から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」(▶ **78** ページ）にします。
S2 対応 (入力選択が「ビデオ映像」以外のとき)	入力２の S2 映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。
D 端子識別 (入力選択が「ビデオ映像」以外のとき)	入力１・２・３の D 映像端子と外部機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D端子ケーブルのときは「する」に、D- コンポーネント変換ケーブルのときは「しない」に設定します。
HDMI 識別	入力４・５・６から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

★ おしらせ

- ビデオ機器やゲーム機などを S2 映像端子や D 映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってはオートワイド機能が働かない場合があります。
- 映像判別は、D 端子から入力された映像が 525p、1125i、750p、1125p の場合は働きません。また、HDMI 端子から入力された映像が、1125i、750p、1125p の場合も働きません。
- S2 対応を設定しても、入力された映像によっては最適な画面サイズにならない場合があります。

オートワイド機能が働かないようにするには

- オートワイド機能が働いているときに、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。
  これは最適な画面サイズを探すために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、手順 **4** ～ **5** ですべての項目の設定を「しない」にしてください。

1 地上A / 入力切換 **設定したい放送や入力に切り換える**

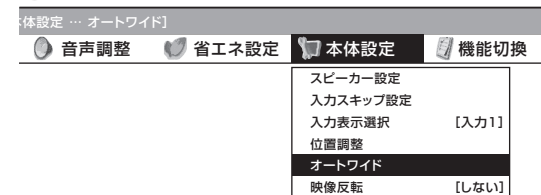
映像判別を設定するとき
- 地上アナログ放送を選局するか、入力１～６に切り換えます。

S2 対応を設定するとき
- S 端子ケーブルをつないだ入力２に切り換えます。

D 端子識別を設定するとき
- D端子ケーブルまたはD-コンポーネント変換ケーブルをつないだ入力1･2･3に切り換えます。

HDMI 識別を設定するとき
- HDMI ケーブルをつないだ入力４・５・６に切り換えます。

2 メニュー **メニューを表示する**

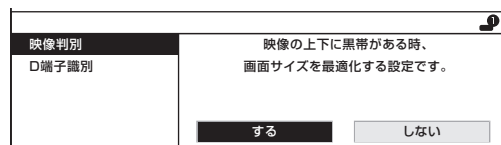
3 **「本体設定」ー「オートワイド」を選ぶ**

決定 **決定する**

4 **設定したい項目を選ぶ**

決定する

5 **「する」を選ぶ**

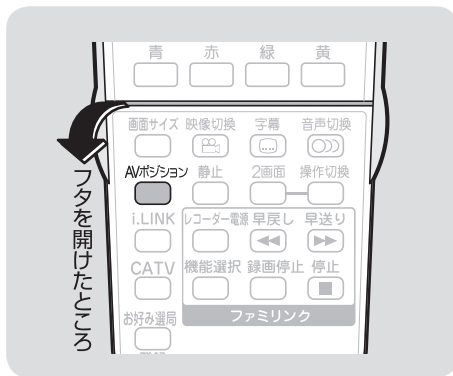
決定する

(例)映像判別の場合

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

映像と音声の設定・調整

AV ポジション（記憶されたお好みの映像・音声設定を選ぶ）

項目	内容
ダイナミック （工場出荷時の設定）	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。
標準	映像や音声の設定がすべて標準値になります。
映画	コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。
PC	PC 用の画面モードです。
xvYCC ※	広い色空間を持つ規格の xvYCC に対応します。
AV メモリー	各入力ごとにお好みの調整内容を記憶できます。
ダイナミック（固定）	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。 この設定のときは、映像調整や音声調整ができません。

※ xvYCC信号とは、従来テレビで使われている色信号では再現できなかった色を表現するための信号です。

★ おしらせ

- AV ポジションの「標準」「映画」「ゲーム」「PC」「xvYCC」は、映像調整（▶ **81** ページ）を行うと、行った調整が反映されたまま記憶されます。
  入力切換を行っても、「標準」「映画」「ゲーム」「PC」「xvYCC」は、それぞれ記憶された設定で調整されます。
- 各入力ごとに個別の調整を用意したいときは、「AV メモリー」で設定してください。
- AV ポジションは各入力ごとに別のものを選べます。（例えば、テレビは「標準」、入力 1 は「ダイナミック」など）ただし、i.LINK 入力のときはテレビのときと同じ AV ポジションになります。
- インターネットまたは IrSS™ 画面のとき、「映画」と「ゲーム」は選べません。
- 「PC」は入力 4 〜 7 選択時に表示されます。
- 「xvYCC」は、入力 4 〜 6 選択時で xvYCC 信号が入力されている時のみ選択できます。
- xvYCC 信号が入力されると AV ポジションが自動で切り換わります。

1 AVポジション

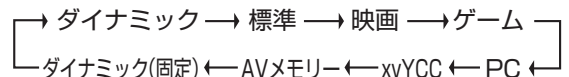
AV ポジションを表示する

- 画面左下に現在の AV ポジションが表示されます。

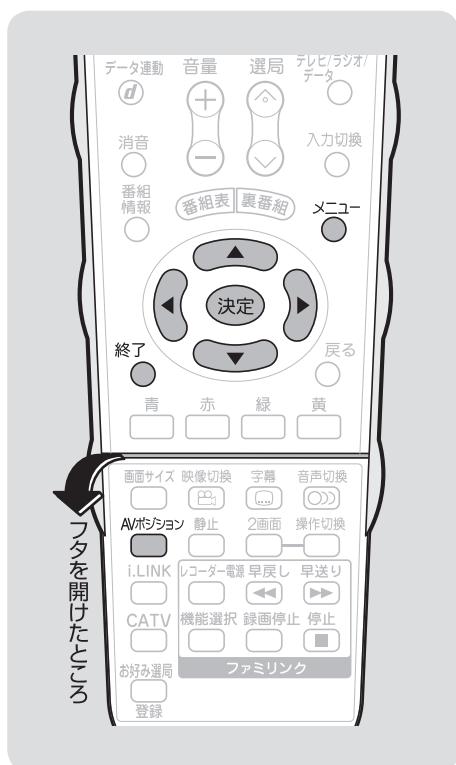
2 AVポジション

表示が出ている間に再び AV ポジションボタンを押し、お好みの設定を選ぶ

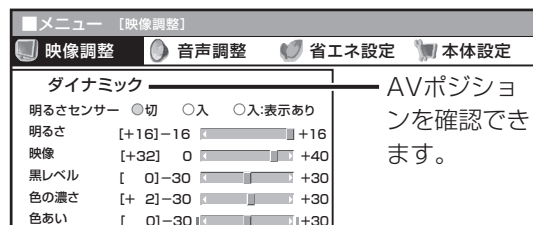
- ボタンを押すたびに、AV ポジションがつぎのように切り換わります。

→ ダイナミック → 標準 → 映画 → ゲーム → PC → xvYCC → AVメモリー → ダイナミック(固定) →（ダイナミックへ戻る）

映像調整

● 選択している AV ポジションの映像を調整できます。

項目	内容
明るさセンサー	室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを設定します。 明るさセンサーの動作する明るさの範囲を手動で調整することもできます。 （明るさセンサーの設定 ▶ **82** ページ）
明るさ	画面をお好みの明るさに調整します。調整すると明るさセンサーは「切」になります。
映像	映像の強弱を調整します。
黒レベル	画面を見やすい明るさに調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色あい	肌色を調整します。
画質	画面をお好みの画質に調整します。
プロ設定	映像をさらにきめ細かく調整します。（▶ **82** ページ）
リセット	映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

1 AVポジション　映像調整をしたい AV ポジションを選ぶ

2 メニュー　メニューを表示する

3 「映像調整」を選ぶ

- この画面から AV ポジションボタンを押して AV ポジションを切り換えることもできます。

4 調整したい項目を選ぶ

5 「プロ設定」以外を設定する場合

左右カーソルボタンでお好みの設定にする

「プロ設定」を設定する場合

決定　決定ボタンを押し、画面に従って操作する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

各項目の設定範囲については、
▶ **182・184**ページをご覧ください。

★ おしらせ

AV ポジションによる違いについて

- 「ダイナミック（固定）」では、調整できません。
- 「AV メモリー」は、入力ごとの調整となります。
- その他の AV ポジションで映像調整を行うと、すべての入力でその結果が有効になります。

次のページにつづく ▶

映像調整（つづき）

プロ設定の項目

項目	内容
カラーマネージメント※1	色の構成要素となる６つの系統色を調整し､色相･彩度・明度を変化させます。
色温度	青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。
ディテール強調	微小信号レベルを検出し、細部を強調します。
QS 駆動（120Hz）	動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。（ＱＳ…クイックシュート） 映像によっては効果が得にくい場合があります。
アクティブコントラスト	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。
Ｉ／Ｐ設定	「動画より」の設定（通常のテレビ放送やビデオなどをきめ細かい映像で楽しむモード）と「静止画より」の設定（静止画やグラフィックなどの画像を、チラツキのないなめらかな映像で楽しむモード）を切り換えます。 元がプログレッシブの映像（525p、750p、1125p）および PC 入力では、選択できません。
フィルムモード	フィルム収録のＤＶＤなど、元信号が 24 コマ／秒の映像を高画質で再生します。 ＡＶポジションが「ゲーム」のとき、元がプログレッシブの映像（525p、750p、1125p）および PC 入力では、選択できません。
３次元設定	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。 地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、選択できません。
モノクロ	白黒映像にします。
明るさセンサー設定	明るさセンサー「入」時の、稼動範囲の上限と下限をおこのみの値に設定できます。 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲が少ない場合は、明るさセンサーが働きません。

各設定値･設定項目については、「メニュー項目一覧」（▶ **182**･**184** ページ）をご覧ください。

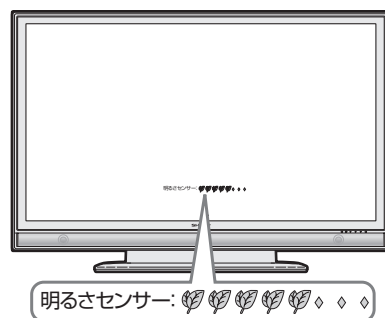
※1 カラーマネージメントの調整項目について
例: 色相の調整の場合

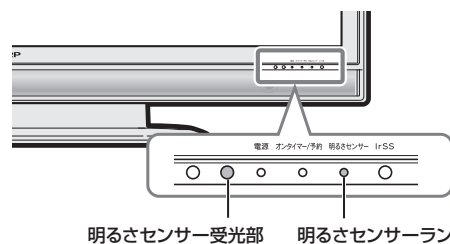
系統色	調　整 −30……………0……………+30
R(赤)	マゼンタに近づく ⟷ 黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく ⟷ 緑に近づく
G(緑)	黄に近づく ⟷ シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく ⟷ 青に近づく
B(青)	シアンに近づく ⟷ マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく ⟷ 赤に近づく

★ おしらせ

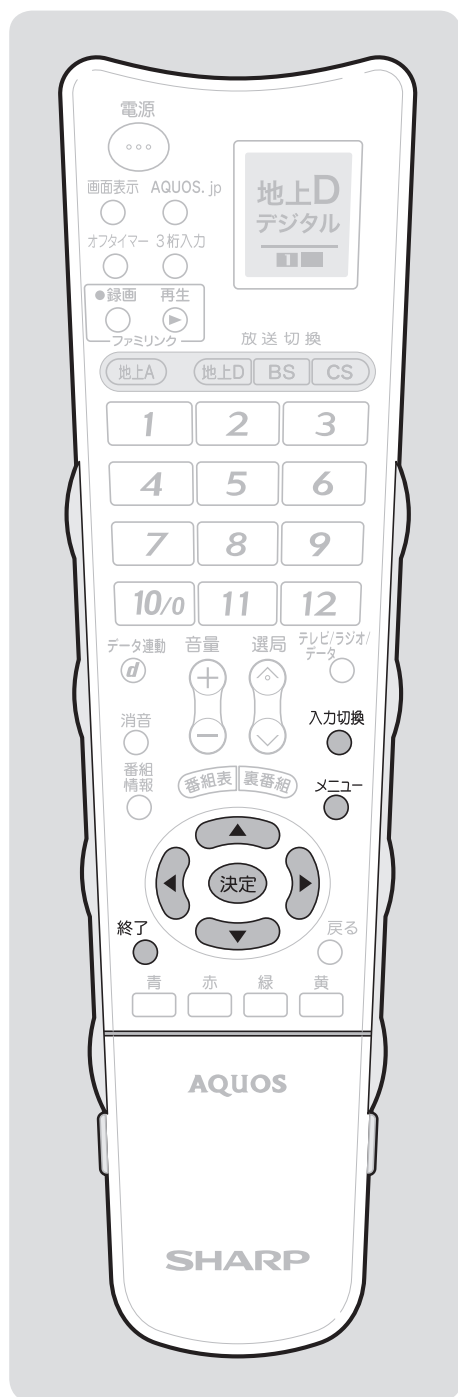
- AV ポジションごとに、お好みの映像調整を記憶できます。さきにＡＶポジション（▶ **80** ページ）を選んでから映像調整してください。
- QS 駆動（120Hz）の設定を「アドバンス」または「スタンダード」にすると映像が乱れる場合があります。その場合は「しない」にしてください。

明るさセンサーを「入：表示あり」にすると

- 自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。

※メニュー表示中は表示されません。

- 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。
- 明るさセンサーを「入」または「入：表示あり」に設定すると、明るさセンサーランプが点灯します。

工場出荷時の設定に戻したいときは

- ▶ **81** ページの手順 **4** で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

映像をすっきりさせる

映像をすっきりさせる（3 次元ノイズリダクション）

- ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。
- テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定できます。

押すボタン

1 入力切換　**設定したい入力に切り換える**

2 メニュー　**メニューを表示する**

3 **「機能切換」－「3 次元ノイズリダクション」を選ぶ**

決定　**決定する**

4 **「強」または「弱」を選ぶ**

決定　**決定する**

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

ＭＰＥＧノイズを低減する（ＭＰＥＧノイズリダクション）

- デジタル圧縮で発生したブロックノイズや文字のエッジ部分に発生しやすいモスキートノイズを低減します。
- テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定できます。

押すボタン

1 入力切換　**設定したい入力に切り換える**

2 メニュー　**メニューを表示する**

3 **「機能切換」－「ＭＰＥＧノイズリダクション」を選ぶ**

決定　**決定する**

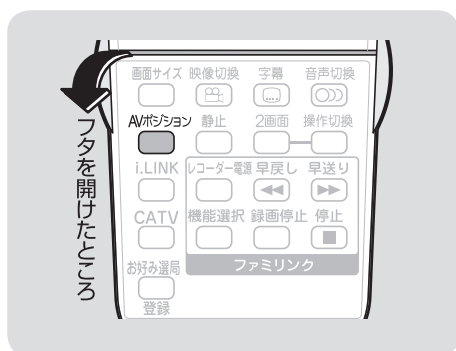
4 **「強」または「弱」を選ぶ**

決定　**決定する**

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

音声調整

- 選択している AV ポジションの音声を調整できます。
- お客様が実際にお使いの音量で調整してください。

項目	内容
高音	高音を調整できます。
低音	低音を調整できます。
バランス	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
サラウンド	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるマルチチャンネルサラウンド空間を実現します。
リセット	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

おしらせ

- 次の場合は音声調整が行えません。
  - AV ポジションを「ダイナミック（固定）」にしているとき
  - ヘッドホンを接続しているとき（「ヘッドホン設定」が「モード 2」のときを除く）
  - 入力 2 端子設定を「モニター出力（可変）」に設定しているとき
  - ファミリンク機能選択メニューで「AQUOS オーディオで聞く」に設定しているとき
- ヘッドホンで音声を聴いているときは、サラウンドの効果が得られません。
- モニター出力（録画出力）／入力 2 端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
- 放送や DVD などのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。その際はサラウンドを「切」にしてお楽しみください。
- ＡＶポジションごとに、お好みの音声調整を記憶できます。さきにＡＶポジション（▶ **80** ページ）を選んでから音声調整を行ってください。

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 手順 **4** で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
  左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

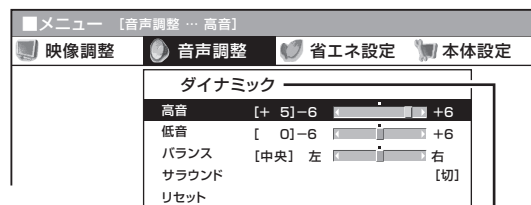
押すボタン

1

音声調整をしたい AV ポジションを選ぶ

2

メニューを表示する

3 **「音声調整」を選ぶ**

選択中のAVポジションが表示されます。

- この画面から AV ポジションボタンを押して AV ポジションを切り換えることもできます。

4
調整したい項目を選ぶ

5 **「高音」「低音」「バランス」を設定する場合**
左右カーソルボタンでお好みの設定にする

「サラウンド」を設定する場合

決定ボタンを押す

「入」または「切」を選ぶ

決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

設定範囲については、▶ 182ページをご覧ください。

視聴環境に適した音質の設定

● この機能は、当社が開発した視聴環境に適した音質の設定機能です。

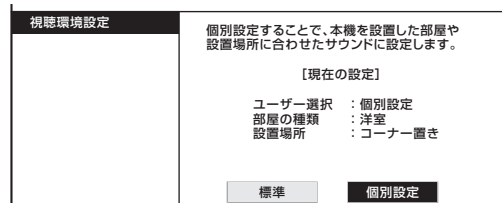
1 メニューを表示する

2 「本体設定」－「スピーカー設定」を選ぶ

決定する

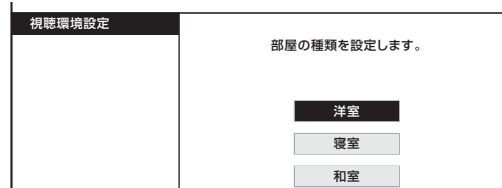
3 「視聴環境設定」で決定する

4 「個別設定」を選ぶ

決定する

•「標準」は、設定オフの状態になります。

5 視聴している部屋の種類を選ぶ

決定する

視聴環境設定
部屋の種類を設定します。
洋室
寝室
和室

洋室	フローリングの床のように反響の大きい部屋の場合に選びます。
寝室	ベッドなどの音声を吸収するものがある部屋の場合に選びます。
和室	畳部屋で音声を吸収する大きな家具がない部屋の場合に選びます。

6 本機の設置場所を選ぶ

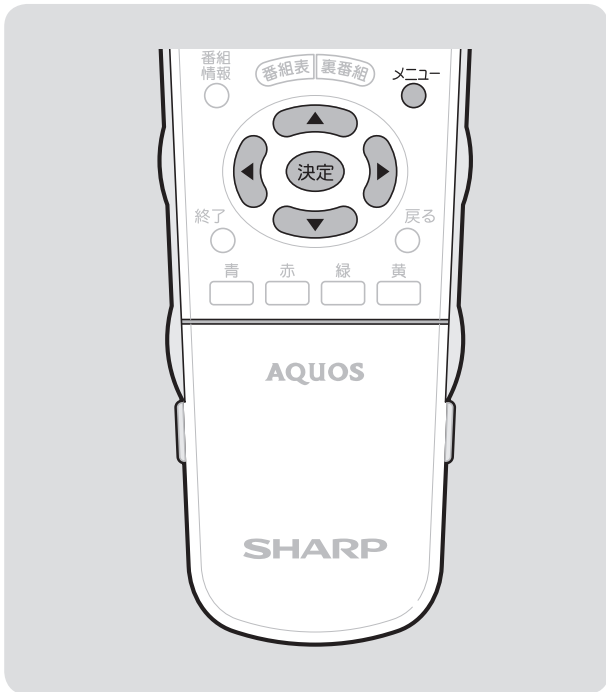
決定する

視聴環境設定
設置場所を設定します。
壁寄せ　コーナー置き

壁寄せ	部屋の壁面に平行に設置している場合に選びます。
コーナー置き	部屋の角に設置している場合に選びます。

• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★おしらせ

・ 視聴環境設定は、一般的な洋室、寝室、和室を目安に音を設定していますが、部屋によっては効果が分かりにくい場合があります。その場合は、音声調整で調整してください。

画面の位置を調整する（位置調整）

● メニューの「本体設定」－「位置調整」で設定します。（インターネット閲覧時はできません。）

項目	内容
水平位置	画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
垂直位置	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
リセット	工場出荷時の状態に戻します。

映像の向きを変える（映像反転）

● 映像を反転して映せます。映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利です。
● メニューの「本体設定」－「映像反転」で設定します。
● 決定ボタンを押さなくても、選択しただけで画面が反転します。

項目	内容	
しない	通常の表示にします。（工場出荷時の設定）	ABC
左右反転	左右を反転します。	ƆBA
上下反転	上下を反転します。	∀BC
上下左右	上下左右を反転します。	ƆB∀

★ おしらせ
・ メニューも反転表示されます。
・ 音声は左右反転しません。

音声だけを楽しむ（映像オフ）

● メニューの「機能切換」－「映像オフ」で設定します。

項目	内容
する	映像を消して、音声だけを楽しめます。
しない	映像と音声を楽しむ通常の状態にします。

★ おしらせ
・ 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
・ 操作により映像が復帰したり、一度電源「切」の状態にすると、自動的に設定が「しない」になります。

映像を復帰させたいときは

・ 選局ボタン（緑）を押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。

録画・再生機器をつなぐ

録画した映像や DVD を再生する

再生機器をつなぐ

● お手持ちの録画･再生機器の出力端子を確認し、高精細･高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

おしらせ

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（㊥と㊥、㊀と㊀、㊍と㊍）につなぎます。
- 映像の種類と画質について ▶ **93**・**194** ページ
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。

- HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ 1 HDMI ケーブルは、必ず市販の HDMI 規格認証品をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

※ 2 入力 2 の S2 映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定できます。（S2 対応▶ **79** ページ）

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

★ おしらせ

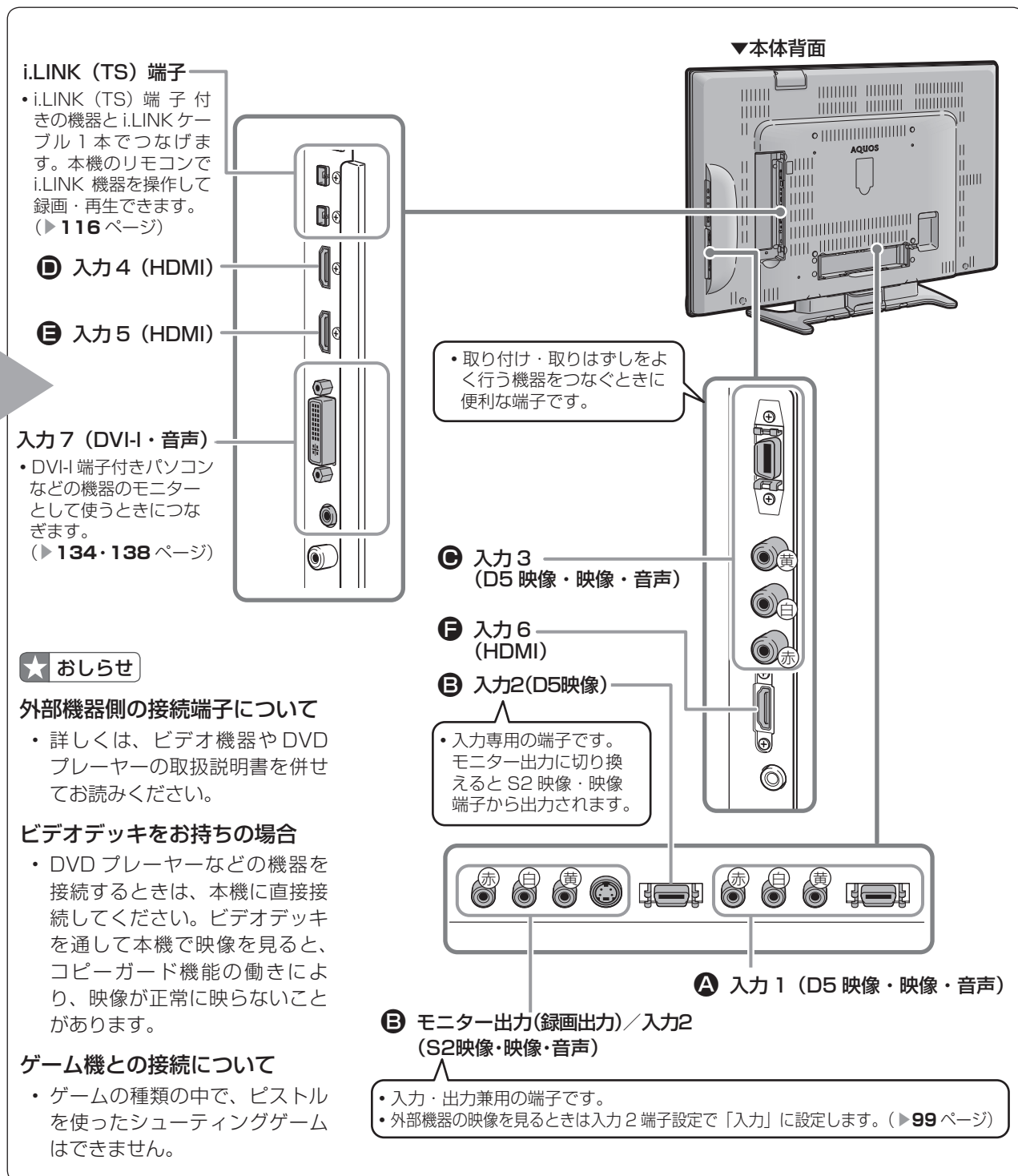
外部機器側の接続端子について

- 詳しくは、ビデオ機器や DVD プレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

ビデオデッキをお持ちの場合

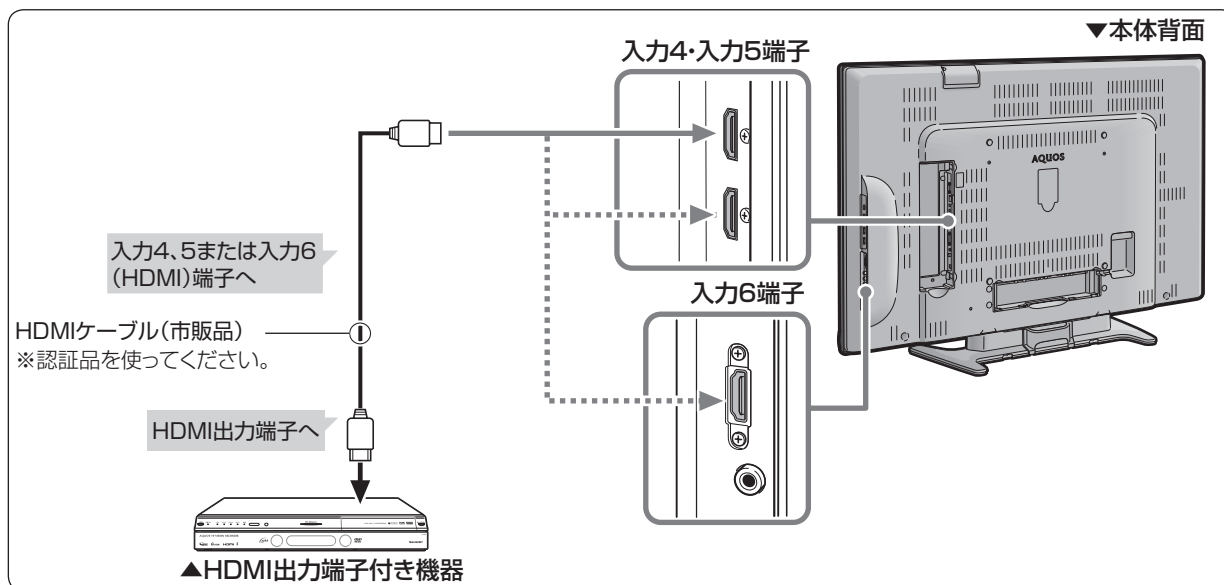
- DVD プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

ゲーム機との接続について

- ゲームの種類の中で、ピストルを使ったシューティングゲームはできません。

再生機器をつなぐ（つづき）

HDMI 出力端子付き機器の接続のしかた

● HDMI 端子は、映像と音声の信号を 1 本の HDMI 認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる新しい規格の専用端子です。

● HDMI 出力端子付き機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力 4」、「入力 5」または「入力 6」を選びます。

・HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ HDMI ケーブルは、必ず市販の HDMI 規格認証品をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

おしらせ

・HDMI 入力では、HDMI ケーブルによっては、映像にノイズが発生する場合があります。HDMI 認証ケーブルを使用してください。

・HDMI接続時、xvYCC信号※が入力されているときは、入力表示に信号名が表示されます。
※ xvYCC信号とは、従来テレビで使われている色信号では再現できなかった色を表現するための信号です。

対応している映像信号

● VGA、525i（480i）、525p（480p）、
1125i（1080i）、750p（720p）、
1125p（1080p）

● PCの接続と対応する信号について、詳しくは▶ **134**ページをご覧ください。

対応している音声信号

● 種類：リニア PCM
サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

HDMI出力端子付き機器がファミリンク対応AQUOSレコーダーやAQUOSオーディオなどの場合は、本機のリモコンで操作できます。
詳しくは▶ **106**ページをご覧ください。

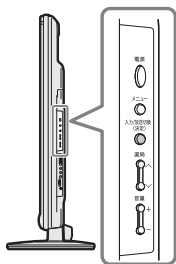
録画した映像や DVD の映像を見る（入力切換）

★ おしらせ

- 本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも入力を切り換えられます。

▼本体

このときは次の順で切り換わります。

→地上 A→地上 D→BS→CS→IrSS™→i.LINK（接続時）→入力1～7→（地上 Aに戻る）

放送の種類も切り換えられます。

- 本体の入力／放送切換（決定）ボタンで切り換えるときは、入力切換メニューは表示されません。

灰色で表示した手順は外部機器の操作です。

押すボタン

1 外部機器を本機に接続し、電源を入れる
再生したいビデオテープやディスクをセットする

2 入力切換　入力切換メニューを表示する

- 表示中につぎの操作を行います。

3 入力切換　機器を接続した入力名を選ぶ

- 選択した入力に切り換わります。
- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 例えば、本機の入力 1 に接続した機器の映像を見たいときは、「入力 1」を選びます。

入力切換メニューの表示について

- 入力 1 ～入力 3 は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINK は、i.LINK 機器を接続し、「機器選択」（▶ **119** ページ）をしているときのみ選べます。
- 入力 2 は、入力 2 端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（▶ **99** ページ）

4 外部機器を再生状態にする

- 外部機器の再生映像が本機の画面に表示されます。

入力切換について

入力切換の表示をお好みの機器の名称に変える

● 入力 1 ～ 7 に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。
例えば、入力 3 にゲーム機をつないだとき、入力切換メニューの「入力 3」を「ゲーム」の表示にできます。

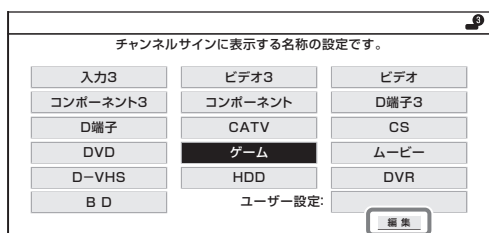
● お好みの名称を入力できる「ユーザー設定」の「編集」機能もあります。

例）入力3を「ゲーム」の表示にする

1 入力切換
変更したい入力を選ぶ
・ここでは「入力 3」を選びます。

2 メニュー
メニューを表示する

3
「本体設定」－「入力表示選択」を選ぶ
決定 **決定する**

4
表示させたい名称を選ぶ
・ここでは「ゲーム」を選びます。
決定 **決定する**

ユーザー設定について
• お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。
（文字入力のしかた▶ **142**ページ）
• ここで入力できるのは全角で5文字まで、半角で10文字までです。

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★おしらせ
・入力ごとに設定できる名称は異なります。

表示できる名称について

入力1／入力2／入力3

入力1　※	ビデオ1　※	ビデオ
コンポーネント1 ※	コンポーネント	D端子1　※
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR
BD		

※「入力2」選択時は、入力2 ビデオ2 コンポーネント2 D端子2 などの表示になります。（入力3も同様）

入力4／入力5／入力6

（自動）入力4※	入力4　※	ビデオ4 ※
ビデオ	HDMI	HDMI1　※
DVD	ゲーム	DVR
HDD	BD	

※「入力5」選択時は、（自動）入力5 入力5 ビデオ5 HDMI2 の表示になります。（入力6も同様）
• HDMI機器を接続し、「（自動）入力4」の表示に設定されている場合、表示の内容が変わることがあります。（「自動（入力5）」「自動（入力6）」も同様）

入力7

入力7	ビデオ7	ビデオ
DVI-I	DVD	ゲーム
PC		

入力１～３の映像が表示されないときは（入力選択）

● 入力１～入力３の映像が表示されない場合、以下の操作を行ってください。

押すボタン

1 入力切換　表示されない入力(入力１～３)を選ぶ

2 メニュー　メニューを表示する

3 「機能切換」－「入力選択」を選ぶ

決定　決定する

4 「D 端子」「S 端子」「ビデオ映像」のいずれかを選ぶ

決定　決定する

- 工場出荷時の設定は「自動」です。
- 「自動」の場合、D 端子→ S 端子→映像端子の優先順位で映像が表示されます。(S 端子は入力２のみです。)

入力４～７・IrSS™ を飛ばして入力を切り換えたいときは（入力スキップ設定）

● 入力４～７・IrSS™ を使用しないため、入力切換の際にこれらを飛ばして切り換えたい場合は、以下の操作を行ってください。

押すボタン

1 入力切換　飛ばしたい入力（入力４～７・IrSS）を選ぶ

2 メニュー　メニューを表示する

3 「本体設定」－「入力スキップ設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「する」を選ぶ

決定　決定する

- 入力４～７に機器をつないでいないときや IrSS™ 機能を使わないときに便利です。
- 同様に、本体の入力／放送切換（決定）ボタンで入力／放送を切り換える場合に地上 A、地上 D、BS、CS を飛ばして切り換える（スキップする）設定もできます。

見られる映像の種類について

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

1125p、750p、1125i、525p、525i、VGA

- 対応している音声信号はリニア PCM、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

D端子につないで見られる映像の種類

D端子の種類	映像の種類
D5	1125p、750p、1125i、525p、525i
D4	750p、1125i、525p、525i
D3	1125i、525p、525i
D2	525p、525i
D1	525i

おしらせ

- 映像の種類について詳しくは、▶ **194** ページをご覧ください。

デジタル放送の録画と予約について

番組予約（「視聴予約」と「録画予約」）のながれ

（詳しくは、▶96～103ページ）

1 デジタル放送を視聴中に電子番組表（EPG）を表示させる

▼電子番組表（EPG）

2 予約したい番組を選ぶ

・日時指定やジャンル検索で選ぶこともできます。

3 予約の種類を選ぶ

▼予約選択画面

「予約しない」を選ぶと、予約しないで番組表に戻ります。

視聴予約	録画予約
視聴するための予約です。予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。	録画するための予約です。予約した時刻になると、予約した番組の録画信号が出力されます。

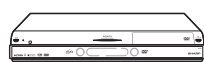
次ページの手順5へ　　手順4へ

4 録画機器を選ぶ（録画予約の場合）

▼予約選択画面

ファミリンク[1]（標準）

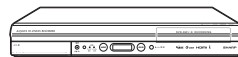
（▶113ページ）

予約した時間に合わせ、ファミリンク対応の録画機器を録画開始、終了させます。

ファミリンク対応録画機器

ファミリンク[2]（i.LINK）

（▶124ページ）

予約した時間に合わせ、ハイブリッドダブレコ※に対応した AQUOS レコーダーでダブレコを行います。

• その他の i.LINK 機器を接続した場合は、i.LINK 機器を録画開始、終了させます。

i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキ・AV-HDDレコーダー・Blu-ray Discレコーダー

• ファミリンク [2]（i.LINK）に対応した AQUOS レコーダーを接続した場合は、ダブレコを行えます。その他の i.LINK 機器を接続した場合は、i.LINK 機器を録画開始、終了させます。

VHSテープ予約

（▶102ページ）

本機と録画機器とで同時に録画予約を設定する場合、これを選びます。

外部入力に対応している録画機器

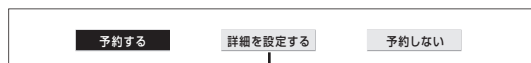
※ ハイブリッドダブレコについて：対応のAQUOSレコーダーでは、レコーダーのチューナーで録画している時間でもAQUOSのチューナーを利用して2番組同時録画する機能です。詳細はレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

・現在接続されている機器が表示されます。

・ファミリンク[1][2]は、機器が接続されていない場合は選択できません。予約する前に機器を接続してください。

5 「予約する」を選ぶ

- 無料放送や契約済みの番組を予約します。

▼視聴予約・ファミリンク[1](標準)予約の場合　　▼VHSテープ予約・ファミリンク[2](i.LINK)予約の場合

「詳細を設定する」を選んだ場合は

- PPV 番組（有料番組）を購入できます。（▶ **103** ページ）
- 複数の映像や音声のある番組を予約したときは、録画する映像・音声を選択したり追加購入の設定ができます。（▶ **103**・**125** ページ）
- ファミリンク [2](i.LINK) で予約した場合は、録画する i.LINK 機器を変更できます。(▶ **125** ページ)

6 「戻る」を選び、予約を終了する

- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

予約を設定した後に電源を切る場合は、リモコンの電源ボタン（赤）でお切りください。

VHS テープ予約を設定した場合は、接続している録画機器側での予約設定が必要です。

★★ 重 要

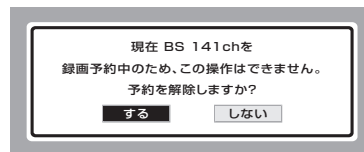
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- デジタル放送のほとんどの番組には「1 回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。詳しくは下記へお問い合わせください。

コピー制御お問合せセンター
電話：0570-000-288（午前 10 時～午後 8 時）（2007 年 6 月現在）

★ おしらせ

- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「VHS テープ予約」で録画することをおすすめします。
- 録画予約が設定されている場合は、デジタル固定が解除されます。
- 最大 16 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（▶ **105** ページ）が必要です。
- 別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 番組が開始する 2 分前までに予約を完了してください。開始 2 分前になると、予約ができません。
- 本機で受信したデジタル放送の 16：9 映像を録画機器に録画するとき、録画した映像を 4：3 のテレビで見る場合の画面サイズを設定できます。（▶ **76** ページ）
- テレビの電源が切れている場合は、デジタル音声出力 (光) 端子からは、出力されません。MD へ予約録音する場合は、視聴予約を設定してください。

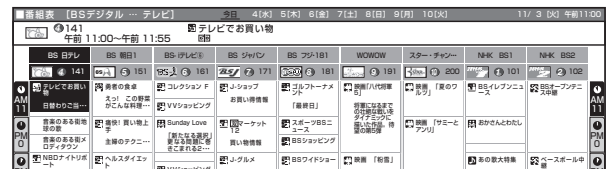
実行中の録画予約を解除するには

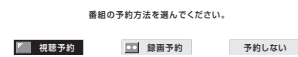
- 2 画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面を操作画面にします。それから、数字ボタンなどで選局操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

視聴予約する

- 電子番組表（EPG）で視聴予約すると､設定した時刻に自動的に予約した番組に切り換わります。（電源待機状態のときは、自動的に電源が入ります。）
- 見たい番組の見逃しを防いだり、番組開始までテレビを消しておきたい場合などに便利です。

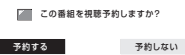
1 番組表　電子番組表を表示する

2 予約したい番組（まだ放送されていない番組）を選ぶ

決定　決定する

・ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **65** ページ）

3 「視聴予約」を選ぶ

決定する

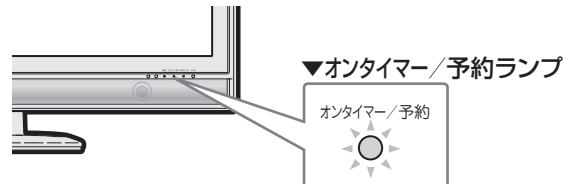
4 「予約する」を選ぶ

決定　決定する

5 決定　「戻る」で決定する

・視聴予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

・電源を切るときは、本機をリモコンで電源「切」（待機状態）にしてください。

★おしらせ

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 録画予約と合わせて、最大 16 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（▶ **105** ページ）が必要です。
- 予約を確認することもできます。（▶ **105** ページ）
- 別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。

デジタル放送の録画について

● お持ちのビデオデッキなどにデジタルチューナーが付いていない場合でも、本機のモニター出力（録画出力）／入力２端子と接続し、本機で受信したデジタル放送を録画できます。
（録画 ▶ **98** ページ、予約録画 ▶ **100** ページ）

● 電子番組表で録画予約を設定すると、モニター出力（録画出力）／入力２端子から録画出力信号が出力されます。

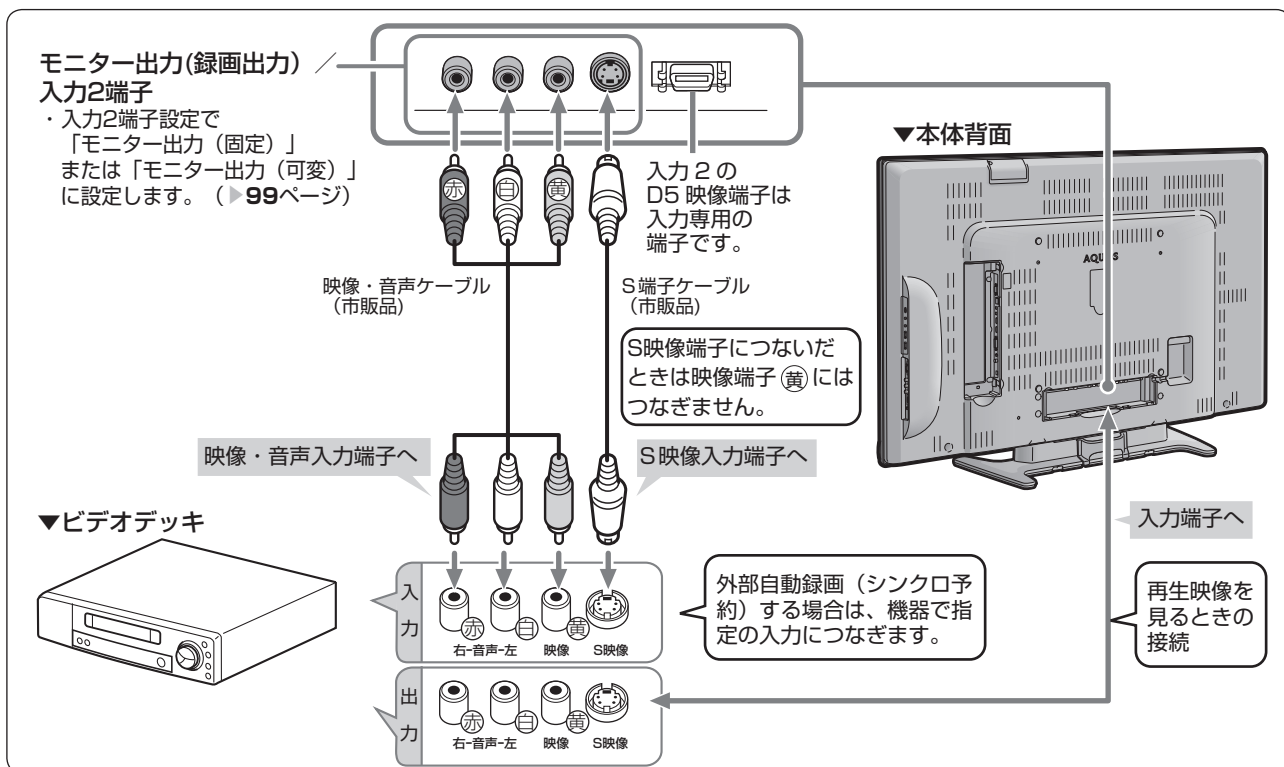
★★ 重 要

・本機のモニター出力（録画出力）／入力２端子と接続した場合、**標準画質**で録画されます。ハイビジョン画質の映像をハイビジョン画質のまま録画するときは、i.LINK機器をi.LINK接続して行ってください。（▶ **116** ～ **125**ページ）

★ おしらせ

・デジタル固定、録画予約、およびモニター出力にはデジタル放送の字幕やデータ放送は出力されません。
・番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。
・著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを通してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とビデオデッキを直接接続してお楽しみください。
・あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオデッキを接続する

● 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。

外部自動録画（シンクロ予約）とは

● 外部自動録画（シンクロ予約）とは、録画機器側で録画出力信号を受信すると、これに連動して電源が入り、録画を開始する機能です。（詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。）

● お持ちの録画機器に外部自動録画機能（シンクロ予約機能）が付いている場合、録画機器で同じ日、時、チャンネルなどの予約録画内容を設定しなくても予約録画できます。
シンクロ予約機能が付いていない場合は、接続している録画機器側での予約設定が必要です。
（▶ **100** ページ）

ビデオデッキで録画する

灰色で表示した手順は外部機器の操作です。

1 録画機器を本機につなぐ
- 録画機器と本機の電源を切ってから接続してください。

2 本機の電源を入れる

3 入力２端子を出力用に切り換える（▶ 99 ページ）
- メニューの「機能切換」－「入力２端子設定」で「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に設定します。
- 「外部機器の映像／音声も出力しますか？」の画面では「しない」に設定します。

4 録画機器の電源を「入」にし、録画の準備をする
- 録画機器を本機とつないだ外部入力に切り換えます。

5 録画するデジタル放送の番組を選局する

（NHK ハイビジョンを選局したときの画面表示例）

6 録画機器側の録画操作をする
- 録画が始まります。

★★ 重要

録画中に他の番組を見たいときは
- 録画中にデジタル放送の他の番組を選局するとその番組が録画されてしまいます。
  録画する番組を変えずに、他の番組を見たいときは、右の「デジタル固定」を設定します。
- 録画中にインターネットの画面を見ることもできます。インターネットの画面を表示しても、録画は継続されます。

★ おしらせ
- 録画機器の操作については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 字幕やデータ放送は録画できません。

録画中のチャンネルを固定する（デジタル固定）

- デジタル放送を予約なしで録画している場合、途中で本機のチャンネルを変えたり電源待機状態にしても、デジタル固定中は、固定した信号がモニター（録画）出力されます。
- デジタル固定すると、以下のような使いかたができます。
  - 録画中に他のチャンネルを見る
  - 録画しながら休みたいので、本機のリモコンで電源を切る

1 録画するチャンネルを選ぶ

2 メニューを表示する

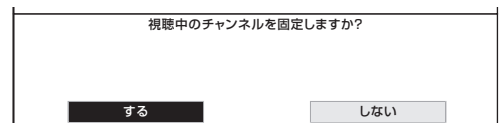
3 「機能切換」－「デジタル固定」を選ぶ

決定する

4 「する」を選ぶ

決定する

視聴中のチャンネルを固定しますか？

する　　しない

- 視聴中のデジタル放送のチャンネルに固定されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★ おしらせ
- デジタル固定中に手順 **1** ～**3**を行うと、「BS xxxch 固定中です。操作するには設定を解除する必要があります。デジタル固定を解除しますか？」の表示になります。
- デジタル固定を解除するときは、手順 **4** で「しない」を選び、決定します。
- 予約録画実行中や i.LINK 入力時は、デジタル固定にできません。
- デジタル固定した録画中の番組を他の番組を見ながら確認するには２画面ボタンを押します。２画面の右側に録画中の番組が表示されます。
- 録画予約の準備が始まると、デジタル固定は自動的に解除されます。（▶ 104 ページ）
- 本体の電源スイッチを切ると、デジタル固定が解除されます。

入力 2 端子を出力用に切り換える（入力 2 端子設定）

● 背面のモニター出力（録画出力）／入力 2 端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。
録画出力として使用するときは、必ず「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に設定してください。

おしらせ

- オンタイマー（▶ **77** ページ）で「オン入力」を「入力 2」に設定しているときは、入力 2 端子設定ができません。

モニター出力（固定）について

- 音声出力端子から出力される音量レベルが一定の大きさで固定されます。
- スピーカーの音量を調整しても音声出力端子の音量レベルは変わりません。

モニター出力（可変）について

- スピーカーからは音声が出ません。
- 音声出力端子から出力される音量レベルを、音量ボタン（青）で調整できます。
- メニューの「音声調整」の設定はできません。

モニター出力（固定）またはモニター出力（可変）に設定時に出力される信号

モニター出力の設定には以下の制約があります。

- 録画予約中は、予約番組（デジタル放送）を出力します。
- デジタル固定中は、固定したデジタル放送を出力します。
- （RCA）ビデオ端子は、D5 映像端子、HDMI、DVI からの入力は出力されません。
- S2 端子は、デジタル放送のみ出力されます。

出力 ＼ TV視聴状況	モニター出力(録画出力)／入力2	
	S2端子	映像端子
地上アナログ	×	○
地上D/BS/CS	○	○
ビデオ映像	×※1	○※1
D端子映像	×※1	×※1
HDMI信号	×※1	×※1
DVI信号	×※1	×※1

※ 1 デジタル固定中は、固定したデジタル放送を出力します。録画予約実行中は、予約した番組を出力します。

おしらせ

- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

1 メニューを表示する

2 「機能切換」－「入力 2 端子設定」を選ぶ

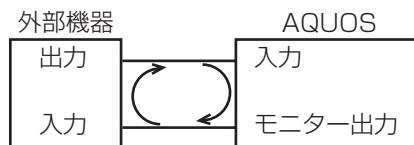
決定する

3 「モニター出力（固定）」「モニター出力（可変）」「入力」のいずれかを選ぶ

決定する

- 本機の映像を録画したいときは、「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」を選びます。
- 外部機器の映像を見たいときは、「入力」を選びます。

「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」を選んだ場合

- 「外部入力の映像／音声も出力しますか？」という表示が出ます。
- 本機と録画機器をループ接続（下図）している場合、「しない」にします。「する」を選ぶと、ハウリング（ブー音）や画面の乱れが生じます。

4 「する」または「しない」を選ぶ

決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

ビデオデッキで予約録画するとき（VHS テープ予約）

● お使いのビデオデッキにより、次の方法で予約録画を行います。

予約録画の設定開始

録画機器と本機の電源を切る

↓

録画機器を本機につなぐ ▶97ページ

↓

本機の電源を入れる ▶37ページ

↓

入力2端子を出力用に切り換える ▶99ページ

↓

電子番組表（EPG）で、予約録画したい番組をVHSテープ予約する
▶102ページ

• 予約設定後、リモコンで本機の電源を「切」にします。

外部自動録画に対応していないビデオデッキなどをお使いの場合は、個別の録画機器への予約が必要です。予約したい番組のチャンネル、録画日、開始時刻、終了時刻をメモしておきましょう。

↓

外部自動録画（シンクロ予約）に対応しているビデオデッキの場合

↓

録画機器側の設定をする

① 録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定します。

② 録画用ビデオテープやディスクを入れ、録画の準備をします。

③ 録画機器のリモコンで電源を「切」にします。（予約開始前に本機の電源を入れると、予約前の放送が録画されてしまいます。）

↓

設定完了

外部自動録画に対応していないビデオデッキなどの場合

↓

録画機器側の設定をする

① 本機で設定した予約と同じ日付・時刻を、録画機器の予約機能で設定します。（上で作成したメモをご覧ください。）

② 予約するチャンネルは、本機を接続した外部入力に設定します。

③ 録画用ビデオテープやディスクを入れ、録画の準備をします。

④ 録画機器のリモコンで電源を「切」にします。

↓

設定完了

● 予約開始時刻になると、録画機器の電源が入り、本機で受信したデジタル放送を録画機器側で録画開始します。

● 予約終了時刻になると、録画機器の電源が切れます。

★★ 重 要

- ファミリンク機能で録画・再生するときは▶ **106** ページ
- 予約録画する前に、必ず試し録りをしてください。
- 番組が始まる２分前までに予約をしてください。開始２分前になると、予約できません。
- 録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定しているときに本機の電源を入れると、モニター出力（録画出力）／入力２端子から信号が出力されるため、録画機器で録画が始まります。不要な録画を避けるためには、録画予約が終了したあとは、録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を「しない」状態にしてください。
- 録画機器は起動時に選局しているチャンネルの映像を録画するので、他のチャンネルでのタイマー録画が先に実行されると、予約開始時間になっても他のチャンネルを録画し続けます。

録画予約設定後に電源を切るときのご注意

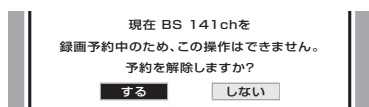
- リモコンの電源ボタン（赤）で「切」にしてください。本体の電源スイッチ（赤）で「切」にした場合は、予約が実行されません。

★ おしらせ

- 録画機器がどの方法に対応しているかは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 「外部自動録画に対応しているビデオデッキ」の場合は、番組の延長や放送時間の変更に追従して、録画できます。
- 録画予約実行前になると、デジタル固定が解除されます。
- 本機のデジタル音声出力（光）端子に MD をつないで予約録音する場合は、録画予約ではなく、視聴予約を設定してください。
- ラジオ放送を MD で録音するときは、デジタル音声出力（光）端子の設定（デジタル音声設定）を「PCM」にしてください。（▶ **126** ページ）
- 字幕やデータ放送は録画できません。

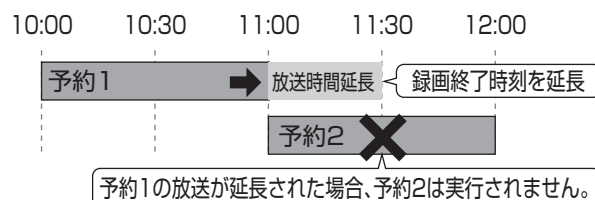
実行中の録画予約を解除するには

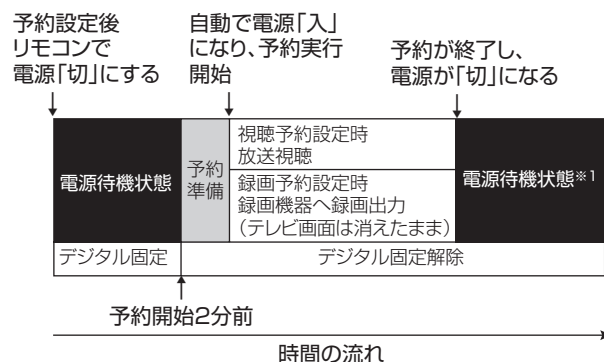
- ２画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面（右側の画面）を操作画面にします。それから、数字ボタンなどで選局操作をしてください。「予約を解除しますか？」と表示されたら左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 141chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

電子番組表（EPG）から予約した番組の放送時間が変更されたときは

- 変更された放送時間に合わせて、視聴または録画できます。
  ［例］**録画予約したスポーツ中継が延長された場合**
  →スポーツ中継が終了するまで録画します。

  録画予約したドラマの放送時間がスポーツ中継の延長で遅れた場合
  →遅延した放送時間で録画します。
  ただし、放送局からの情報によっては、番組の時間変更に対応できない場合もあります。

- 延長した予約と他の予約が重なったときは、他の予約は実行されません。

- 外部自動録画に対応していないときは、放送時間の変更後は録画されません。

予約設定時から予約終了後までの本機の動作

※１ 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

デジタル固定の自動解除について

- デジタル固定中に視聴・録画予約開始２分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

電子番組表（EPG）で VHS テープ予約する

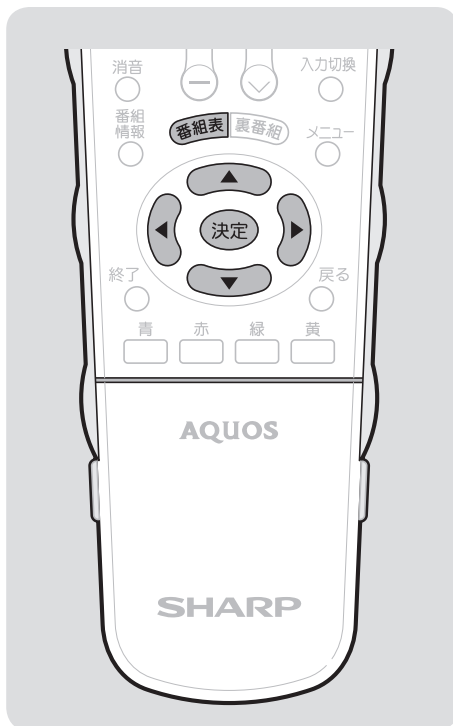
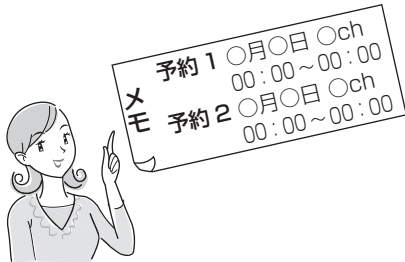
★★ 重要

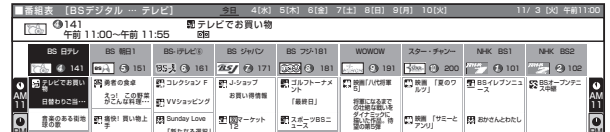
- 番組開始の 2 分前から予約準備が始まります。

★ おしらせ

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と契約していないと、予約どおりの録画ができません。
- 最大 16 番組まで予約できます。さらに予約したいときは、既存の予約を取り消してください。（▶ **105** ページ）
- 予約を確認することもできます。（▶ **105** ページ）

外部自動録画に対応していないビデオデッキなどの場合

- 手順 **2** で予約する番組を選ぶ際に、番組のチャンネル、録画日、開始時刻、終了時刻をメモしておくと、手順 **6** の後で録画機器側で同じ予約を設定するときに役に立ちます。

押すボタン

1 電子番組表(EPG)を表示する

2 予約したい番組を選ぶ

決定する

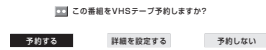
- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **65** ページ）

3 「録画予約」を選ぶ

 決定する

4 「VHS テープ予約」を選ぶ

 決定する

5 「予約する」を選ぶ

 決定する

- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
- 「詳細を設定する」を選び、決定したときは「予約の詳細設定」（▶ **103** ページ）に進みます。

6 決定 「戻る」で決定する

- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

- 電源を切るときは、本機をリモコンで電源「切」（待機状態）にしてください。

予約の詳細設定

- 複数の映像や音声が含まれる番組を予約したときに、録画したい映像や音声を選ぶことができます。
- 映像（最大４つ）や音声（最大８つ）の数は、番組によって異なります。

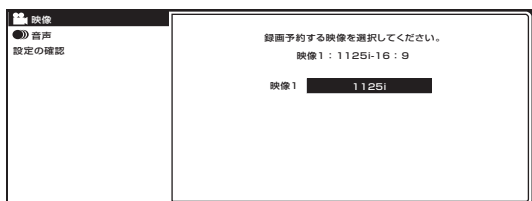
1 ▶ **102ページの手順１～４を行う**

2 **「詳細を設定する」を選ぶ**

決定する

3 **「映像」または「音声」を選ぶ**

決定する

- マルチビュー（いろいろな角度から見た映像）を含む番組を予約したいときは、「マルチビュー」も選べます。

4 **録画したい映像や音声を選ぶ**

決定する

5 **「設定の確認」を選ぶ**

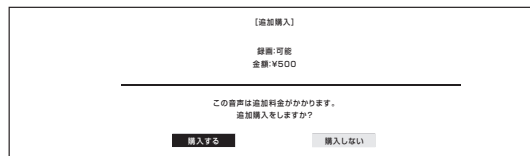
決定する

6 **画面に表示された内容を確認する**

「確認」で決定する

- 番組表に戻ります。番組表ボタンを押すと、番組表が消えます。
- 電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで切ります。
- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

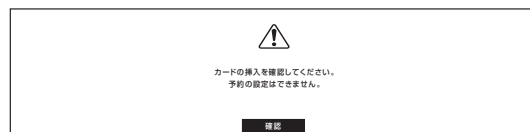
★ おしらせ

- 映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。「購入する」または「購入しない」を選んで決定ボタンを押します。

- 「詳細を設定する」を選んで決定したとき、以下のようなメッセージが表示されることがあります。

詳細設定時のメッセージ

視聴制限のある番組を予約したとき

- 数字ボタンで暗証番号を入力してください。（▶ **132** ページ）

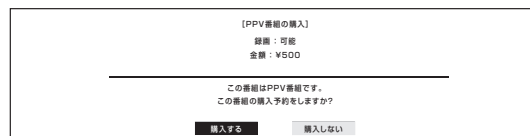
B-CAS カード未挿入で有料番組を予約したとき

- B-CAS カードを挿入（▶ **36** ページ）してから、予約しなおしてください。

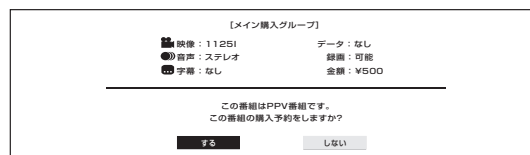
非契約の有料番組を予約したとき

- 契約してから予約しなおしてください。

PPV 番組を予約したとき

- PPV 番組とは、「番組単位」で購入予約が必要な有料番組のことで、「ペイ・パー・ビュー」ともいいます。

（予約の方法が VHS テープ予約の場合）

- 「購入する」または「購入しない」を選んで決定ボタンを押してください。

（予約の方法がファミリンク [2]（i.LINK）予約の場合）

- 「する」または「しない」を選んで決定ボタンを押してください。

録画と予約のこんなときは

録画中に裏番組を見たいときは

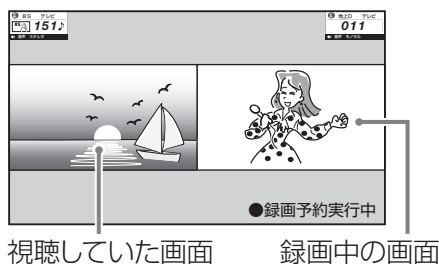
・録画予約の場合は、録画予約実行中に見たい番組を選局すると、録画が継続されたまま、選局した番組に切り換わります。
・予約せずに録画する場合は、録画するチャンネルをデジタル固定（▶ **98** ページ）してから録画を開始し、見たい番組を選局してください。

録画中にインターネットの画面を見たいときは

・ネットワークの接続と設定を行ってから、AQUOS.jp ボタンを押し、AQUOS.jp ボタンまたは上下カーソルボタンで表示したい画面を選んで決定ボタンを押します。インターネットの画面を表示しても、録画は継続されます。（▶ **149** ～ **154** ページ）

録画中の画面を他の番組を見ながら確認したいときは

・リモコンフタ内の２画面ボタンを押します。２画面の右側に録画中の画面が表示されます。

視聴していた画面　録画中の画面

・リモコンフタ内の操作切換ボタンで録画中の画面を操作画面にしたときに、選局などの操作をすると、「予約を解除しますか？」という画面を表示します。

録画予約した番組が録画されていなかった場合は

・受信機レポート（▶ **168** ページ）をご確認ください。
  ・「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。
  ・レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。
  ・レポートに「予約の開始時間に電源が切れていました。」と書かれている場合は、本体の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時刻に電源が入らなかった事例です。録画予約した場合は、必ずリモコンで電源を切ってください。

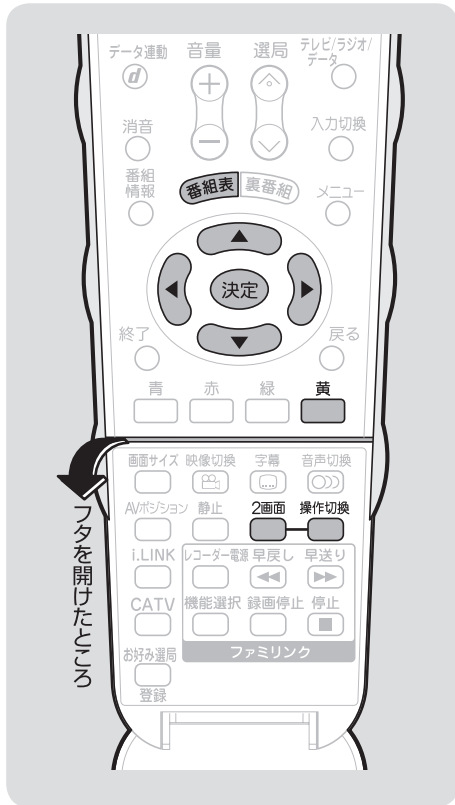
VHS テープ予約で録画できないときは

・録画予約を設定したら、リモコンでビデオデッキの電源を切ってください。電源が入っていたり、ビデオデッキの操作中は、予約録画で録画されません。（お使いの機器により操作のしかたが異なりますので、機器の取扱説明書をご覧ください。）
・外部自動録画（シンクロ予約）に対応していないビデオデッキの場合は､本機のモニター出力（録画出力）／入力２端子と接続した外部入力から録画する状態になっていることを確認してください。ビデオデッキの内蔵チューナーから録画する設定になっていると、予約録画で録画できません。
・ビデオテープが入っていない場合やテープ残量が足りない場合は、予約録画で正しく録画できません。

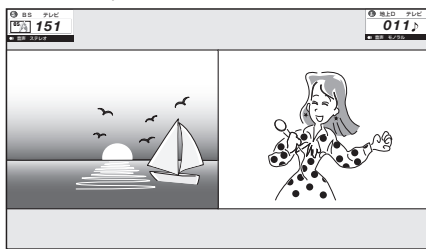
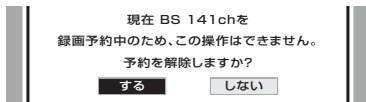
デジタル固定の自動解除について

・デジタル固定中に視聴・録画予約開始２分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

予約の確認・取り消し・変更

● 電子番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取り消しや変更をすることができます。

★ おしらせ

実行中の録画予約を解除するには

- 2 画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面（右側の画面）を操作画面にします。

それから、数字ボタンなどで選局操作をしてください。「予約を解除しますか？」と表示されたら左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

1 電子番組表（EPG）を表示する

予約リストを表示する

放送局名・番組名・放送日時

視聴のみの予約

■番組表 ［BSデジタル … テレビ］　今日 4[水] 5[木] 6[金] 7[土] 8[日] 9[月] 10[火]　11/ 3 [火] 午前11:00

101 NHK BS1 午前 11:25:00～午前 11:55:00　街角ステーション

予約リスト　予約内容の確認・変更・取消ができます。

種別	放送局	チャンネル	番組名	放送日時
視聴予約	NHK BS1	101	街角ステーション	11/ 3[火]午前11:25:00～午前11:55:00
録画予約	BS日テレ	141	テレビでお買い物	11/ 3[火]午前11:00:00～午前11:55:00
視聴予約	BS-iテレビ⑥	161	コレクション F	11/ 3[火]午前11:00:00～午前11:30:00
視聴予約	BS日テレ	141	音楽のある街 地球の歌	11/ 3[火]午後 0:00:00～午後 0:30:00
録画予約	BS朝日1	151	痛快!買い物上手	11/ 3[火]午後 0:00:00～午後 0:55:00
視聴予約	BSジャパン	171	マーケット12	11/ 3[火]午後 0:00:00～午後 0:50:00
視聴予約	BS朝日1	151	ヘルスダイエット	11/ 3[火]午後 1:00:00～午後 1:30:00
録画予約	BS-iテレビ⑥	161	VVショッピング	11/ 3[火]午後 1:15:00～午後 2:00:00
録画予約	BSジャパン	171	J-グルメ	11/ 3[火]午後 1:00:00～午後 1:50:00
視聴予約	BS日テレ	141	NNB14アフタヌーンダッシュ	11/ 3[火]午後 2:00:00～午後 2:55:00
録画予約	BS朝日1	151	世界の絶景スペシャル	11/ 3[火]午後 2:00:00～午後 3:00:00
視聴予約	BS-iテレビ⑥	161	ニュースパーク	11/ 3[火]午後 3:30:00～午後 4:30:00

録画予約

2 確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ

決定する

- 予約の設定内容が表示され、確認できます。

3 予約を取り消したいとき

「取り消す」を選ぶ

決定する

「する」を選ぶ

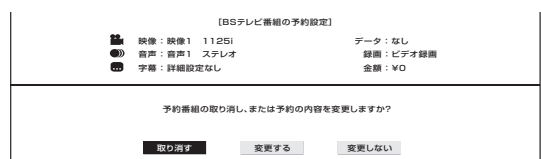
決定する

予約を変更したいとき

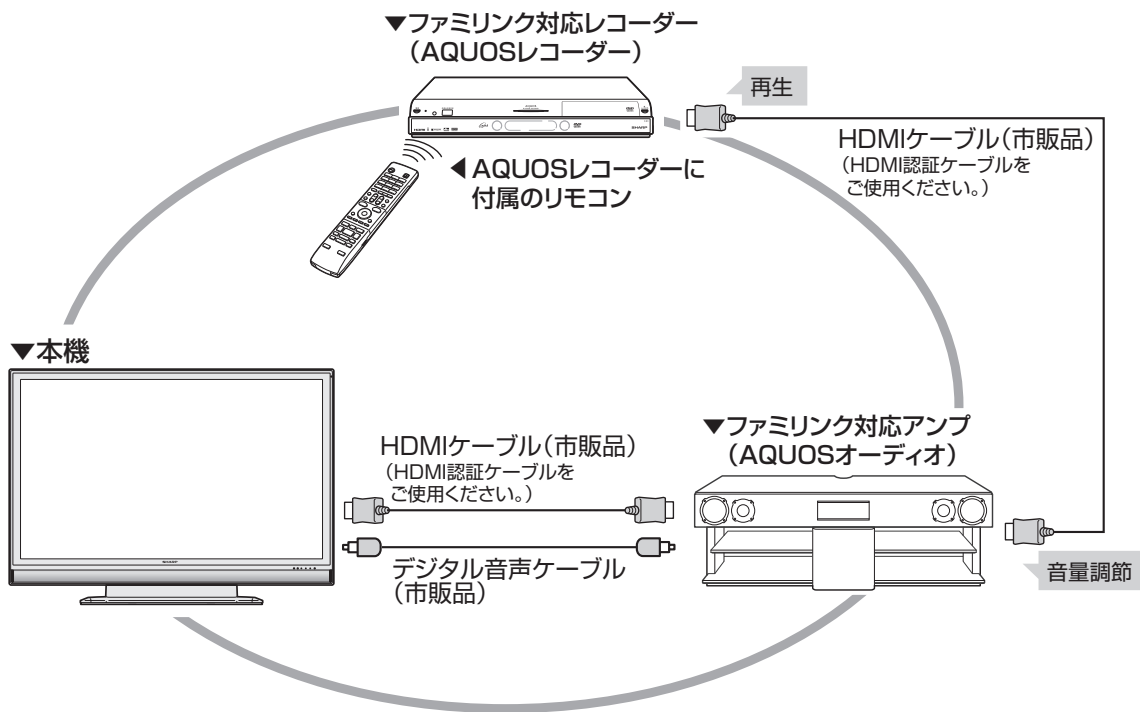
「変更する」を選ぶ

決定する

予約操作をやりなおす

- VHS テープ予約のときは ▶ **102** ページ
- ファミリンク [2]（i.LINK）で予約したときは ▶ **124** ページ
- ファミリンク [1]（標準）で予約したときは予約を取り消して ▶ **113** ページ

ファミリンク機能を使う

ファミリンクとは

- ファミリンクとは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用し、HDMI で規格化されている AV アンプや DVD レコーダーを相互に制御するためのコントロール機能です。
- ファミリンク機能に対応したレコーダーや AV アンプを HDMI 認証ケーブルで接続すると、レコーダーや AV アンプを本機のリモコンで操作できます。
- ファミリンク対応の AQUOS レコーダーに付属のリモコンで、リモコンを持ち変えずに、本機・AQUOS レコーダー・AQUOS オーディオの操作ができるので便利です。

★ おしらせ

- ファミリンクの対応機種については DVD/BD サポートステーションの「AQUOS ファミリンクとは？　対応している機種は？」をご覧ください。
  DVD/BD サポートステーション　http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html
- ファミリンクを使うときは、本機のリモコンを本機に向けて操作してください。AQUOS レコーダーや AQUOS オーディオは直接リモコン信号を受信しません。

最初にしていただきたいこと

最初に、
- 接続（▶107 ～ 109 ページ）
- 本機の設定（▶110 ページ）
- 接続する機器の設定

を行ってください。

● AQUOS レコーダー側の設定も必要です。機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。

接続のしかた

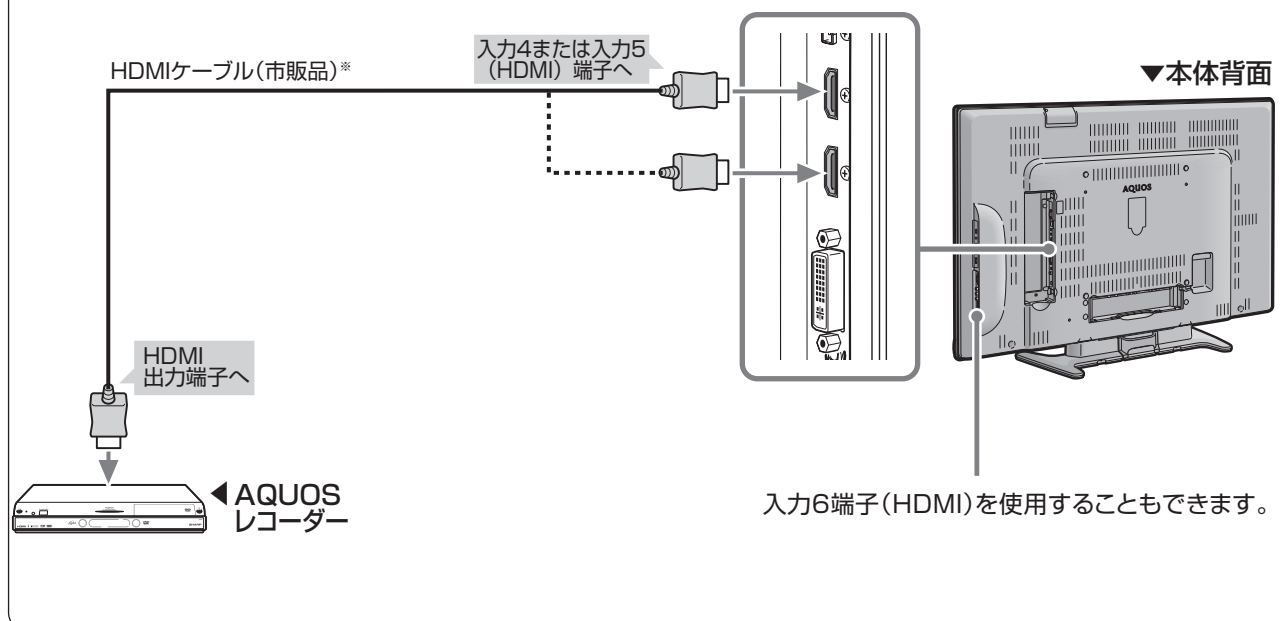
● 接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。

● ファミリンクで操作できる AQUOS レコーダーは 3 台までです。

おしらせ

- 1 つの AQUOS レコーダーを i.LINK と HDMI で同時に接続するときは、「i.LINK 自動切換」を「しない」にしてください。（▶ **117** ページ）
  AQUOS レコーダーを i.LINK 接続する場合は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ケーブルを抜き差ししたり接続方法を変えた場合は、すべての機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れなおし、本機の入力を入力 4・5・6 に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

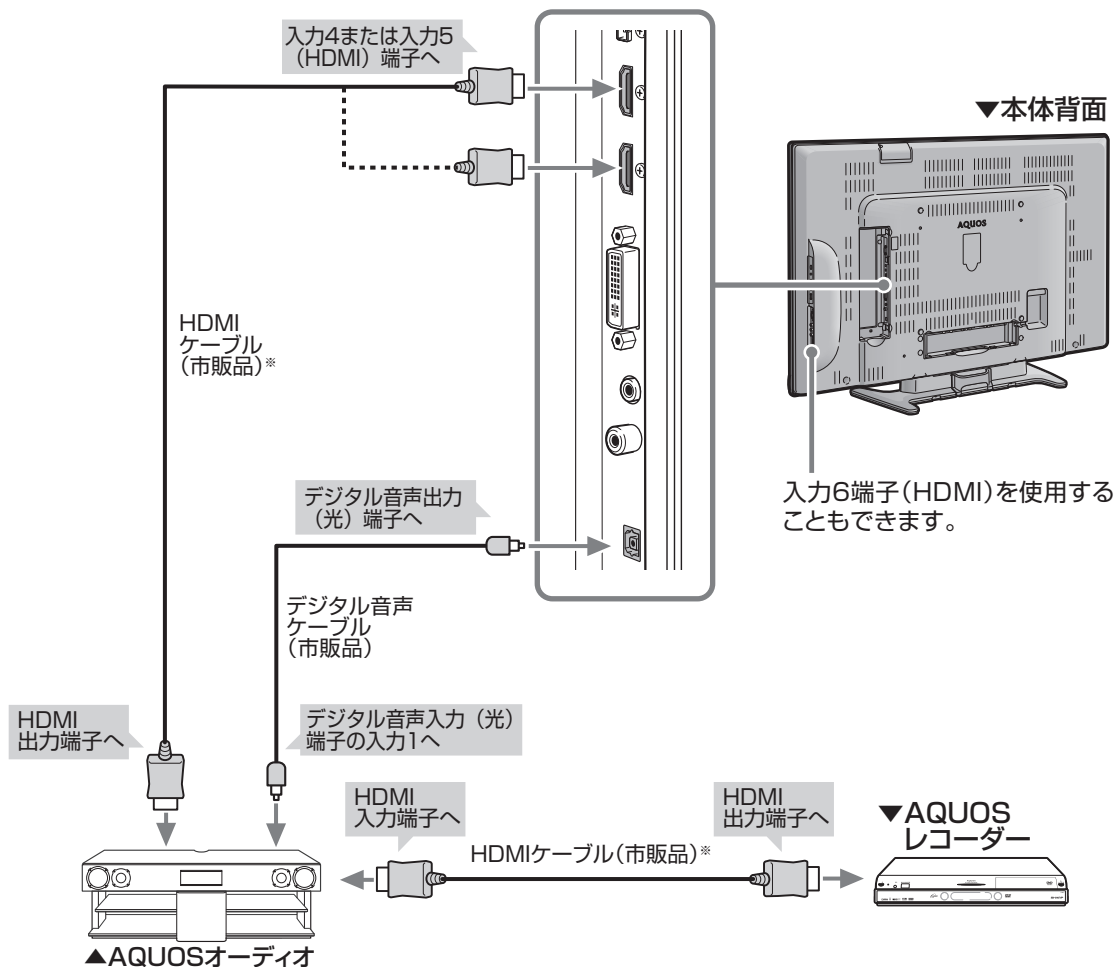
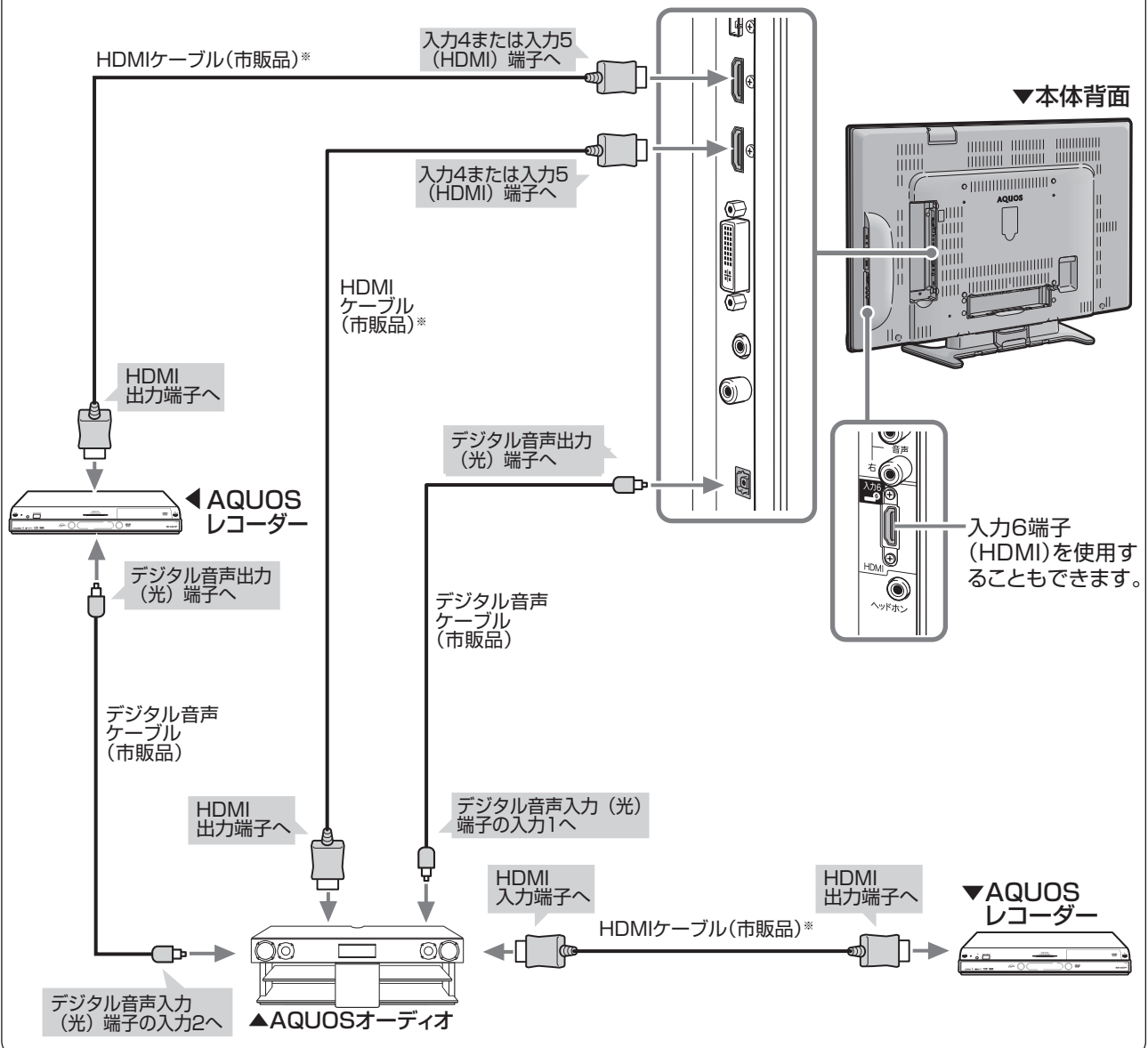
AQUOS レコーダーを単独でつなぐ場合

●HDMIケーブル（市販品）が必要です。

※ HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

次のページにつづく ▶

接続のしかた（つづき）

AQUOS オーディオを同時につなぐ場合

●HDMIケーブル（市販品）およびデジタル音声ケーブル（市販品）が必要です。

※ HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

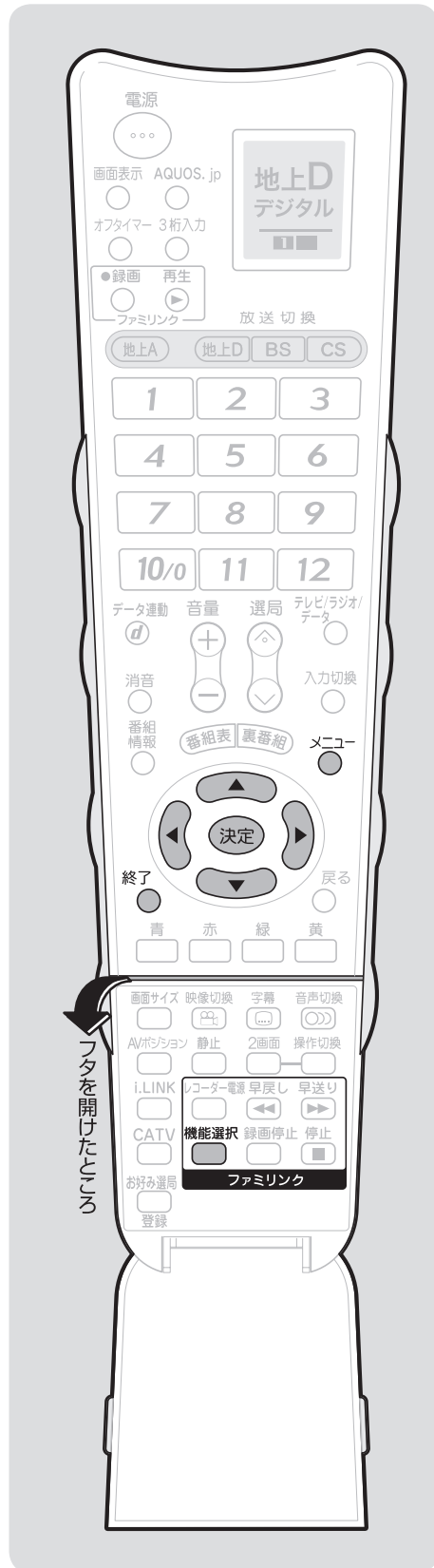
AQUOS オーディオと 2 台の AQUOS レコーダーをつなぐ場合

おしらせ

- 2 つ以上の AQUOS レコーダーを接続する場合、AQUOS オーディオに HDMI ケーブルで接続されていない AQUOS レコーダーの音声を AQUOS オーディオで聞くには、AQUOS オーディオで入力 2 を選択してください。

※ HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

ファミリンク機能を使うための設定

- 本機に付属のリモコンでも操作できます。
- ここではファミリンクに関する設定について説明します。

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- 「連動起動設定」を「する」に設定すると、ファミリンク対応機器を操作したときに、電源待機状態にある本機を自動的に電源「入」にできます。

押すボタン

1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」−「ファミリンク設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「連動起動設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「する」または「しない」を選ぶ

決定　決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のレコーダーを接続時に、録画を行う機器を選ぶ

● 複数の AQUOS レコーダーを本機に接続している場合は、「録画機器選択」で、リモコンの録画ボタンを押したときに録画を行うファミリンク対応レコーダーを設定します。

1 メニューを表示する

2 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選ぶ

決定する

3 「録画機器選択」を選ぶ

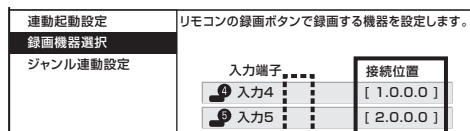
決定する

4 リモコンの録画ボタンで録画する機器を選ぶ

決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★おしらせ

AQUOS オーディオを接続しているときの設定画面について

AQUOS レコーダーの再生・録画するメディアを切り換える

● AQUOS レコーダーのメディア（HDD、DVD など）を切り換えることができます。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「メディア切換」を選ぶ

決定する

■ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く

3 レコーダーのメディアの種類（「HDD」や「DVD」など）を選ぶ

- AQUOS レコーダー側の操作したい録画メディアを選びます。
- 「メディア切換」で決定を押すごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

すぐに録画する

本機で視聴中の番組を AQUOS レコーダーに録画する（ワンタッチ録画）

ワンタッチ録画を行う前に

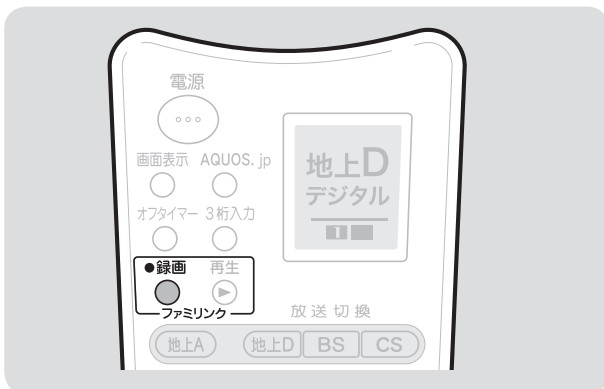
- AQUOS レコーダー側の録画準備をしてください。次のことなどを確認します。
  - B-CASカードが挿入されていますか
  - アンテナが接続されていますか
  - 録画メディア（HDD、DVDなど）に空き容量がありますか
- 録画機器を本機に接続したときは、あらかじめ、「ファミリンク設定」の「録画機器選択」で録画機器を設定します。（▶ 111 ページ）
- 初期設定では入力４に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

1 ●録画 録画したい番組の視聴中に録画ボタン（赤）を押す

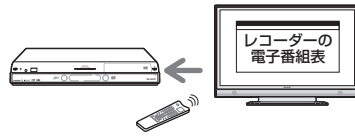
- 「録画機器選択」（▶ 111 ページ）で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。

2 録画停止 録画を停止する

おしらせ

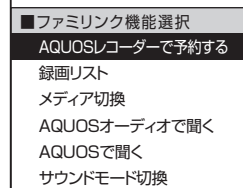
- 「録画機器選択」（▶ 111 ページ）で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」（▶ 111 ページ）で選択した AQUOS レコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタン（赤）を押しても録画できません。

録画予約する

ファミリンク対応の AQUOS レコーダーで予約する

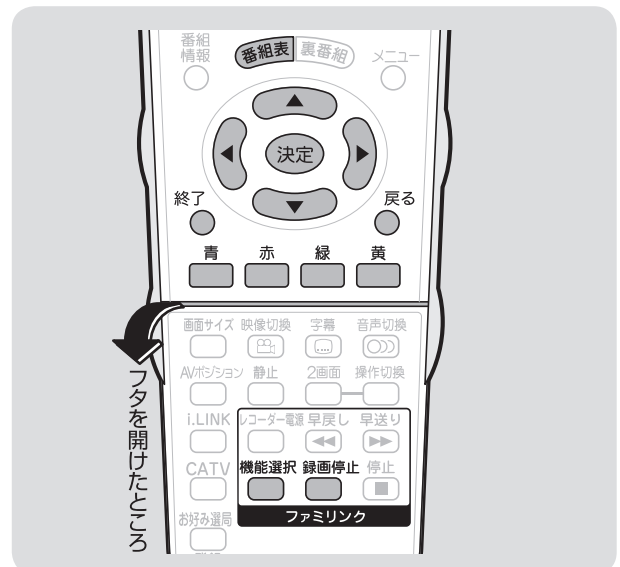
AQUOS レコーダーの電子番組表を呼び出して予約

1 機能選択 ファミリンク機能選択メニューを表示する

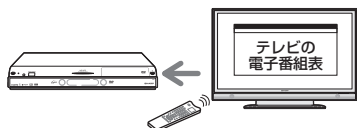
2 「AQUOS レコーダーで予約する」を選ぶ

決定する

■ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換

- 入力が切り換わり、レコーダー側の番組表が表示されます。

3 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの 決定 戻る 終了 青 赤 緑 黄で操作します。（詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

ファミリンクで録画予約する

本機の電子番組表と同じ予約の内容で予約を設定

● 本機の電子番組表（EPG）から本機に接続した AQUOS レコーダーに録画予約できます。

1 AQUOS レコーダー側の準備をする

- 本機と AQUOS レコーダーを接続します。
- HDD に録画する場合は、HDD の残量を確認します。

2 番組表 電子番組表 (EPG) を表示する

3 予約したい番組を選ぶ

決定 決定する

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **65** ページ）

4 「録画予約」を選ぶ

決定する

5 「ファミリンク [1]（標準)」を選ぶ

決定する

- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後に録画機器選択（▶ **111** ページ）を行ってください。

6 「予約する」を選ぶ

決定する

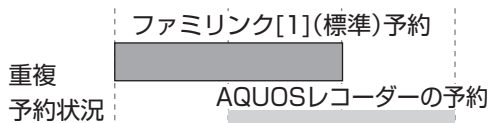
- AQUOS レコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOS レコーダーの予約を取り消してください。

7 決定 「戻る」で決定する

- 電子番組表 (EPG) 画面に戻ります。
- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

★★ 重 要

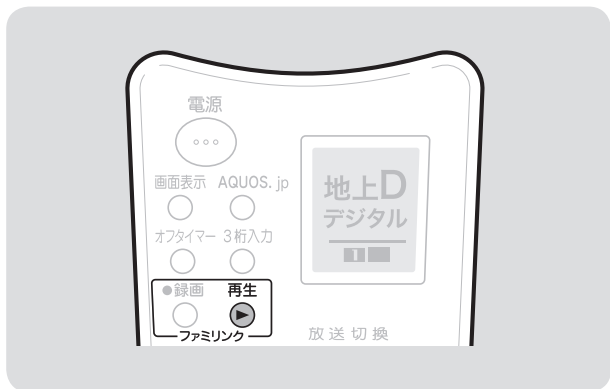
ファミリンク [1]（標準）で録画予約するときのご注意

- VHS テープ予約やファミリンク [2]（i.LINK）予約と同様、テレビは録画予約状態になります。2 画面にすると、右画面は録画中の画面となります。他の放送や外部入力に切換できません。
- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。

- レコーダー側の予約を取り消すと、本機でファミリンク [1]（標準）予約した番組が録画されます。

★ おしらせ

- 予約の確認･取り消し･変更については▶ **105** ページをご覧ください。

録画エラーのメッセージが出たときは、▶177ページをご覧ください。

再生する

本機のリモコンでAQUOSレコーダーを再生する（ワンタッチプレー機能）

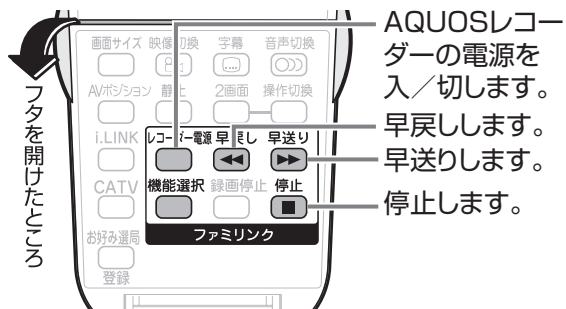
● 本機のリモコンでHDMI 接続したAQUOSレコーダーを操作できます。

再生

録画した番組を再生する

- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生したいときは、ファミリンク機能選択メニューから「録画リスト」を選びます。

再生中の操作について

- ファミリンクで再生しているときは、リモコンフタ内のファミリンクボタンで次の操作が行えます。

AQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生する

● 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。

1 機能選択 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「録画リスト」を選ぶ

決定 決定する

■ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く

- AQUOS レコーダーの電源が入り、本機の入力が切り換わります。
- AQUOS レコーダーの録画リストが表示されます。

3 再生したい番組（タイトル）を選ぶ

再生 再生する

- 録画リストは本機のリモコンの 決定 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、停止■を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

視聴する HDMI 機器を切り換える

● 複数のHDMI 機器を接続している場合、視聴したいHDMI 機器を選ぶことができます。

1 機能選択 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「HDMI機器選択」を選ぶ

 決定する

■ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
HDMI機器選択

- 「HDMI 機器選択」で 決定 を押すたびに、接続されている機器を順次切り換えていきます。（ファミリンクに対応していない機器は、AQUOS に直接接続されていない場合は選択することはできません。）

AQUOS オーディオで聞く

AQUOS オーディオで聞く

● AQUOS オーディオからのみ音声を出力できます。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「AQUOS オーディオで聞く」を選ぶ

決定する

■ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
HDMI機器選択

- 本機の音声が停止し、AQUOS オーディオからのみ音声が出力されます。
- 画面中央に「ファミリンク接続された AQUOS オーディオから音声を出力します。」と表示されます。
- 本機のリモコンで AQUOS オーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。
- 本機からの音声出力に戻したいときは、機能選択を押し、「AQUOS で聞く」を選びます。

おしらせ

- AQUOS オーディオを接続していないときは、「AQUOS オーディオで聞く」は選べません。

「AQUOS オーディオで聞く」に設定中のご注意

- ヘッドホン設定を「モード 3」に設定している場合、2 画面のときは、非操作画面側の音声がヘッドホンから出力されます。
- 入力 2 端子設定（▶ **99** ページ）を「モニター出力（可変）」に設定しているときは、モニター出力の音声が停止します。
- 本機のメニューの「音声調整」「スピーカー設定」「センタースピーカー入力」の設定はできません。

サウンドモードを手動で切り換える

● AQUOS オーディオのサウンドモードを手動で切り換えます。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「サウンドモード切換」を選ぶ

決定する

- 「サウンドモード切換」で決定ボタンを押すごとに、サウンドモードが順次切り換わります。

■ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
HDMI機器選択

番組のジャンルに適したサウンドモードに自動切換する

● デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOS オーディオを適切なサウンドモードに切り換えられます。

1 メニューを表示する

2 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選ぶ

決定する

省エネ設定	本体設定	機能切換	デジタル設定
		ファミリンク設定	
		3次元ノイズリダクション ［弱］	

3 「ジャンル連動設定」を選ぶ

決定する

4 「する」を選ぶ

決定する

連動起動設定	AQUOSオーディオのサウンドモードを番組情報に連動させますか?
録画機器選択	
ジャンル連動設定	する　しない

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 地上アナログ放送やDVD映像はジャンル情報がないので、「サウンドモード切換」で手動で切り換えます。
- サウンドモードについて詳しくは AQUOS オーディオの取扱説明書をご覧ください。

AQUOS レコーダー以外の i.LINK 機器を使う

AQUOSレコーダーをi.LINK接続する場合は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

i.LINK（アイリンク）について

- i.LINK※は、i.LINK 端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINK ケーブル 1 本で接続できます。

※ i.LINK は、IEEE1394 の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbps/800Mbps の転送速度があり、それぞれ S100/S200/S400/S800 と表示されます。本機では最大 400Mbps の転送が可能です。

- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK（アイリンク）とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー･プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

- 本機で接続できる i.LINK 機器は以下のとおりです。

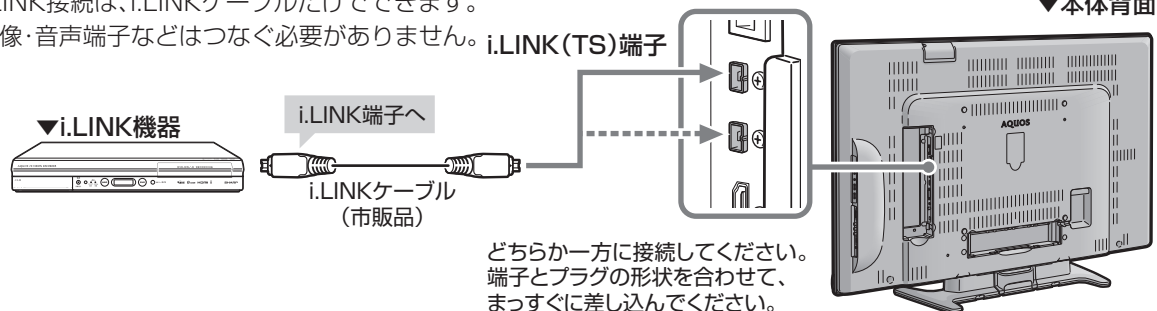
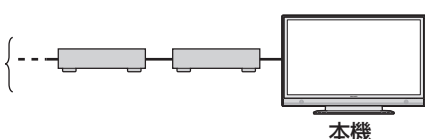
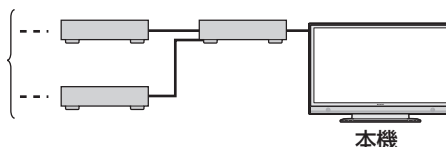
D-VHSビデオデッキ（D-VHS）
AV-HDDレコーダー（AV-HDD）
Blu-ray Discレコーダー（BD）
HDV方式ハイビジョンビデオカメラ（HDV）

- 機器によっては機器の認識やコントロール、録画や再生ができない場合があります。
- DVD レコーダーや DV 機器、PC（パソコン）、PC 周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

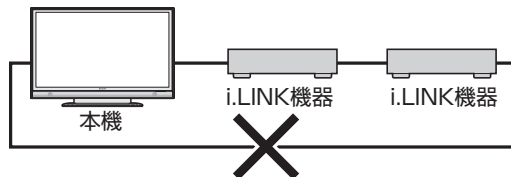
★★ 重 要

- 本機と i.LINK 機器を i.LINK 接続して録画できるのは、本機で受信したデジタル放送のみです。地上アナログ放送や外部入力は、i.LINK 録画ができません。また、ハイビジョンビデオカメラでは本機のデジタル放送を i.LINK 録画できません。

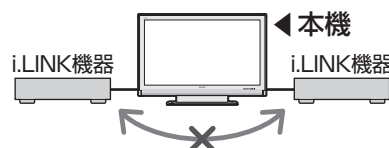
i.LINK 機器を接続する

- 接続には「S400」タイプの i.LINK ケーブル（市販品）をお使いください。

★★ 重要

- 一部の i.LINK 機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。この場合は、その機器を終端に接続してください。
- 右図のようなループ（輪）接続をしないでください。
- i.LINK 機能使用中は、使用していない i.LINK 機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- 本機が対応していない機器（DVD レコーダーや DV 機器、PC、PC 周辺機器など）を同時に接続していると、誤動作することがあります。

- 接続した i.LINK 機器の認識やコントロール、録画・再生が正しくできなくなったときは、i.LINK ケーブルの抜き差しを行うことで、復帰する場合があります。
- 複数の i.LINK 機器を接続して使用する場合、接続機器の仕様や相互接続性により、動作が安定しない場合があります。この場合、使用していない機器の接続をはずしたり、接続のしかたを変更すると安定する場合があります。
- 1 つのレコーダーを i.LINK と HDMI で同時に接続するときは、「i.LINK 自動切換」を「しない」にしてください。

★ おしらせ

- 本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、電源を待機状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。この場合は、本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

◀本機
i.LINK機器　i.LINK機器

本機が電源待機状態のときは、データのやりとりができません。

i.LINK 設定

● 接続された i.LINK 機器を再生状態にしたとき、自動的に入力を切り換える設定です。

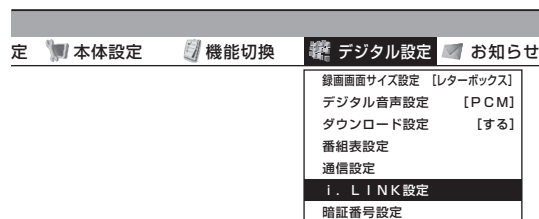
i.LINK機器を制御するための設定項目

項目	内容
i.LINK自動切換	・i.LINK録画機器を再生すると、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるように設定できます。
録画モード設定	・i.LINK機器の録画モードを自動的に制御するように設定できます。 ・現在発売されているi.LINK機器のほとんどは、i.LINK機器側で録画モードを制御するため、**通常は「しない」に設定してください。** ・本機から録画モードを正常に制御できない場合は、「しない」に設定してください。 ・AQUOSレコーダーをi.LINKとHDMIで同時に接続するときは「しない」に設定してください。

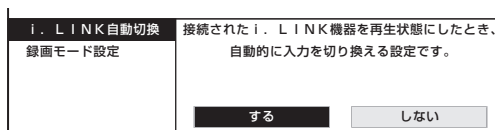
押すボタン

1 メニュー　メニュー画面を表示する

2 「デジタル設定」−「i.LINK 設定」を選ぶ

決定　決定する

3 設定したい項目を選ぶ

決定　決定する

（例）「i.LINK 自動切換」を選んだとき

4 「する」または「しない」を選ぶ

決定　決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

i.LINK 機器の操作について

● 本機に対応した i.LINK 機器は、i.LINK 操作パネルを表示して、本機のリモコンで録画や再生などの操作ができます。

i.LINK 操作パネルの使いかた

押すボタン

1 i.LINK

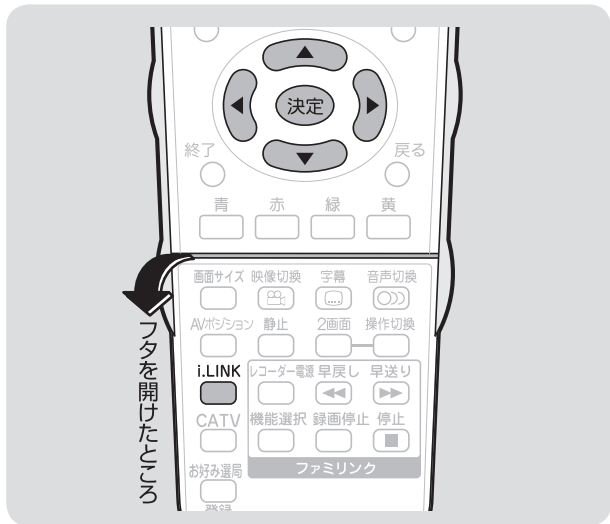
i.LINK 操作パネルを表示する

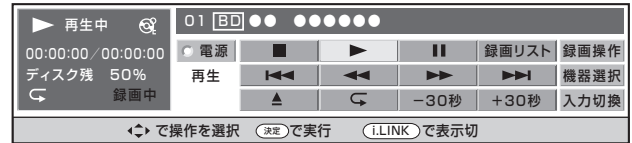
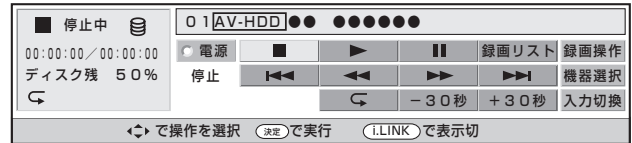
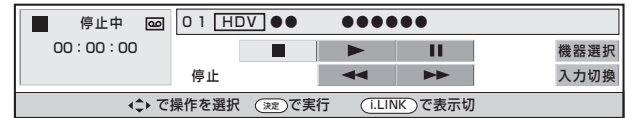
- 初めて i.LINK ボタンを押したときは「i.LINK 機器の選択」（▶ 119 ページ）が必要です。

2

i.LINK 操作パネル上の操作ボタンを選ぶ

決定する

- 操作を終了する場合は、i.LINK ボタンを押します。

操作パネル（例）

D-VHSの操作パネル

▶ 再生中 00:00:00 予約 D-VHS ｜ 01 D-VHS ●● ●●●●●● ｜ 電源 ■ ▶ ❚❚ ● 機器選択 ｜ 再生 ⏮ ◀◀ ▶▶ ⏭ 入力切換 ｜ で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

BDの操作パネル

▶ 再生中 00:00:00／00:00:00 ディスク残 50% 録画中 ｜ 01 BD ●● ●●●●●● ｜ 電源 ■ ▶ ❚❚ 録画リスト 録画操作 ｜ 再生 ⏮ ◀◀ ▶▶ ⏭ 機器選択 ｜ ▲ リピート −30秒 +30秒 入力切換 ｜ で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

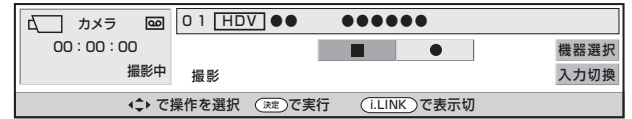
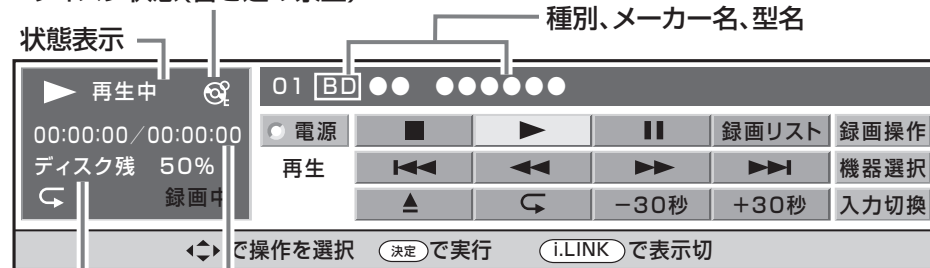
AV-HDDの操作パネル

■ 停止中 00:00:00／00:00:00 ディスク残 50% ｜ 01 AV-HDD ●● ●●●●●● ｜ 電源 ■ ▶ ❚❚ 録画リスト 録画操作 ｜ 停止 ⏮ ◀◀ ▶▶ ⏭ 機器選択 ｜ リピート −30秒 +30秒 入力切換 ｜ で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

HDV（ビデオモード）の操作パネル

■ 停止中 00:00:00 ｜ 01 HDV ●● ●●●●●● ｜ ■ ▶ ❚❚ 機器選択 ｜ 停止 ◀◀ ▶▶ 入力切換 ｜ で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

HDV（カメラモード）の操作パネル

カメラ 00:00:00 撮影中 ｜ 01 HDV ●● ●●●●●● ｜ ■ ● 機器選択 ｜ 撮影 入力切換 ｜ で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

操作パネルの見かた（BD の例）

おもな操作ボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
■	停止	⏮	1つ前に戻って頭出し	▲	イジェクト（BDの場合のみ）	機器選択	機器選択画面へ
▶	再生	◀◀	巻戻し再生	リピート	リピート（1つの番組を繰り返し再生します）	入力切換	入力切換え i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）を切り換えます。
❚❚	一時停止	▶▶	早送り再生	−30秒	30秒後戻し	録画操作	録画操作パネルへ
●	録画開始	録画リスト	録画リスト画面へ	⏭	1つ先に進んで頭出し	+30秒	30秒先送り
電源	電源の入／切						

i.LINK 操作パネルを表示させる

● i.LINK 操作パネルから i.LINK 機器を選ぶための準備です。

1 i.LINK 機器を接続し、i.LINK 機器の電源を入れる

2 本機の電源を入れる

3 i.LINK i.LINK 操作パネルを表示する

i.LINK機器の選択

● 操作パネルの機器選択画面で、操作する i.LINK 機器を選びます。
● 接続された i.LINK 機器は、自動的に機器選択画面のリストに表示されます。

1 i.LINK i.LINK 操作パネルを表示する

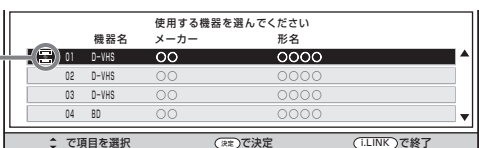
- 「操作できる i.LINK 機器がありません」と表示されたときは、i.LINK 機器が正しく接続されているか確認してください。（▶ 116 ページ）
- i.LINK 機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順 **3** に進んでください。

2 「機器選択」を選ぶ

決定する

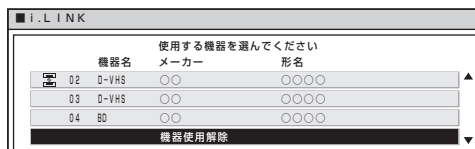
- 機器選択画面が表示されます。

3 操作したい機器を選ぶ

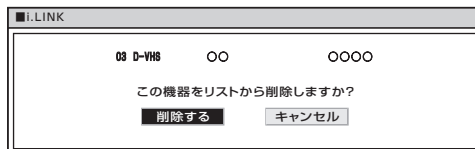
決定 決定する

- 選んだ i.LINK 機器の操作パネルが表示されます。

他のi.LINK機器から使うときは

- i.LINK機器を他のi.LINK機器で使うときは、「機器使用解除」を行ってください。

① i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する
② カーソルボタンで「機器選択」を選び、決定ボタンを押す
③ 下カーソルボタンで、機器選択画面の一番下にある「機器使用解除」を選び、決定ボタンを押す

機器選択画面のリストからi.LINK機器の名前を消す

- i.LINK機器をはずしても、機器選択画面のリストから名前は自動的に消えません。名前を選んで消してください。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

① i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する
② カーソルボタンで「機器選択」を選び、決定ボタンを押す
③ 削除したいi.LINK機器を上下カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す
④ 左右カーソルボタンで「削除する」を選び、決定ボタンを押す

おしらせ

- 本機で認識できない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 接続機器によっては、リストにメーカー名や機器名が正しく表示されないことがあります。この場合は、i.LINK ケーブルを取りはずし、リストから名前を削除した後で i.LINK ケーブルを接続しなおしてください。
- 接続した i.LINK 機器によっては、AV-HDD であっても「D-VHS」と表示されることがあります。この場合は、i.LINK 機器操作が D-VHS の機能に制限されます。（i.LINK 機器の制限により、録画リスト等はご利用になれません。）
- 機器選択画面のリストに⃠マークがついている i.LINK 機器は、本機が対応していないため、操作できません。
- 同じ機種であっても 1 台ごとに別の機器として認識します。
  機器選択画面に同一の機種名が複数表示される場合は、一方を選択して、操作パネルから機器を操作できるか確認してください。
  もし操作できない場合は、他方を選択して再度操作パネルから機器を操作できるか確認してください。
  接続しない機器が表示される場合は、登録削除してください。
- ハイビジョンビデオカメラ（HDV）が「DV 互換モード」に設定されていると、機器選択画面で選択できません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

D-VHS ビデオデッキで録画・再生する

● 以下の操作をする前に、「i.LINK 機器の選択」（▶ 119 ページ）を済ませておいてください。
● i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

デジタル放送を録画する

・この操作では、本機が受信しているデジタル放送のチャンネルが録画されます。

押すボタン

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

3 ●（録画ボタン）を選ぶ

決定　決定する

・録画を止めるときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

録画した番組を再生する

押すボタン

1 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

2 開始地点まで巻き戻す

決定

・◀◀（巻戻しボタン）を選び、決定ボタンを押します。
・停止するときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

3 ▶（再生ボタン）を選ぶ

決定する

・再生中に特殊再生するときは、▶▶（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、❚❚（一時停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。
・停止するときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

★ おしらせ

・機器（D-VHS ビデオデッキ）によっては、i.LINK 操作パネルで操作できない場合があります。
・D-VHS ビデオデッキのタイマーを使って録画予約しているときは、i.LINK 操作パネルで操作しないでください。録画予約に失敗することがあります。
・D-VHS ビデオデッキで記録するときは、D-VHS テープを使用してください。VHS テープや S-VHS テープではデジタル放送が記録できません。

機器（D-VHS ビデオデッキ）によっては、次のような場合があります

・番組の内容によっては、録画・録音ができない場合があります。
・テープを再生しても映像・音声を視聴できない場合があります。
・特殊再生時（送り再生や戻し再生など）に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
・VHS テープや S-VHS テープ、またはアナログで記録されている D-VHS テープの再生映像・音声を本機の i.LINK 入力で視聴できない場合があります。この場合は、D-VHS ビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力（入力 1 ～ 3）に接続し、本機を外部入力に切り換えて視聴してください。

ハイビジョンビデオカメラ(HDV)で撮影・再生する

- 以下の操作をする前に、「i.LINK 機器の選択」(▶ 119 ページ)を済ませておいてください。
- i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。
- ビデオモードとカメラモードの切換え(下記手順 **1**)は、ハイビジョンビデオカメラ側の操作により行います。
  - i.LINK 操作パネルの入力切換ボタンは、i.LINK 入力とその前の画面との切換えを行います。

撮影する

- ハイビジョンビデオカメラ(HDV フォーマット)の撮影操作を i.LINK 操作パネルで行えます。

1 押すボタン **ハイビジョンビデオカメラを「カメラモード」にする**

- 「カメラモード」に切り換えると、本機の画面が自動的に i.LINK 入力に切り換わります。

2 i.LINK **i.LINK 操作パネルを表示する**

3 **●(撮影ボタン)を選ぶ**

決定 **決定する**

- 撮影が開始されます。
- 撮影を止めるときは、■(停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。

おしらせ

- 機器(ハイビジョンビデオカメラ)によっては、静止画を記録する機能として「フォトモード」を備えたものがあります。「フォトモード」になっていると、i.LINK 操作パネルで操作できません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK 操作パネルの撮影ボタンは、ハイビジョンビデオカメラのカメラで映している映像・音声の撮影(録画)を開始します。
- 「カメラモード」で撮影していない状態のまましばらく放置すると、自動的に待機状態になる機器があります。この場合、i.LINK 操作パネルで操作できません。ハイビジョンビデオカメラ本体を直接操作してください。
- 本機で受信している放送または外部入力は、ハイビジョンビデオカメラで録画できません。
- 本機でテレビや外部入力を視聴しているときは、撮影ボタンは無効になります。

再生する

1 押すボタン **ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」にする**

2 i.LINK **i.LINK 操作パネルを表示する**

3 **開始地点まで巻き戻す**

決定

- ◀◀(巻戻しボタン)を選び、決定ボタンを押します。
- 停止するときは、■(停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。

4 **▶(再生ボタン)を選ぶ**

決定 **決定する**

- 再生が開始されます。
- 再生中に特殊再生するときは、▶▶(早送りボタン)、◀◀(巻戻しボタン)、❚❚(一時停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。
- 停止するときは、■(停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。

おしらせ

- 本機で視聴することができる信号は、「HDV フォーマット」で撮影された信号のみです。「DV フォーマット」で撮影された信号は、本機で視聴できません。
- 「HDV フォーマット」と「DV フォーマット」が混在したテープを再生した場合、DV フォーマットの部分で「この信号を本機で再生することはできません。HDV 機器の設定を確認してください。」のメッセージが表示されます。
- i.LINK 操作パネルで頭出し操作はできません。

おしらせ

- 操作できるボタンは接続している機器により異なります。ボタンが表示されていても、操作できない場合があります。
- i.LINK 操作パネルでハイビジョンビデオカメラの電源操作はできません。
- ハイビジョンビデオカメラの電源が「切」のときは、本機からハイビジョンビデオカメラの操作はできません。

AV-HDD や Blu-ray Disc レコーダーで録画・再生する

● 以下の操作をする前に、「i.LINK 機器の選択」（▶ 119 ページ）を済ませておいてください。
● i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

デジタル放送を録画する

● この操作では、本機が受信しているデジタル放送のチャンネルが録画されます。

押すボタン

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINK i.LINK 操作パネルを表示する

3 録画操作（録画操作ボタン）を選ぶ

決定 決定する

4 （録画ボタン）を選ぶ

決定 決定する

- 録画が開始されます。
- 録画を止めるときは、録画停止（録画停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

録画リストから再生する

● 録画リストから再生する録画番組（タイトル）を選べます。

押すボタン

1 i.LINK i.LINK 操作パネルを表示する

2 録画リスト（録画リストボタン）を選ぶ

決定 決定する

- 録画リストが表示されます。

3 再生する録画番組を選ぶ

決定 決定する

4 （再生ボタン）を選ぶ

決定 決定する

5 「先頭から再生」または「続きから再生」を選ぶ

決定 決定する

- 再生中に特殊再生するときは、（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、（一時停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。
- 停止するときは、（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

★ おしらせ

- AV-HDD レコーダーによっては、動作モードが D-VHS モードになっている間は D-VHS ビデオデッキとして認識されます。
- Blu-ray Disc レコーダーの設定によっては、音声が AC3 フォーマットで記録されることがあります。AC3 フォーマットで記録された音声は、本機では出力されません。

機器（AV-HDD ／ Blu-ray Disc レコーダー）によっては、次のような場合があります

- i.LINK 操作パネルで操作できない場合があります。
- 再生しても映像･音声を視聴できない場合があります。
- 番組の内容によっては、録画・録音ができない場合があります。
- 特殊再生時（送り再生や戻し再生）に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- 録画中に、再生や録画リスト画面の表示などの操作ができない場合があります。
- 機器選択画面で他の i.LINK 機器を選ぶと自動的に再生を停止する場合があります。

録画した番組の消去と保護（AV-HDD/BD）

- AV-HDD レコーダーまたは Blu-ray Disc レコーダーの録画リストから、録画番組（タイトル）の保護や消去の操作ができます。
- 以下の操作をする前に、「i.LINK 機器の選択」（▶ 119 ページ）を済ませておいてください。
- i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

録画した番組を消去する

押すボタン

1 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

2 録画リスト（録画リストボタン）を選ぶ

決定　決定する

3 消去する録画番組を選ぶ

決定　決定する

4 消去（消去ボタン）を選ぶ

決定　決定する

5 「消去する」を選ぶ

決定　決定する

録画した番組を保護する

押すボタン

1 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

2 録画リスト（録画リストボタン）を選ぶ

決定　決定する

3 消去禁止（保護）する録画番組を選ぶ

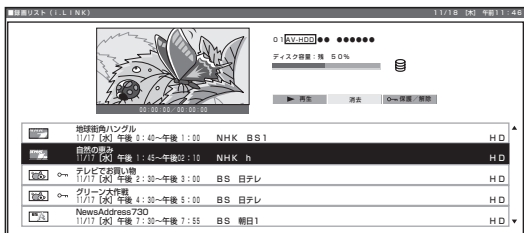
決定　決定する

4 （保護／解除ボタン）を選ぶ

決定　決定する

保護したタイトルには鍵マークが表示されます。

保護を解除したいときは

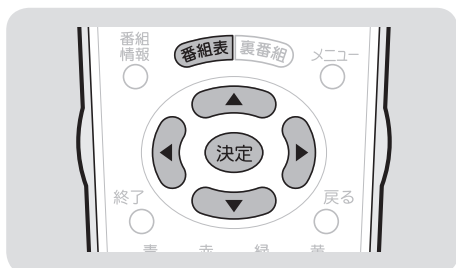
・保護したタイトルを選んで決定ボタンを押し、保護／解除で決定ボタンを押すと、保護を解除します。

おしらせ

録画リストについて

- 機器によっては、再生小画面にカーソルで選択している番組の映像・音声が表示されない場合があります。
- 機器によっては、録画中に録画リストを表示すると、録画を停止する場合があります。
- タイトルに表示される番組情報（番組名や日時）は、録画を始めたときの番組情報を元にしています。
- 複数の番組を続けて録画した場合には、最初に録画を始めたときの番組情報が表示されます。
- 録画リストに表示される再生小画面では、データ放送の操作や字幕の表示はできません。
- 選局直後に録画を始めた場合、タイトルの番組情報が記録されないことがあります。
- 他の機器で録画した番組は、タイトルの番組情報が正しく表示されないことがあります。
- 録画中のタイトルには、録画中マーク「●」（赤丸）が表示されます。
- 本機には、録画したタイトルを編集する機能はありません。
- Blu-ray Disc レコーダーによっては、録画したタイトルを編集する機能があり、編集されたタイトルには、プレイリストマーク「★」が表示されます。（編集されたタイトルは、「プレイリスト」と呼ばれます。）
  プレイリストの場合、録画リストからの消去と保護／解除ができません。

電子番組表(EPG)でi.LINK機器に録画予約する(ファミリンク[2]（i.LINK)予約)

● D-VHS ビデオデッキなどの i.LINK 機器に、予約した時間に合わせて録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送番組を録画します。i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

★★ 重要

・あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

・リモコンの電源ボタン（赤）で「切」にしてください。本体の電源スイッチ（赤）で「切」にした場合は、予約が実行されません。

★ おしらせ

・i.LINK 機器によっては、i.LINK 機器側で接続するテレビの設定が必要な場合があります。
　i.LINK 録画機器の接続を変更、あるいは i.LINK 録画機器の交換を行った場合は、i.LINK 録画機器の選択を再度行ってください。（▶ **119** ページ）
・番組開始の 2 分前から予約準備が始まります。
・録画予約実行前になるとデジタル固定が解除されます。
・本機のデジタル音声出力（光）端子に MD をつないで予約録音する場合は、ファミリンク [2]（i.LINK）予約ではなく、視聴予約を設定してください。
・ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力(光)端子の設定(デジタル音声設定)を「PCM」にしてください。(▶ **126**ページ)
・有料の放送や番組は、契約しないと予約どおりの録画ができません。
・最大 16 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し(▶ **105** ページ)が必要です。
・予約の確認・取り消し・変更については▶ **105** ページをご覧ください。

実行中の録画予約を解除するには

・▶ **105** ページの「おしらせ」をご覧ください。

録画予約した番組が録画されていなかった場合は

・受信機レポート（▶ **168** ページ）に「予約時に指定された i.LINK 機器が使えませんでした。」という表示が出た場合は、i.LINK 機器の選択を見直してください。（▶ **119** ページ）

押すボタン

1 i.LINK 機器の接続（▶ **116** ページ）と i.LINK 機器の選択（▶ **119** ページ）を行う

・次ページの詳細設定で「録画連動機器の変更」をしていない場合は、最後に操作した機器に録画されます。

2 電子番組表(EPG)を表示する

3 予約したい番組を選ぶ

 決定する

・ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **65** ページ）

4 「録画予約」を選ぶ

決定する

5 「ファミリンク [2]（i.LINK)」を選ぶ

 決定する

・機器が利用できない場合は選択できません。
・表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、手順**6**で「詳細を設定する」を選び、使用する i.LINK 機器を変更してください。（▶ **125** ページ）
・複数の i.LINK 機器を接続している場合は、詳細設定で録画する機器を設定してください。設定していない場合は、録画先が変更されることがあります。

6 「予約する」を選ぶ

 決定する

（ファミリンク[2]（i.LINK）予約の詳細設定▶ **125** ページ）

・無料放送や契約している有料放送が予約できます。

7 決定 「戻る」で決定する

・ファミリンク [2]（i.LINK）予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。
・電源を切るときは、本機のリモコンで電源「切」（待機状態）にしてください。

ファミリンク [2]（i.LINK）で予約するときの詳細設定

● 追加購入する映像・音声の組合せを選んだり、使用する i.LINK 機器を変更できます。

★ おしらせ

・「詳細を設定する」を選んで決定すると、メッセージが表示される場合があります。（詳細設定時のメッセージ▶ **103** ページ）
画面に従って操作してから詳細設定を行ってください。

追加購入グループを選択する

● 追加購入する映像・音声の組合せ（グループ）が複数あるとき行う手順です。

1 ▶ **124ページの手順 1～ 5を行う**

2 「詳細を設定する」を選ぶ

決定する

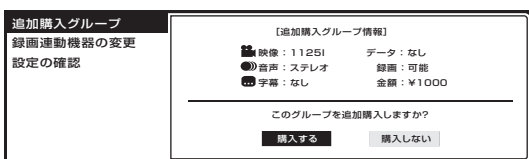
3 「追加購入グループ」を選ぶ

決定する

4 購入グループを選ぶ

決定する

5 「購入する」または「購入しない」を選ぶ

決定する

6 「設定の確認」を選ぶ

決定する

7 画面に表示された設定内容を確認する

「確認」で決定する

・番組表に戻ります。番組表ボタンを押すと、番組表が消えます。
・電源を切るときは、リモコンの電源ボタン（赤）で切ります。

使用する i.LINK 機器を変更する

● 録画する i.LINK 機器を変えたいときに行う手順です。

1 ▶ **124ページの手順 1～ 5を行う**

2 「詳細を設定する」を選ぶ

決定する

3 「録画連動機器の変更」を選ぶ

決定する

4 使用する i.LINK 機器を選ぶ

決定する

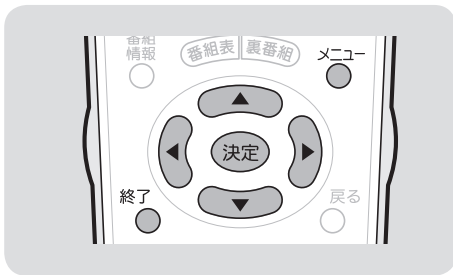
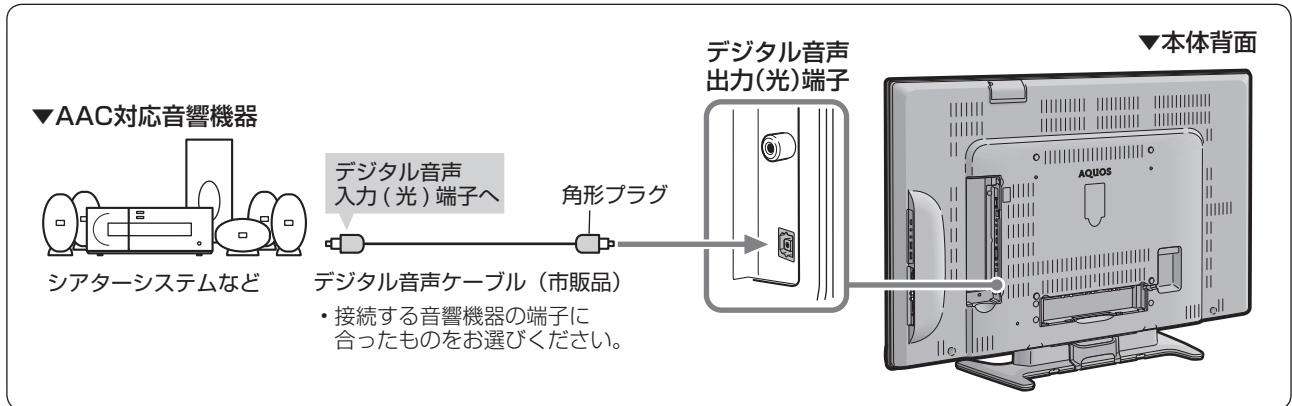
・予約を完了するときは、左の手順 **6** に進みます。

★ おしらせ

・ハイビジョンカメラには予約録画できません。（録画連動機器の変更で、選べません。）

音響機器をつなぐ

デジタル音声(光)の音響機器を接続する

- 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC 音声フォーマットを出力できます。AAC 対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。
- 接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

出力される音声信号の設定（デジタル音声設定）

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「デジタル設定」－「デジタル音声設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

3 **「PCM」または「AAC」を選ぶ**

決定 **決定する**

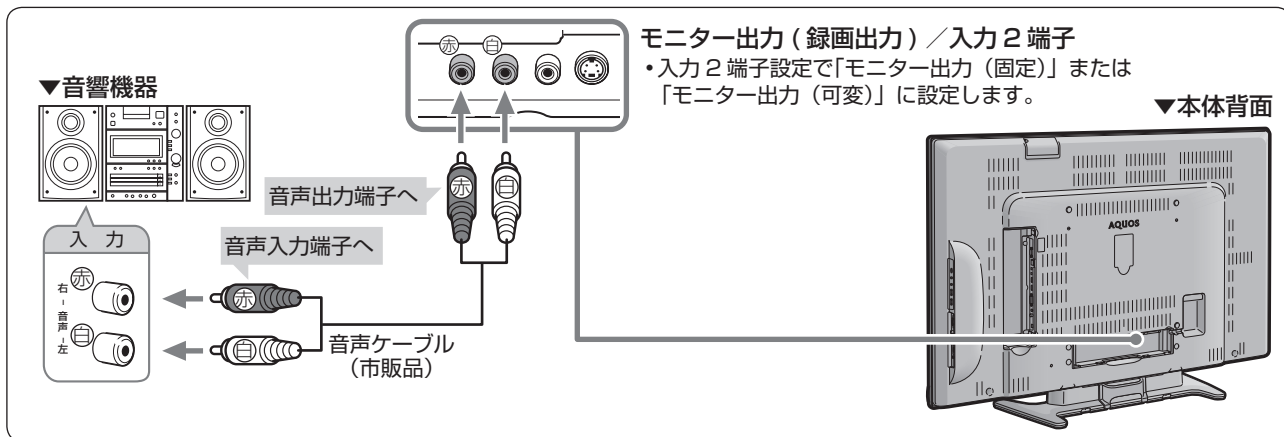
- **「AAC」**：AAC 対応の AV アンプなどをつなぐときは、「AAC」に設定します。主と副の両方の音声が同時に出力されます。
- **「PCM」**：AAC に対応していない機器につなぐときは、「PCM」に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主、副、主／副）が出力されます。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 接続する機器が AAC/PCM の自動切換に対応していない場合は、機器側の設定を切り換えてください。
  詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 地上アナログ放送や CATV 放送、ビデオ入力の音声は、「AAC」に設定しても「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定すると、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。
- 本機の電源を切ると、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。（視聴しているときの音声が出力されます。）
- ファミリンク対応の AV アンプ（AQUOS オーディオ）を市販の HDMI 認証ケーブルとデジタル音声ケーブルでつなぐと、ファミリンク機能で操作できます。（▶ **106** ページ）
- 再生する機器、ソフトによってはデジタル音声出力されない場合があります。

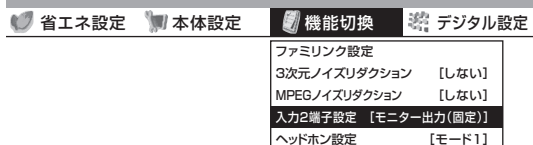
アナログ音声の音響機器を接続する

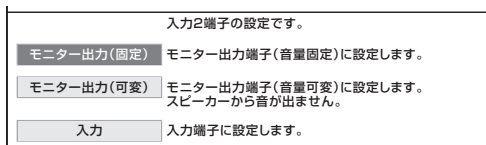
- 本機のモニター出力（録画出力）／入力２端子につなぐとアナログ音声を楽しめます。
- 接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

モニター出力される音声の設定（入力２端子設定）

押すボタン

1 メニュー　メニューを表示する

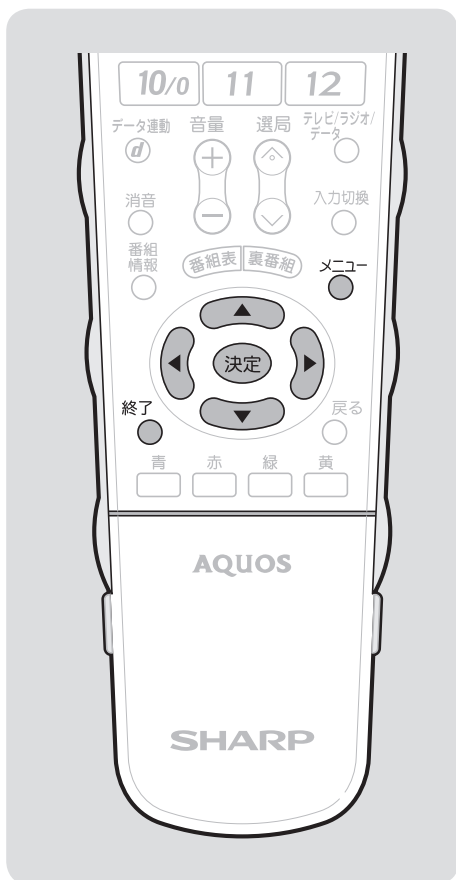
2 「機能切換」－「入力２端子設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」を選ぶ

決定　決定する

- 「外部入力の映像／音声も出力しますか？」という表示がでます。

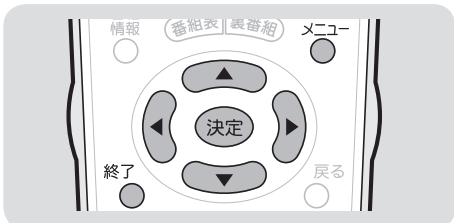
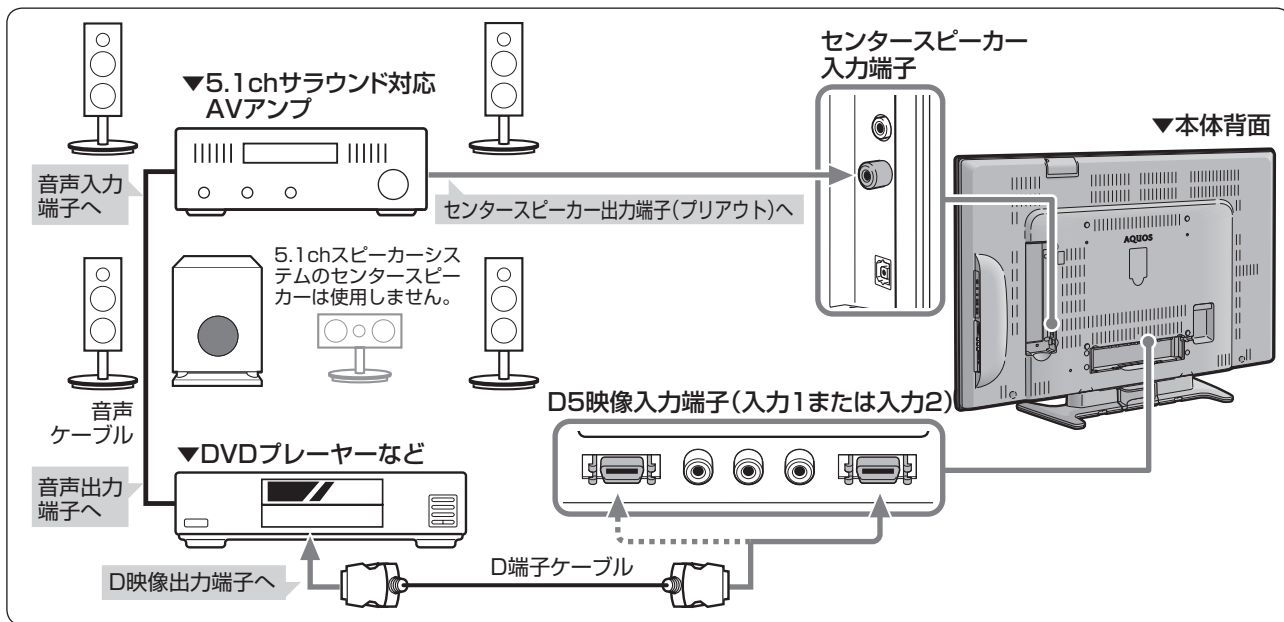
4 「する」または「しない」を選ぶ

決定　決定する

- 本機とビデオ機器をループ接続（▶ **99** ページ）しているときは、「しない」を選んでください。「する」を選ぶと、ハウリング（ブー音）や画面の乱れを生じます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 「モニター出力（固定）」に設定すると、出力される音量は一定になります。
- 「モニター出力（可変）」に設定すると、出力される音量を音量ボタン（青）で調整できます。
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

5.1ch サラウンド対応 AV アンプと接続する

- 本機の内蔵スピーカーをセンタースピーカーとして使用できますので、DVD 音声などを臨場感あふれる音で再生できます。
- 接続の前に、本機と機器の電源を切ってください。

おしらせ

- 接続できる 5.1ch サラウンド対応 AV アンプは、センター出力端子（プリアウト）を持っている機器のみです。
- 本機で受信したサラウンド放送を AAC 対応の音響機器で楽しむには、「デジタル音声（光）の音響機器を接続する」（▶ **126** ページ）の接続も必要です。
- センタースピーカー入力を「する」に設定すると、チャンネルサインの下および音量表示に「センタースピーカー」と表示されます。
- テレビ側の音量および AV アンプ側センターチャンネルのプリアウトの設定を調整し、音量を合わせてください。AV アンプ側の条件によっては、通常のテレビ視聴時の音量設定位置とは大きく異なることがあります。
- AV アンプでスピーカーサイズが設定できる場合は、センターチャンネルのスピーカーを「Small ／小」または「Normal」に設定してください。
- センタースピーカー入力を「する」に設定したときと「しない」に設定したときの音量は、それぞれ独立に設定できます。

センタースピーカーの設定（センタースピーカー入力）

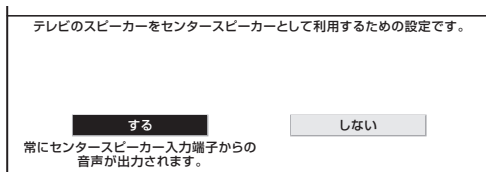
1 電源 接続を確認して、本機の電源を入れる

2 メニュー メニューを表示する

3 「機能切換」－「センタースピーカー入力」を選ぶ

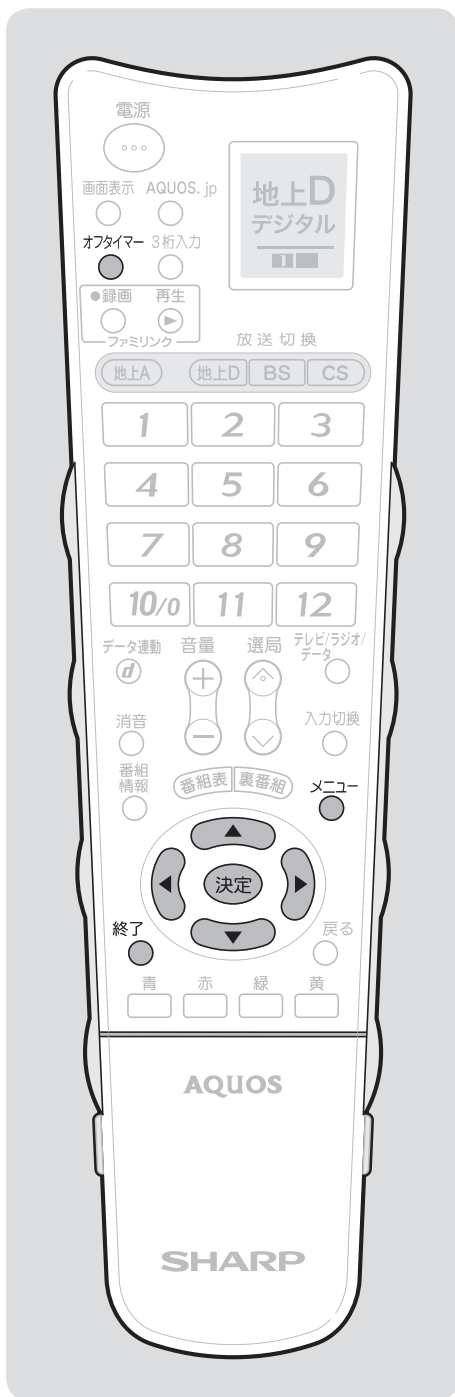
決定 決定する

4 「する」を選ぶ

決定 決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

AQUOSをもっと活用する

省エネの設定をする

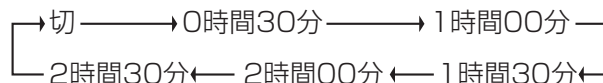
自動的に電源を切るための設定をする

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

● テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

押すボタン

時間を指定してオフタイマーを設定する

・押すごとに次のように画面の表示が変わります。

切 → 0時間30分 → 1時間00分 → 1時間30分 → 2時間00分 → 2時間30分 → 切

・オフタイマーの残り時間が 5 分になると、残り時間が画面左下に表示されます。

● メニューを表示して設定することもできます。

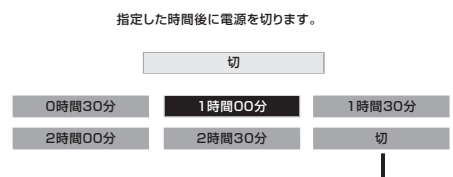
押すボタン

1 メニューを表示する

2 「省エネ設定」－「オフタイマー」を選ぶ

決定する

3 電源が切れるまでの時間を選ぶ

決定する

オフタイマーを解除するには､｢切｣を選びます。

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

オフタイマーの残り時間を確認するには

オフタイマーの残り時間を確認する

・オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。

放送終了後に電源を切る（無信号オフ）

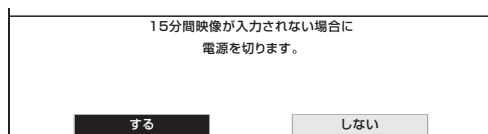
● 放送終了後など、番組が映らない状態になると、約15分後に電源が切れるように設定できます。

1 メニューを表示する

2 「省エネ設定」ー「無信号オフ」を選ぶ

決定する

3 「する」を選ぶ

決定する

・電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。
・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）

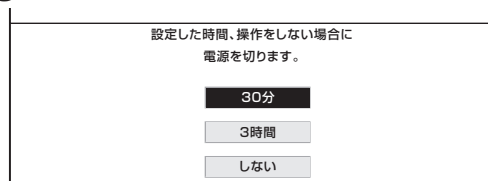
● 操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 メニューを表示する

2 「省エネ設定」ー「無操作オフ」を選ぶ

決定する

3 「30分」または「3時間」を選ぶ

決定する

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★おしらせ

無信号オフ機能について

・工場出荷時は「しない」に設定されています。
・放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
・放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
・入力7のときは、「パワーマネージメント」の設定となります。（▶ **139**ページ）

★おしらせ

無操作オフ機能について

・工場出荷時は「しない」に設定されています。

視聴や操作を制限するための設定

暗証番号を設定し、視聴を制限する

● 視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を通過するときや PPV 番組（有料番組）などを購入するときに、暗証番号を使います。

暗証番号設定

押すボタン

1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「する」を選ぶ

決定　決定する

4 1 〜 10/0　4 桁の暗証番号を入力する

- 暗証番号は必ずメモしてください。

5 1 〜 10/0　確認のため、再度同じ暗証番号を入力する

- 間違った番号を入力した場合は、手順 **4** からやり直してください。

6 決定　「確認」で決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

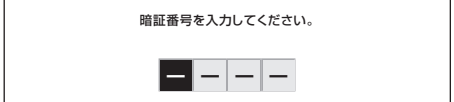
★ おしらせ

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOW やスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2007 年 2 月現在）

暗証番号を変更するときは

① メニューから「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ
- 暗証番号入力画面が表示されます。

② 数字ボタンで、暗証番号を入力する
- 暗証番号を入力すると、暗証番号を設定するときの画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

安心して使うための設定

● 以下の設定をするには、前のページの暗証番号設定が必要です。

安心して使うための設定項目

項　目	内　容
視聴年齢制限設定	年齢制限のある番組の視聴を4～20歳の範囲で制限します。制限する年齢(上限)を数字ボタンで入力します。年齢制限をしない場合は、「無制限」を選びます。
PPV設定～PPV制限	有料の番組の購入を制限します。「する」を選ぶと、PPV番組(有料番組)の購入前に、暗証番号が必要になります。
PPV設定～購入金額制限	有料の番組の購入金額を制限します。設定した以上の金額のPPV番組(有料番組)を購入するときは、暗証番号が必要になります。購入金額の上限を数字ボタンで入力します。購入金額を制限しない場合は、「無制限」を選びます。

1 メニューを表示する

2 「デジタル設定」を選ぶ

3 「視聴年齢制限設定」または「PPV 設定」を選ぶ

 決定する

4 暗証番号を入力する

5 画面表示にしたがって設定項目を選んだり、設定内容を入力する

- 上記「安心して使うための設定項目」もご覧ください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

リモコンまたは本体の操作をロックする(チャイルドロック)

● リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。

チャイルドロックの設定項目

項　目	内　容
しない	リモコンでも本体ボタンでも操作できます。
リモコン操作ロック	リモコンでの操作ができない状態にします。
本体操作ロック	本体ボタンでの操作ができない状態にします。(本体の電源ボタン(赤)はロックされません。)

1 メニューを表示する

2 「機能切換」－「チャイルドロック」を選ぶ

 決定する

3 「しない」「リモコン操作ロック」「本体操作ロック」のいずれかを選ぶ

 決定する

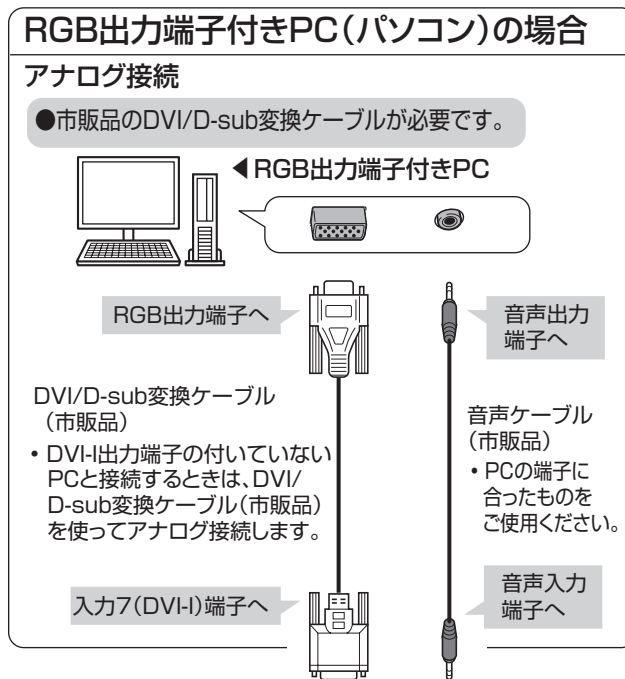
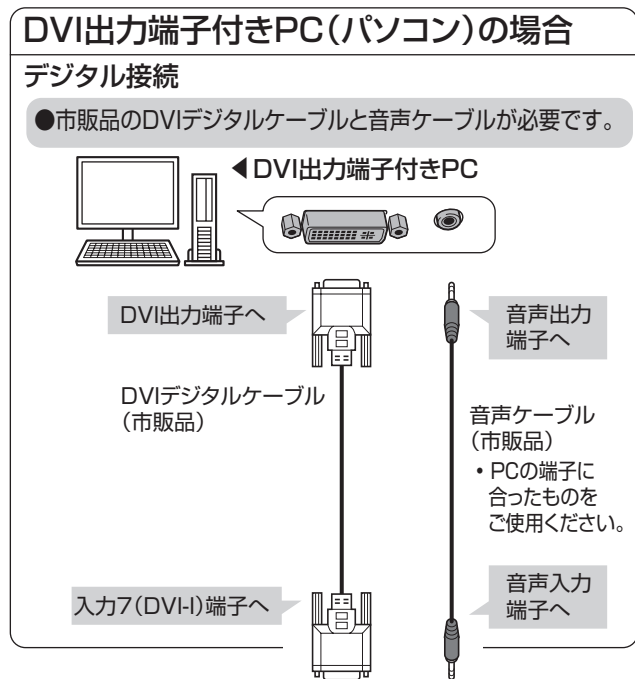
おしらせ

- 誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体側面のボタン(▶ 38 ページ)で上記の操作をし、ロックを解除してください。

パソコンのモニターとして使う

PC(パソコン)と接続する

● 本機を PC（パソコン）のモニターとしても使用できます。

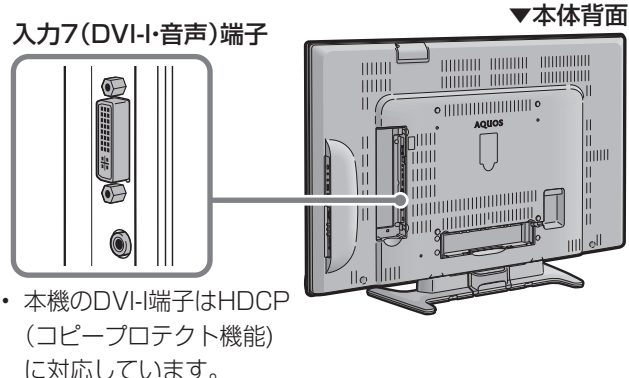
パソコンの出力端子を確認して適合するケーブルをご用意ください。

DVIデジタルケーブルの取扱いについて

おしらせ

- DVI/D-sub 変換アダプタは、形状によっては本機の端子スペースに入らない場合がありますのでご注意ください。

入力7(DVI-I・音声)端子

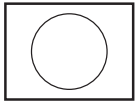
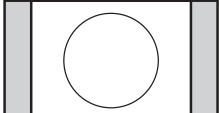
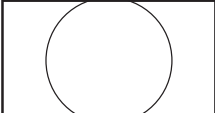
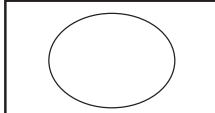
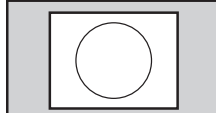
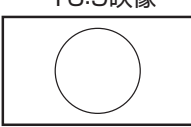
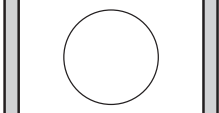
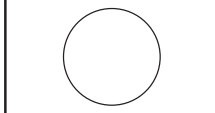
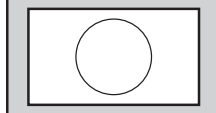
▼本体背面

- 本機のDVI-I端子はHDCP（コピープロテクト機能）に対応しています。

PC（パソコン）の解像度

● PC（パソコン）の DVI 出力／ RGB 出力の解像度を確認してください。

● 右の表は、本機が対応している解像度です。

おしらせ

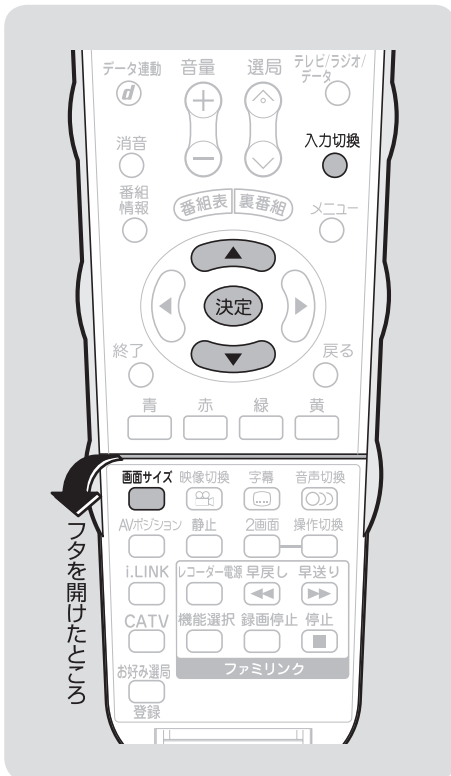
- アナログ接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（自動同期調整 ▶ **136** ページ）
- PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、「PC（パソコン）の画面を表示する」（▶ **135** ページ）をご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

	解像度(ピクセル)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
	VGA	720×400	31.5	70	
		640×480	31.5	60	○
			37.9	72	○
			37.5	75	○
	SVGA	800×600	35.1	56	○
			37.9	60	○
			48.1	72	○
			46.9	75	○
	XGA	1024×768	48.4	60	○
			56.5	70	○
			60.0	75	○
	WXGA	1360×768	47.7	60	○
	SXGA	1280×1024	64.0	60	○
	SXGA+	1400×1050	65.3	60	○
※	525p(480p)	720×480	31.5	60	
※	1125i(1080i)	1920×1080	33.8	60	
※	750p(720p)	1280×720	45.0	60	
※	1125p(1080p)	1920×1080	67.5	60	

※の入力信号の画面サイズについては、▶ **78** ページをご覧ください。

PC(パソコン)の画面を表示する

画面サイズの選びかた

● 以下の画面サイズを選べます。（入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
4:3映像 640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 1360×768、 1920×1080など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。		画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

1 PC（パソコン）の電源を入れる

2 入力切換 「入力 7」（PC 入力）を選ぶ

・PC（パソコン）の画面が表示されます。

3 画面サイズ 画面サイズ切換メニューを表示する

・表示中に次の操作を行います。

4 画面サイズ お好みの画面サイズを選ぶ

・上下カーソルボタンでも選べます。

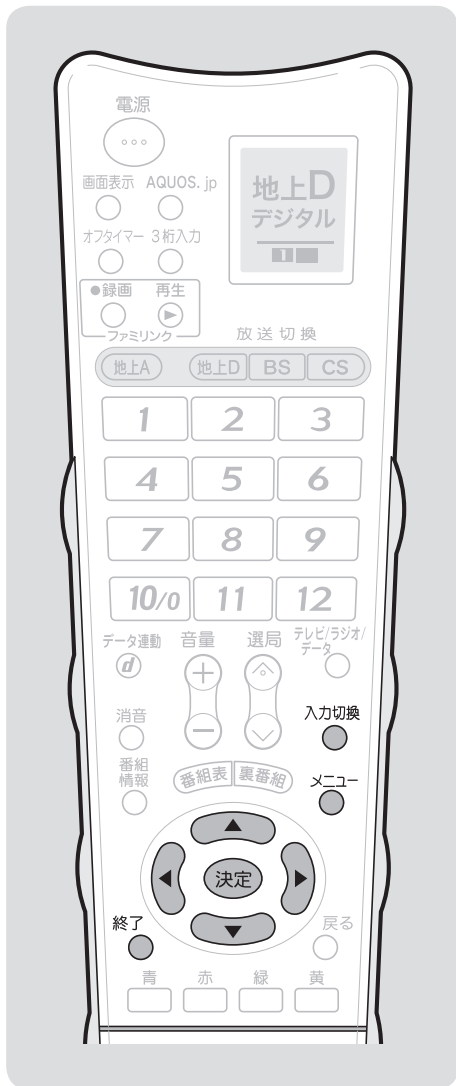
5 決定 画面サイズ切換メニューを消す

画面サイズ切換
ノーマル
シネマ
フル
Dot by Dot

・画面が正しく映らないときは、▶ **137** ページをご覧ください。

次のページにつづく ▶

画面の調整

● 市販の DVI/D-sub 変換ケーブルなどで PC（パソコン）とアナログ接続している場合に、最良に近い画面に自動的に調整されます。クロック周波数、クロック位相などが調整されます。

1 「入力 7」（PC 入力）を選ぶ

2 メニューを表示する

3 「本体設定」ー「自動同期調整」を選ぶ

決定する

本体設定 … 自動同期調整］

音声調整	省エネ設定	本体設定	機能切換

本体設定	
スピーカー設定	
入力スキップ設定	
入力解像度	［1360×768］
自動同期調整	
入力表示選択	［入力7］
画面調整	
映像反転	［しない］
クイック起動設定	［しない］
かんたん初期設定	
Language（言語設定）	［日本語］
時計設定	
個人情報初期化	

4 「する」を選ぶ

決定する

- 「自動同期調整中」と表示されます。
- 自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
  正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。
- 画面が正しく映らないときは、▶ **137** ページをご覧ください。
- お使いのパソコンによっては、外部出力ボードを有効にしないと映像が表示されない場合があります。
  シャープ製のノート型パソコンの場合では、Fn キーと F5 キーを同時に押すと、外部出力ボードが有効になります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

★ おしらせ

画面が正しく映らないときは

- 「入力信号の設定」（▶ **137** ページ）を行う必要がある場合があります。
- 入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。（入力解像度の設定▶ **137** ページ）
- 動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号や PC によっては、自動調整だけでは、最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。（画面調整 ▶ **137** ～ **138** ページ）

画面が正しく映らないときは

● 以下の設定をしてください。

入力信号の設定

押すボタン

1 入力切換 「入力 7」（PC 入力）を選ぶ

2 メニュー メニューを表示する

3 「機能切換」－「入力選択」を選ぶ
決定 決定する

4 接続したケーブルを確認し、「デジタル」または「アナログ」を選ぶ
決定 決定する

入力端子の設定です。

自動	入力信号を自動で選択して表示します。
デジタル	常にデジタル入力信号を表示します。
アナログ	常にアナログ入力信号を表示します。

- 工場出荷時は「自動」に設定されています。通常は自動のままでかまいません。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

入力解像度の設定

● PC（パソコン）の解像度が「1024 × 768」または「1360 × 768」の場合に必要な設定です。

押すボタン

1 入力切換 「入力 7」（PC 入力）を選ぶ

2 メニュー メニューを表示する

3 「本体設定」－「入力解像度」を選ぶ
決定 決定する

4 入力解像度を選ぶ

決定する

入力映像信号の解像度の手動設定です。

1024×768

1360×768

- 垂直ライン数（非表示期間を含む）が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

画面調整

● 以下の項目が調整できます。

項目	内容
水平位置	画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。
垂直位置	画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。
クロック周波数（アナログ接続のみ）	縦じま状のチラツキがあるときに調整します。0 ～ 180 の範囲で調整できます。
クロック位相（アナログ接続のみ）	文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。0 ～ 40 の範囲で調整できます。
リセット	工場出荷時の設定に戻します。

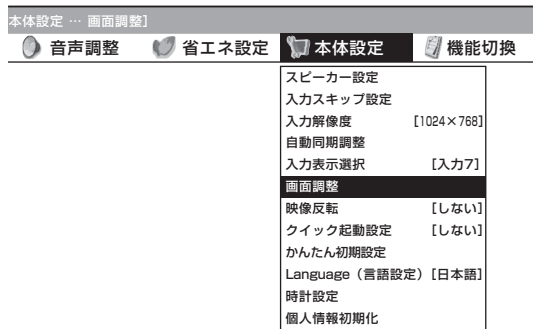
（例） 画面の垂直位置を調整する

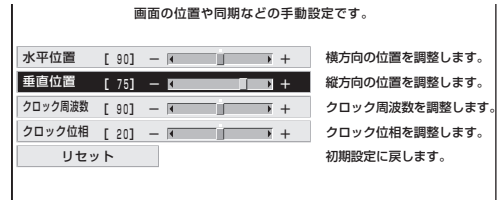
1 入力切換 「入力 7」（PC 入力）を選ぶ

2 メニュー メニューを表示する

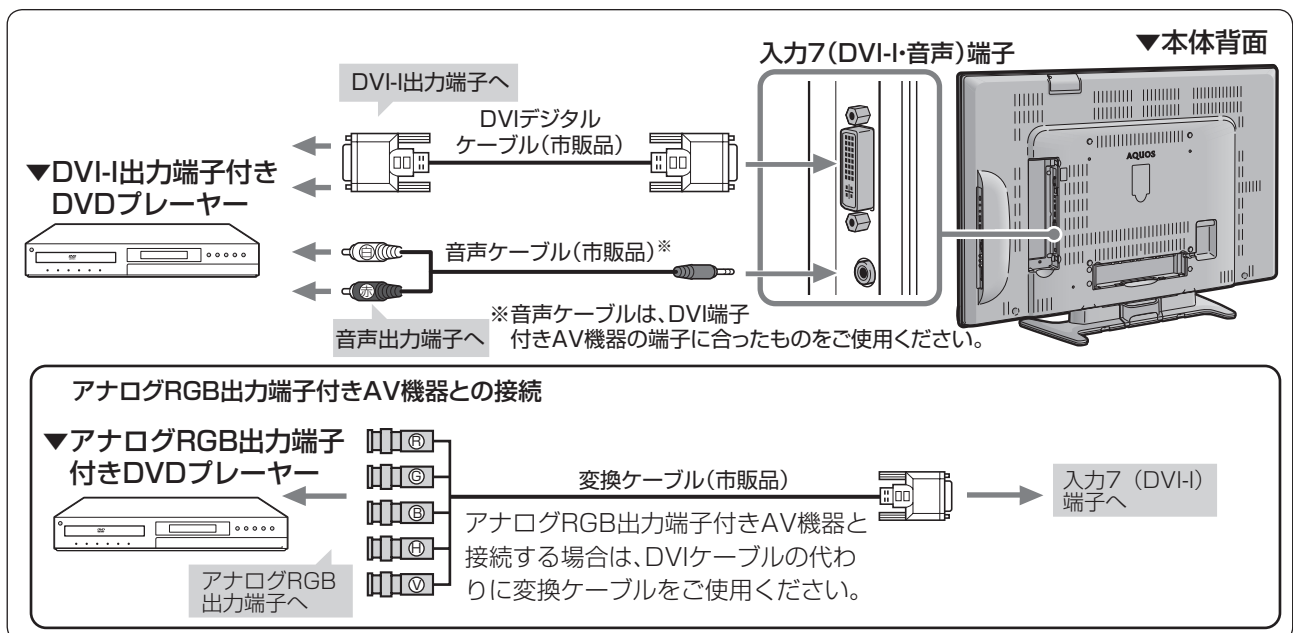
次のページにつづく

3 「本体設定」ー「画面調整」を選ぶ

 決定する

4 「垂直位置」を選ぶ

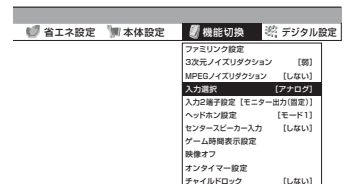
5 適切な位置に調整する

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

DVI-I 出力端子付き AV 機器との接続

● DVI-I 出力端子付き AV 機器との接続は、市販の DVI ケーブルを使用します。

おしらせ

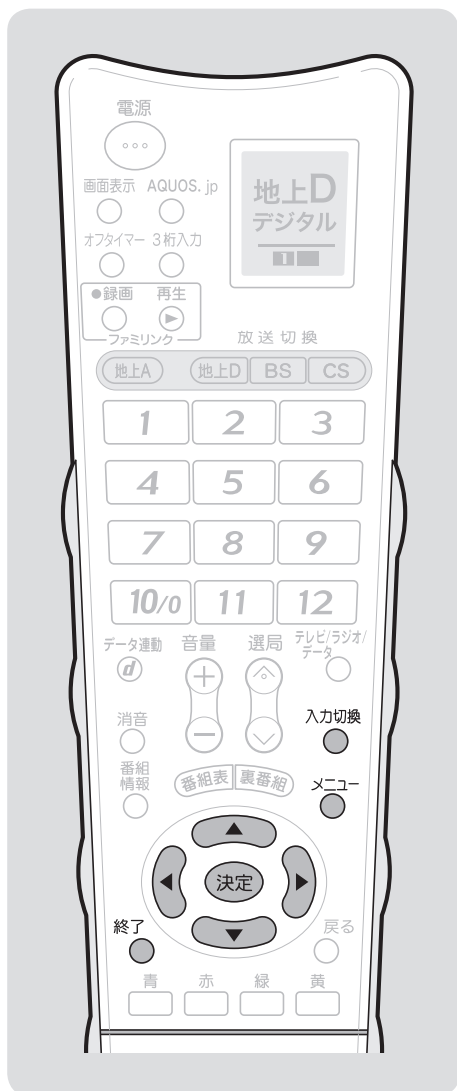
入力 7 に接続した機器に合わせて端子を設定する

・DVI 対応 AV 機器の入力対応信号は、525p、1125i、750p、1125p です。
・対応した信号で正しく表示されない場合は、右の手順に従い、接続したケーブルを確認し、入力 7 を「デジタル」または「アナログ」に設定してください。通常は「自動」のままでかまいません。

① 入力切換ボタンを押し、「入力 7」を選ぶ
② メニューから「機能切換」ー「入力選択」を選び、決定ボタンを押す

③ 接続したケーブルを確認し、上下カーソルボタンで「デジタル」または「アナログ」を選び、決定ボタンを押す

入力端子の設定です。	
自動	入力信号を自動で選択して表示します。
デジタル	常にデジタル入力信号を表示します。
アナログ	常にアナログ入力信号を表示します。

省エネ機能の設定

- PC(パソコン)の画面が消えたときに自動的に本機の電源も切れるように設定できます。(パワーマネージメント)
- 「パワーマネージメント」は、入力７を選択しているときに選べます。

(例)　パワーマネージメントを「モード1」に設定する

押すボタン

1 入力切換　「入力７」(PC入力)を選ぶ

2 メニュー　メニューを表示する

3 「省エネ設定」ー「パワーマネージメント」を選ぶ

決定　決定する

4 「モード１」を選ぶ

決定　決定する

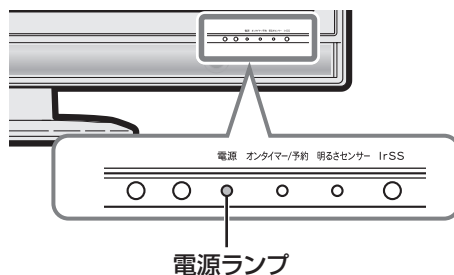
ＰＣのディスプレイとして使用する場合の省エネ機能の設定です。

しない
モード１　８分間映像が入力されない場合に電源を切ります。
モード２　８秒間映像が入力されない場合にパワーマネージメント状態にします。(アナログPC入力の場合、映像信号が入力されると復帰します。)

項目	内容
しない	パワーマネージメントを行いません。
モード１	PC(パソコン)の画面が消えると、約８分後に自動的に電源が切れる機能です。電源が切れる５分前から、画面左下に残り時間が表示されます。 パワーマネージメント　残り　5分
モード２	PC(パソコン)の画面が消えると、８秒後に自動的に電源が切れる機能です。PCの映像信号が入力されると電源が入ります。

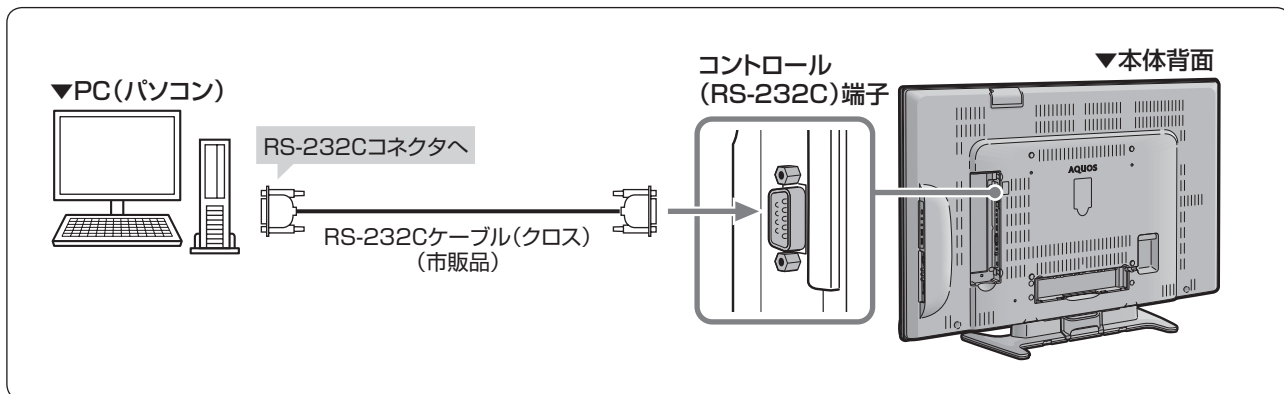
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。
- パワーマネージメントを「モード２」に設定している場合、パワーマネージメント状態になると、本体前面右下の電源ランプが橙色に点灯します。

おしらせ

- パワーマネージメントを「モード２」に設定しているとき、コンセントを抜くなどして本機の電源をしゃ断すると、電源を入れなおしても正常に動作しない場合があります。このときは、リモコンの電源ボタン(赤)を押してください。
- デジタル接続したPC(パソコン)の画面を表示しているときに「モード２」に設定すると、モード２の待機状態になった後に映像信号が入力されても電源が入らないことがあります。このときは、リモコンの電源ボタン(赤)を押してください。

PC(パソコン)で制御する

PC を使い慣れたかたのご利用をお願いします。

接続のしかた

● ターミナルソフトなどを使って、チャンネル切換、音量調整、入力切換などの本機の操作ができます。

● PC 側の RS-232C 通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
● 本機の仕様は、右のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

通信のしかた

● PCからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをPC側に送ります。
● 複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時の戻り値(OK)を受けとってから、つぎのコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(PCから本機へ)

レスポンス(本機からPCへ)

・正常時

・異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

O	K	⏎

リターンコード(0DH)

E	R	R	⏎

リターンコード(0DH)

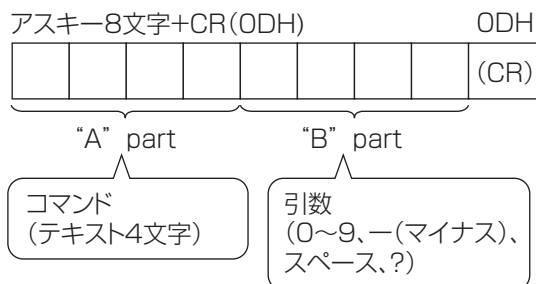
戻り値について

・ コマンドの実行が終了したら、次の戻り値を返します。

O	K	(CR)

・ コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、次の戻り値を返します。

E	R	R	(CR)

コマンドと引数について

・ “B” part は左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず 4 文字にしてください。)設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。

・ 次ページのコマンド一覧で引数が「ー」になっているものは、「0」〜「9」、「ー」(マイナス)、スペース、「?」であれば何を書いてもかまいません。
・ いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

RS-232C コマンド一覧

●下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

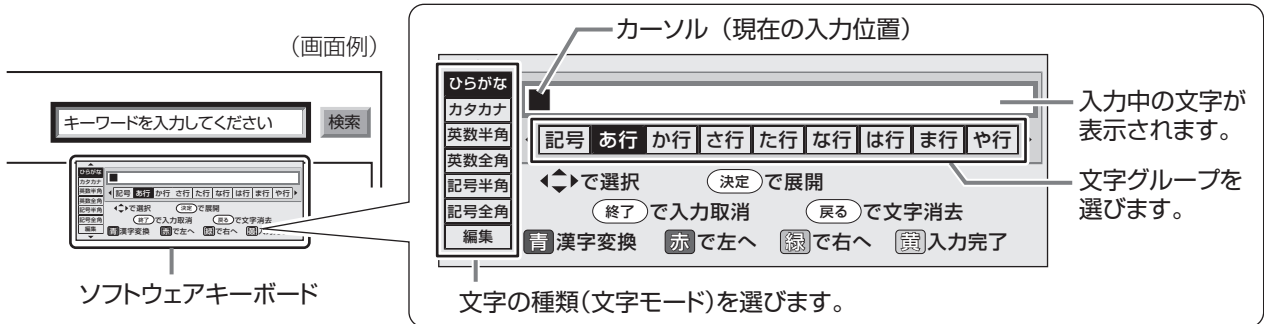
機　能		“A”part	“B”part	Part動作説明	備　考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	–※1	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	–		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま［ラストメモリー］）
	入力1～7	IAVD	1～7※1	（入力端子番号）	入力1～入力7に入力切換
	i.LINK	LINK	–		i.LINKに入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	–	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1～20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む（リモコン番号選択）
	CATV	CATV	13～63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0～999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS1デジタル3桁入力	CCSD	0～999	CS1デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS2デジタル3桁入力	CCSD	0～999	CS2デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0～999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	–	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作（入力切換含む）
	選局逆	CHDW	–	テレビのチャンネル番号－1	リモコン選局逆と同じ動作（入力切換含む）
入力選択	入力1 入力2 入力3 入力7	INP1 INP2※1 INP3 INP7	0	自動	入力切換含む。入力4～6以外で有効
			1	D端子	入力1～3のみ有効
			3	S端子	入力2のみ有効
			4	ビデオ映像端子	入力1～3のみ有効
			5	デジタル	入力7のみ有効
			6	アナログ	入力7のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック固定	
			6	ダイナミック	
			7	PC	
			8	xvYCC	
音量		VOLM	0～60	音量値	
位置調整・画面調整	水平位置	HPOS	※2	移動値	
	垂直位置	VPOS	※2	移動値	
	クロック周波数	CLCK	0～180	移動値	PC入力時のみ有効
	クロック位相	PHSE	0～40	移動値	PC入力時のみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	
			1	ノーマル	（AV系／PC系）
			2	スマートズーム	（AV系）
			3	ワイド	（AV系）
			4	シネマ	（AV系／PC系）
			5	フル	（AV系／PC系）
			6	フル1	（AV系1125i）
			7	フル2	（AV系1125i）
			8	アンダースキャン	（AV系1125i以上）
			9	Dot by Dot	（AV系／PC系）
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
サラウンド		ACSU	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
音声切換		ACHA	–	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

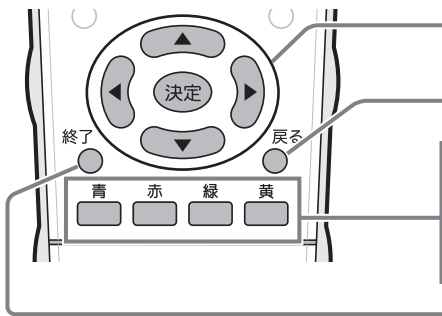
※1 入力2は、入力2端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。
※2 入力、信号、画面サイズによって範囲が変わります。

おしらせ

- “B”part欄の「–」は、「0」～「9」、「–」（マイナス）、スペース、「？」であれば何を入力してもかまいません。

文字入力のしかた（ソフトウェアキーボード）

- 入力表示の編集やインターネットを楽しむとき、LAN 設定をするときは、ソフトウェアキーボードで文字を入力します。
- ソフトウェアキーボードは、文字入力できる欄を選んで決定ボタンを押すと、表示されます。

・メニューからソフトウェアキーボードを呼び出したときは「青 漢字変換」は表示されません。

文字の入力に使うリモコンのボタン

入力する文字（文字モード・文字グループ）を選びます。
漢字変換中は、左右で範囲を指定し、上下で別候補を表示します。

入力中の文字を1文字消します。

青 ： ひらがなを漢字に変換します。（漢字を入力できる欄のみ）
赤 ： カーソルを左へ移動します。
緑 ： カーソルを右へ移動します。
黄 ： 文字入力を完了します。ソフトウェアキーボードが消えます。

現在の入力をすべて取り消します。ソフトウェアキーボードも消えます。

入力できる文字の一覧

文字モード	入力できる文字
ひらがな	（下表）

記号	ー、。・「」ー(全角ハイフン)		
あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ		
か行	かきくけこ゛	さ行	さしすせそ゛
た行	たちつてとっ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ゛゜	ま行	まみむめも
や行	やゆよゃゅょ	ら行	らりるれろ
わ行	わをんゎ		
空白	（全角スペース）		

文字モード	入力できる文字
カタカナ	ひらがなと同じ文字をカタカナで入力できます。
英数半角	（下表）

数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		
ABC	a b c A B C	DEF	d e f D E F
GHI	g h i G H I	JKL	j k l J K L
MNO	m n o M N O	PQRS	p q r s P Q R S
TUV	t u v T U V	WXYZ	w x y z W X Y Z
空白	（半角スペース）		

文字モード	入力できる文字
英数全角	「英数半角」と同じ文字を全角で入力できます。

文字モード	入力できる文字
英字半角	半角のアルファベットを入力できます。文字グループの内容は「英数半角」のアルファベットと同じです。
数字半角	半角の数字を入力できます。
記号半角	（下表）

<table>
<tr><td>@ . , :</td><td>@ . , :</td><td>;_−¥</td><td>; _ − ¥</td></tr>
<tr><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td><td>&#+*</td><td>& # + *</td></tr>
<tr><td>=/|~</td><td>= / | ~</td><td>"'^`</td><td>" ' ^ `</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>( ) < ></td><td>[]{}</td><td>[ ] { }</td></tr>
<tr><td>空白</td><td colspan="3">（半角スペース）</td></tr>
</table>

文字モード	入力できる文字
記号全角	「記号半角」と同じ文字を全角で入力できます。
編集	入力取消 / 左へ / 右へ / 入力完了 / 文字消去 / 改行 カラーボタンや戻るボタンなどを押したときと同じ働きをします。 「改行」は改行ができる場合のみ表示されます。

● ここでは、例として「場所」と入力する手順を説明します。

1 文字を入力できる欄を選ぶ

決定する

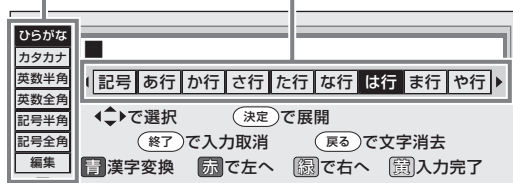
- ソフトウェアキーボードが表示されます。

文字を選ぶ

2 「ひらがな」を選ぶ

「は行」を選ぶ

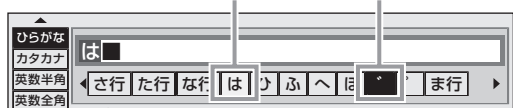
決定する

①「ひらがな」を選ぶ　②「は行」を選び、決定する

3 「は」を選ぶ

決定する

「゛」を選ぶ

決定する

①「は」を選び、決定する　②「゛」を選び、決定する

4 同じようにして「し」「ょ」を入力する

★おしらせ

- 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤（左へ）または緑（右へ）でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。

文字入力の制限について

- １つの入力欄に入力できる文字数は全角で 64 文字まで、半角で 128 文字までです。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。
  このとき、全角で 64 文字（半角の場合は 128 文字）を超える文字は削除されます。

漢字に変換する

- 漢字を入力できる欄では、ひらがなを漢字に変換できます。

5 青　入力欄にひらがなが表示された状態で、ひらがなを漢字に変換する

ひらがな / カタカナ　場所■

- 上下カーソルボタンで別の候補を表示できます。
- 左右カーソルボタンで変換する範囲を変更できます。

6 決定　入力したい文字（ここでは「場所」）が表示されたら、決定する

- 文字が確定します。

文字入力を完了する

7 黄　ソフトウェアキーボードを消す

- 黄ボタンを押すと入力中の文字が、入力欄に入力され、ソフトウェアキーボードが消えます。
  これで文字の入力は完了です。

スペースを入力するとき

文字グループから「空白」を選ぶ

決定する

- 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

改行するとき

1 「編集」を選ぶ

2 「改行」を選ぶ

決定する

- 改行マークが表示されます。入力を完了したとき、改行マークの位置で改行されます。

★おしらせ

- 入力欄によっては、改行できない場合もあります。
- 改行マークは、全角 1 文字として数えられます。

有料放送／双方向通信／インターネットの準備をする

● 有料放送・双方向通信・インターネットをお楽しみになるには、次の環境が必要です。

有料放送や双方向通信を利用するとき

- 電話回線の用意と電話回線設定が必要です。
- 接続と設定のしかた

インターネットを利用するとき

- ブロードバンド環境の用意とLAN設定が必要です。
- 接続と設定のしかた（▷149ページ）

★ おしらせ

- 一部の双方向番組はLAN接続でも利用できます。

電話回線の接続と設定

電話回線の接続と設定のながれ

電話回線の接続（144〜145ページ）

⬇

電話回線の設定（146ページ）

電話会社の設定（147ページ）

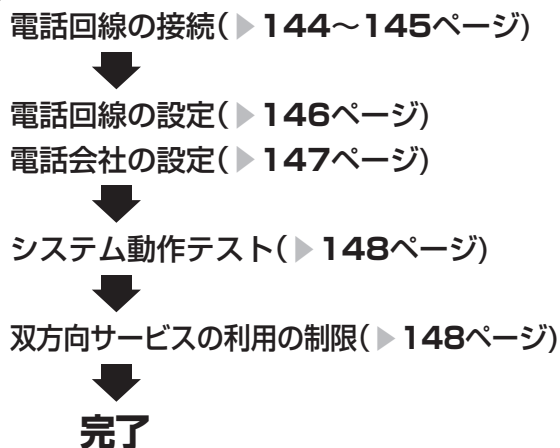
⬇

システム動作テスト（148ページ）

⬇

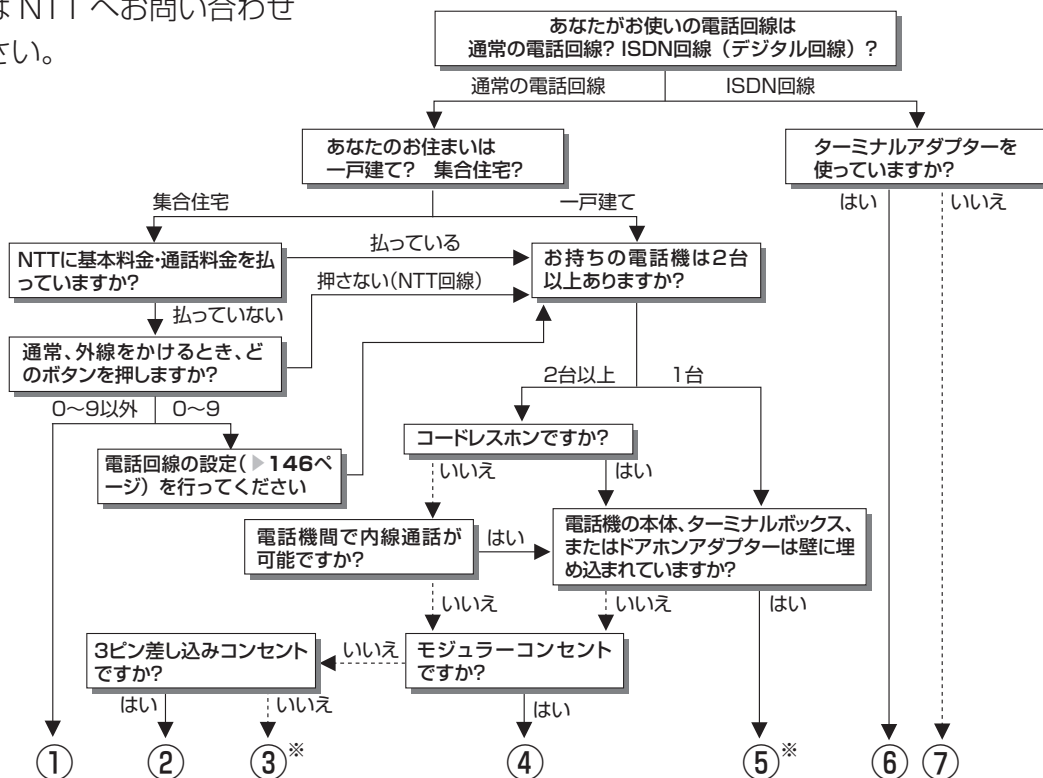
双方向サービスの利用の制限（▷148ページ）

⬇

完了

電話回線の接続

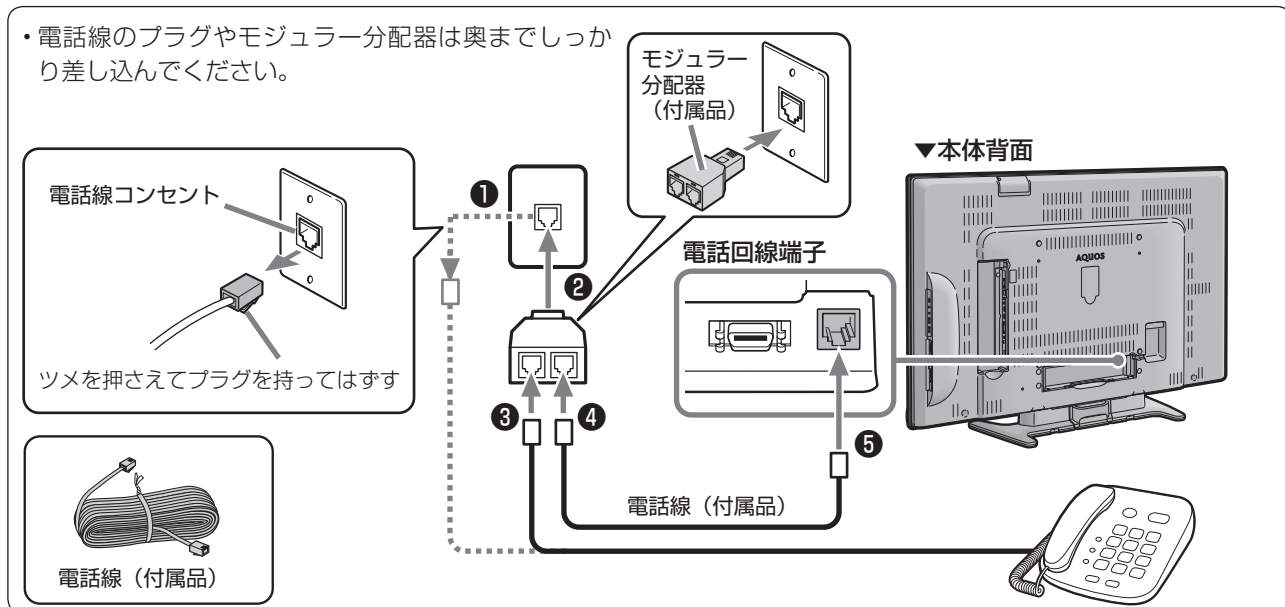
電話回線の状態を確認する

● 下の図で電話回線の状態を確認した後、接続してください。

● 詳細はNTTへお問い合わせください。

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。（▷145ページ）
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、もしくは116（局番なし）でご相談ください。

電話回線に接続する

● 本機と電話機の電源を切り、下図の❶～❺の順番で取りはずしと接続を行います。

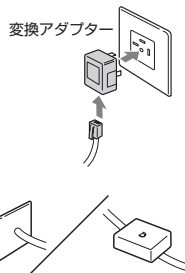
・電話線のプラグやモジュラー分配器は奥までしっかり差し込んでください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

光回線や ADSL を使用する、インターネットを介した IP 電話などの電話回線の場合

- ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

変換アダプター

- 3ピンプラグの場合は、市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
- 直結配線方式の場合は、簡単な工事が必要です。
詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）の場合

- そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
詳細は電話設置会社にご相談ください。

● **ADSL回線を利用するときは、「ブロードバンド環境への接続と設定」の説明（▶149ページ）をご覧ください。**
- ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスを受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

キャッチホンの場合

- 通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

FAX を使っている場合

- FAX の「電話機へ」と書かれたモジュラージャック端子に接続している電話機の電話線をはずし、代わりにモジュラー分配器を差し込み、分配器の一方に電話機の電話線を、もう一方に本機に付属の電話線を接続してください。分配器で FAX と本機に分配すると、FAX が誤動作する場合があります。

本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。

- 通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ ....）が聞こえます。その間は電話をしないでください。

直接デジタル回線に接続することはできません。

- 会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDN などのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）等の端末器を介して接続してください。

★ おしらせ

- 電話回線接続時には電話料金がかかります。（クイズ番組の答えを送信するときなど）
- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機や FAX が鳴る場合がありますが異常ではありません。

次のページにつづく ▶

電話回線の設定

● 接続した電話回線の設定をします。

おしらせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。
- 電話回線のテスト実行には、回線の種類により最長７分程度かかる場合があります。
- 「電話回線設定－手動」で設定した内容を確認したい場合は、「電話回線設定－自動」で「テスト実行」を行ってください。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」－「通信設定」を選ぶ

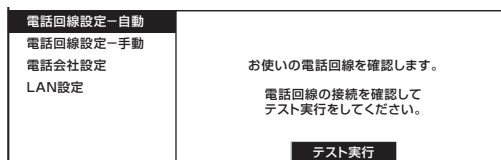
決定する

3 「電話回線設定－自動」を選ぶ

決定する

「テスト実行」で決定する

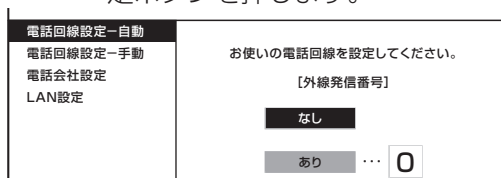
電話回線設定－自動
電話回線設定－手動
電話会社設定
LAN設定

お使いの電話回線を確認します。
電話回線の接続を確認して
テスト実行をしてください。
テスト実行

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。

外線発信番号の設定

4 「なし」または「あり」を選ぶ

決定する

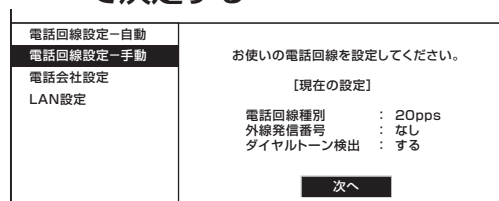
- 外線交換機を使用しない場合は、「なし」を選びます。（通常はこちらを選びます。）
- 電話交換機などをご使用の場合は、「あり」を選びます。数字ボタン（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力し、決定ボタンを押します。

5 「テスト実行」で決定する

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 自動で電話回線の設定ができない場合は、以降の手順を行います。

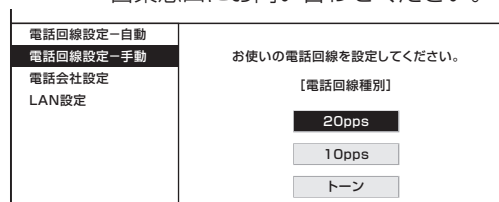
手動による電話回線設定

6 「電話回線設定－手動」を選ぶ

決定する

「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定する

7 電話回線種別を選ぶ

決定する

- 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

8 外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

決定する

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力し、決定ボタンを押します。

9 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を選ぶ

決定する

- NTT回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により、「する」または「しない」を選んでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

電話会社の設定

● 各放送局など、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。

● **通常は設定する必要はありません。**

発信者番号通知設定

・通信後､放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

1 メニューを表示する

2 「デジタル設定」－「通信設定」を選ぶ

決定する

3 「電話会社設定」を選ぶ

決定する

4 「現在の設定」を確認し､「次へ」で決定する

5 「設定しない」「186」「184」のいずれかを選ぶ

決定する

・「設定しない」を選ぶと､「186」「184」のどちらにも設定しません。

・「186」を選ぶと、電話番号を通知します。

・「184」を選ぶと、電話番号を通知しません。

事業者番号設定

・ 電話回線での通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

6 利用している電話会社の事業者番号を選ぶ

決定する

解除番号設定

・ マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するように設定できます。

7 「する」または「しない」を選ぶ

決定する

・「する」を選ぶと、マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

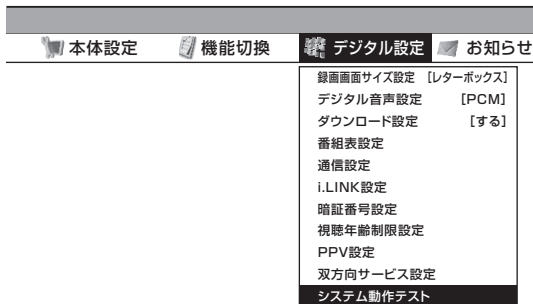
・「しない」を選ぶと、マイラインプラスを解除しないで、発信します。

・操作を終了する場合は､終了ボタンを押します。

システム動作テスト

● 本機は、電話回線の接続やB-CASカードの挿入が正しく行われているかなどをテストできます。

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「デジタル設定」－「システム動作テスト」を選ぶ**
決定　**決定する**

3 決定　**「テスト実行」で決定する**

- 表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

4 決定　**結果を確認し、「テスト終了」で決定する**

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★おしらせ

システム動作テストに失敗したときは

- 電話回線の接続と設定を確認してください。
  (▶ **144**～**147** ページ)
- B-CAS カードが正しく挿入されているか確認してください。
  (▶ **36**ページ)

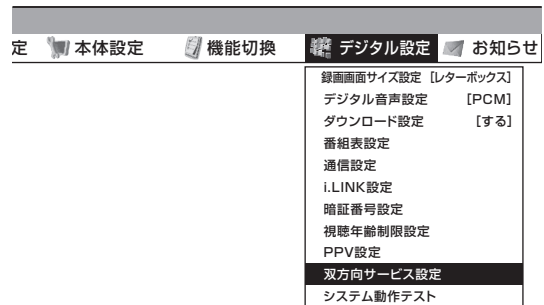
双方向サービスの利用を制限する

● 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送やインターネットでの接続を禁止したいときに便利な設定です。

★おしらせ

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（▶ **132** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を選ぶ**
決定　**決定する**

3 1 ～ 10/0　**暗証番号を入力する**

4 **以下の設定項目を選ぶ**

決定　**決定する**

項　目
デジタル放送での接続を禁止する
インターネットでの接続を禁止する
全ての接続を禁止する
禁止しない

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★おしらせ

- 「禁止しない」に設定した場合はデータ送信時に以下のアイコンを表示します。

灰色のときは**回線コール中**　**青色**のときは**回線使用中**

ブロードバンド環境への接続と設定（インターネットの準備）

● 本機をご家庭にあるブロードバンド環境に接続すると、本機でインターネットに接続し、「オーナーズラウンジ AQUOS.jp」を表示したり、デジタル放送の双方向通信※をお楽しみになれます。

※ LAN 接続に対応している番組のみ。

おしらせ

- アナログ回線ではインターネットに接続できません。
- **LAN 接続しても電話回線で通信が行われることがありますので、電話回線にもつないでください。**（▶ **144** ページ）

ブロードバンド環境への接続と設定のながれ

本機が接続できるブロードバンド環境を確認する（▷ 150 ～ 151 ページ）

- 本機をインターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。詳しくは▶ **150** ページをご覧ください。

▼

ブロードバンドルーターと本機を接続する（▷151ページ）

- LAN ケーブル（市販品）を使って、ブロードバンドルーター（市販品）と本機をつなぎます。

▼

「AQUOS.jp」を表示してみる（▷154ページ）

- インターネットにつながったかどうか、「AQUOS.jp」を表示してみましょう。
「AQUOS.jp」が表示できたら、ブロードバンド環境への接続と設定は完了です。

「AQUOS.jp」が表示できない場合は…

本機のネットワークの設定を確認する（▶152ページ）
- 通信設定画面で、各項目の数値が表示されているかを確認します。

本機のLAN設定を変更する（▶153ページ）
- プロバイダーなどからプロキシサーバーを指定されている場合は、LAN の設定を変更します。

▼

双方向サービスの利用を制限する（▷148ページ）

▼

完了

「AQUOS.jp」とは

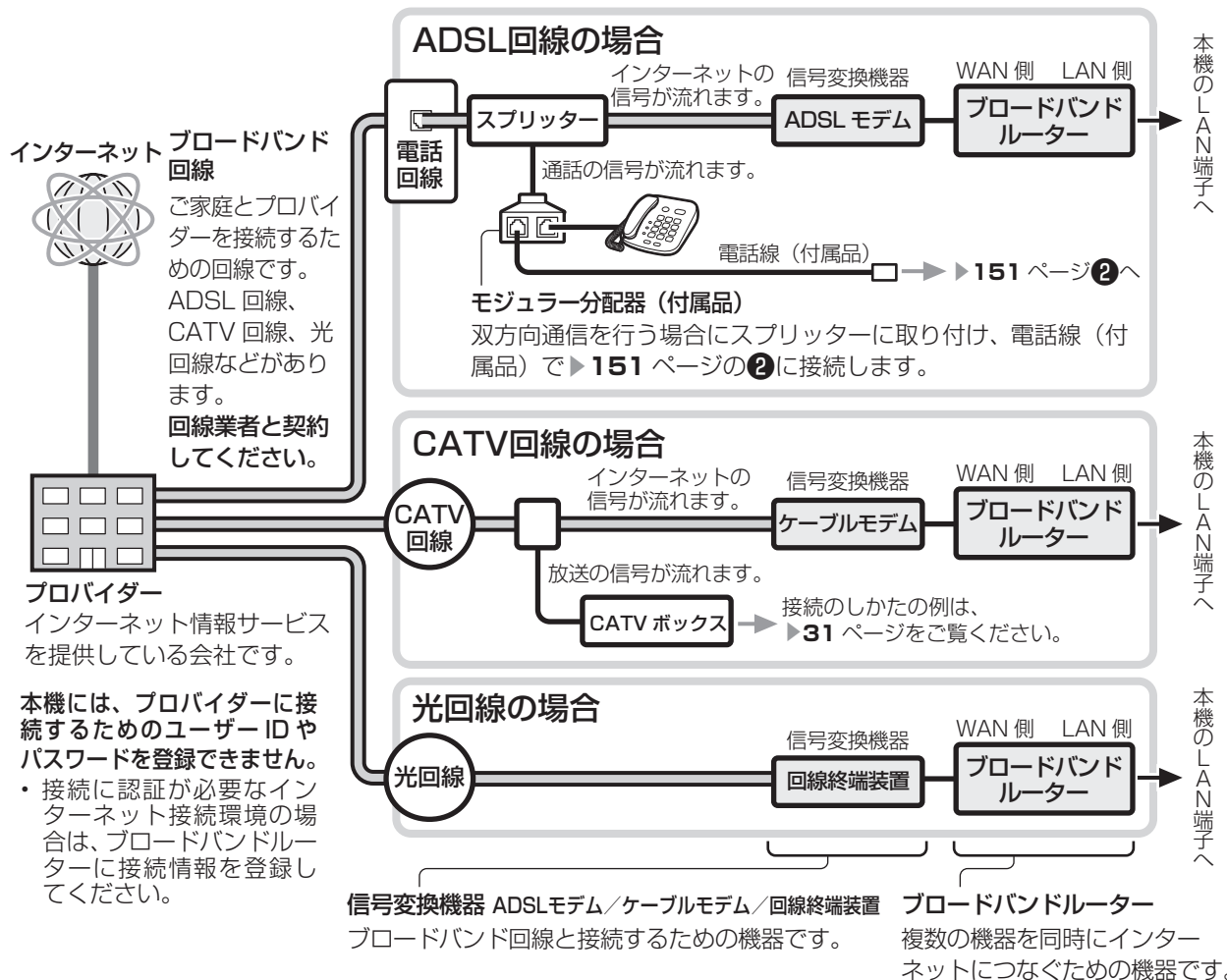
- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。
AQUOS の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

ブロードバンド環境に必要なもの

必要なもの	入手するためには	くわしくは
プロバイダー（▶197ページ）	プロバイダーと契約してください。	▶ **150** ページの **1**
ブロードバンド回線（▶197ページ）	回線事業者と契約してください。	▶ **150** ページの **1**
信号変換機器 （ブロードバンド回線と接続する機器で、ADSL モデム・ケーブルモデム・回線終端装置などがあります。）	レンタルまたは購入してください。	▶ **150** ページの **1**
ブロードバンドルーター （複数の機器を同時にインターネットにつなぐための機器です。）	必要に応じて購入してください。	▶ **151** ページの **2**
LAN ケーブル （ブロードバンドルーターを接続するためのケーブルです。）	購入してください。	▶ **151** ページの **3**

本機が接続できるブロードバンド環境を確認する

- 本機をインターネットに接続するためには、次の環境（ブロードバンド環境）が必要です。
- すでにブロードバンド環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。（▶ **151** ページ）

本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境

- ブロードバンド環境がない場合は、まず、インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、ADSL 回線・CATV 回線・光回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買い上げの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。次のような手順が必要です。

1 サービスを提供するプロバイダーや回線事業者と契約する

- パソコン売場などにあるパンフレットなどをご覧になり、申し込むプロバイダーや回線事業者を選びます。
- お申し込みになる前に、次の内容をプロバイダーや回線事業者に確認してください。
  - 申し込むサービスがお住まいの地域で提供されているか。
  - ブロードバンドルーターの機種に指定や制限がないか。
  - インターネットに接続する機器の台数やサポートなどに指定や制限がないか。
  - ADSL モデムやケーブルモデムなどの信号変換機器を、お客様自身で購入する必要があるか。購入する場合は、信号変換機器の種類も確認してください。
- 申し込み手続きが完了すると、プロバイダーからインターネットの接続に必要な設定情報が発行されます。

★ おしらせ

- プロバイダーによっては、ブロードバンド回線とセットでサービスを提供している会社もあります。
- プロバイダーの料金や回線使用料金はさまざまです。また、同じプロバイダーであっても、コースによって価格が異なります。
- 申し込みをされてから回線を使用できるようになるまでに、工事が必要になったり、手続きに時間がかかったりする場合があります。

2 必要に応じてブロードバンドルーターを購入する

・ブロードバンドルーターは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。

おしらせ

・信号変換機器には、ブロードバンドルーター機能が内蔵されているものもあります。この場合、ブロードバンドルーターは必要ありません。ただし、LAN ケーブルを接続するための端子が 1 つしかない場合、ハブ（市販品）が必要です。信号変換機器にブロードバンドルーター機能が内蔵されているかどうかは、販売店やプロバイダー、回線事業者にご確認ください。

3 LAN ケーブルを購入する

・LAN ケーブルは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。
・LAN ケーブルは、10BASE-T/100 BASE-TX タイプのものをご使用ください。
・LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
・LAN ケーブルをお買い求めになる前に、本機とブロードバンドルーターを設置する場所を決めて、必要なケーブルの長さを測っておいてください。

4 ブロードバンド回線と信号変換機器、信号変換機器とブロードバンドルーターを接続する

・左図のように接続します。接続について詳しくは、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご確認ください。接続の際は、それぞれの説明書も併せてお読みください。

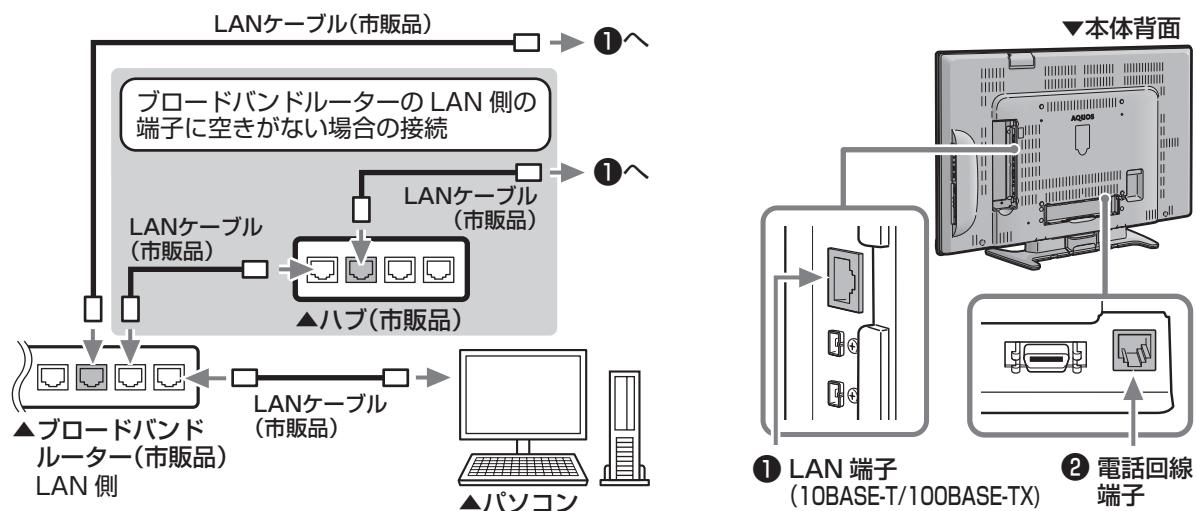
おしらせ

・ADSL モデムやケーブルモデムにルーター機能がある場合は、ブロードバンドルーターは不要です。モデムの説明書にしたがってルーター機能をオンにしてください。なお、ご自身で別途ブロードバンドルーターを用意して接続する場合はモデムのルーター機能を無効にしないと正しく通信できない場合があります。詳しくは、モデムやブロードバンドルーターの説明書をご覧ください。

5 ブロードバンドルーターの設定をする

・プロバイダーから提供された設定情報（接続のためのユーザー ID やパスワード、IP アドレス、DNS など）をブロードバンドルーターに設定します。
・設定の操作については、ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
・設定にはパソコンが必要になる場合があります。パソコンをお持ちでない方は、お買い上げの販売店や、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご相談ください。

ブロードバンドルーターと本機を接続する

● 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN側の端子をLANケーブルで接続します。

無線 LAN の接続について

・LAN 端子との接続において、無線 LAN 機器の接続については動作検証されておりませんので、ご利用は推奨しておりません。

AQUOS.jp を表示してみる

● ホームページ「AQUOS.jp」にアクセスして、正しく表示されるかどうかを確認します。
▶ **154** ページの操作でご確認ください。

AQUOS.jp が表示されたら

・インターネットへの接続は完了です。AQUOS でインターネットをお楽しみください。
インターネットについての操作は「インターネットを楽しむ（AQUOS.jp）」（▶ **154** ページ）をご覧ください。

AQUOS.jp が表示されないときは

・「 LAN 接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。終了ボタンを押して、テレビの画面に戻してから下の「**インターネットに接続できない場合は**」をご覧になって、インターネットに接続してください。

インターネットに接続できない場合は

本機のネットワークの設定を確認する

インターネットの画面を表示しているときは

・本機のネットワーク設定を確認する前に、終了ボタンを押してインターネットの画面からテレビの画面に切り換えておいてください。

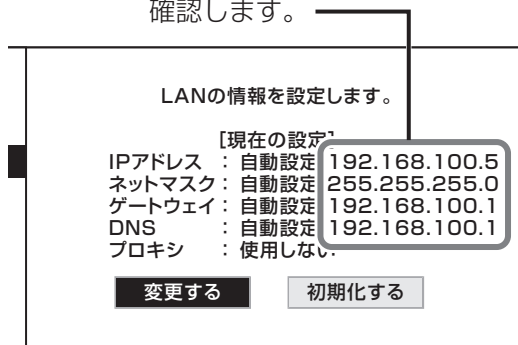
1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」－「通信設定」を選ぶ

決定する

3 「LAN 設定」を選ぶ

決定　決定する

・各項目に数値が表示されているか確認します。

・この画面に表示されている数値は一例です。
お客様のネットワーク環境によって表示される数値は異なります。

各項目に数値が表示されている場合

● 右の「**その他の原因について**」をご覧ください。

各項目が空欄の場合

● 次のことを確認してください。

・ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。
ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
・本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。
・ブロードバンドルーターの DHCP 機能（IP アドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。
DHCP 機能を使用しない場合は、LAN 設定で IP アドレスなどを入力してください。（▶ **153**ページ）

プロキシサーバーの指定が必要な場合

● プロバイダーなどからプロキシサーバーを指定されている場合は、LAN 設定で入力してください。（▶ **153** ページ）

その他の原因について

● LAN 設定を確認しても原因がわからないときは、次のことを確認してください。

・接続する機器の電源は入っていますか。
・ブロードバンドルーターと ADSL モデムやケーブルモデム、回線終端装置などが正しく接続されていますか。
・ブロードバンド回線と ADSL モデムやケーブルモデム、回線終端装置などが正しく接続されていますか。
・ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
・ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
・メニューの「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を「禁止しない」に設定してください。
（▶ **148** ページ）

● ここに記載している項目をすべて確認しても原因がわからないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

本機の LAN 設定を変更する

・IP アドレスなどを手動で設定する場合やプロキシサーバーを指定する場合は、LAN 設定を変更します。

おしらせ

・LAN 設定を変更するときは、終了ボタンを押してインターネットの画面からテレビの画面に切り換えておいてください。
インターネットの画面を表示している間は、LAN 設定を変更しても、有効にはなりません。

押すボタン

1 前ページの手順 **1** ～ **3** を行い、その後の画面で「変更する」を選ぶ

決定 決定する

2 IP アドレスなどを入力する場合、「しない」を選ぶ

決定 決定する

・右の「IP アドレスなどの入力のしかた」をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。

入力する必要がない場合

・「する」を選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押します。

3 DNS の IP アドレスなどを入力する場合、「しない」を選ぶ

決定 決定する

・右の「IP アドレスなどの入力のしかた」をご覧になり、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNS の IP アドレスを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。
・セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合

・「する」を選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押します。

おしらせ

プロバイダーから発行された資料で、DNS のアドレスが見つからないとき

・DNS は、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

4 プロキシサーバーの指定が必要な場合、「する」を選ぶ

決定 決定する

・プロバイダーから指定されるプロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。（文字入力のしかた▶ **142** ページ）

入力する必要がない場合

・「しない」を選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押します。

5 「しない」を選ぶ

決定 決定する

・設定した内容が表示されます。
・より詳細な設定では、LAN 接続スピードを設定できます。
通常は、工場出荷状態（自動検出）のままで使用できます。

6 決定 「完了」で決定する

おしらせ

IP アドレスについて

・TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて

・TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて

・異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

IP アドレスなどの入力のしかた

1 入力欄を選ぶ

決定 決定する

・ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 「数字半角」を選ぶ

3 文字を選ぶ

 決定する

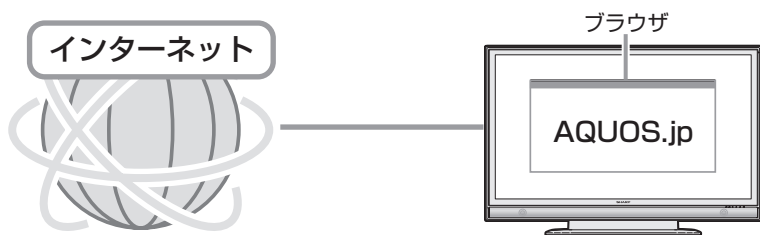
4 手順 **3** を繰り返し、入力したい数字をすべて入力欄に表示する

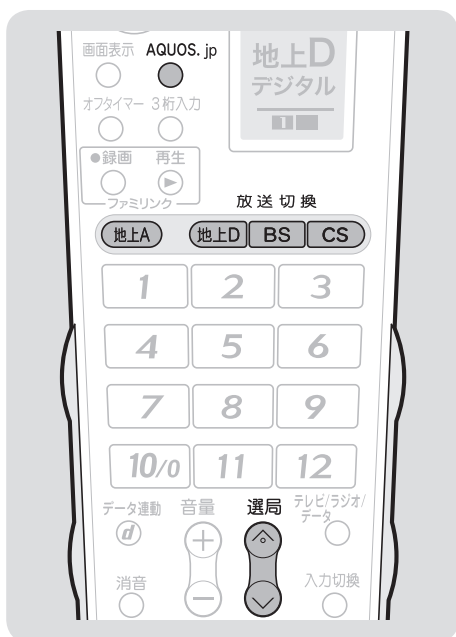
5 黄 入力した文字を確定する

・入力欄の文字が入力されます。

IPアドレス 192 · --- · --- · ---

インターネットを楽しむ（AQUOS.jp）

「ブラウザ」※でインターネットのページを楽しめます。

● AQUOSのお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。AQUOSの活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

※インターネットのページを表示するためのソフトウェアのことです。

★ おしらせ

AQUOS.jpが表示されないときは

- 「LAN接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。
  終了ボタンを押して、テレビの画面に戻してから「インターネットに接続できない場合は」（▶ **152** ページ）をご覧ください。

テレビと同時に表示したときは

- テレビの音声が聞こえます。インターネットのページの音声は聞けません。
- テレビのチャンネルは選局ボタン（緑）で切り換えてください。数字ボタンでは、選局できません。
- テレビとインターネットの画面の位置は変更できません。
- テレビとインターネットを同時に表示しているときは、データ放送画面は表示できません。
- 「2画面＋インターネット」の場合、左半分のテレビ画面については、2画面で表示したときと基本的な操作は同じです。2画面の操作については「2画面で見る」（▶ **72** ページ）をご覧ください。

インターネット（AQUOS.jp）の準備

接続について

● インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。「ブロードバンド環境への接続と設定のながれ」（▶ **149** ページ）に従い、接続と設定を行ってください。

AQUOS.jpを表示する

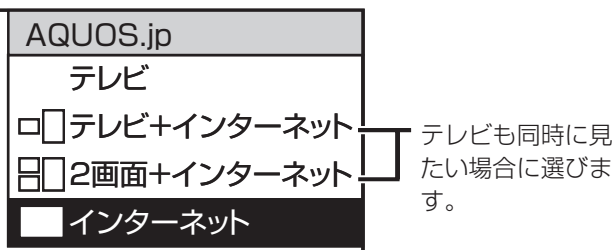
押すボタン

1 AQUOS. jp　**AQUOS.jpメニューを表示する**

2 AQUOS. jp　**「インターネット」を選ぶ**

- 上下カーソルボタンでも選べます。

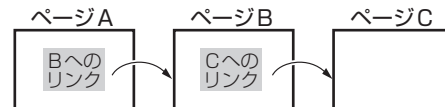
決定　**決定する**

テレビも同時に見たい場合に選びます。

- ブラウザが起動し、AQUOS.jpが表示されます。

- AQUOS.jpの表示内容は一例です。
- テレビの画面に戻すときは、終了ボタンを押します。インターネットの画面だけを表示しているときは、選局ボタン（緑）や放送切換ボタンでも戻せます。

ブラウザの使いかた

リンクについて

- インターネットのページには、他のページ（サイト）に移動できる「リンク」があります。
- 「リンク」の見た目は文章や画像などさまざまですが、選ぶとリンク先へ移動できる働きは同じです。
- 選んでいる項目（リンクや文字入力欄など）が黄色の枠で囲まれます。

「リンク」からリンク先へ移動できます。

重要

- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークやCookieなどの情報が正しく保存されない場合があります。

おしらせ

セキュリティの通知画面が表示されたとき

- 決定ボタンを押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、「セキュリティ設定」で設定できます。（▶ **162** ページ）

Cookie の確認画面が表示されたとき

- Cookie（▶ **163** ページ）を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- この画面を表示させるかどうかは、「Cookie 設定」で設定できます。また、Cookie はまとめて削除することもできます。（▶ **163** ページ）

おしらせ

ページの中に ☒ が表示されたとき

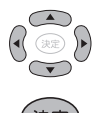
- ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像などに表示されます。ツールバーの（再読み込み）（▶ **156** ページ）を選んで、ページを表示し直してみてください。

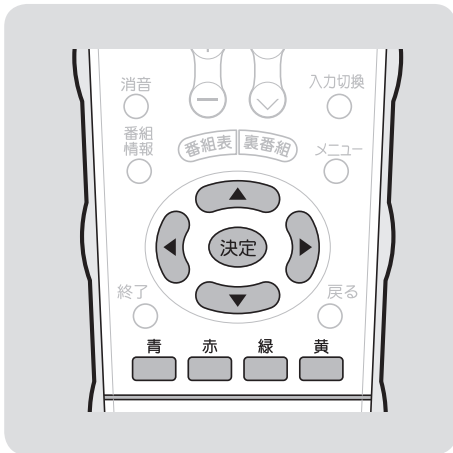
パソコンでインターネットを活用されているお客様へ

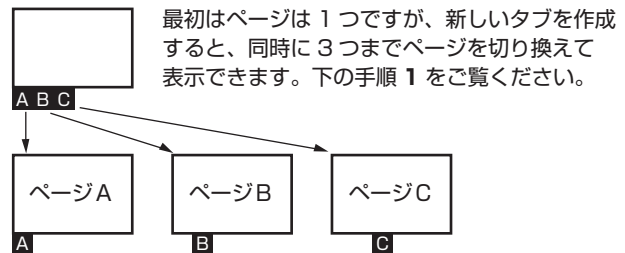
● 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。

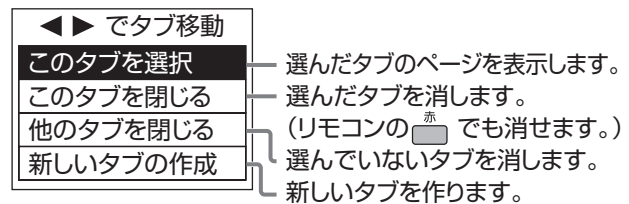
- ファイルのダウンロードはできません。
- 表示したページの履歴は表示できません。
- AQUOS.jp ボタンを押したあと最初に表示されるページは変更できません。
- ポップアップウインドウは、別のタブで表示されます。
- ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。

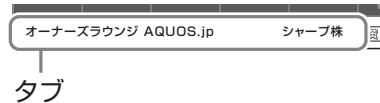
ツールバーについて

ボタン	使い方
	リンク先のページを新しいタブで表示します。
	タブ操作メニューを表示します。
	1 つ前のページに戻ります。
	前のページを見たあとに元のページに再び進みます。
	ページを再表示します。ページを読み込んでいるときは、読み込みを中止します。
	AQUOS.jp を表示します。
	URL を入力するときに選びます。（▶**157** ページ）
	ブックマークを開くときに選びます。（▶**158** ページ）
	表示中のページをブックマークに登録します。（▶**158** ページ）
	ブラウザメニューを表示します。（▶**160** ページ）

おしらせ

- ツールバーを消したいときは、もう一度黄ボタンを押します。
- ツールバーを表示中に、AQUOS.jp ボタンを押して画面を切り換えると、ツールバーが消えます。

タブの使いかた

● インターネットのページを、同時に 3 つまで切り換えて表示できます。それぞれのページに「タブ」が付き、「タブ」でページを切り換えます。

1 **タブ操作メニューを表示する**

- ツールバーから表示することもできます。

- リモコンの 青 で、選択しているリンク先のページを新しいタブで表示します。
- すでにタブを 3 つ表示しているときは、一番右のタブに表示されているページが書き換わります。

2 **操作したいタブを選ぶ**

3 **「このタブを選択」を選ぶ**

決定 **決定する**

ツールバー（便利機能）の使いかた

● ツールバーを使って、ブラウザの操作や設定が行えます。

1 **ツールバーを表示する**

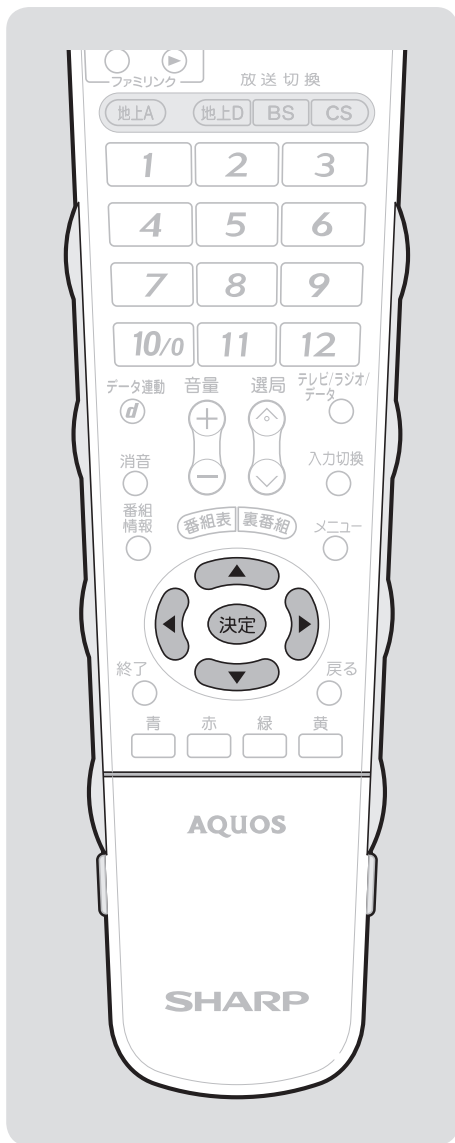
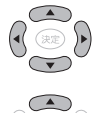
ツールバー（便利機能）

2 **機能を選ぶ**

決定 **決定する**

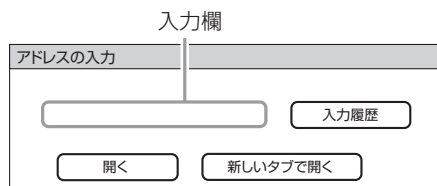
3 **機能を使う**

URL（アドレス）を入力してページを表示する

- URL（アドレス）は、インターネットの個々のページを家に例えたときの、住所（アドレス）のようなものです。雑誌や広告などで URL を知っているときは、URL を入力してページを表示できます。
- URL は、一般的に「http://」から始まります。

1 ツールバーの（アドレスの入力）を選ぶ

決定する

2 入力欄を選ぶ

決定する

・ソフトウェアキーボードが表示されます。

3 表示したいページの URL を入力する

・文字入力の方法については▶ **142** ページをご覧ください。

4「開く」を選ぶ

決定する

URL を入力して表示したページを、入力履歴の一覧から選ぶ

1 ツールバーの（アドレスの入力）を選ぶ

決定する

2 入力履歴を選ぶ

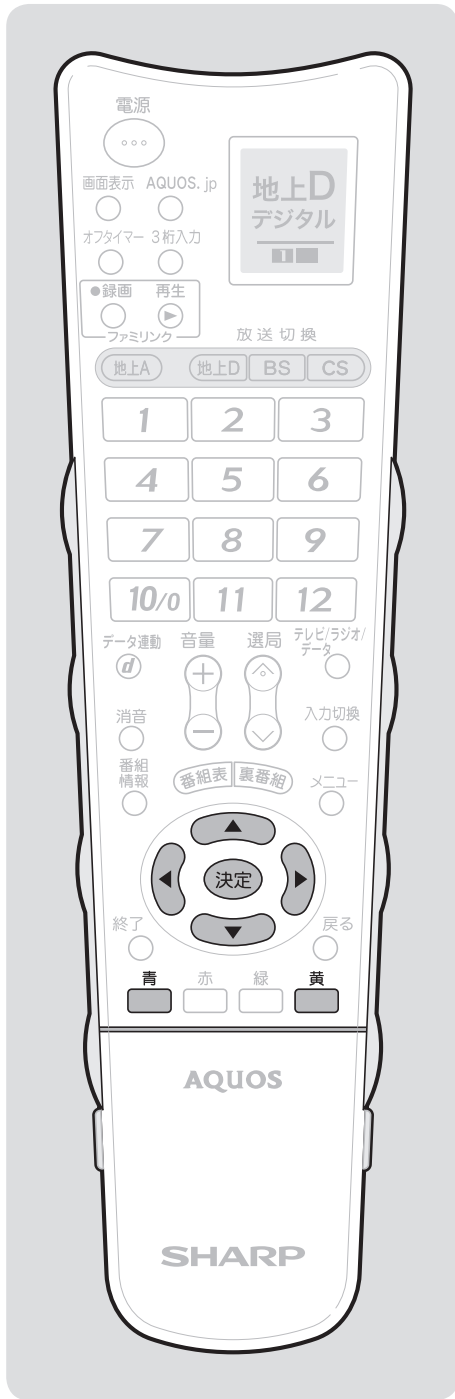
・入力履歴の一覧が表示されます。

3 URL を選ぶ

決定する

・アドレスの入力画面に戻ります。
入力欄には、選んだ URL が入力されています。

入力履歴を削除するときは

① 入力履歴の一覧で、削除したい URL を選び、青ボタンを押す
・入力履歴メニューが表示されます。
② 上下カーソルボタンで「削除」を選び、決定ボタンを押す
・入力履歴をすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。
③ 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す

表示しているページの URL を保存する（ブックマーク登録）

● ページをブックマーク（▶196 ページ）に登録しておくと、次に表示するときはブックマーク一覧から選んで、表示できます。

1 ブックマークに登録したいページを表示する

2 黄　ツールバーを表示する

3 ツールバーの（ブックマークに登録）を選ぶ

決定　決定する

4 「する」を選ぶ

決定　決定する

・ブックマークに登録されます。

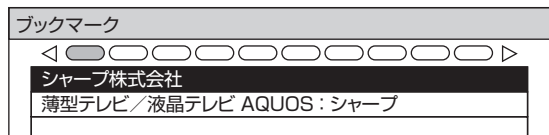
ブックマークに登録したページを開く

押すボタン

1 ツールバーの（ブックマークを開く）を選ぶ

決定　決定する

・ブックマークの一覧が表示されます。

（画面例）

2 表示したいページを選ぶ

決定する

・選んだページが表示されます。
・ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

ブックマークを新しいタブで開くときは

・決定ボタンの代わりに青ボタンを押し、「新しいタブで開く」を選んで決定ボタンを押します。

ブックマークを編集する

- ブックマークのタイトルやURLを編集（書き換え）したり、一覧の表示順を変更できます。

タイトルやURLを編集する

押すボタン

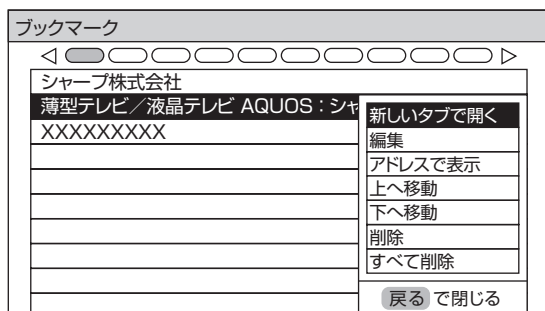
1 ツールバーの♡（ブックマークを開く）を選ぶ

決定 決定する

- ブックマークの一覧が表示されます。

2 ブックマークの一覧から、編集したいタイトルを選ぶ

青 ブックマークメニューを表示する

（画面例）

3 ブックマークメニューの「編集」を選ぶ

決定 決定する

- ブックマークの編集画面が表示されます。

4 タイトル欄またはアドレス欄（URL）を選ぶ

決定 決定する

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

5 タイトルやURLを入力する

- 文字入力の方法については▶ 142ページをご覧ください。

6 編集が終わったら「する」を選ぶ

決定 決定する

- 入力した文字が保存されます。

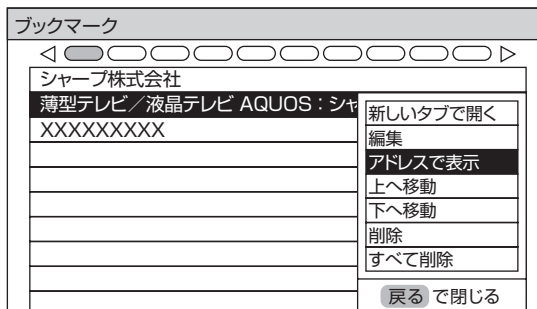
ブックマーク一覧の表示を変更するときは

押すボタン

1 青 ブックマークの一覧を表示中に、ブックマークメニューを表示する

2 ブックマークメニューの「アドレスで表示」または「タイトルで表示」を選ぶ

決定 決定する

（画面例）

- ブックマークの表示が変更されます。

表示順序を入れ替えるときは

1 ブックマークの一覧から、表示順序を変更したいタイトルを選ぶ

青 ブックマークメニューを表示する

2 「上へ移動」または「下へ移動」を選ぶ

決定 決定する

- 表示順序が入れ替わります。

ブックマークを削除するときは

1 ブックマークの一覧から、削除したいタイトルを選ぶ

青 ブックマークメニューを表示する

2 「削除」を選ぶ

決定 決定する

- ブックマークをすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。

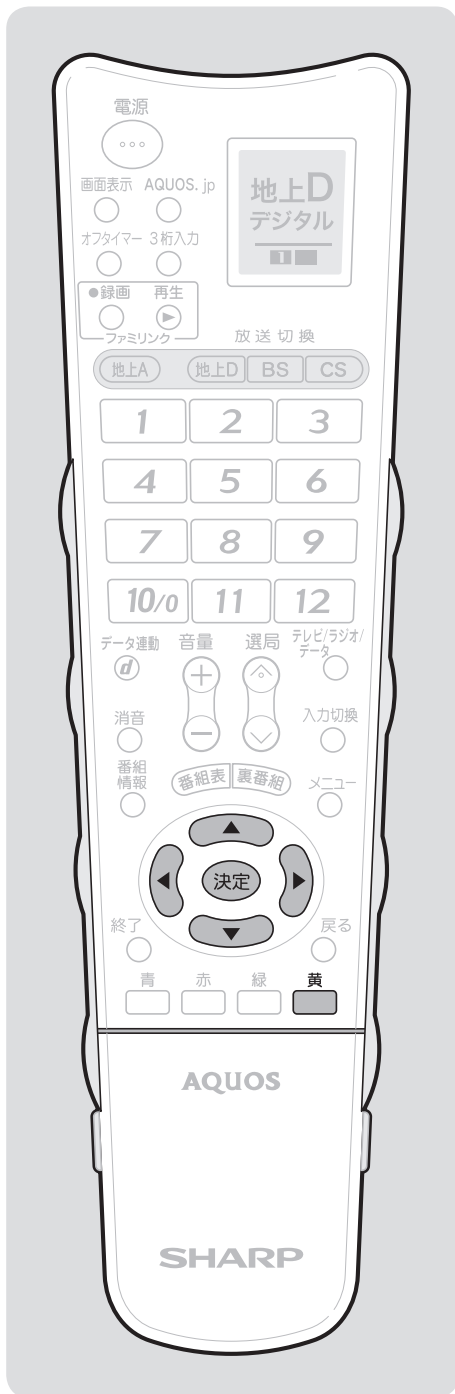
3 「する」を選ぶ

決定 決定する

ブラウザ設定

- ブラウザの設定はブラウザメニューで確認・変更できます。
- ブラウザメニューには表示設定メニューとセキュリティ設定メニューがあります。

ブラウザメニューの基本操作

押すボタン

1 黄 **ツールバーを表示する**

2 （メニュー）を選ぶ

決定 **決定する**

・ブラウザメニューが表示されます。

3 **「表示設定」または「セキュリティ設定」を選ぶ**

▼表示設定メニュー

表示設定	セキュリティ設定
拡大・縮小表示	ページの拡大・縮小の表示設定を選択してください。 ○ 拡大 ◉ 標準 ○ 縮小 決定キーを押すと設定が反映されます。
文字コード	
ページ情報	
リセット	

▼セキュリティ設定メニュー

4 **変更する項目を選ぶ**

決定 **決定する**

5 **設定の変更や内容の確認をする**

・各項目の詳しい操作については、表示設定メニュー（▶ **161** ページ）およびセキュリティ設定メニュー（▶ **162** ページ）をご覧ください。

6 黄 **変更や確認が終わったら、ブラウザメニューを消す**

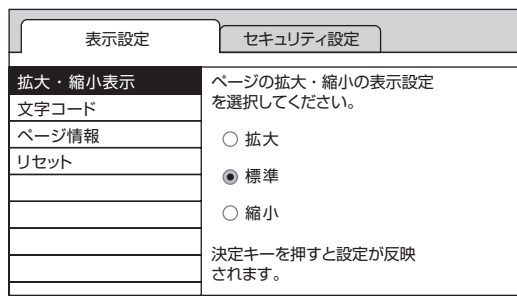
おしらせ

・ブラウザメニュー表示中に、AQUOS.jp ボタンを押して画面を切り換えると、ブラウザメニューが消えます。

表示設定

★おしらせ
- ブラウザメニューの基本操作については、▶ **160** ページをご覧ください。

表示サイズを変更する（拡大・縮小表示）

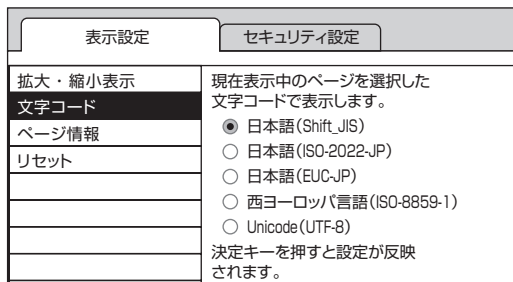
● ページの表示サイズを変更できます。

- 上下カーソルボタンで表示したいサイズを選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

★おしらせ
- 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

ページの文字が正しく表示されないときは（文字コード）

● ページ上の文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。

表示設定 | セキュリティ設定

拡大・縮小表示	現在表示中のページを選択した文字コードで表示します。
文字コード	◉ 日本語（Shift_JIS）
ページ情報	○ 日本語（ISO-2022-JP）
リセット	○ 日本語（EUC-JP）
	○ 西ヨーロッパ言語（ISO-8859-1）
	○ Unicode（UTF-8）
	決定キーを押すと設定が反映されます。

- 上下カーソルボタンで文字コードの種類を選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

ページの情報を確認する

● 表示しているページの情報を確認できます。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻す（リセット）

● ブラウザメニューで設定できる項目を、工場出荷時の状態に戻せます。

押すボタン

1

ブラウザメニューを表示する

2 **「表示設定」を選ぶ**

決定する

3 **「リセット」を選ぶ**

決定する
- 確認の画面が表示されます。

4 **「する」を選ぶ**

決定する
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

★おしらせ
- 「リセット」を行っても、各証明書の有効 / 無効（▶ **162** ページ）は戻りません。

セキュリティ設定

おしらせ

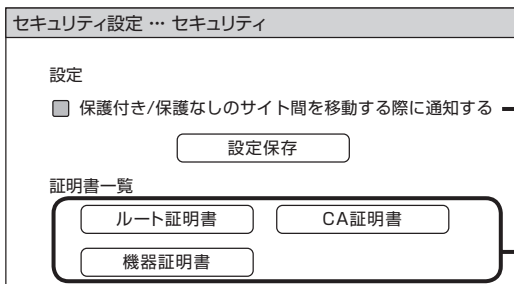
・ブラウザメニューの基本操作については、▶ **160** ページをご覧ください。

セキュリティの設定をする／本機のルート証明書・CA 証明書・機器証明書を確認する（セキュリティ）

● この画面では次のことができます。

・セキュリティで保護されたページ（サイト）とされていないページ（サイト）の間を移動するときに、メッセージを表示するかどうかの設定

・本機に保存されている証明書※の確認と、証明書の有効・無効の切り換え

※ページを表示しても安全であることを証明するものです。

証明書を確認するとき

1 上記の画面で確認したい証明書の種類を選ぶ

決定する

・証明書の一覧画面が表示されます。

2 確認したい証明書を選ぶ

決定する

・選んだ証明書の内容が表示されます。

・情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。

・操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

証明書を無効にするとき

1 上記の画面で無効にしたい証明書の種類を選ぶ

決定する

・証明書の一覧画面が表示されます。

2 無効にしたい証明書を選ぶ

サブメニューを表示する

3 「無効にする」を選ぶ

決定する

・無効にした証明書は証明書の一覧画面でチェックがはずれます。

・操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

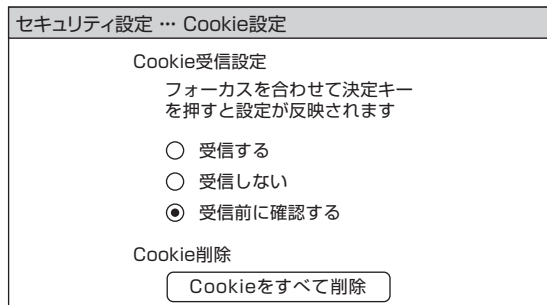
Cookie（クッキー）の設定を変更する

● Cookie（▶ **194** ページ）の受信方法の設定と、受信した Cookie の削除ができます。

セキュリティ設定 … Cookie設定

Cookie受信設定
フォーカスを合わせて決定キーを押すと設定が反映されます

○ 受信する
○ 受信しない
◉ 受信前に確認する

Cookie削除
Cookieをすべて削除

- 上下カーソルボタンで選びたい設定を選び、決定ボタンを押します。
- 「受信前に確認する」にしておくと、Cookie を使用するページを表示するときに確認のメッセージが表示されます。Cookie を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie をすべて削除するときは

★ おしらせ

・Cookie を削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

1 **上記の画面で「Cookie をすべて削除」を選ぶ**

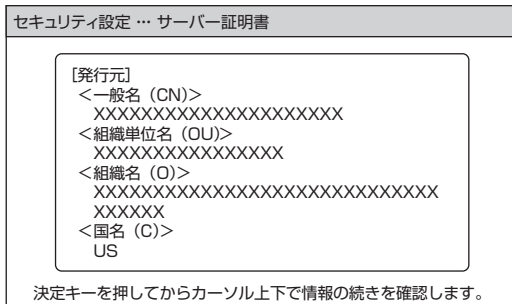
決定する

2 「する」を選ぶ

決定する

- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

サーバー証明書を確認する

● セキュリティで保護されているページのサーバー証明書を確認できます。

セキュリティ設定 … サーバー証明書

[発行元]
<一般名（CN)>
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
<組織単位名（OU)>
XXXXXXXXXXXXXXXX
<組織名（O)>
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXX
<国名（C)>
US

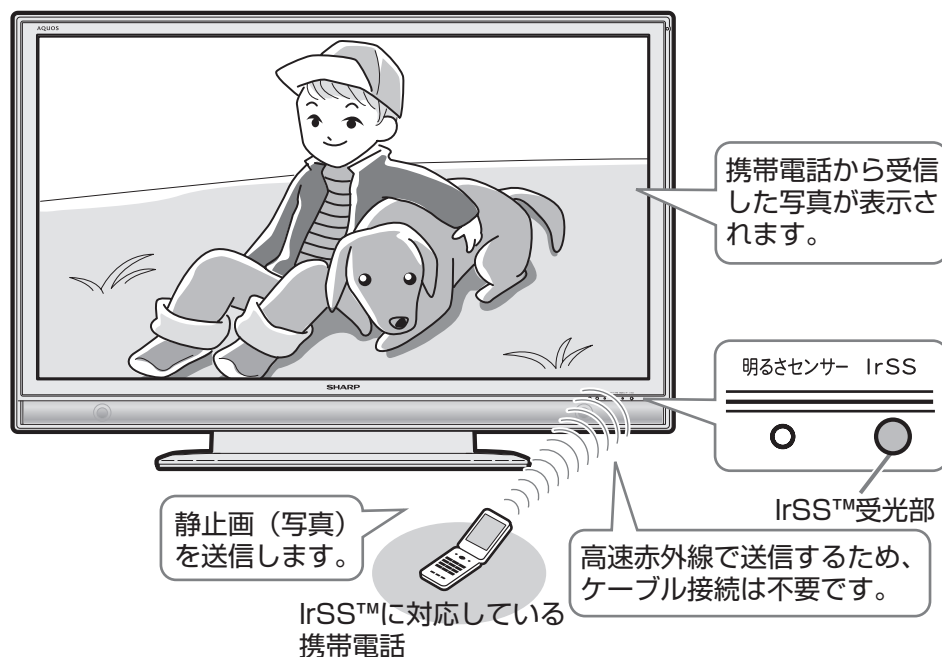
決定キーを押してからカーソル上下で情報の続きを確認します。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

IrSS™（片方向赤外線受信）について

● 携帯電話※に記録されている静止画を本機で受信し、表示できます。

※ IrSS™ に対応している機種のみです。

動作確認機種：最新の詳しい情報については、シャープAQUOSオフィシャルサイト内でお知らせします。
http://www.sharp.co.jp/aquos/index.html

★ おしらせ

- 本機で受信できるのは、静止画だけです。
- 携帯電話からの出力が禁止されている静止画は、携帯電話から送信できません。
- 高速赤外線の送受信は片方向通信です。そのため、本機が受信できない場合でも、携帯電話の送信は正常に終了します。
- 本機からは静止画を送信できません。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話本体に挿入して使うメモリーカード（SD、mini SD、micro SDカードなど）に記録された静止画を送信できないことがあります。この場合は、携帯電話の本体メモリーにいったんコピーまたは移動してから送信してください。なお、画像のサイズ制限でコピーや移動ができなかったり、携帯電話側でデータ管理情報の更新をしないと携帯電話から送信できないことがあります。詳しくは携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。
- IrSS™ とは、IrSimple1.0 準拠の片方向通信機能 Home Appliance Profile です。
- IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
- 本機には静止画を保存することはできません。チャンネル切換や入力切換をしたり、新たな静止画を表示すると、前に表示していた静止画のデータは本機から消去されます。

本機が対応している仕様

- 対応データ形式：JPEG※1※2
- 最大ファイルサイズ：約 3MB
- 最大解像度：4096 × 2160 ピクセル

※1　以下の形式に対応しています。
色情報：YUV420、YUV422、ベースラインDCT
（JPEGヘッダーの回転タグは4方向（上、下、右90度、左90度）に対応しています。）

※2　以下の形式は表示できません。
プログレッシブJPEG、ロスレス回転JPEG、グレースケールJPEG、YUV444（パソコンで加工した画像に多い）形式のJPEGなど

- これらの制限がありますので、本機に IrSS™ で静止画を送信する場合、IrSS™ 送信をサポートしている動作確認機種自体で撮影（作成）された静止画を送信してください。

携帯電話※から静止画を受信する ※ IrSS™ 対応の携帯電話

押すボタン

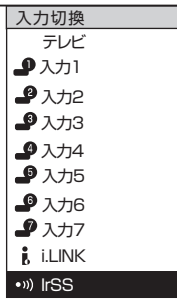
1 入力切換

入力切換メニューを表示する

入力切換

「IrSS」を選ぶ

・上下カーソルボタンでも選べます。

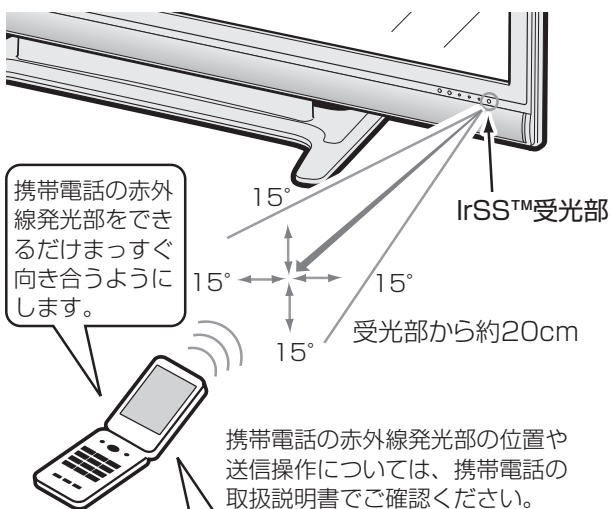
入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
入力6
入力7
i.LINK
IrSS

・IrSS™ のスタンバイ画面が表示されます。

IrSS

IrSSに対応した送信機器から、
画面右下の受光部へ向けて
写真データを送信してください。

2

携帯電話を操作して、送信したい静止画を選択し、送信する

・以下の図で示す範囲から送信してください。

メニューから「送信」を選ぶ機種の送信のしかた
- 送信したい静止画を選んだ後に、メニュー項目から「送信」を選んで送信します。

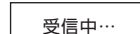
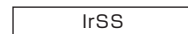
IrSS™ボタンで送信する機種の送信のしかた
- 送信したい静止画を選んだ後に、IrSS™ボタンを押して送信します。（しばらく押しつづけると送信する機種もあります。）

3

本機で静止画を受信する

・本機が受信を始めると、「受信中」を示すメッセージが表示されます。
・受信中に戻るボタンまたは終了ボタンを押すと、受信スタンバイ画面に戻ります。

IrSS

受信中…

・数秒後に静止画が表示されます。
・携帯電話から続けて静止画を送信すると、受信の完了とともに静止画が切り換わります。前の静止画に戻したいときは、手順 **2** からやりなおしてください。
・本機には静止画を保存できません。

おしらせ

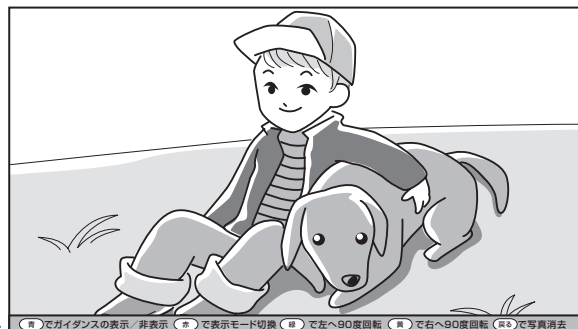
受信に失敗したときは

- 受信に失敗したときは、画面にエラーメッセージが表示されます。（IrSS™ に関するエラーメッセージ ▶ **176** ページ）
- 次のような場合は、赤外線受信に失敗します。
  - 本機に、IrSS™ スタンバイ画面が表示される以前に静止画を送信した場合
  - データが IrSS™ の規格以外の場合
  - 距離が遠すぎるなど、受信データをとりこぼした場合
  - 受信が途切れた場合
  - 本機が対応している仕様以外のデータの場合
  - 写真データが大きすぎる場合
  - 写真データがこわれている場合
  - 通信中に直射日光などの強い光があたったり、リモコン操作による赤外線があたったりした場合（一部のノート PC やゲーム機などでは赤外線を利用するものがあります。本機の IrSS™ も赤外線を使用するため、その影響により写真の受信に失敗する場合があります。そのようなときは、ノート PC やゲーム機本体や赤外線センサー部を本機と離して設置するか、ノート PC やゲーム機の使用を終えてから再度写真を送信してください。）

ファミリンク設定時の静止画受信

- IrSS™ 対応の AQUOS レコーダーを本機と HDMI ケーブルで接続し、録画機器選択（▶ **111** ページ）でその機器を選択している場合に、携帯電話から送信したデータを IrSS™ 対応の AQUOS レコーダーが受信すると、その画像がファミリンクを経由して本機で表示されます。

受信した静止画を操作する

- 本機のリモコンで、受信した静止画を回転するなどの操作ができます。
- 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス（操作案内）が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

ガイダンス（操作案内）

青 でガイダンスの表示／非表示　赤 で表示モード切換　緑 で左へ90度回転　黄 で右へ90度回転　戻る で写真消去

ガイダンスを表示する／消す

押すボタン

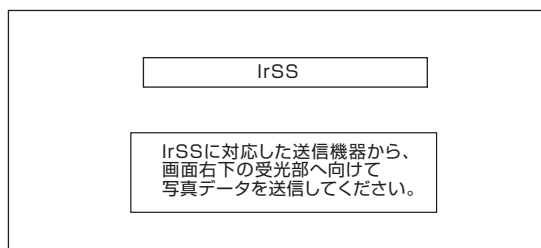
青　ガイダンスの表示／非表示を切り換える

写真を消して受信スタンバイ（待機）画面に戻る

押すボタン

戻る　写真を消す（表示している画像を消して受信スタンバイ（待機）画面に戻る）

IrSS

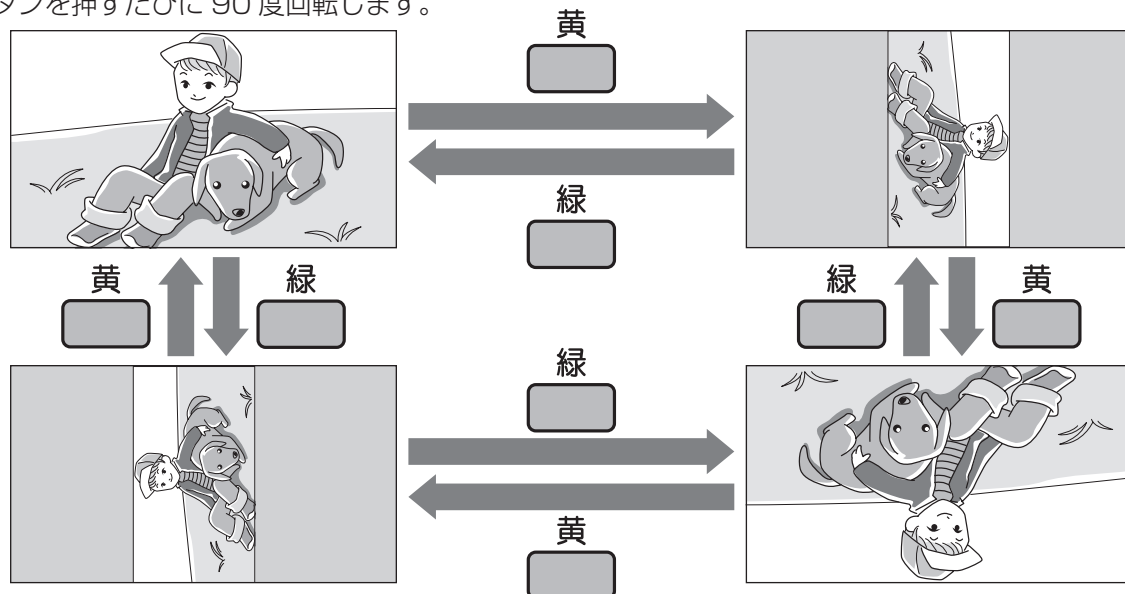
IrSSに対応した送信機器から、
画面右下の受光部へ向けて
写真データを送信してください。

おしらせ

- 青ボタンを押してガイダンスを非表示にした場合、続けて受信・表示される写真データにもガイダンスは表示されません。（再度青ボタンを押すとガイダンスが表示されます。）
- 画像を回転（▶ **167** ページ）させた場合、続けて受信されるデータは回転しない状態（正位置）で表示されます。

画像を回転する

緑
黄

左または右に画像を回転する

・ボタンを押すたびに 90 度回転します。

表示モードを切り換える

何回か押して表示モードを選ぶ

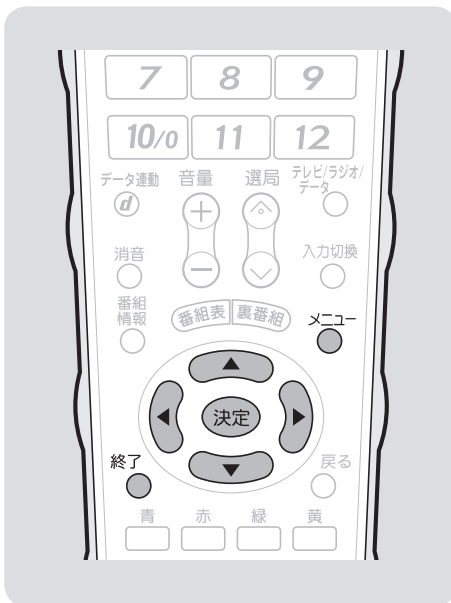
・画面に表示される表示モード切換メニューから選びます。
・上下カーソルボタンでも選べます。
・選べる表示モードは右のとおりです。

■表示モード切換
- ノーマル
- Dot by Dot
- シネマ
- フル

ノーマル	Dot by Dot
元の写真 表示 ・縦横比を変えずに画面内に最大で収めます。	元の写真 表示 元の写真の縦横いずれかのピクセルサイズが本機の解像度(1920×1080ピクセル)より大きい(はみ出す)場合は「Dot by Dot」メニューは表示しません。また回転すると画面からはみ出す場合は回転できません。 ・ピクセルの数や縦横比を変えずに元のまま表示します。
シネマ	**フル**
元の写真 表示 ・縦横比を変えずに、黒帯を無くすように画面内に最大で収めます。 ・拡大により、写真の一部がはみ出す場合があります。	元の写真 表示 ・縦横比と写真のピクセルサイズを無視して、画面内一杯に表示します。

お知らせを見る

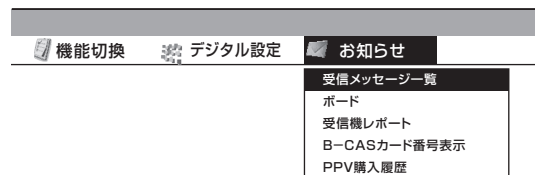
● 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、有料放送に関するレポートや B-CAS カード番号などが確認できます。

項　目	内　容
受信メッセージ一覧	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
ボード	送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。
受信機レポート	予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。 アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。
B-CASカード番号表示	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。 カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 カードID……カード固有の番号です。
PPV購入履歴	購入した最新24個のPPV番組（有料番組）の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

押すボタン

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「お知らせ」を選ぶ**

3 **見たい項目を選ぶ**

決定　**決定する**

• 項目によっては、この後ネットワーク（放送の種類）を選ぶ手順になります。

4 **見たい情報を選ぶ**

 決定する

(例)「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

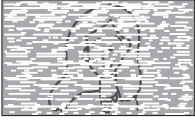
	受信日時	
未読	2/26［月］	ダウンロード成功のお知らせ
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●

5 決定　**情報の内容を確認する**

• ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを選び、決定ボタンを押します。
• 画面に従って操作してください。
• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

★おしらせ

• 未読の受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。未読の受信メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。
• 受信機レポートの表示中、左右カーソルボタンで「消す」を選んで決定ボタンを押すと、その受信機レポートが消去されます。
• 受信機レポートに「予約時に指定された i.LINK 機器が使えませんでした。」という表示が出た場合は、i.LINK 機器の選択を見直してください。（▶ **119** ページ）

AQUOS便利情報

故障かな？と思ったら

・つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（▶ **187** ページ）をご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・電源が「切」の状態になっていませんか。 ・テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ・接続ケーブルが抜けていないか確認してください。	**32** **37** **91** –
	リモコンが動作しない	・乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。 ・リモコン番号が本体と一致しているか確認してください。	**37** **37** **37** **180•181**
	映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ・入力2端子設定が「モニター出力（可変）」に設定されていませんか。「モニター出力（固定）」にしてください。 ・D映像・S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。	**26** **26** **25** **99** **88**
	音声は出るが映像が出ない	・映像オフが「する」になっていませんか。	**86**
	色がうすい 色あいが悪い	・「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	**81**
	特定のチャンネルだけ映らない	・チャンネルの受信微調整がズレていませんか。	**55**
	画面が大きくなったり、小さくなったりする	・オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	**79**
	テレビの上部が熱い	・内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	–
	画面右下に「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	・本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 ・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 ・本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。	– – –
	リモコンや本体ボタンの操作ができない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を「入」にしてみてください。 ・チャイルドロックが設定されていませんか。 ・本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。	– **133** **180•181**

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般（つづき）	チャンネルボタンを押したとき、見ている放送の種類とは異なる放送のチャンネルが選局された	• 不意にリモコンの放送切換ボタンが押されていませんか。チャンネルボタンによる選局では、リモコンの液晶表示部に表示されている放送のチャンネルが選局されます。リモコンを落としたりしてリモコンの放送切換が押され、液晶表示部の表示が別の放送に切り換わってしまったときは、異なる放送のチャンネルが選局されます。	–
	ときどき「ピシッ」と音がする	• 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	–
	リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする（数回鳴る場合があります。）	• 本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 • デジタル放送の録画予約を実行している場合 • ダウンロードをしている場合 • 有料放送の契約情報を取得している場合 • 有料放送の課金情報を送信している場合 • 地上デジタル放送の電子番組表（EPG）の情報を取得している場合	 94 178 – – 66
アンテナ	映像が出ず雑音のみ出る	• アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 • アンテナ線は正しく接続されていますか。	30
	画像にはん点が出る	• 自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	21
	映像が二重になる（ゴースト）	• 近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。	–
	色じま模様が出る	• 近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 • 付属のアンテナケーブルを使用していますか。古いケーブルは使わないでください。	– 2•30
	雪が降っているような画面になる	• アンテナ線は正しく接続されていますか。 • 屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 • アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。 • 平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してみてください。	30 – – 30

次のページにつづく ▶

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	・個人でBS・110度CS放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。 ・その局が放送していない時間帯ではありませんか。 ・ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ・B-CASカードは正しく挿入されていますか。	41 – 91 36
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	・アンテナの向きがズレていませんか。 ・受信強度を確認してください。 ・アンテナの前方に障害物はありませんか。 ・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 41•42 – 30•31
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ・有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ・電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	36 36 144～147
	110度CSデジタル放送が受信できない	・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ・ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	30•31 31
	BSデジタル・110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	・強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 ・春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	– –
	地上デジタル放送が受信できない	・お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 ・地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 ・チャンネル設定は正しくされていますか。	– 34 30 43 45
	画面にノイズが出る	・VHF/UHFのアンテナケーブルがBS・110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。	–
	特定のチャンネルだけ映らない	・契約していない有料放送ではありませんか。 ・受信強度を確認してください。	36 41•42
	電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	・地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」（待機状態）にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 ・電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 ・スキップを「する」に設定していませんか。	66 – 46・47
	番組の予約をしても受信できない	・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	–
	デジタル放送が受信できない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を「入」にしてみてください。	–

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
インターネット関係	AQUOS.jpのページが表示されなくなった	• ブロードバンドルーターや信号変換機器の電源が「切」になっていませんか。 • LANケーブルがはずれていませんか。 • 双方向サービス設定を「禁止しない」に設定してください。 • ブロードバンド回線やプロバイダーのメンテナンスなどにより、接続できない期間ではありませんか。しばらく、時間をおいてからもう一度接続してください。	ー 151 148 ー
	文字が読めない文字になった	• ブラウザメニューの文字コードを変更してください。	161
	カーソルボタンでページの続きを表示できない	• ページの読み込みが終わるまでお待ちください。	ー
	インターネットに接続できない	•「ブロードバンド環境への接続と設定」をご覧いただき、接続・設定状況をご確認ください。 •【パソコンをお持ちの場合】 本機に差し込まれているLANケーブル(CAT5以上)をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。 できる場合は、ブロードバンドルーターからLAN側（本機側）の接続・設定を確認してください。できない場合は、ブロードバンドルーターからWAN側（プロバイダー側）の接続・設定を確認してください。 •【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】 電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。	149～153
	電話線をつないだのにインターネットに接続できない	• 電話回線ではインターネットを利用できません。「ブロードバンド環境への接続と設定」をご覧いただき、LAN回線に接続してください。	149
	ホームページの音声が聞こえない ホームページの動画が再生できない	• 本機では、一部の形式の音声ファイル(WAVやAAC形式の一部)については再生可能ですが、一般のWebページで配信されている動画や音声はパソコン向けに作られており、特に本機の機種名が対応機種としてそのWebページに明記されていない限りは、基本的に再生できないとお考えください。	ー
	パソコンのインターネット機能でできることが、本機ではできない	• 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて以下のような点などが異なりますので、ご了承ください。 • ファイルのダウンロードはできません。 • PDF（電子文書）を読み込む機能はついておりません。 • メールの送受信機能はありません。	155
その他	i.LINK接続されない	• 接続先の機器の電源は入っていますか。 • i.LINKケーブルがはずれていませんか。 • 接続する機器はD-VHSビデオデッキ・AV-HDDレコーダー・Blu-ray Discレコーダー・HDV方式ハイビジョンビデオカメラですか。本機はこれらの機器のみ接続が可能です。 • i.LINK機器を正しく選択していますか。 i.LINK録画機器の接続を変更、あるいはi.LINK録画機器の交換を行った場合は、i.LINK機器の設定を再度行ってください。	ー 116 116 119

★ おしらせ

■ 停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目

- テレビにおける設定内容（メニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。
  ・静止　・オフタイマー　・消音（消音ボタンによる）　・デジタル固定　・映像オフ　・２画面

デジタル放送の注意文など

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CASカードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入してください。装着してある場合は、挿入しなおしてください。	36
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	36
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	＊＊＊＊	本機に付属のB-CASカードを挿入してください。	36
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル（番組）は視聴できません。	–
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	35
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	＊＊＊＊	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	–
放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	30•31 41
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線がショートしているか、接続状況や設定に不具合があります。本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	＊＊＊＊	本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れなおしてください。	30•31 41
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	＊＊＊＊	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	電話回線の接続を確認のうえ、電源を切ってからB-CASカードを一度抜き、挿入しなおしてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	36•145

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
データの通信に失敗しました。	**E301**	電話回線の接続を確認して、メニューの「通信設定」を正しく行ってください。	**144~147**
データが受信できません。	**E400**	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	**E401**	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	**E401**	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	**E402**	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

■アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が60以下です。【B】	受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	**42**
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。 ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。 販売店などにご相談ください。	–
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や挿入が必要です。 販売店などにご相談ください。	–
アンテナ信号が良くありません。【D】	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**30•31 41**
受信できません。【E】	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**30•31 41**

■i.LINKに関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。他の機器を選択しなおしてください。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。「i.LINK機器を接続する」（▶**116**ページ）をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作し、選択している機器の使用を中断する必要があります。

次のページにつづく▶

■双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	**C104**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	144~146
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	**C105**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	144~146
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	**C006**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	144~146
アクセスできませんでした。[C204]	**C204**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	**C208**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	**C209**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を「禁止しない」を設定してください。	＊＊＊＊	双方向サービス設定で「禁止しない」を選択してください。	**148**
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。電話回線設定を確認してください。	＊＊＊＊	電話回線設定を確認してください。	**146**
まだルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	アクセスしないことをお勧めします。	–

※1 情報センター…… 双方向通信において、お客さまからのデータを受けとるセンター。
※2 サーバー証明書… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書…… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

■IrSS™に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
IrSS™に対応した送信機器か確認してください。	IrSS™対応の送信機器をご使用ください。また、近くに赤外線を利用する機器（一部のノートPCやゲーム機など）がある場合はその機器の使用をやめて電源を落とすか、本機から遠ざけてください。
この形式の写真データは表示できません。	規格外の写真は表示できません。
データの容量が大きすぎます。	データの容量が約3MB以下のデータを送信してください。
写真のサイズが大きすぎます。	ピクセルサイズ4096×2160以下のデータを送信してください。
このデータは表示できません。	JPEG以外のデータや、壊れたデータは表示できません。なお、パソコンでは表示可能な場合があります。
送信機器を本機の受光部に近づけて、再度送信してください。（他の機器からは離してご使用ください）	送信機器を本機右下のIrSS™受光部の正面から上下左右15度以内、20cm以内に近づけて、再度送信してみてください。また、データ容量の大きな画像の送信には数秒かかる場合がありますので、送信が完了するまで送信機器をIrSS™受光部から離さないようにご注意ください。

■ファミリンク録画時のエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	**S05**	録画ができないコンテンツ（放送や番組）、または録画ができない記録メディア（HDD・DVDなどの録画媒体）です。コンテンツまたは録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	**S06** **S07**	このネットワークは録画することができません。 ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。	**S09** **S10** **S11** **S12**	ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	**S13** **S14**	このコンテンツ（放送や番組）は録画することができません。 コンテンツを確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	**S16**	録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	**S17**	再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	**S18**	現在録画中のため、あらたに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	**S19**	録画メディアが書き込み禁止です。 録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	**S20**	放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	**S21**	録画メディアに録画できません。 録画メディアを確かめてください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	**S22**	録画メディアの容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	**S23**	視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	**S31**	録画機器を確認してください。

本機のソフトウェアを更新する（ダウンロード設定）

● ダウンロードとは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善などを行うためのもので、自動的に行う方法とお客様が必要に応じ、手動で行う方法があります。

● お買い上げ時は利便性を考えて「する」（自動）に設定されています。

★ おしらせ

ダウンロードの可能な環境について

- ダウンロードは BS デジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合など、デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

ダウンロードについて

- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、リセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ったり、予約設定がなくなる場合があります。その場合は、設定しなおしてください。
- **ダウンロードは、本機の電源が待機状態（電源ランプが赤色点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタン（赤）で、待機状態にしてください。**

自動ダウンロードを「しない」に設定する

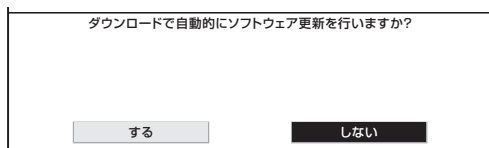
● 自動的にダウンロードを行いたくない場合は、「しない」に設定します。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」－「ダウンロード設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「しない」を選ぶ

決定　決定する

- 操作を終了する場合には、終了ボタンを押します。

手動でダウンロードを行う

● 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、受信メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードを行えます。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「お知らせ」－「受信メッセージ一覧」を選ぶ

決定　決定する

3 「ダウンロードのお知らせ」を選ぶ

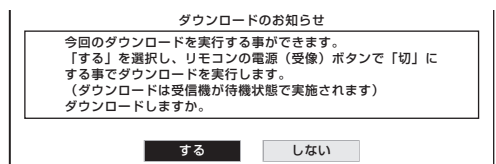
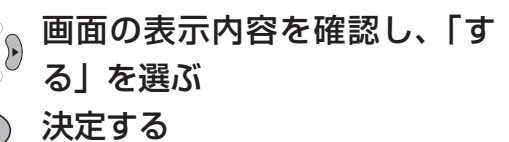
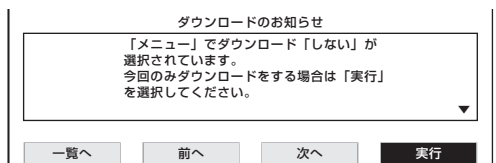
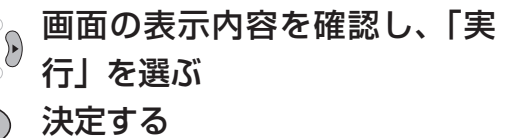
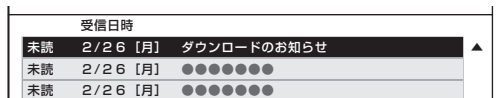
決定　決定する

4 画面の表示内容を確認し、「実行」を選ぶ

決定　決定する

5 画面の表示内容を確認し、「する」を選ぶ

決定　決定する

ダウンロードのお知らせ
今回のダウンロードを実行する事ができます。
「する」を選択し、リモコンの電源（受像）ボタンで「切」にする事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受信機が待機状態で実施されます）
ダウンロードしますか。
する　しない

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
（お知らせを見る ▶ **168** ページ）

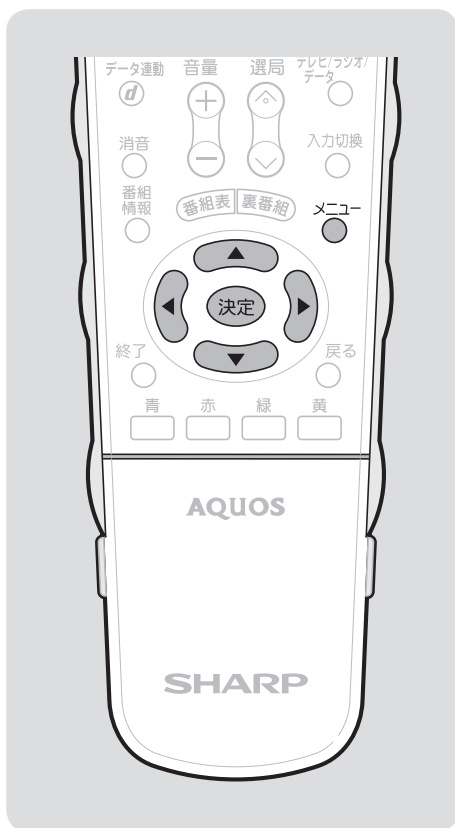
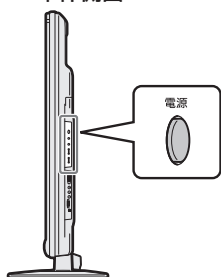
個人情報を初期化する

● 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した個人情報が記録されています。本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

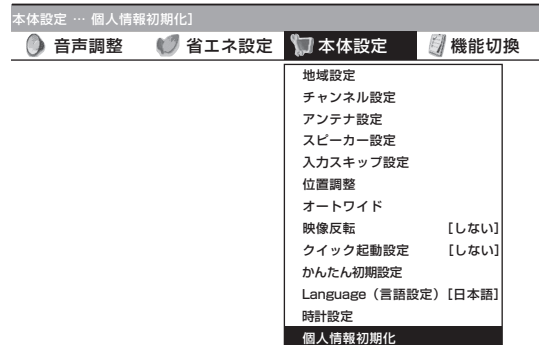
★★ 重 要

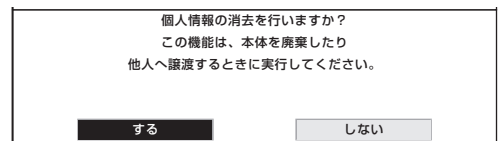
- お客さまが設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号など）がすべて初期化されます。
- **この操作は元に戻せません。必要のない場合は、操作を行わないでください。** データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

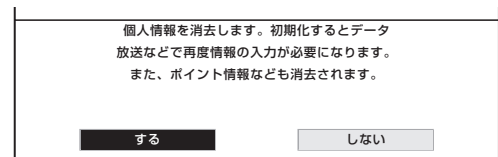
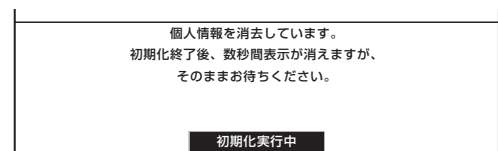
▼本体側面

押すボタン

1 メニューを表示する

2 「本体設定」－「個人情報初期化」を選ぶ

 決定する

3 「する」を選ぶ

 決定する

4 「する」を選ぶ

 決定する

- 表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。

- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、かんたん初期設定画面が表示されます。電源を切るときは、本体側面操作部の電源ボタン（赤）を押してください。

リモコン番号の切換え

リモコン番号を変える

● 2 台の AQUOS を近くに設置している場合に、リモコンの操作で AQUOS が 2 台とも動作してしまう場合があります。このとき、リモコン番号の設定を行うと他の AQUOS の動作を防ぐことができます。

● リモコン番号には「1」と「2」があり、リモコン側のリモコン番号と本機側のリモコン番号を合わせると、リモコンで本機が操作できるようになります。

● 2 台の AQUOS を近くに設置している場合は、本機のリモコン番号を他の AQUOS と異なる番号に設定してお使いください。例えば、他の AQUOS が「1」なら本機は「2」にします。

リモコン側の切換え

2

電源ボタン（赤）を押しながら、数字ボタンの「1」または「2」を 5 秒間押す

本機側の切換え

● 本体の入力／放送切換（決定）ボタンを 5 秒間押すと切換メニューが表示され、さらに入力／放送切換（決定）ボタンを押すと、リモコン番号「1」「2」の切り換えを設定できます。

本機のリモコン番号を切り換えます。

リモコン番号1　　リモコン番号2

★ おしらせ

- 工場出荷時の設定は、本機・リモコンともリモコン番号「1」です。
- 本機のリモコンで本機以外の AQUOS も操作できます。
  工場出荷時の設定では本機のリモコンの数字ボタンで本機以外の AQUOS を操作できない場合がありますが、電源ボタン（赤）を押しながら「10/0」ボタンを押すとリモコンの液晶表示部の表示が「■■」となり、操作できます。（操作できない AQUOS もあります。）

リモコンと本機のリモコン番号が異なるときに本機側を変えたい場合

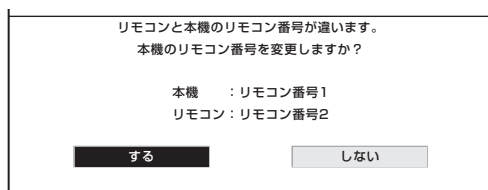
● リモコンと本機のリモコン番号が異なる場合、リモコンで本機を操作できません。以下の操作でリモコン番号を設定してください。

1 画面表示 5秒以上押し続ける

・本機のリモコン番号変更画面が表示されます。

2 メッセージを確認し、「する」を選ぶ

決定 決定する

▼本機のリモコン番号変更画面

・リモコン番号切換メニューが表示され、番号切換ができます。

★ おしらせ

・本機のリモコン番号変更画面が表示されてから、約10秒以内に操作を行ってください。約10秒を経過すると、画面が消えます。

リモコンの電池を交換するときは

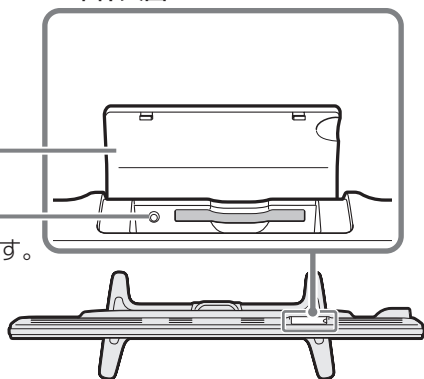
・リモコンの電池にはアルカリ乾電池（単4形）をお使いください。
・電池を交換すると、リモコン側のリモコン番号は「1」に戻ります。

個人情報を初期化したときは

・個人情報を初期化すると、本機側のリモコン番号は「1」に戻ります。

リセットボタン

● 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
このときは、本体天面のリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

▼本体天面

★ おしらせ

・リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には多少時間がかかります。
・壁掛け設置などでリセットボタンが押せない場合は、電源コードを抜いて、約1分間経過後に再度電源を入れてください。
・リセットすると本体のリモコン番号は「1」に戻ります。

メニュー項目一覧

映像調整※1※2
(▶81、82ページ)
明るさセンサー 切、入、入:表示あり
明るさ −16〜標準〜+16
映像 0〜+40
黒レベル −30〜0〜+30
色の濃さ −30〜0〜+30
色あい ※3 −30〜0〜+30
画質 ※9 −10〜0〜+10
プロ設定
リセット する、しない
カラーマネージメント−色相
カラーマネージメント−彩度
カラーマネージメント−明度
色温度 高、高−中、中、中−低、低
ディテール強調※9 0〜+15
QS駆動(120Hz) アドバンス、スタンダード、しない
アクティブコントラスト※9 する、しない
I/P設定※4※9 動画より、静止画より
フィルムモード※4※9※20 する、しない
3次元設定 標準、動画より、静止画より
モノクロ する、しない
明るさセンサー設定 最大値設定:−16〜0〜+16、最小値設定:−16〜0〜+16
R −30〜0〜+30
Y −30〜0〜+30
G −30〜0〜+30
C −30〜0〜+30
B −30〜0〜+30
M −30〜0〜+30
リセット
音声調整※1※2※7
(▶84ページ)
高音 −6〜0〜+6
低音 −6〜0〜+6
バランス 左30〜中央〜右30
サラウンド※8 切、入
リセット する、しない
省エネ設定
(▶130、131ページ)
無信号オフ ※9 する、しない
無操作オフ 30分、3時間、しない
オフタイマー 残り××時間××分、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分、切
本体設定
地域設定※10 (▶43ページ)
地域選択 地域/都道府県選択画面
郵便番号設定 郵便番号設定画面
チャンネル設定 ※10※19 (▶45、48ページ)
地上デジタル※11
自動 する、しない
追加 する、しない
個別
選局順 モード1、モード2
地上アナログ
BSデジタル※11
CSデジタル※11
デジタル登録※11 する、しない
自動 する、しない
追加 する、しない
地域番号 する、しない
個別 する、しない
アンテナ設定 ※10※11 (▶41ページ)
電源・受信強度表示 電源連動、入、切
周波数設定 周波数設定画面
信号テスト−地上D 地上D信号テスト画面
信号テスト−BS BS衛星信号テスト画面
信号テスト−CS CS衛星信号テスト画面
スピーカー設定※6※7 (▶85ページ)
視聴環境設定
ユーザー選択 標準、個別設定
部屋の種類 洋室、寝室、和室
設置場所 壁寄せ、コーナー置き
入力スキップ設定 (▶93ページ)
入力4(HDMI) する、しない
入力5(HDMI) する、しない
入力6(HDMI) する、しない
入力7(PC) する、しない
IrSS する、しない
地上アナログ(本体) する、しない
地上デジタル(本体) する、しない
BSデジタル(本体) する、しない
CSデジタル(本体) する、しない
入力表示選択 ※9※12※13 (▶92ページ)
入力1、入力2、入力3、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ、コンポーネント1、コンポーネント2、コンポーネント3、コンポーネント、D端子1、D端子2、D端子3、D端子、CATV、CS、DVD、ゲーム、ムービー、D-VHS、HDD、DVR、BD、ユーザー設定
位置調整※9 (▶86ページ)
水平位置
垂直位置
※24
リセット
オートワイド※9※14 (▶79ページ)
映像判別 する、しない
S2対応 ※15 する、しない
D端子識別 ※16 する、しない
映像反転 (▶86ページ) しない、左右反転、上下反転、上下左右
クイック起動設定 (▶76ページ) しない、する(常に有効)、する(2時間のみ有効)
かんたん初期設定※9※19 (▶6、40ページ)
Language (言語設定) (▶203ページ) 日本語、English
時計設定 (▶76、77ページ)
時刻設定※25 時刻 時 分
時刻表示 する、する(30分ごと)、しない
個人情報初期化 (▶179ページ) する、しない

おしらせ

- 表中の※については▶ **185** ページのおしらせをご覧ください。
- 入力４〜入力７選択時のメニュー項目一覧については、 ▶ **184** ページをご覧ください。

入力4～入力7選択時（記載以外の参照ページについては、▶182·183ページをご覧ください。）

★おしらせ

※ 1　AV ポジションごとに設定できます。また、AV ポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※ 2　AV ポジションが「ダイナミック（固定）」になっているときは設定できません。
※ 3　「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※ 4　プログレッシブ信号入力時には選択できません。
※ 5　テレビ視聴時、インターネット閲覧時、IrSS™ モードのとき表示されます。
※ 6　ヘッドホンをつないでいるときは選択できません。
※ 7　「入力 2 端子設定」が「モニター出力（可変）」に設定されているとき、または「AQUOS オーディオで聞く」に設定されているときは選択できません。
※ 8　センタースピーカー入力が「する」に設定されているときは選択できません。
※ 9　インターネット閲覧時は表示されません。または選択できません。
※ 10 テレビ視聴時のみ表示されます。
※ 11 アナログ放送視聴時は選択できません。
※ 12 入力 1 ～ 7 選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
※ 13 現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
※ 14 デジタル放送視聴時には選択できません。
※ 15 入力 2 選択時のみ表示されます。
※ 16 入力 1・2・3 選択時のみ表示されます。
※ 17 ファミリンク対応の AQUOS オーディオが接続されていないときは選択できません。
※ 18 各入力系統で設定できます。
※ 19 録画予約実行中およびデジタル固定中は選択できません。
※ 20 AV ポジションが「ゲーム」のときは選択できません。
※ 21 入力 4 ～入力 6 選択時のみ表示されます。
※ 22 入力 7 選択時のみ表示されます。
※ 23 PC をアナログ接続しているときのみ表示されます。
※ 24 設定の範囲は、入力、信号、画面サイズによって異なります。
※ 25 時刻が自動設定されている場合は選択できません。
※ 26 オンタイマー機能を使うためには、時刻が設定されている必要があります。
※ 27「入力 2 端子設定」が「入力」以外のとき、「入力 2」はスキップされます。
※ 28 入力 7 選択時は選べません。
※ 29 入力 7 選択時で入力信号の解像度が 1024 × 768 または 1360 × 768 のときに選択できます。
※ 30 PC 信号入力かつ AV ポジション「PC」のときは選択できません。
※ 31 オンタイマーの「オン入力」が「入力 2」に設定されているときは選択できません。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

おもな仕様

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-52GX3W	LC-52GX4W
液晶パネル	画面サイズ	52V型（横1152mm×縦648mm／対角1321mm）	
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	1,920（水平）×1,080（垂直）画素	
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型（地上デジタル入力共用）、BS-IF 75Ω不平衡型	
スピーカー		10cm×4cm トラック型 2個、 2.0cm 丸型 2個、5.5cm 丸型 1個	10cm×4cm トラック型 2個、 2.0cm 丸型 2個、4cm丸型 2個
音声実用最大出力（JEITA）		総合30W（7.5W+7.5W+15W）	
使用電源		AC100V・50/60Hz	
消費電力		315W（待機時電力：0.1W、クイック起動「する」時電力：33W）	
年間消費電力		• 区分名：BJJ　• 受信機型サイズ：52V • 年間消費電力量：273kWh／年[標準時※1]	
接続端子		ビデオ入力3系統3端子（入力2はモニター出力／録画出力兼用）、 S2映像入力1系統1端子、D5映像入力3系統3端子、HDMI3系統3端子、 モニター出力1系統1端子（入力2／録画出力兼用・S2映像付き）、DVI-I端子（音声入力端子付き）、 デジタル音声出力（光）1系統1端子、アンテナ（VHF・UHF）入力端子、 ヘッドホン接続端子、AC入力端子、コントロール（RS-232C）端子、 i.LINK（TS）2端子、録画出力1系統1端子（入力2／モニター出力兼用・S2映像付き）、 電話回線端子、LAN端子（10BASE-T/100BASE-TX）、 アンテナ入力（BS・110度CS）端子、センタースピーカー入力端子	
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch・UHF13～62ch、CATV13～63ch、 BSデジタル001～999ch、110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル（ワンセグを除く）011～528ch（CATVパススルー対応）	
BS・110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2（MP@HL）	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz	
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz	
地上デジタル チャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重（OFDM）	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2（MP@HL）	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz	
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF帯	
キャビネット		ノンハロゲン材	
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅1243×奥行92（最薄部81）× 高さ786（mm）	幅1332×奥行92（最薄部81）× 高さ738（mm）
	スタンド装着時	幅1243×奥行316×高さ859（mm）	幅1332×奥行316×高さ811（mm）
本体質量	ディスプレイ部のみ	約30.5kg	約30.5kg
	スタンド装着時	約33kg	約33kg
使用温度		0℃～40℃	

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した部品です。

■ 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

■ 年間消費電力量の区分名とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっている。その区分名称を言う。

※1：一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。（本機では、AVポジション「標準」の場合です。）

保証とアフターサービス
よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【お客様相談センター】
0120 - 001 - 251
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■「故障かな?と思ったら」(▶170ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名:液晶カラーテレビ
- 形　　名:LC-52GX3W/LC-52GX4W
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご住所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　—

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ! (熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか
- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

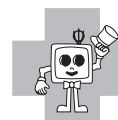
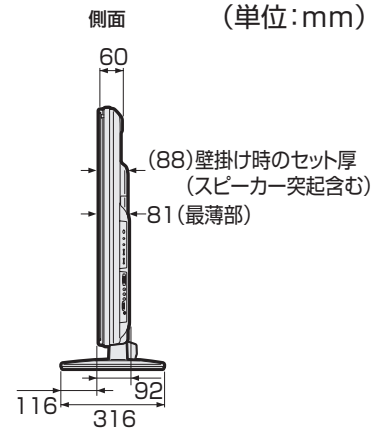
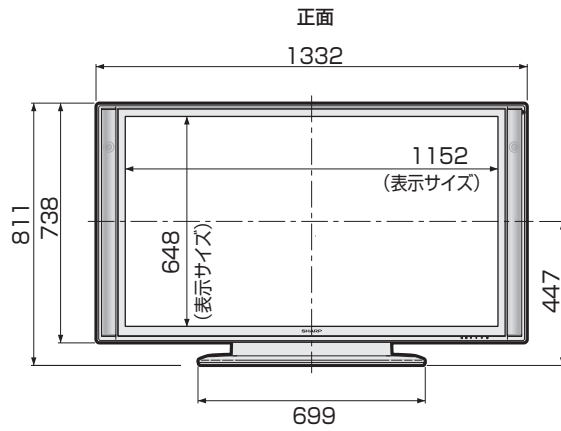
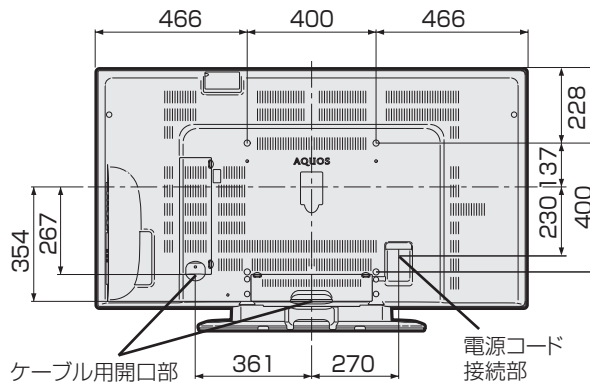
ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

寸法図

LC-52GX3W

（単位：mm）

壁掛け金具取り付け時の寸法

壁掛け金具AN-52AG4使用時

※ この数値は、取り付け位置を変更することにより、50mm変動します。

壁掛け金具AN-52AG5使用時

傾けての設置はできません。

LC-52GX4W

（単位：mm）

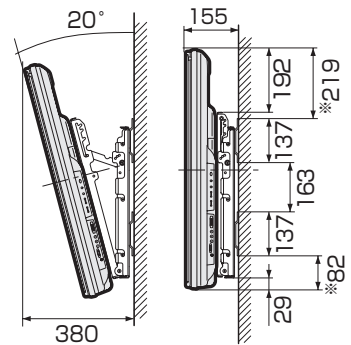
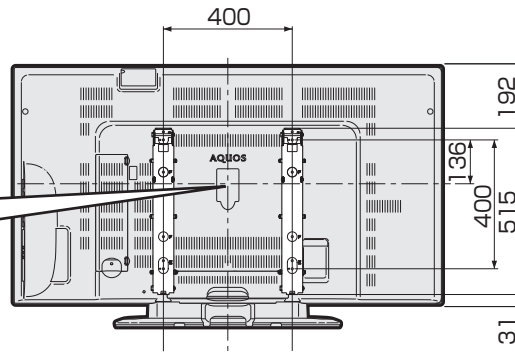
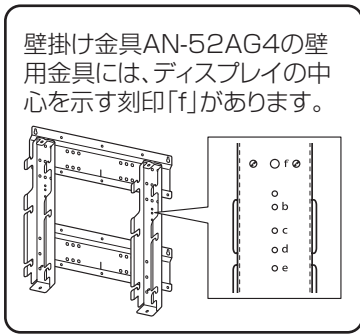
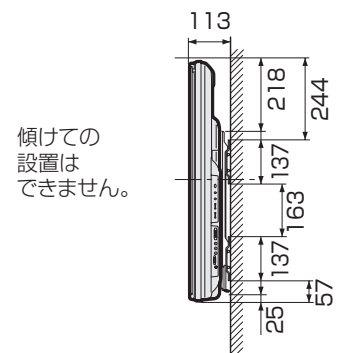
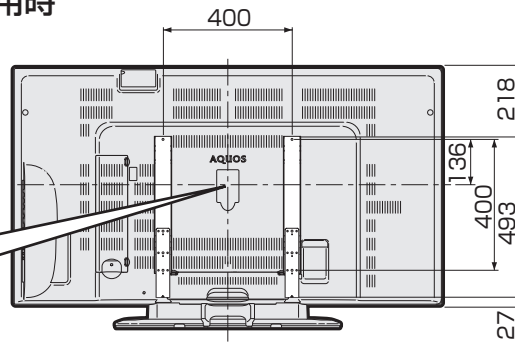
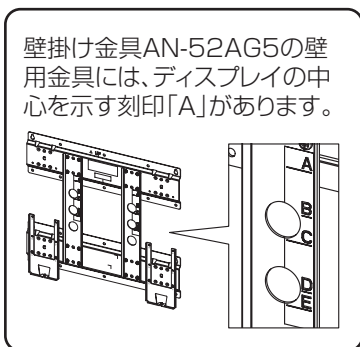
壁掛け金具取り付け時の寸法

壁掛け金具AN-52AG4使用時

壁掛け金具AN-52AG4の壁用金具には、ディスプレイの中心を示す刻印「f」があります。

※ この数値は、取り付け位置を変更することにより、50mm変動します。

壁掛け金具AN-52AG5使用時

壁掛け金具AN-52AG5の壁用金具には、ディスプレイの中心を示す刻印「A」があります。

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPLおよびLGPLも、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPLおよびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープGPL情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。
- linux kernel
- modutils
- glibc
- DirectFB
- OpenSSL
- zlib
- AGG（ver. 2.4）

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkitにおける使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
この製品にはEric Youngによって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント(複製禁止)が搭載されております。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LCフォントでないものも使用しています。

IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。

壁に掛けて設置する

スタンドをはずす

● 別売の壁掛け金具（AN-52AG4 ／ AN-52AG5）で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。（壁掛け設置のしかた（例） ▶ **193** ページ）

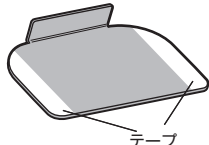
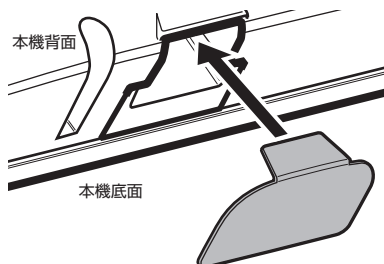
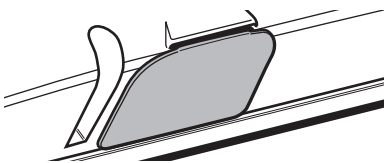
★★ 重 要

- 取付け方法など詳しくは、別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。
  取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

- 接続されているケーブル類は接続先をすべて取りはずしてください。
- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

保護カバーで本機底面の穴をふさぐ

保護カバー（2 個）

テープ

① 保護カバーのテープをはがす

② 壁に掛けて設置するときなど、スタンドをはずしたあとの穴に保護カバーを矢印のように挿入する

③ 保護カバーを奥まで挿入したら、保護カバーを本機底面に貼り付ける

- 以下の手順は壁掛け金具 AN-52AG4 を例に説明しています。（壁掛け金具 AN-52AG5 をご使用の場合は、AN-52AG5 の取扱説明書に従って作業してください。）

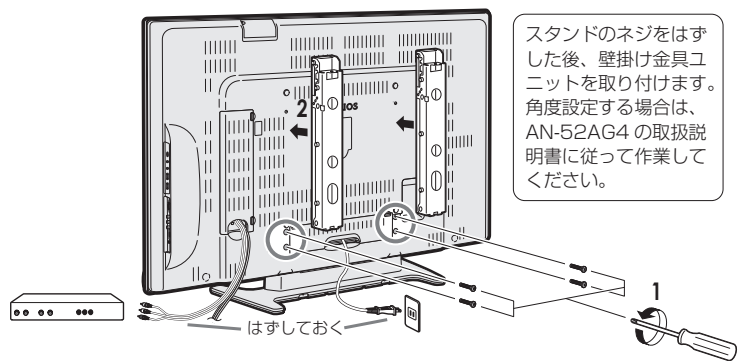
準備する

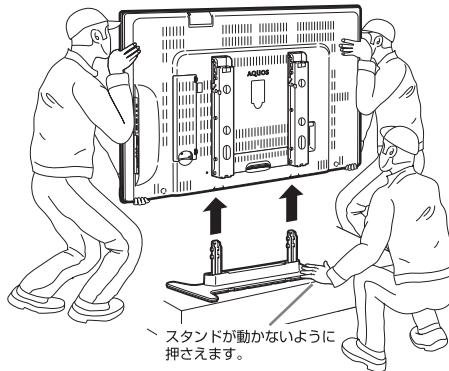
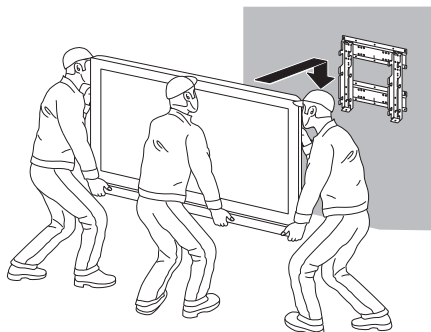
- 接続しているケーブルは、接続先をはずしておきます。
- 本機背面のキャップ（4 箇所）を取りはずしておきます。

1 スタンドのネジ（4 箇所）を取りはずす

- ⊕（プラス）ドライバーを使います。

2 壁掛け金具ユニットを取り付ける

- 角度設定していない状態（0° 設定）で取り付けます。

3 本機を持ち上げてスタンドから取りはずす

- スタンドを押さえ、液晶テレビを少し後ろに傾けながらはずしてください。
- スピーカーネット部を強く押さないでください。
- ほこりなどが入らないよう、本機底面の穴を保護カバーでふさいでください。

- 壁に掛けて設置する場合は、壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置します。
- 本機はかなりの重量があります。硬い床などに落とさないよう、また足の上に落とさないようご注意ください。

壁掛け設置のしかた（例）

・くわしくは、壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。

● 本機を別売の壁掛け金具（AN-52AG4／AN-52AG5）を使って壁掛け設置して使用することができます。その場合は、必ず付属のスタンドをはずしてください。（スタンドのはずしかた ▶ **192** ページ）

おしらせ

- 壁掛け金具 AN-52AG4 を取り付ける場合は、AN-52AG4 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-52AG5 を取り付ける場合は、AN-52AG5 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-52AG5 を使用する場合は、付属のケーブルクランプは使用しないでください。ケーブルクランプを取り付けた状態では、壁掛け設置ができません。
- 壁掛け金具 AN-52AG4、AN-52AG5 の壁用金具を壁に取り付ける場合は、市販のねじ（径 6mm）をご使用ください。

1 **液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅の位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける**

- 水平・垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
- テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

2 **4 箇所の目印から対角線を引き、その交点（テレビの中心となる位置）に目印を付ける**

- 糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。

3 **この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける**

- 下記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

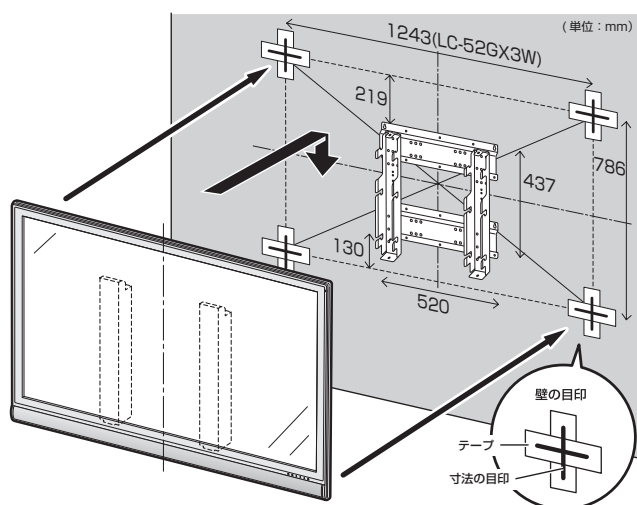
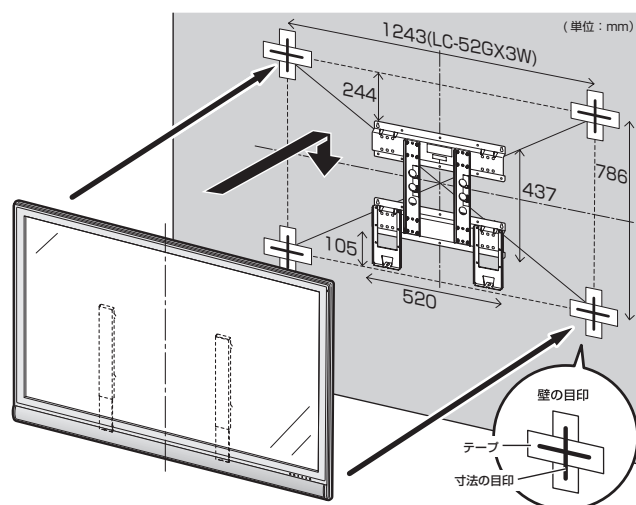
4 **①スタンドのネジをはずす**
②壁掛け金具ユニットを液晶テレビに取り付ける
③角度調整する場合は、テレビを壁に掛ける前に行う

- AN-52AG4 の取付け角度は、0 度、5 度、10 度、15 度、20 度です。（AN-52AG5 は角度調整できません。）

④テレビを持ち上げてスタンドからはずし、壁用金具に取り付ける

- 壁面の寸法の目印（テレビの四隅）を目安にして取り付けます。
- 取付け角度を変更するときは、必ず液晶テレビを壁から取りはずしてください。

5 **目印のテープ類を取り除く**

壁掛け金具 AN-52AG4 使用時

壁掛け金具 AN-52AG5 使用時

上記の方法はあくまで参考です。設置環境に合った方法で取付設置を行ってください。

用語の解説

● 1ビットデジタルアンプ
シャープ独自開発の1ビットデジタルアンプ技術は、アナログ信号を内部で１ビットのデジタル信号に変換し、そのまま伝達/増幅を行う技術です。
１秒間に1228.8万回（12.288MHz）というCDの約278倍に相当する超高速サンプリングによって、音の分解能を向上させています。
従来のマルチビット信号処理のように、情報の間引きや補完といった音質処理がないため、より原音に近い音で、「音の立ち上がり」の速さや滑らかさを高品位に再現します。

● 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

● 1125p、750p、1125i、525p、525i

映像の種類	画質（放送の種類）
1125p	走査線 1125 本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
750p	走査線 750 本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
1125i	走査線 1125 本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
525p	走査線 525 本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。
525i	走査線 525 本、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）や BS アナログ放送と同等の画質です。

● 16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

● AAC（Advanced Audio Coding）
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。AACは、デジタル音声圧縮方式の1つです。少し未来のデータを予測し圧縮効率を上げる技術を採用しており、高音質であるにもかかわらず、高圧縮、マルチチャンネル化が可能です。

● ADSL回線
ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

● B-CASカード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。（B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が映りません。）

● BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

● CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。本機は「パススルー方式」のCATVに対応しています。

● CATV回線
ブロードバンド回線のひとつで、ケーブルテレビ網を使った回線です。

● Cookie
Webサイトから、ブラウザに対して一時的に書き込まれる情報です。
たとえば、買い物ができるWebサイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれます。その情報は、選んだ商品を確認するときや、購入商品の代金を計算するときに利用されます。

● D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD5に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

● EPG(Electronic Program Guide)
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。
本機では、電子番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

● HDMI(High Definition Multimedia Interface)
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。
高精細な映像入力に対応しています。

● HTML
インターネット上にページを作るための記述ルールです。この記述ルールをブラウザが読み取って、ページが表示されます。

● i.LINK(アイリンク)
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbps、800Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400、S800と表示されます。
本機は最大400Mbpsの転送が可能です。

4ピンの場合

● LAN
Local Area Network(ローカル・エリア・ネットワーク)の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。
一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

● MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

● NTSC(National Television System Committee)
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、走査線数525本のインターレース方式です。

● PCM(Pulse Code Modulation)
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

● PPV(Pay Per View)
「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

● S1/S2映像
セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。
セパレート(S)映像信号は、輝度信号と色信号を分離して伝送することで映像の劣化を抑えています。

● WAN
Wide Area Network(ワイド・エリア・ネットワーク)の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。
広域通信網とも呼ばれ、大きな規模で用いられています。

● Webサイト
サーバーに保存されている、関連したページの集まりのことです。AQUOS.jpもひとつのWebサイトです。

● インターネット
世界中にある小さなコンピューター・ネットワークがお互いにつながりを持つようになってできた、世界規模のネットワークです。

● インターネットサービスプロバイダー
ご家庭のパソコンなどをインターネットに接続するためのサービスを提供している事業者のことです。プロバイダーと呼ばれたり、ISPと表記されることもあります。

● インターレース（飛び越し走査）
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます（この1画面を1フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース（interlaced）を表します。

● 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

● お知らせ
BS／110度CS／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

● キャッシュ
ブラウザが、表示したページのデータを一時的に保管しておくところです。
ページのデータは、インターネットを通じて取り込まれています。いつもインターネットからデータを取り込んで表示させると、つねにデータを取り込むための時間がかかってしまいます。このため、保管したデータを再利用し、データを取り込むための時間を節約しています。

● コンポーネント接続
映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）の3つのコンポーネント（構成部分）に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントケーブル）を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

● コンポジット接続
通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。
コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

● サーバー
コンピューター・ネットワークでサービスや情報を提供するコンピューターのことです。
インターネットの世界では、Webページのデータを保存しているWWWサーバー、指定したURLがどこにあるかを探すDNSサーバー、企業などの内部ネットワークとインターネットの間で効率よくWebページを表示したり、内部ネットワークを保護したりするプロキシサーバーなど、いろいろなサーバーが無数にあります。

● スプリッター
ADSL回線でインターネットに接続する際に、インターネット用のデータ信号と電話用の音声信号を分離する機器です。

● 地上デジタル放送
2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始されている新しい放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

● ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

● ハブ
LANなどのネットワークのケーブルを分けたり、中継したりする機器です。

● 光回線
ブロードバンド回線のひとつで、光ファイバー網を使った回線です。
ADSL回線やCATV回線に比べてデータの転送スピードの速さが特長です。

● ブックマーク
ページのURLを記憶する機能です。
ブックマークに登録することで、URLを入力したり、何度もリンクをたどったりする必要がなくなります。
「お気に入り」と呼ばれることもあります。

● **ブラウザ**
インターネット上のページを見るためのソフトウェアです。Webブラウザ、インターネットブラウザなどと呼ばれることもあります。

● **ブロードバンド回線**
一度に大量のデータをやりとりすることができるインターネットに接続するための回線のことです。
ADSL回線、CATV回線、光回線などがあります。

● **プログレッシブ（順次走査）**
飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を表します。

● **プロバイダー**
一般にはインターネットサービスプロバイダー（ISP、インターネット接続業者）のことをいいます。
電話回線などを使って顧客のコンピューターをインターネットに接続するほか、メール利用などのサービスを行うことがあります。
本機では、インターネットのBMLコンテンツ（デジタル放送で使用されるデータ放送言語）を使った双方向サービスが楽しめます。

● **文字コード**
コンピューターの内部は、すべて0と1の組み合わせで成り立っています。画面に表示される文字も0と1の組み合わせになります。この0と1の組み合わせをどの文字にするかを取り決めたものが文字コードです。
世界中にはさまざまな文字があり、その文字に合わせて各地域で標準となっている文字コードがあります。このため、ページを作成するために使われた文字コードとブラウザの文字コードが異なる場合もあり、この場合、文字が正しく表示されなくなることがあります。

● **リンク**
インターネットのページ上にあって、他のページなどを表示するための入り口のことです。
一般的には、青い文字や青い枠で表示されたり、下線がついていたりします。

索引

本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、▶ **24** ～ **26** ページをご覧ください。

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-52GX3W LC-52GX4W

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～20:00 ●日曜・祝日:9:00～17:00 （年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2007.2）

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ株式会社

本社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部	〒329-2193	栃木県矢板市早川町174番地

PRINTED WITH SOY INK

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

TINS-D254WJZZ⚠
07P07-JA-KK